

小田藏

算法圖解

未収

4192  
= 2



門二2  
號4192  
卷

世三	金仕掛銀仕掛法	世六丁
世四	絹布賣買之部	世二丁
世三	著類入尺早積之部	世四丁
世二	諸法定法	世四丁
世三	諸法起源	世二丁
世二	八崩算	世三丁
世三	馬を等分乗法	世三丁
世二	諸物日々一倍の積	世八丁
世一	立木の間を積法	世一丁
世一	田高地斗代附之部	世三丁
世一	救採算	世二丁
世一	俵物藏積算	世四丁
世三	利足の部	世八丁
世二	織物類尺積	世三丁
世一	科目賣買之部	世四丁
世一	無帰定法	世四丁
世一	寄算早括	世三丁
世一	油を日々法	世六丁
世一	緒を日々算	世三丁
世一	町積の法	世九丁
世一	山の高を見積法	世二丁
世一	田地檢地之部	世四丁
世一	年貢納付之部	世六丁
世一	濱出運賃之部	世三丁
世一	米穀賣買之部	世四丁



昭和元年  
三月廿四日  
小田弄吉氏  
長男友太  
が区券の贈

百 方平角遠切  
 九 徑矢強形  
 八 切籠形  
 七 方堅  
 六 平圓  
 五 厚幅錐  
 四 扇形  
 三 三方臺  
 二 方臺  
 一 相應圓五法

百五  
 百四  
 百三  
 百二  
 百一  
 百  
 百  
 百  
 百  
 百

百 重圓平法  
 九 三角望切  
 八 裏矩  
 七 山形  
 六 圓截  
 五 蕎麥形  
 四 榨形  
 三 方錐  
 二 厚幅方臺  
 一 扇形圓法

百五  
 百四  
 百三  
 百二  
 百一  
 百  
 百  
 百  
 百  
 百

百 網五法倍九々  
 九 相應圓平法  
 八 網平法手順口訣  
 七 橋銀割付之積  
 六 栗石小石垣積法  
 五 石垣積上法  
 四 石積之法  
 三 大石運送夫數之積  
 二 入子鍋貫積  
 一 落相早積

百五  
 百四  
 百三  
 百二  
 百一  
 百  
 百  
 百  
 百  
 百

百 網五法手順口訣  
 九 帶縱圓平法  
 八 網平法  
 七 日五重石垣積法  
 六 石擅積上法  
 五 石數積取渡面坪廻  
 四 石垣面坪矩之知積  
 三 増減之部  
 二 拵目之部  
 一 竹廻之部

百五  
 百四  
 百三  
 百二  
 百一  
 百  
 百  
 百  
 百  
 百

① 基数

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

② 大数小乘

一 十 百 千 萬 億 兆 京 垓 秭

穰 溝 澗 正 載 極

③ 大数大乘

千 百 十 萬 億 兆 京 垓 秭 溝 澗 正 載 極

兆 十兆百一十萬一 十兆百一十萬一 十兆百一十萬一 十兆百一十萬一 十兆百一十萬一 十兆百一十萬一 十兆百一十萬一 十兆百一十萬一 十兆百一十萬一 十兆百一十萬一

秭 十秭百一十萬一 十秭百一十萬一 十秭百一十萬一 十秭百一十萬一 十秭百一十萬一 十秭百一十萬一 十秭百一十萬一 十秭百一十萬一 十秭百一十萬一 十秭百一十萬一

澗 十澗百一十萬一 十澗百一十萬一 十澗百一十萬一 十澗百一十萬一 十澗百一十萬一 十澗百一十萬一 十澗百一十萬一 十澗百一十萬一 十澗百一十萬一 十澗百一十萬一

極 十極百一十萬一 十極百一十萬一 十極百一十萬一 十極百一十萬一 十極百一十萬一 十極百一十萬一 十極百一十萬一 十極百一十萬一 十極百一十萬一 十極百一十萬一

那由他 万々那由他と不  
可思議と又  
不可思議 万々不可思議  
無量數 万々無量數

④ 小数

分 厘 毫 絲 忽 微 纖 渺 塵 埃 渺 漠

⑤ 五度數

大 十尺と一丈と 尺 十寸と一尺と 寸 十分と一寸と 分 十分と一分と 厘 十毫と一厘と 絲 十忽と一絲と 忽 十分と一忽と

一匹 絲尺五丈は尺但二倍を匹と云  
一端 絲尺二丈七尺但一不日あり

六 量數

石	十斗	斗	十升	升	十合	合	十勺	勺	十抄
撮	十撮	撮	十圭	圭	十粟	粟	十粒	粒	十沙
斛	十石	斗	六斗四升	石	一石六斗	石	十六石		

七 產數

一里 三十六町又八五十町唐六丁

一町 六十間

一間 或八二尺五寸 或八二尺

八 衡數

町 十段

段 十畝

畝 今三十六步

步 今方六尺五寸 今方一六尺

一黍 六朱

一黍 十黍

一銖 十黍

一分 六朱

一兩 四分又六四友

一斤 十六兩

一秤 十五斤

一鈞 三十斤

一碩 四鈞

九 斤同差別

日本一斤 二百五十兩

白周一斤 二百三十兩

唐周一斤 百六十兩

沈香一斤 二百十文兩

當飯地黃川芎黃連薰陸

以上種一斤 百八十兩

藥種一兩 四友四友

辰砂光明朱丹 以上一兩 四友

十 諸物輕重

金 百六十目

銀 百二十五友

鈔 八拾目

銅 六十四友

真鍮 六十二友

鐵 六十目

砒 百二十目

青石 二十八友

錫日 五十三夜  
唐金日 六十六夜

采一升 三百八十月

① 算法用字

法 右の方ふおれてくつくりふ又合を  
数なり用安しむ

高 法をくつくりてまの数をくつくりてあり  
それより数をくつくり

帰 法一をくつくりて割をくつくり

相乗 法二をくつくり以上おてくつくりより南を  
お用自周といふも同じく

冪 けけ合たる数をくつくり併ゆとき  
おかりよりなり

減去 引てるくつくりとくつくり

折半 二を割るくつくりとくつくり

實 右の方ふおけれぬを右の方ふ  
くつくりまへき数をけり

帰除 法二をくつくり以上おてくつくりとくつくり

周 法一をくつくりおてくつくりとくつくり

再自周 二をくつくりくつくりより再自周を  
くつくり同じく

和 数を合はせるとくつくりお併も同じく

止残 止余といふも同じく引て残るとくつくり

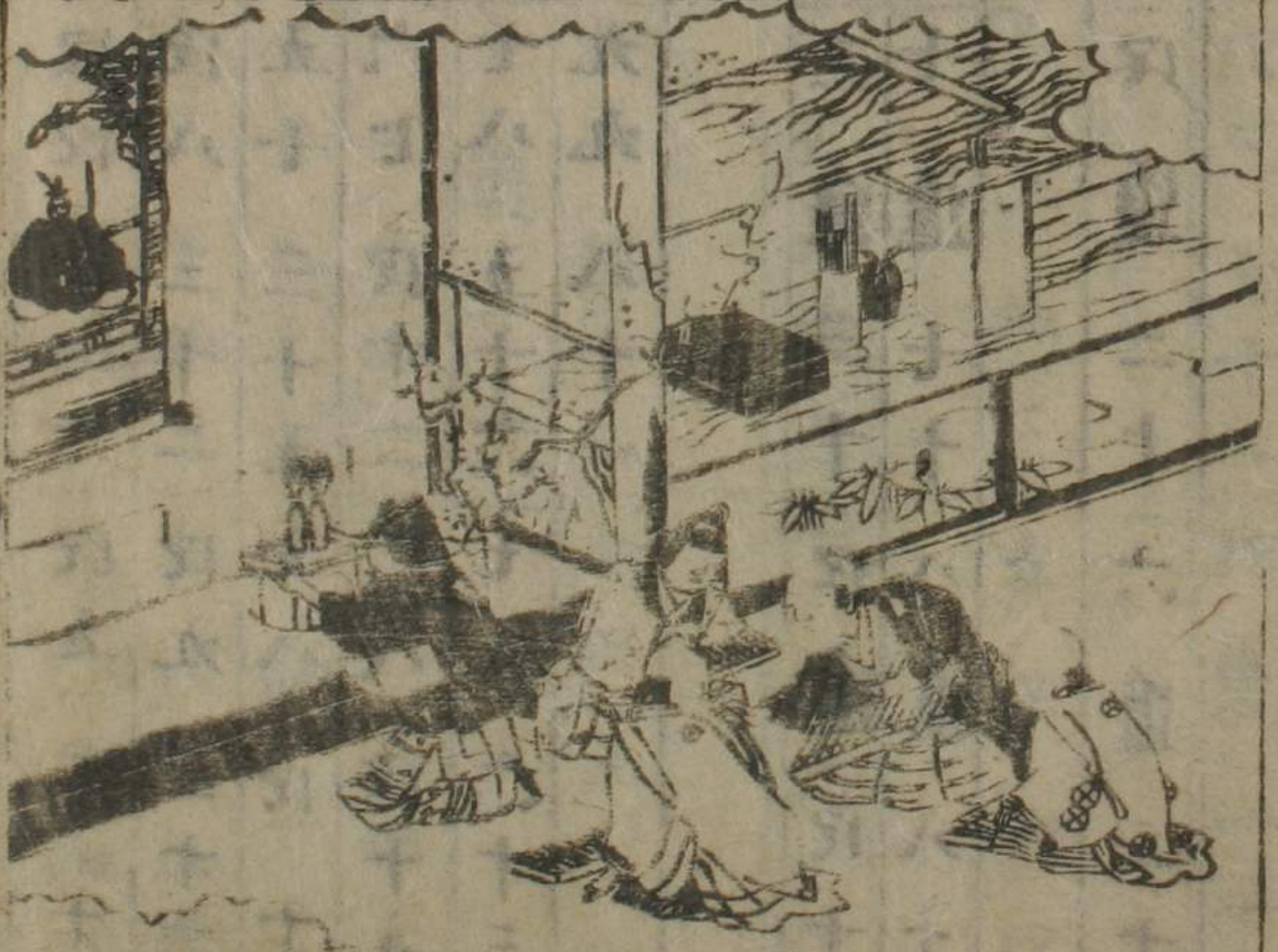
不尽 割るくつくりとくつくり

積 多しけけ合したる数をくつくり

② 九九表

一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
二	二	四	六	八	一〇	一二	一四	一六	一八
三	三	六	九	一二	一五	一八	二一	二四	二七
四	四	八	一二	一六	二〇	二四	二八	三二	三六
五	五	一〇	一五	二〇	二五	三〇	三五	四〇	四五
六	六	一二	一八	二四	三〇	三六	四二	四八	五四
七	七	一四	二一	二八	三五	四二	四九	五六	六三
八	八	一六	二四	三二	四〇	四八	五六	六四	七十二
九	九	一八	二七	三六	四五	五四	六三	七十二	八十一
十	十	二〇	三〇	四〇	五〇	六〇	七〇	八〇	九〇

零 一をくつくりおてくつくりとくつくり



三八	二十	三九	二十七	三	十	六	五	二	十
二六	二十	二七	二十八	八	三十二	二	九	三十六	
五五	二十五	五六	三十一	五	三十五	五	八	十	
五九	二十五	五六	三十六	六	七	十二	六	八	十八
六九	五十	七	十九	七	八	五十六	七	九	六十三
八八	六十	八九	七十二	九	九	八十一			

(十三)

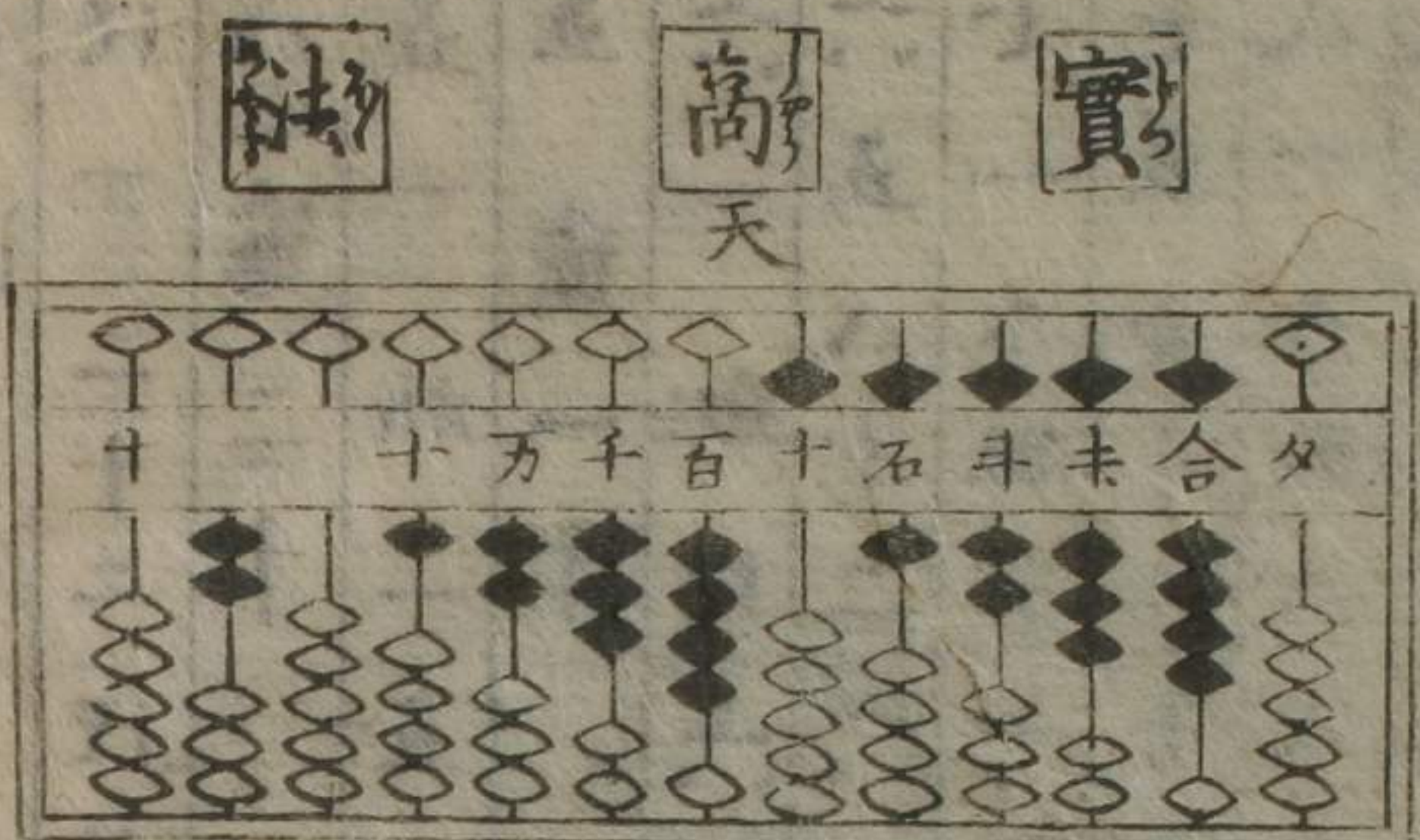
八等翻聲

一進	十一	進	二十三	三	進	三十	尺	進	尺十
五進	五十六	進	六十七	七	進	七十八	進	八十	
九進	九十								
二一	天他五二	進	一十	尺	進	二十六	進	三十	
八進	尺十								
三一	三十一	三二	六十二	三	進	一十六	進	二十	

九進	三十													
尺一	二十二	尺二	天他五	尺三	七十二	尺	進	一十						
八進	二十													
五一	加一	五二	加二	五三	加三	五	尺	加	尺					
五進	一十													
六一	加	尺六	二	三十二	六	三天他五	六	尺	六十	尺				
六五	八十二	六	進	一十										
七一	下加	三七	二	下加	六七	七	三	尺	十二	七	尺	五十五		
七五	七十一	七	六	八十	尺	七	進	一十						
八一	下加	二	八	二	下加	尺	八	三	下加	六	八	尺	天他五	
八五	六十二	八	六	七十	尺	八	七	八	十六	八	進	一十		
九一	下加	一	九	二	下加	二	九	三	下加	三	九	尺	下加	尺
九五	下加	五	九	六	下加	六	九	七	下加	七	九	八	下加	八

算盤

算盤圖解

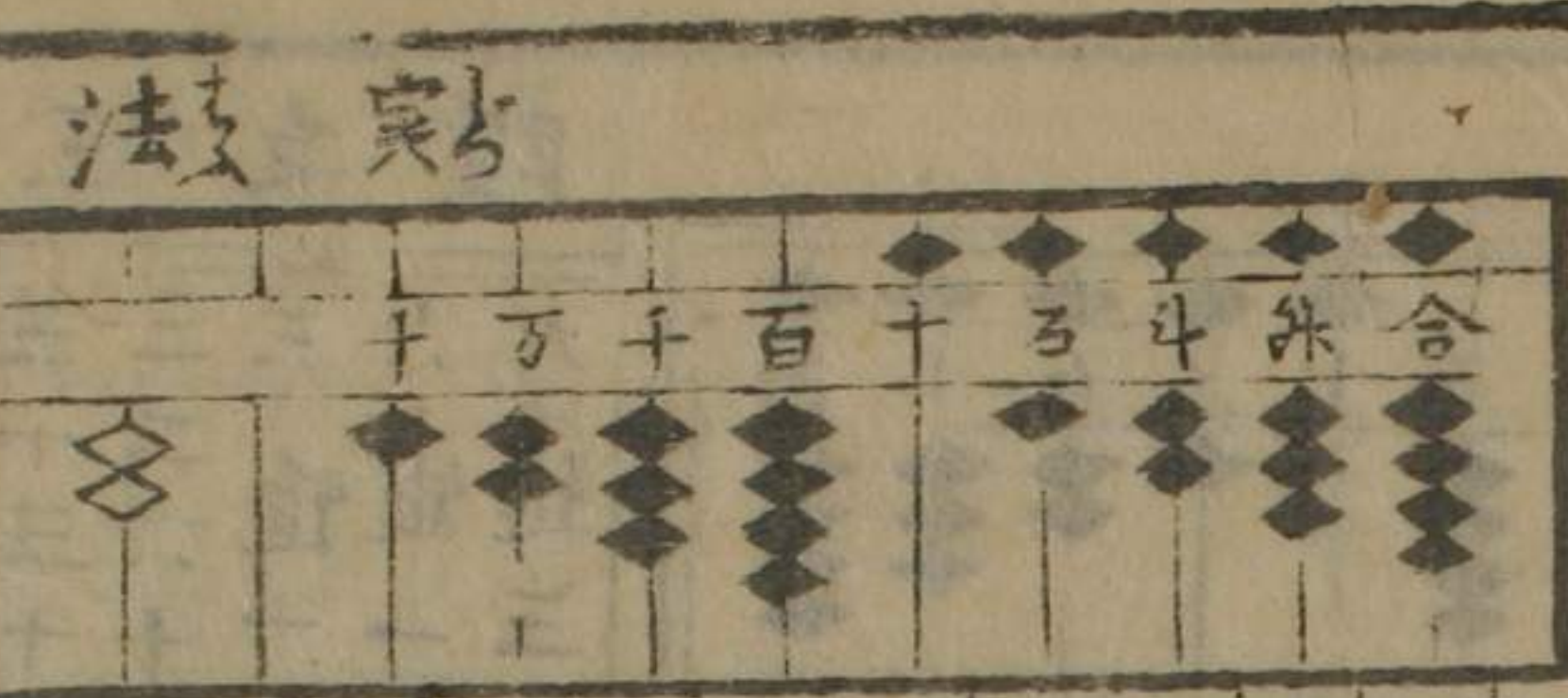


右下より  
算盤の中孔滿を撲梁と号中の滿より  
上を天と中孔滿より下を地と云ふ又算盤  
の左を上と右を下と云ふ法は左小右大ハ  
右小左大其歸して顆を顆を高より低  
より低より右より下より左より左  
小進む天の顆を一顆して五より地の顆  
を一顆を一顆五顆して五より天の一顆と  
地の五顆と合を十一天地計顆を拂ひ  
て左の桁十と加十の桁天地とも小結  
百と左も又拂て左百と加千以上皆同

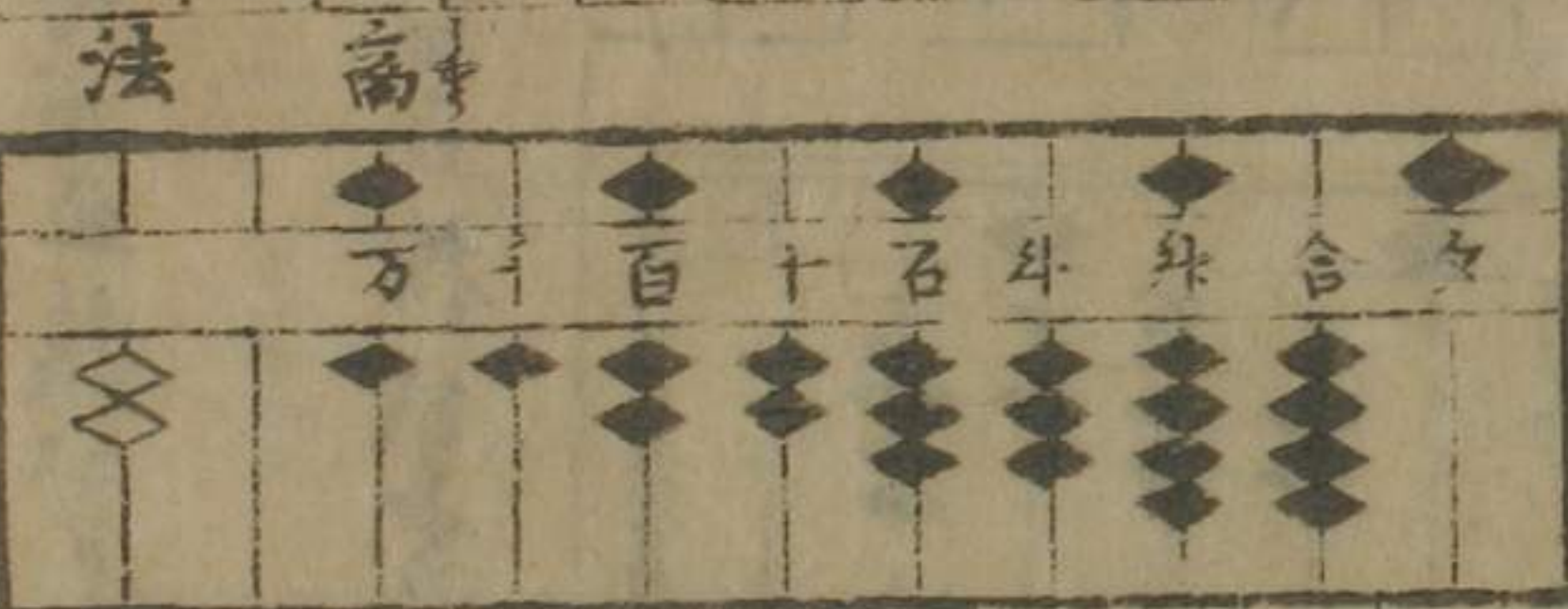
二進一十  
二進一十  
二進一十  
二進一十  
二進一十  
二進一十  
二進一十  
二進一十

名拾二万三ふに百五十六石七斗八升九合と  
貳ふふれむ

六万七斗貳拾八石七斗八升九合と



八進一十  
八進一十  
八進一十  
八進一十  
八進一十  
八進一十  
八進一十  
八進一十



二五  
二九十八  
二九十八  
二八十六  
二二  
二七十一  
二六十二





五之段

五	五	五	五	五
進	加	加	加	加
十	三	二	一	

五拾貳万三子に下五拾六石七斗八升九合と  
 九ツふくれむ

貳万に下二拾九拾石三年五斗七合八分宛

実法

合	斗	石	十	百	千	万	十
◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆

上	下
五進一十〇五に加	五進一十〇五に加
五進一十〇五に加	五進一十〇五に加
五進一十〇五に加	五進一十〇五に加
五進一十〇五に加	五進一十〇五に加
五進一十〇五に加	五進一十〇五に加
五進一十〇五に加	五進一十〇五に加
五進一十〇五に加	五進一十〇五に加
五進一十〇五に加	五進一十〇五に加
五進一十〇五に加	五進一十〇五に加

高法

夕	合	斗	石	十	百	千	万
◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆

下	上
五八に十八を足す	二五に十二を足す
五十三に五を足す	五九に十五を足す
五五に二十五を足す	五六に三十を足す
三五に十九を足す	五二に二十を足す
一五に五を足す	

六之段

六	六	六	六	六	六	六	六
進	加	加	加	加	加	加	加
十	二	五	二	五	二	五	二

銀拾貳万三子に下五拾六石七斗八升九合と

六ツふくれむ

二万〇五百七拾六子に下三拾石五斗七合八分宛

実法

友	十	百	千	万	十	千	万
◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆

上	下
六進一十〇六に加	六進一十〇六に加
六進一十〇六に加	六進一十〇六に加
六進一十〇六に加	六進一十〇六に加
六進一十〇六に加	六進一十〇六に加
六進一十〇六に加	六進一十〇六に加
六進一十〇六に加	六進一十〇六に加
六進一十〇六に加	六進一十〇六に加
六進一十〇六に加	六進一十〇六に加
六進一十〇六に加	六進一十〇六に加

高法

分	友	十	百	千	万
◆	◆	◆	◆	◆	◆

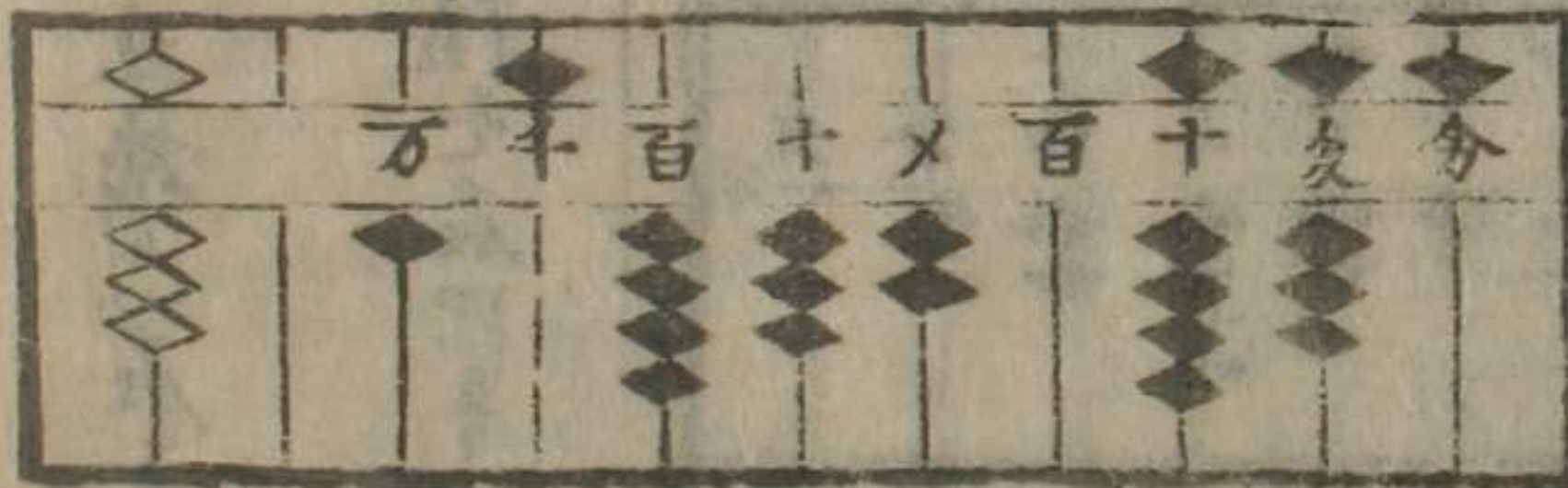
下	上
五六に三十を足す	二六に十二を足す
一六に六を足す	
三六に十八を足す	
一七に七を足す	
六六に三十六を足す	
六七に四十二を足す	
五六に三十五を足す	

法実



上  
八進一十。八日天他五  
八進一十。八日天他五  
八進一十。八日天他五  
八進一十。八日天他五  
八進一十。八日天他五  
八進一十。八日天他五  
八進一十。八日天他五  
八進一十。八日天他五

法高



上  
一八八八  
五八八八  
八八八八  
八八八八  
八八八八  
八八八八  
八八八八  
八八八八

法之八

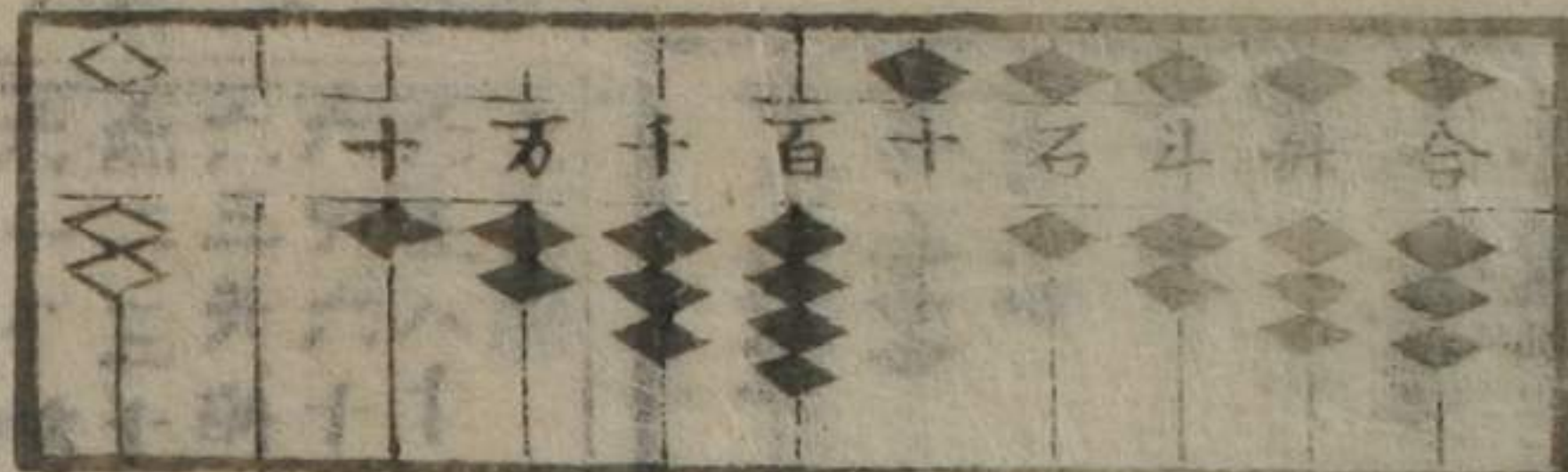
八八八八八八八八  
七六五四三二一  
八七六五下下下  
一十十十十十十十  
十十八二五十六二

振拾貳万三子尺百五拾六中七百八十八

ハツふくれ

七五万五千五百三拾二中九拾八五五分宛

法実



上  
七進一十。七進一十  
七進一十。七進一十  
七進一十。七進一十  
七進一十。七進一十  
七進一十。七進一十  
七進一十。七進一十  
七進一十。七進一十  
七進一十。七進一十

法高



上  
一七七七  
七七七七  
七七七七  
七七七七  
七七七七  
七七七七  
七七七七  
七七七七

法之七

七七七七七七七七  
七六五四三二一  
七七八十十十十  
七進一十

半拾貳万三子尺百五拾六石七斗八升八合

七ツふくれ

七万七千六百三拾六石六斗八升八合

九之隨

九	九	九	九	九	九	九	九
進	進	進	進	進	進	進	進
一	二	三	四	五	六	七	八
十	十	十	十	十	十	十	十

不拾貳万二千五百七拾六石七斗八升九合  
九つふくれむ

壹万三千七百拾七石四斗一合はつかむ

下  
うけざん

法 実

合	斗	石	百	十
九	九	九	九	九
進	進	進	進	進
一	一	一	一	一

九進一十	九進一十	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇
九進一十	九進一十	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇
九進一十	九進一十	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇
九進一十	九進一十	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇	九進一十〇

法 高

文	合	斗	石	百	十	万
九	九	九	九	九	九	九
進	進	進	進	進	進	進
一	一	一	一	一	一	一

一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九
一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九
一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九
一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九	一九が九

(六)

見一割声

見一五頭他九一	見二五頭他九二	見三五頭他九三	見四五頭他九四	見五五頭他九五	見六五頭他九六	見七五頭他九七	見八五頭他九八	見九五頭他九九
帰一倍一戻	帰一倍二戻	帰一倍三戻	帰一倍四戻	帰一倍五戻	帰一倍六戻	帰一倍七戻	帰一倍八戻	帰一倍九戻

見一大意

これ八等八十まで小割術より十一以下は小割ハ  
見一の術と又此術を法の頭の術と別  
次の折と別と高と成九々小合と別  
なり法の折をけしあやも小割と別  
残と皆折をけしあやも小割と別  
八等のより声を由せられも八等の別  
声でよりても引を死教下ふ方死、死  
十以上の割の死八見一五他九一と十と  
あつり下へ一をくえん見も折は九殺  
たふれむ帰一倍一も九の内一五よりて  
下へを加へ折も引れられ又は一倍一  
のをもと左の図解をよみてあふ

法 実

法 高

見一乃割

○七見一部

銀石同ヲ十上分れむ六分或分又厘をばかり



○見一壹玖 二 一倍三  
 他九の一

三 一六六世六列、此のこゝろ

四 二進二十 二六六二列ハのこゝろ

五 五進五十 五六六列

六 二進二十 二六六二列ハのこゝろ

七 一六六世六列、此のこゝろ

八 見一壹玖 二 一倍三 他九の一

○見一壹玖他九一

一 見一壹玖他九一

二 一六六世六列、此のこゝろ

三 二進二十 二六六二列ハのこゝろ

四 五進五十 五六六列

五 二進二十 二六六二列ハのこゝろ

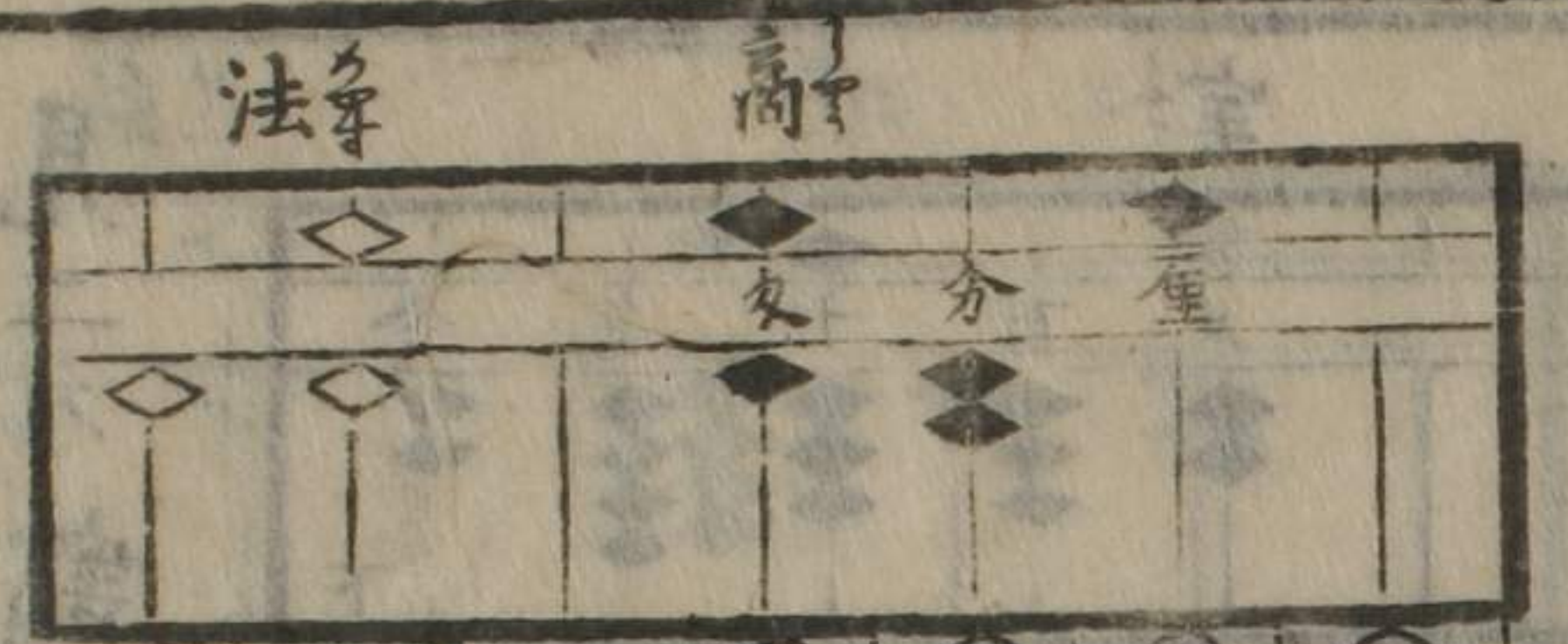
六 一六六世六列、此のこゝろ

七 見一壹玖他九一

同うけざん

銀六分或分五厘ヲを十六とせむ

石同ふかり



○一五六三十

○一五が五 三 二六六二

○一ニが二 四 六六六世六

○一六が六

○一五六三十

○一五が五

○一ニが二

○一六が六

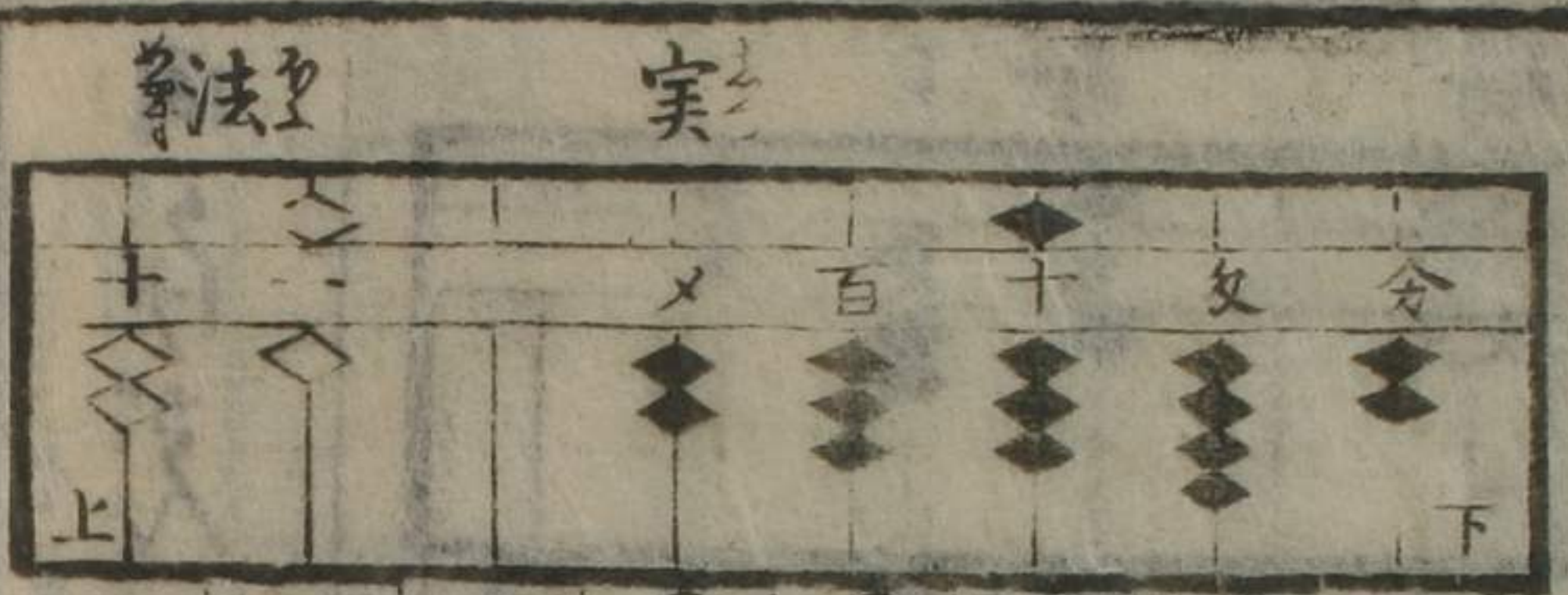
○一六六世六

○一ニが二

見二乃割

銀貳百三十八拾は貳分を

二十六とせめて九拾を七分はく



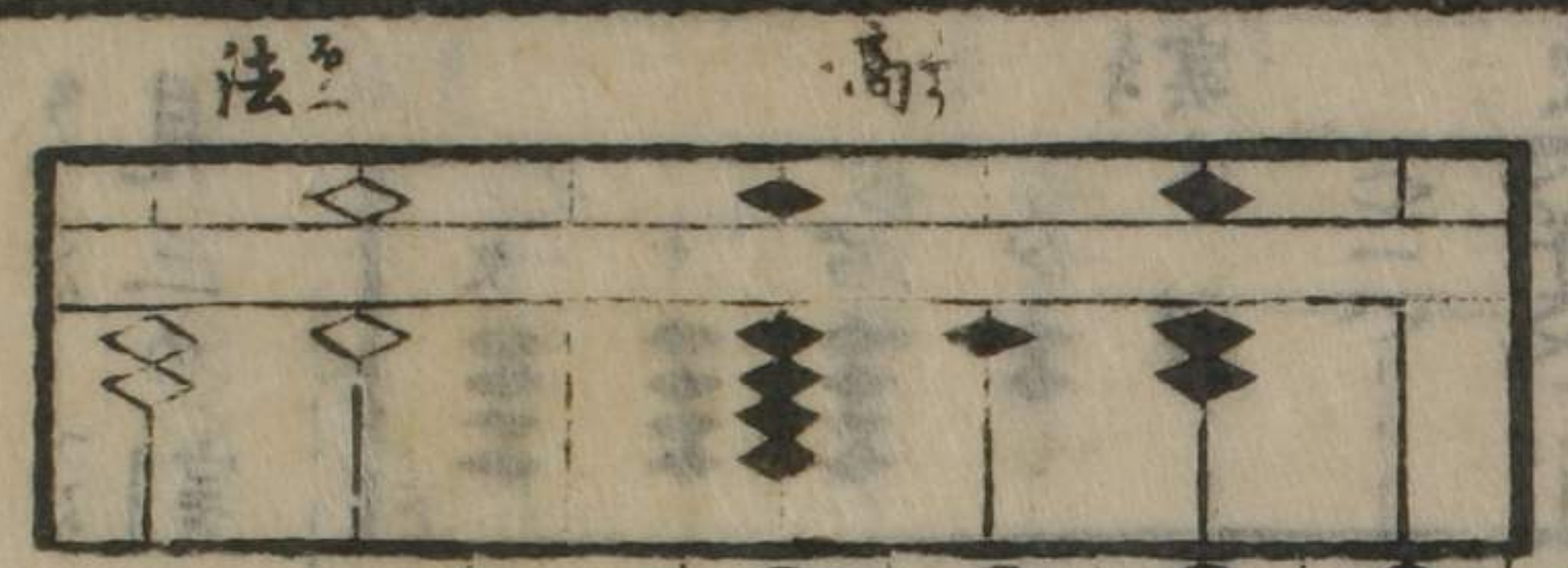
- ① 見二乃割九二
- ② 二進二十
- ③ 二進二十
- ④ 二進二十
- ⑤ 二進二十
- ⑥ 二進二十
- ⑦ 二進二十

- ① 見二乃割九二
- ② 二進二十
- ③ 二進二十
- ④ 二進二十
- ⑤ 二進二十
- ⑥ 二進二十
- ⑦ 二進二十

同ウけざん

銀九分を七厘を二十六とせめて

貳百三十八拾は貳分を

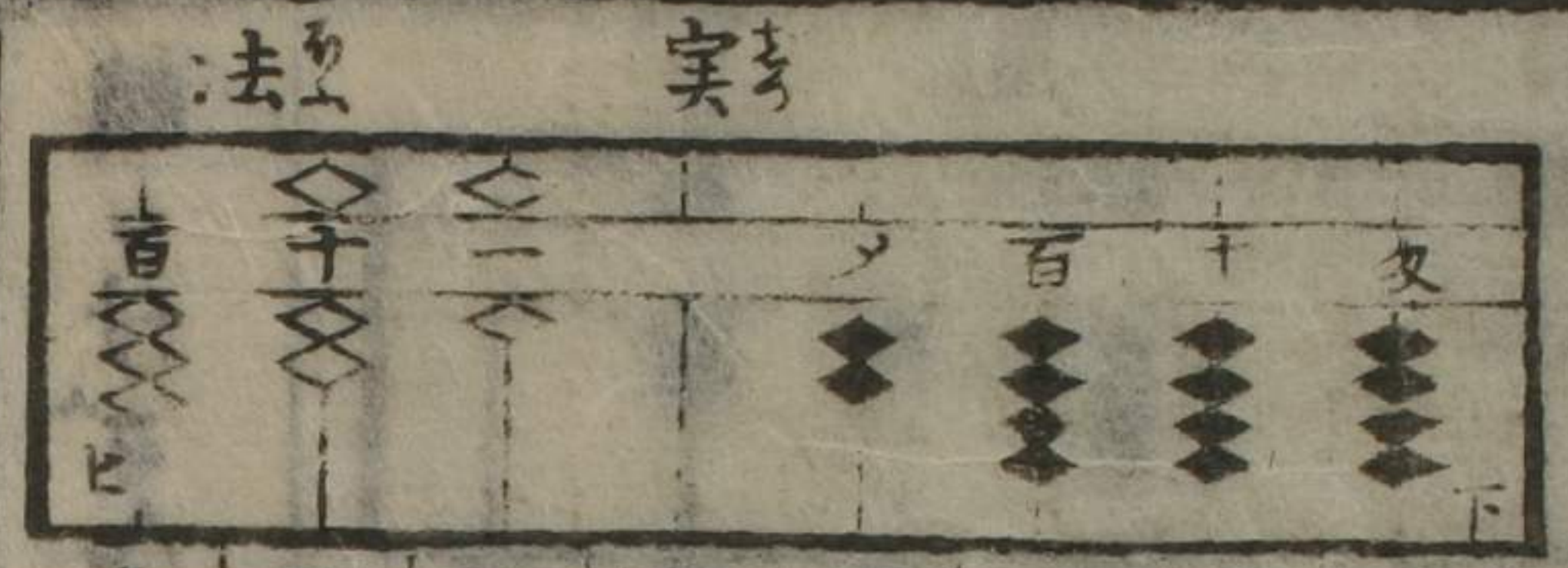


- ① 六七四十二
- ② 二七十四
- ③ 二七十四
- ④ 二七十四
- ⑤ 二七十四
- ⑥ 二七十四
- ⑦ 二七十四

- ① 六七四十二
- ② 二七十四
- ③ 二七十四
- ④ 二七十四
- ⑤ 二七十四
- ⑥ 二七十四
- ⑦ 二七十四

見えの割  
見三の割

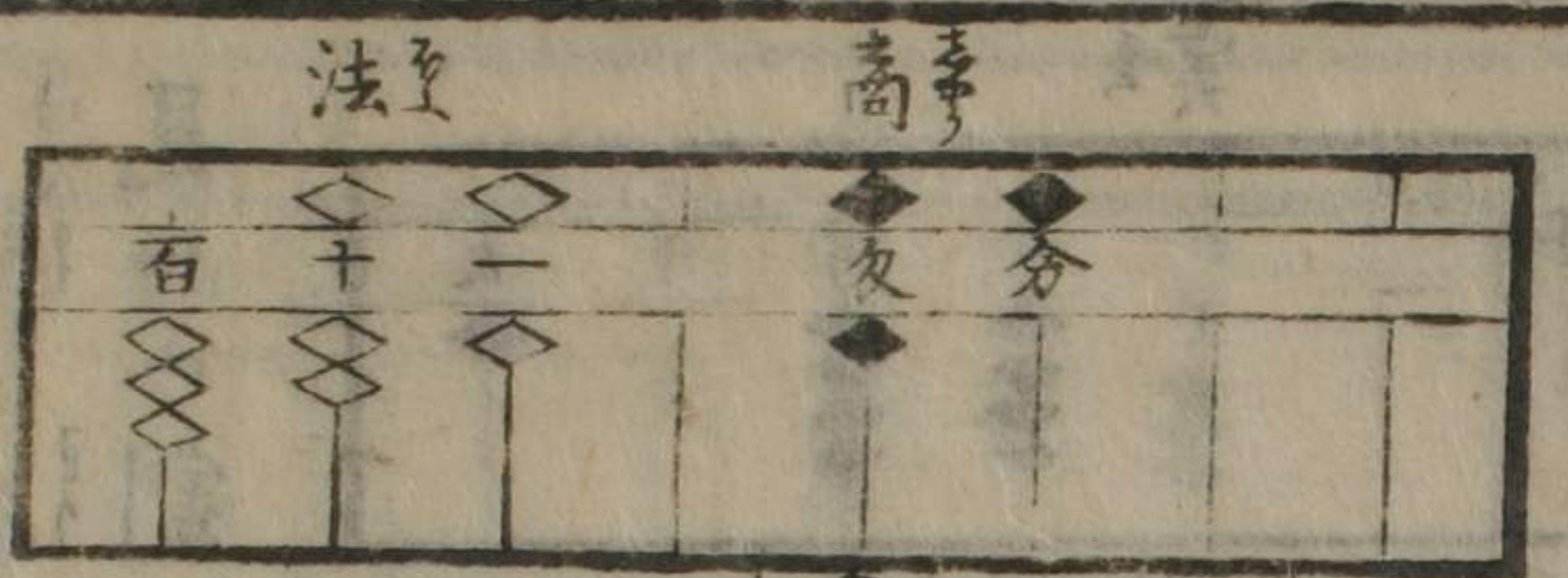
銀貳百貳拾貳匁と  
三百七十六匁を 六匁五分けし



① 三二六十二	② 三二六十一	③ 三二六十二	④ 三二六十一	⑤ 三二六十二	⑥ 三二六十一	⑦ 三二六十二	⑧ 三二六十一
ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき
ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき
ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき
ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき
ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき
ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき
ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき

同うけきん

銀二百匁五匁を三百七十六匁とせし  
貳百貳拾貳匁とせし



① 三二六十二	② 三二六十一	③ 三二六十二	④ 三二六十一	⑤ 三二六十二	⑥ 三二六十一	⑦ 三二六十二	⑧ 三二六十一
ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき
ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき
ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき
ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき
ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき
ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき
ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき	ひきき

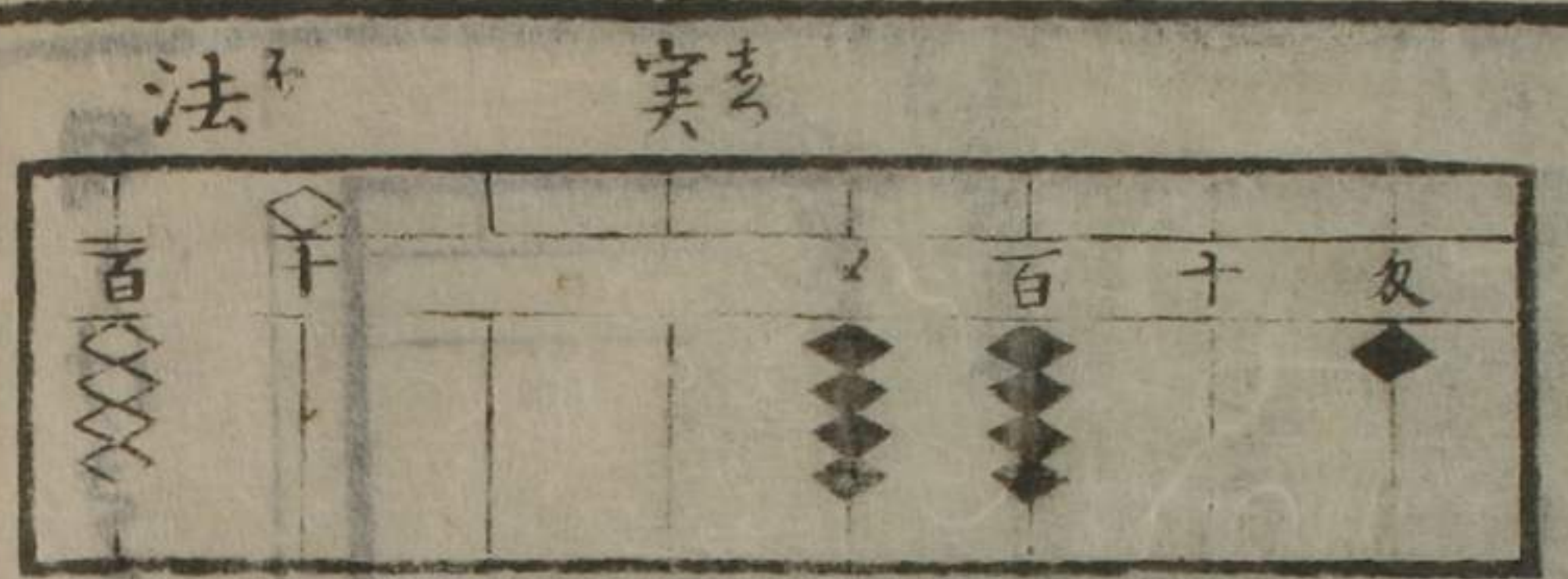
算法去圖詳

三

けんし  
見西の割

根に千五百金とありて

に百五十とありて 九百七十八を死



⑥ 一進一十 ⑤ 五七廿二

二段

③ 一三三十二

④ 五七廿二

⑤ 一三三十二

⑥ 一進一十

⑦ 五八廿二

① 見西五七廿九  
② 五九廿五列 ③ 一三三十二

① 見西五七廿九

② 五九廿五列

③ 一三三十二

同りけさん

根九百七十八とありて 百五十とありて

に百金とありて 九百七十八を死

初段 けさん

① 五八廿十

二段

③ 五七三十五

④ 一七二十八

⑤ 五九廿五

⑥ 一三三十二

⑦ 五八廿十

⑧ 一八廿二

⑨ 五七廿五

⑩ 一七廿八

⑪ 五九廿五

⑫ 一三三十二

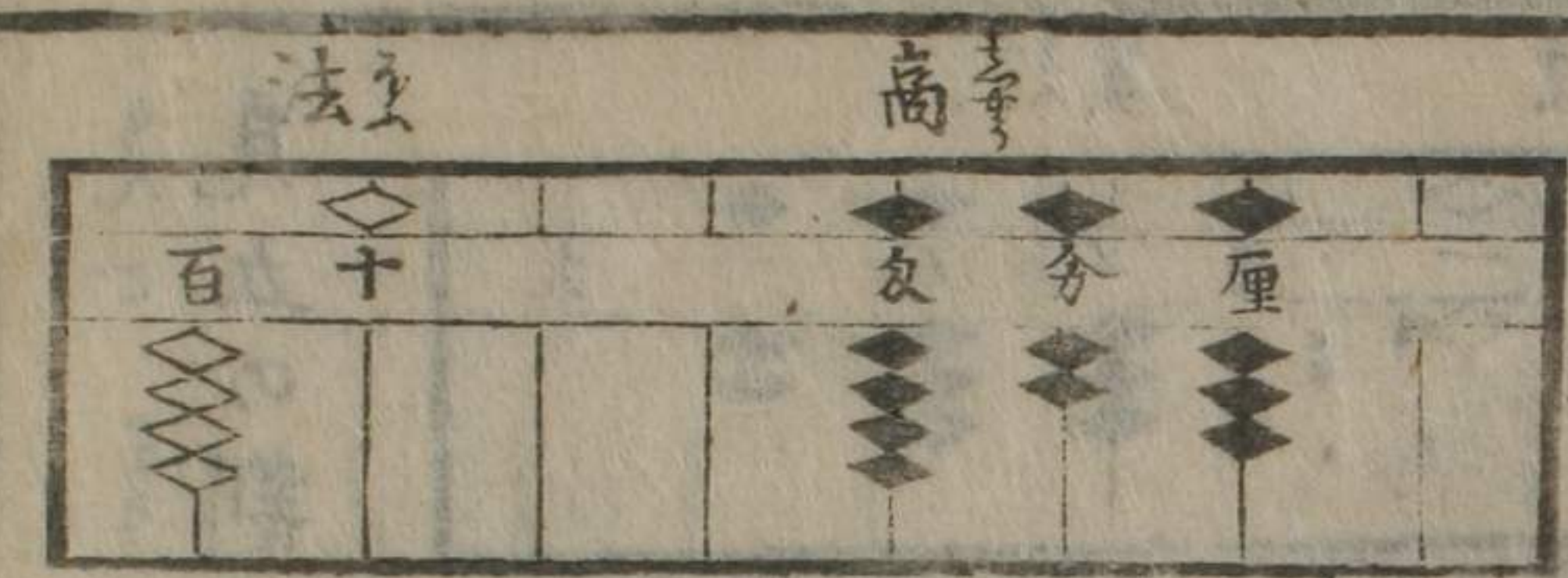
⑬ 五八廿十

⑭ 一八廿二

法の五と実の七と許合一七と二

法の五と実の七と許合一七と二

法の五と実の七と許合一七と二



⑥ 一三三十二

⑤ 五九廿五

④ 一七二十八

③ 五七三十五

② 五八廿十

① 一八廿二

⑦ 五九廿五

⑫ 一三三十二

⑬ 五八廿十

⑭ 一八廿二

法の五と実の七と許合一七と二

法の五と実の七と許合一七と二

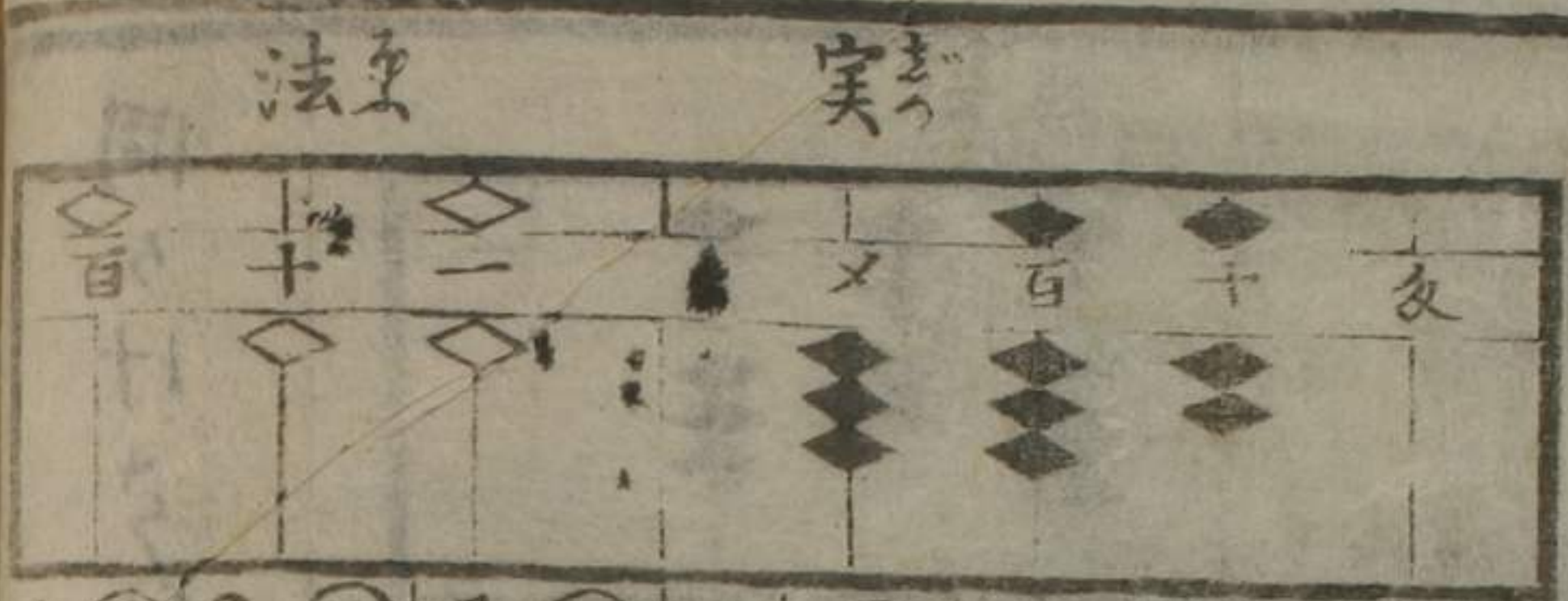
法の五と実の七と許合一七と二



えんご  
見五の割

銀三升八百七拾目と

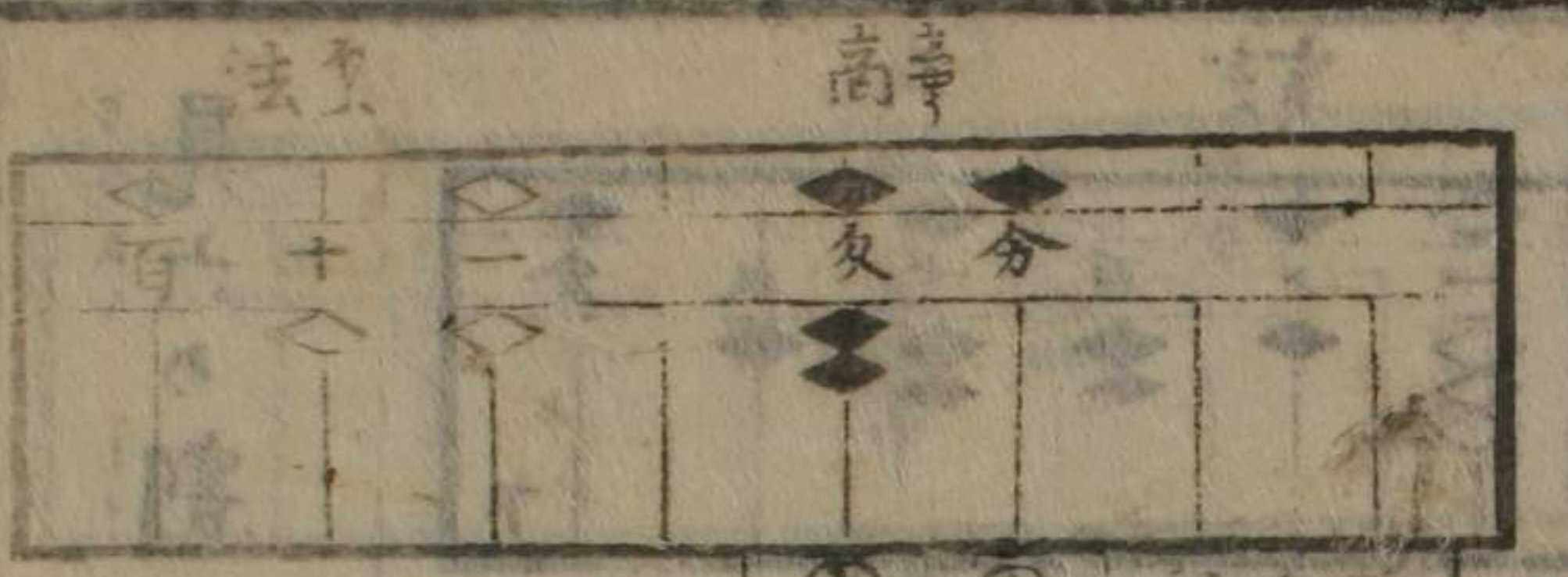
五百十六とされ七五五分なり



- ① 五三加三
- ② 五進一十
- ③ 一七う七列
- ④ 六七四十二列
- ⑤ 五二加二
- ⑥ 五進一十
- ⑦ 一五う五列
- ⑧ 五六世列
- ⑨ 五三加三
- ⑩ 五二加二
- ⑪ 五進一十
- ⑫ 一七う七列
- ⑬ 五六世列
- ⑭ 五三加三
- ⑮ 五二加二
- ⑯ 五進一十
- ⑰ 一七う七列
- ⑱ 五六世列

同うけえん

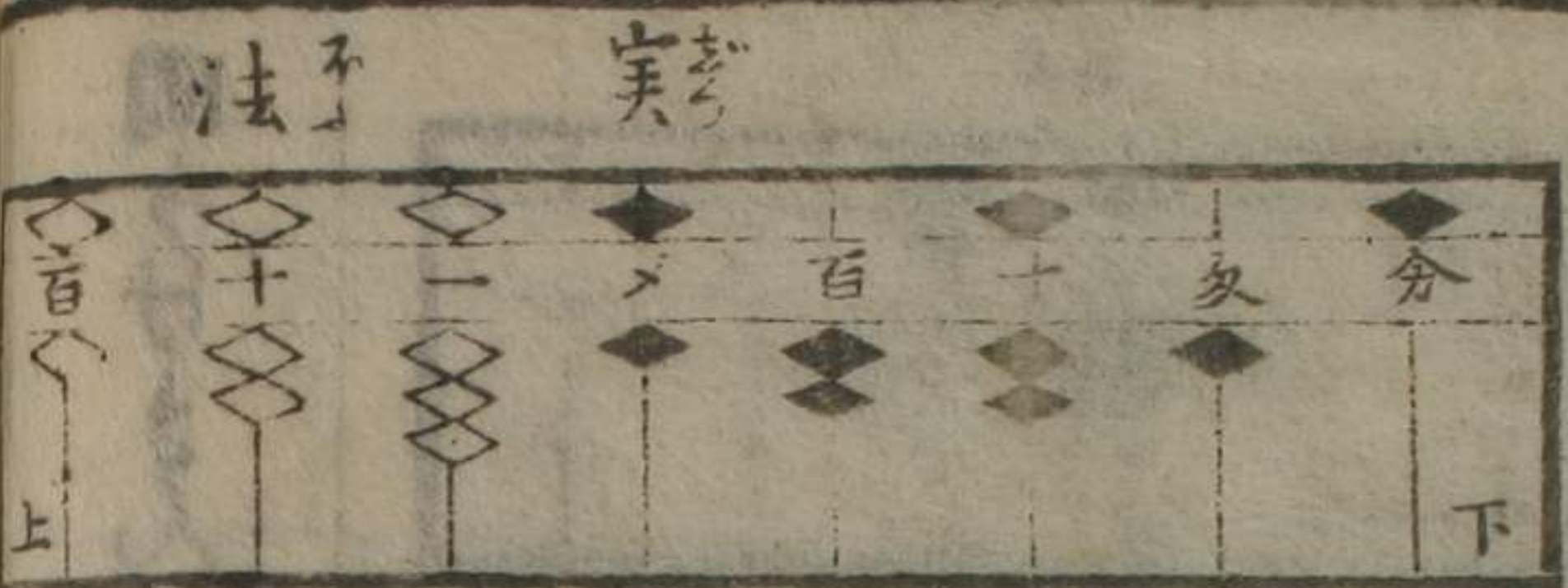
銀七匁五分を五百十六とされ  
三升八百七拾目ふなり也



- ① 五六三十三
- ② 一五う五
- ③ 五五二十五
- ④ 六七四十二
- ⑤ 一七う七
- ⑥ 五七三十五
- ⑦ 一五う五
- ⑧ 五五二十五
- ⑨ 六七四十二
- ⑩ 一七う七
- ⑪ 五七三十五
- ⑫ 一五う五
- ⑬ 五五二十五
- ⑭ 六七四十二
- ⑮ 一七う七
- ⑯ 五七三十五

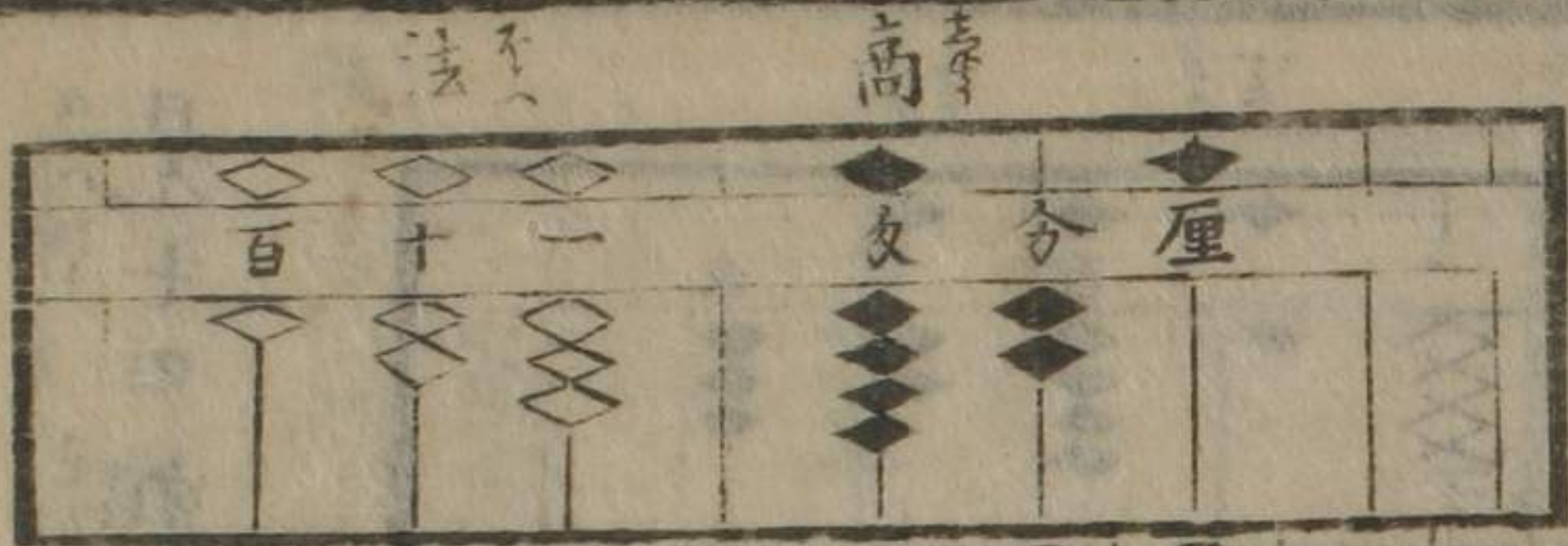
見六の割

銀六匁貳百七拾五匁五厘と  
六百七十八匁九匁貳分五厘宛あり



- ① 見六匁貳百九六  
二匁
- ② 七九六十三匁 ④ 六一加十匁
- ③ 八九七十二匁 ⑤ 二七十四匁  
六進一十匁
- ⑥ 二八十六匁
- ⑦ 六三三天他五  
三匁
- ⑧ 五七卅五匁
- ⑨ 五八十四匁  
法の八と美の五と并合しけりこの  
法とていふ
- ⑩ 六進一十  
法の七と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引  
三とさめて下のをさめて五と引
- ⑪ 二七十四匁  
法の七と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引
- ⑫ 二八十六匁  
法の八と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引
- ⑬ 六進一十  
法の六と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引
- ⑭ 六一加十匁  
法の六と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引
- ⑮ 八九七十二匁  
法の八と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引
- ⑯ 七九六十三匁  
法の七と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引
- ⑰ 二七十四匁  
法の七と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引
- ⑱ 二八十六匁  
法の八と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引

同うけざん

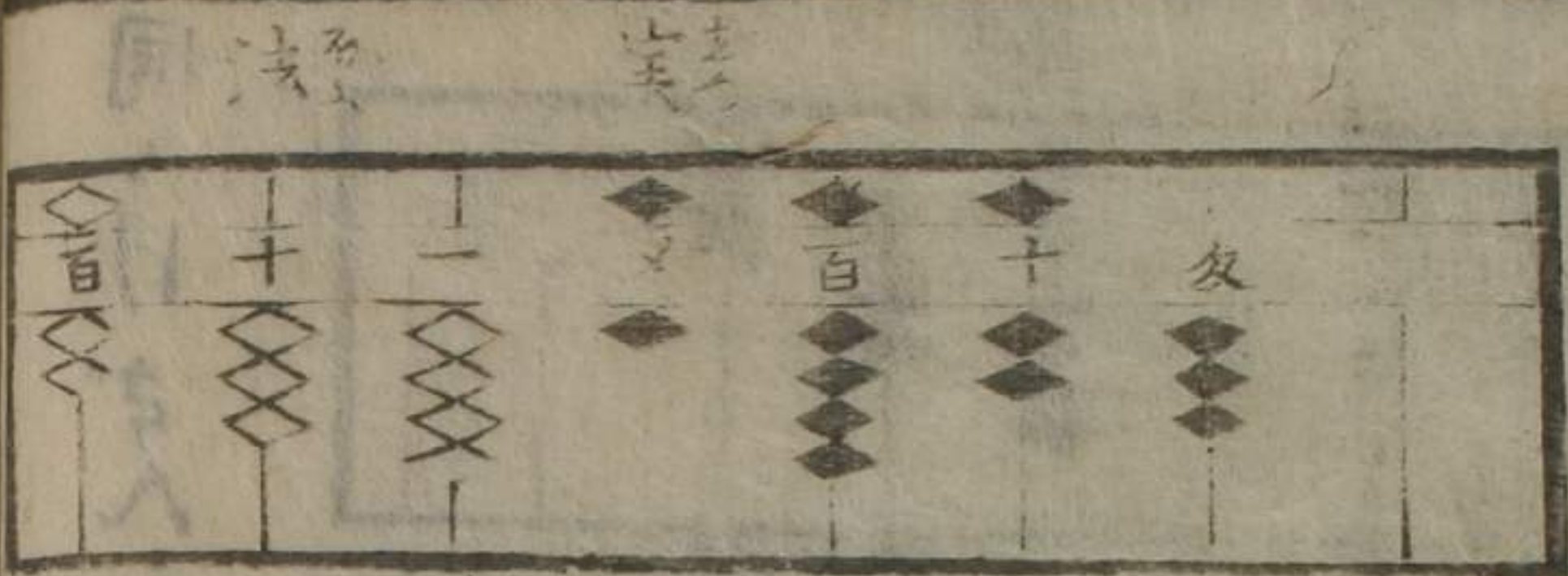


- ① 見六匁貳百九六  
二匁
- ② 七九六十三匁 ④ 六一加十匁
- ③ 八九七十二匁 ⑤ 二七十四匁  
六進一十匁
- ⑥ 二八十六匁
- ⑦ 六三三天他五  
三匁
- ⑧ 五七卅五匁
- ⑨ 五八十四匁  
法の八と美の五と并合しけりこの  
法とていふ
- ⑩ 六進一十  
法の七と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引  
三とさめて下のをさめて五と引
- ⑪ 二七十四匁  
法の七と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引
- ⑫ 二八十六匁  
法の八と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引
- ⑬ 六進一十  
法の六と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引
- ⑭ 六一加十匁  
法の六と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引
- ⑮ 八九七十二匁  
法の八と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引
- ⑯ 七九六十三匁  
法の七と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引
- ⑰ 二七十四匁  
法の七と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引
- ⑱ 二八十六匁  
法の八と美の五と并合しけりこの  
法とていふ下のをさめて五と引

銀九匁貳分五厘と六百七十八匁九匁五匁宛あり  
六匁貳百七拾五匁五厘と

見七の割

銀六千九百七拾二匁と  
七百三十匁とされし九匁五分宛お方あり

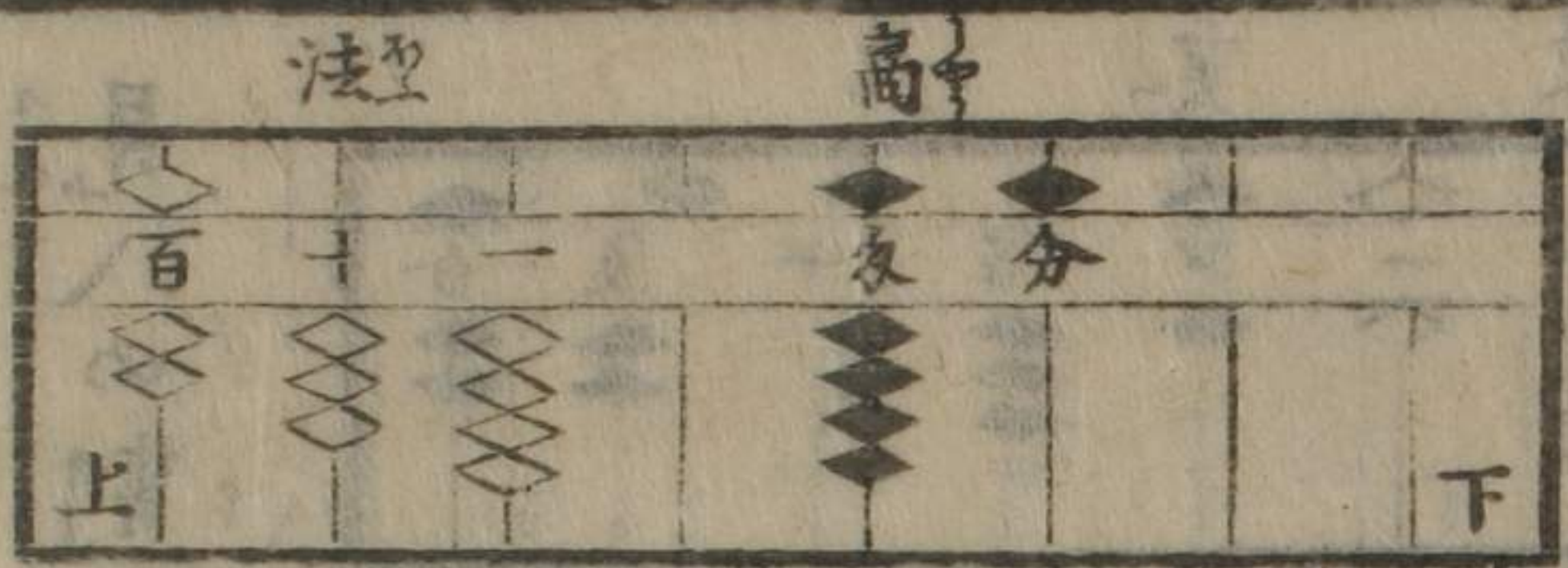


- ① 七六八十匁
- ② 七進一上
- ③ 三九廿七匁
- ④ 七三匁十二
- ⑤ 三五十五匁
- ⑥ 七進一上

- ① 七六八十匁  
法の七と美の上とを合六と分  
り下のを八にせりたる
- ② 七進一上  
親あたる八は七とて分けて  
上の七を八とせりたる
- ③ 三九廿七匁  
法の三と美の九とを合一  
と分り下のを三と分り七と  
分りたる
- ④ 七三匁十二  
法の七と美の三とを合一  
と分り下のを七と分りたる
- ⑤ 三五十五匁  
法の三と美の五とを合一  
と分り下のを三と分り五と  
分りたる
- ⑥ 七進一上  
法の七と美の七とを合一  
と分り下のを七と分りたる

同うけざん

銀九匁五分を七匁三十匁とされし  
六千九百七拾三匁とあり

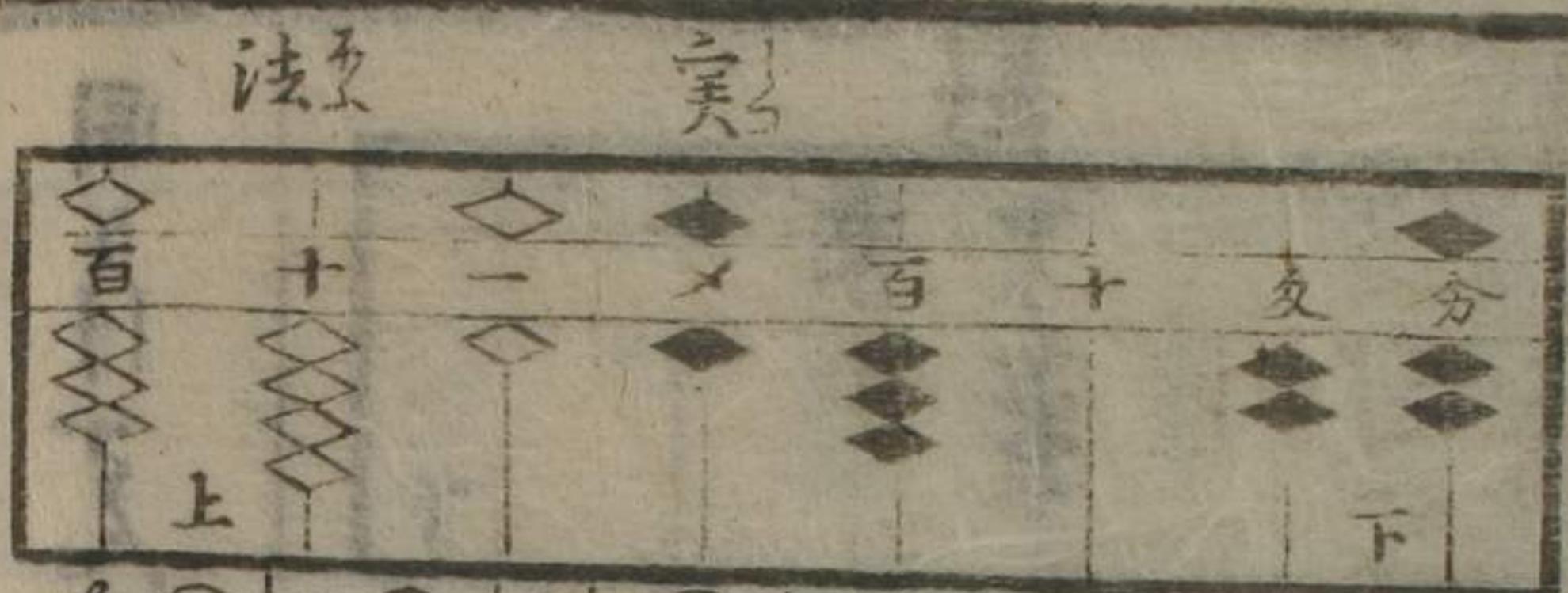


- ① 七九六十三
- ② 三九二十七
- ③ 五七三十五
- ④ 七三匁十二
- ⑤ 三五十五
- ⑥ 七進一上

- ① 七九六十三  
法の七と美の九とを合一  
と分り下のを七と分り六  
と分りたる
- ② 三九二十七  
法の三と美の九とを合一  
と分り下のを三と分り七  
と分りたる
- ③ 五七三十五  
法の五と美の七とを合一  
と分り下のを五と分り三  
と分りたる
- ④ 七三匁十二  
法の七と美の三とを合一  
と分り下のを七と分り三  
と分りたる
- ⑤ 三五十五  
法の三と美の五とを合一  
と分り下のを三と分り五  
と分りたる
- ⑥ 七進一上  
法の七と美の七とを合一  
と分り下のを七と分りたる

見八の割

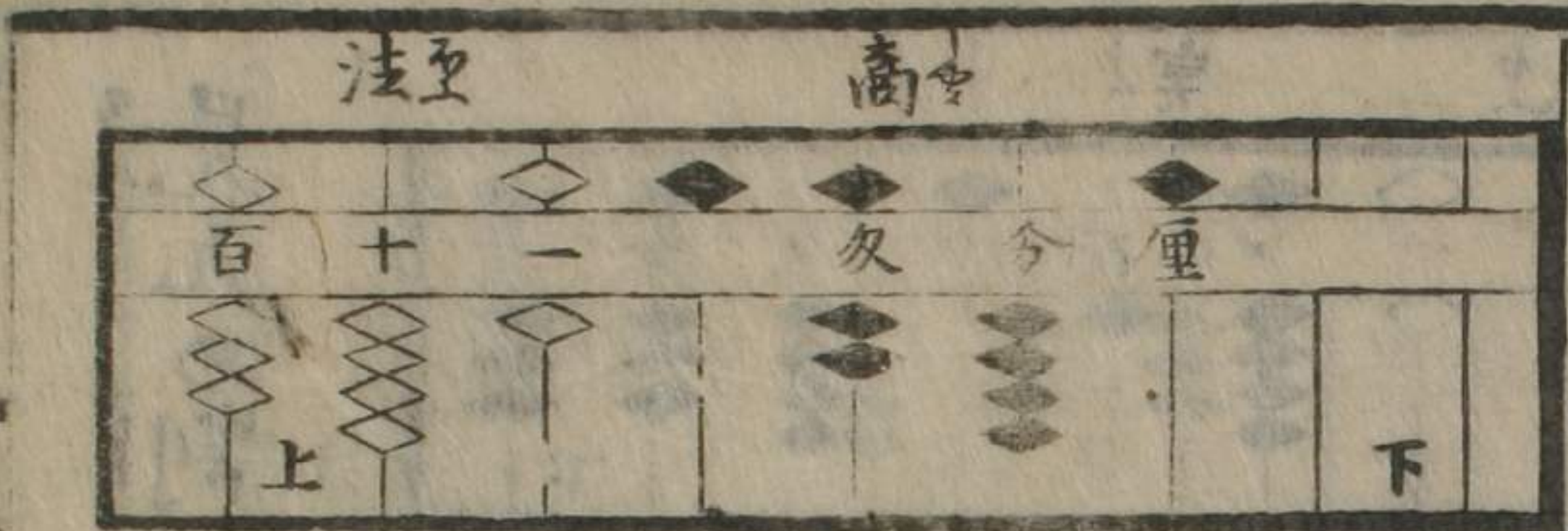
銀六兩三百令ニ取七分を  
八百四十六にこれを七分に分け五厘を減る



- ① 八六七十 二厘
- ② 四七二十八 ④ 八三加下六
- ③ 六七四十二 ⑤ 八進一十
- ⑥ 四六廿四
- ⑦ 六八天施五
- ⑧ 四五六廿
- ⑨ 五八廿四
- ⑩ 六八廿四
- ⑪ 七六廿四
- ⑫ 八六廿四
- ⑬ 九六廿四

同りけさん

銀七匁五分五厘と八百四十六とを割る  
六匁三百令取七分五分



- ① 五八廿四
- ② 四七廿四
- ③ 三六廿四
- ④ 二五廿四
- ⑤ 一四廿四
- ⑥ 零三廿四
- ⑦ 九二廿四
- ⑧ 八一廿四
- ⑨ 七〇廿四
- ⑩ 六九廿四
- ⑪ 五八廿四
- ⑫ 四七廿四
- ⑬ 三六廿四
- ⑭ 二五廿四
- ⑮ 一四廿四
- ⑯ 零三廿四

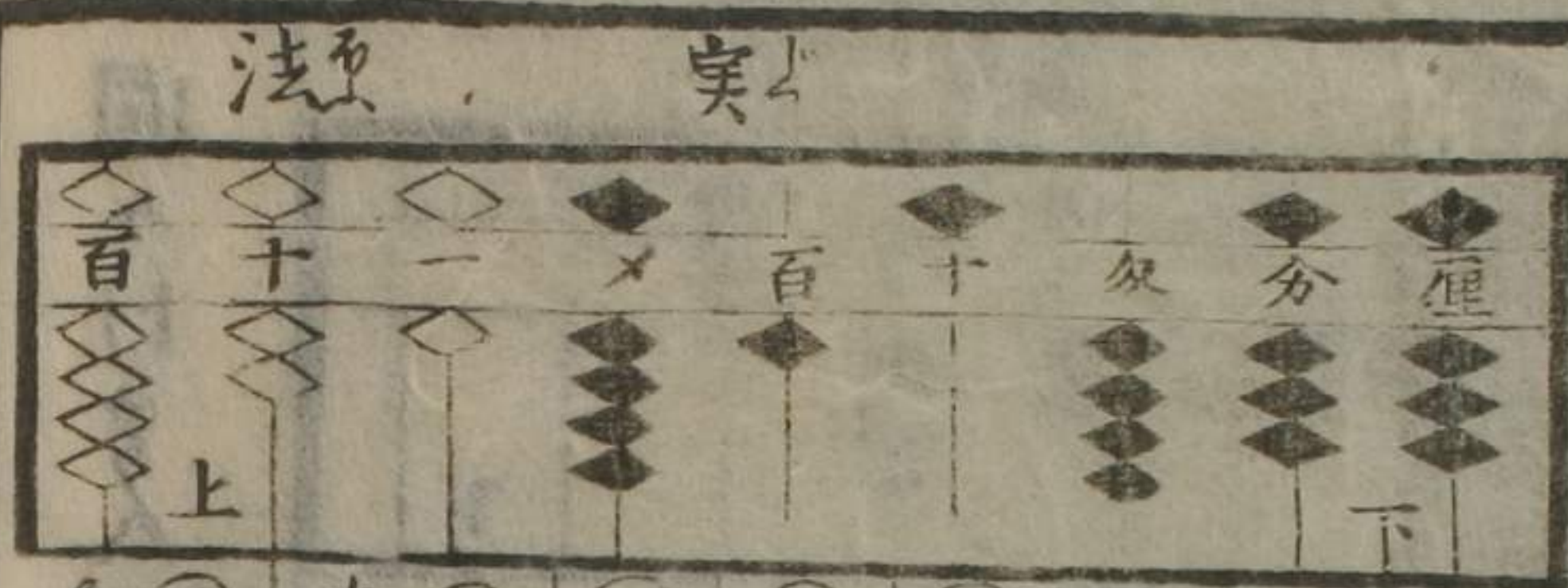
算術法

十

見九の割

銀九百五拾四匁八分八厘と

九百七十六匁と九分三分八厘づく

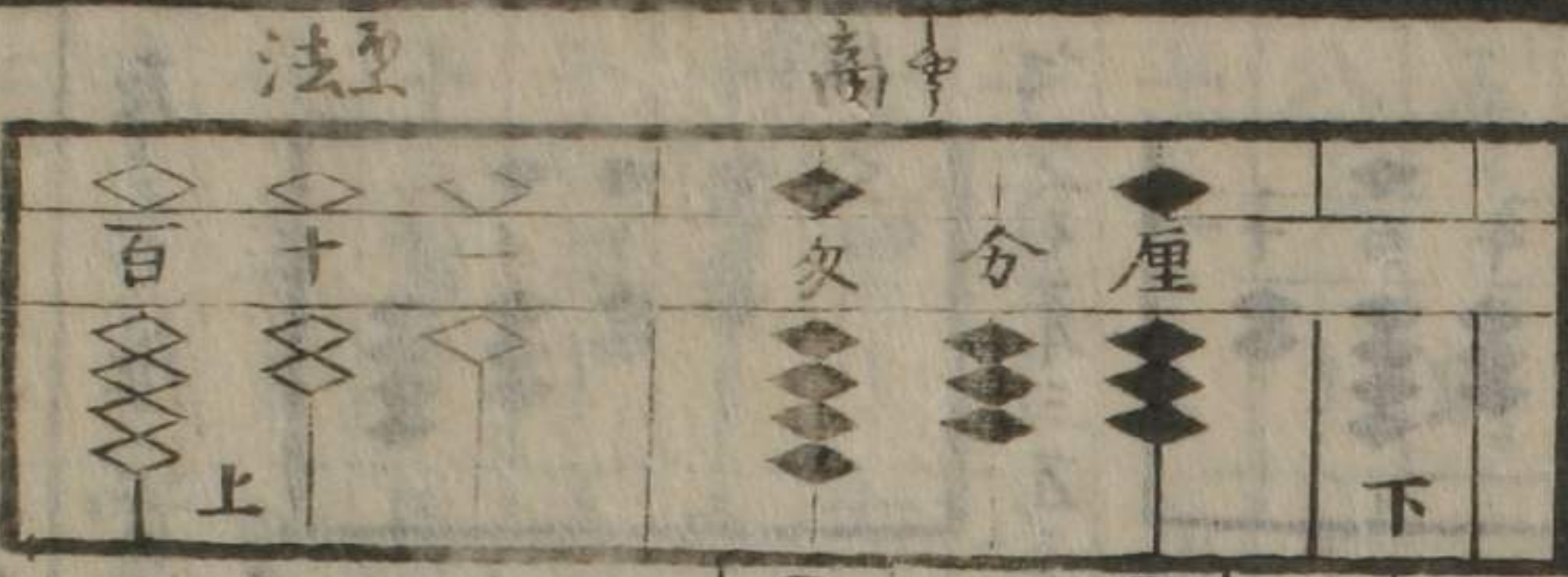


① 見九各改 初段 九九九	② 七九六十三引	③ 六九五十四引	④ 九三加下三	⑤ 九二加下三	⑥ 九二加下三
⑦ 見九各改 二段 九九九	⑧ 七九六十三引	⑨ 六九五十四引	⑩ 九三加下三	⑪ 九二加下三	⑫ 九二加下三
⑬ 見九各改 三段 九九九	⑭ 七九六十三引	⑮ 六九五十四引	⑯ 九三加下三	⑰ 九二加下三	⑱ 九二加下三

同りけさん

銀九百三分八厘と九百七十六匁と

九百七十六匁と九分三分八厘と



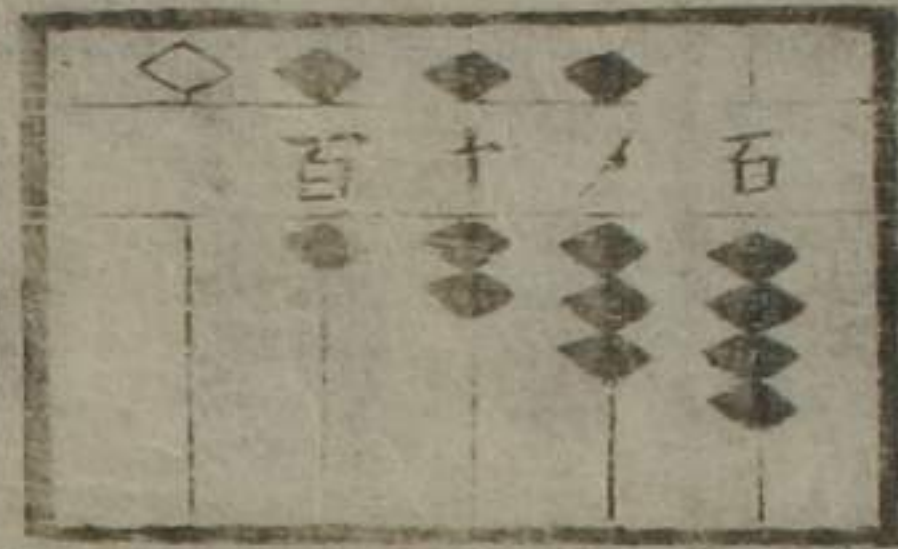
① 九九九	② 七九六十三	③ 六九五十四	④ 九三加下三	⑤ 九二加下三	⑥ 九二加下三
⑦ 九九九	⑧ 七九六十三	⑨ 六九五十四	⑩ 九三加下三	⑪ 九二加下三	⑫ 九二加下三
⑬ 九九九	⑭ 七九六十三	⑮ 六九五十四	⑯ 九三加下三	⑰ 九二加下三	⑱ 九二加下三

(六)

かけて割算法 定法

左を銀二百七拾八匁に同あり

右二十人の割付と書



右五二十  
五八四十  
五七世五  
五六三十  
三也三百九拾二かつ

左を銀三万三千九百二十石あり五百人の



割付と書  
二二二四  
二九十八  
二三六六  
二三六六  
六拾石八年に外

左を銀九千八百七拾六石あり

右二十五人の割付と書



右六二十  
七二十八  
八三十二  
九三十六  
二石九拾九石に外

左を銀九拾八匁七石に拾同あり



右二十五人の割付と書  
二八十八  
七五十六  
八八十六  
八九七十二  
七石九拾同  
八匁に外

(五)

かけて割算の定法 ○此をある一けたありとある

二ノ割	五成りける	三ノ割	三三三三三	四ノ割	二五りける
五ノ割	二	六ノ割	一六六六六	七ノ割	一四二八五七
八ノ割	一二五	九ノ割	一一二一一	十ノ割	九五二三八
十一ノ割	九〇九〇九	十二ノ割	八六九五六五	十三ノ割	八三三三三三
十二ノ割	八	十三ノ割	七六九三〇七	十四ノ割	七四〇七四
十四ノ割	七四二八五	十五ノ割	六八九六五五	十五ノ割	六六六六六
十五ノ割	六四五一六	十六ノ割	六二二五	十六ノ割	六〇六〇六
十七ノ割	五八八二三	十七ノ割	五七二四二六	十八ノ割	五五五五五
十八ノ割	五四〇五四	十九ノ割	五二六二五七	十九ノ割	五一七八三
廿半ノ割	四八七八〇四	廿半ノ割	四七六一九	廿半ノ割	四六五二六
廿二ノ割	四五五五五	廿二半ノ割	四四四四四	廿三ノ割	四三四七八
廿三半ノ割	四二五五三	廿四ノ割	四六六六六	廿四半ノ割	四〇八一六

卅五刻四	卅六半	卅八	卅九半	三十一半	三十三	三十四半	三十六	三十七半	三十九	四十壹	四十二半	四十四
三九二五六	三七七三五八	三五十一四	三三八九八	三一七四六	三〇三〇三	二八九八五五	二七七七七五	二六六六六六	二五六六一	二四三九〇一	二二五二八	二二七七二二
卅五半	卅七	卅八半	三十半	三十二	三十三半	三十五	三十六半	三十八	三十九半	四十半	四十三	四十四半
三九二五六	三七〇三七	三五〇八七三	三七六八六	三一一二五	二九八五〇七	二八五七一四	二七三九七	二六三一五六	二五三一六三	二四〇九六二	二三二五五八	二二四七一九
卅六	卅七半	卅九	三十一	三十二半	三十四	三十五半	三十七	三十八半	四十半	四十二	四十三半	四十五
三八四六五	三六三六三六	三四八七二九	三二二五八	三〇七六九二	二九四一五三	二八一六九	二七〇二七	二五九七四〇二	二四六九二四	二三八〇九五	二二九八八四	二二二二二二

四十五半	四十七	四十八半	五十半	五十二	五十三半	五十五	五十六半	五十八	五十九半	六十二	六十三半	六十五
二一九七八	二二二七六五	二〇六一六	一九九	一九二二〇六	一八六九一	一八八一七三	一七六九九	一七二四一三	一六八〇六七	一六一二九	一五四七九	一五三八四六
四十六	四十七半	四十九	五十一	五十二半	五十四	五十五半	五十七	五十八半	六十半	六十二半	六十四	六十五半
二二七三九	二二〇五二	二〇四〇八	一九六〇七八	一九〇四八	一八五二八五	一八〇一八	一七五四三七九	一七〇九三九	一六五二九	一六〇八六	一五六二五	一五二六七二
四十六半	四十八	四十九半	五十一半	五十三	五十四半	五十六	五十七半	五十九	六十一	六十三	六十四半	六十六
二一五〇五二	二〇八三三三	二〇二〇二	一九六一十	一八六七八	一八二四九	一七八五七	一七三九一三	一六九四九	一六二六〇一	一五八七三	一五五〇三九	一五一五

卷六十四

二十

六十六半	一五〇三七六	六十七	一四九二五四	六十七半	一四八一五
六十八	一四七〇五八	六十八半	一四五九八五	六十九	一四四九三
六十九半	一四三八八三	七十	一四一八四三	七十一	一四〇八四五
七十一	一三八九六	七十一半	一三八九	七十二	一三七九三
七十二	一三六九八五	七十二半	一三六〇五四	七十三	一三五三五
七十四	一三四二二八	七十五	一三三三三三	七十五半	一三二四五〇
七十六	一三一五七八	七十六	一三〇七一八	七十七	一二九八七
七十七半	一二九〇三二	七十八	一二八二〇五	七十八半	一二七三八七
七十九	一二六五〇四	七十九半	三五七八六	八十	一二四二三三
八十一	一二三四五六七	八十一半	一二二六九九	八十二	一二一九五一
八十二半	一二二二一二	八十三	一二〇四八一	八十三半	一一九六〇七
八十四	一一九〇四八	八十四半	一一八三四三	八十五	一一七六六五
八十五半	一一六五五六	八十六	一一六二七八	八十六半	一一五六〇七

八十七	一一四九四二	八十七半	一一四二八六	八十八	一一三六三六
八十八半	一一二九九九	八十九	一一二三五九	八十九半	一一一七三一
九十	一一〇四五七三	九十一	一一〇九八九	九十一半	一一〇九二八七六
九十二	一〇八六九五	九十二半	一〇八一〇八	九十三	一〇七五二六
九十三半	一〇六九五二	九十四	一〇六三八五	九十四半	一〇五八二〇
九十五	一〇五二六三	九十五半	一〇四七二一	九十六	一〇四二六六
九十六半	一〇三六二七	九十七	一〇三〇九二	九十七半	一〇一五六四
九十八	一〇二〇〇四	九十八半	一〇一五二三	九十九	一〇一〇一
九十九半	一〇〇五〇五	百一	九九〇九九	百二	九八〇三八
百三	九七〇八七	百四	九六一五二八	百五	九五二三八
百六	九四三四	百七	九三四五八	百八	九二五九一
百九	九一七四三	百十一	九〇〇九〇二		

右の法れもろけて割算の定法なり



二十 錢相場之部

兩換

錢一貫文、付九文に分の相場は

これ錢三貫五百文の代銀と同

答曰 三拾二文に分

術曰 三貫五百文とそれお場の九文に分をうけさく

錢一貫文と不付九文五分のお場の

これ五拾七文六分の代銀と同

答曰 五分七厘

術曰 五十七文六分と錢の定法九

六分とそれ六拾文とかなる是れお

場九文五分をうけさく銀目さき



鐵一貫文の相場拾七文五分をりこれ七貫三百に拾八分の代銀と同

答曰 八拾六文二分六厘貳毛余

術曰 七貫三百に拾八文と此内は拾八文外と定法九六をうけさく七貫三百五拾文とかなる是れお場七文五分をうけさく

錢相場拾二文のこれ銀九拾七文五分の相場と同

答曰 七貫五百文

術曰 九拾七文五分を拾三文五分割なり

銀一貫文に分の同銀八拾貳文二分五厘の相場と同

答曰 八貫七百に拾八文

術曰 八拾貳文 二系五厘を九文に分をうけさく八貫七百五拾文とかなる

此五拾文とかなる定法九六をうけさく

錢相場拾七文九分のこれ銀三百六拾圓の相場と同

答曰 三拾貳圓貳百五十五文余

例、曰三百六拾月を相懸拾を九分とせしめ三拾也。〇貳百五十二八〇と  
する此五拾貳文一〇〇〇定法九六をわけり

銀を九不強百〇文はけり。同、〇貳百九十九文の代銀何程と同

答曰 五拾八文に九に重きも余

例、曰百〇文と重百文并、九六をわけり。下後百貳文とある是を左の九に重きも  
六貳百九文と重百文并、九六をわけり。下後五貳百九百六拾を文  
とあり是を左の百貳文と重きも銀を得る

銀八拾を文貳分の代銀八貫七百に拾八文と此後相場を問

答曰 九文貳分八厘

例、曰八貫七百に拾八文と重に拾八文并、九六をわけり。〇八貫七百五十二  
是を法ふと八拾を文貳分をわけり。後おなとあり

後三拾八貫八百拾貳文を三拾六不配ると九文分何程と同

答曰 七拾五文

例、曰三拾八貫八百拾貳文と重三拾八貫八百文并、九六をわけり。下後三  
拾七貫貳百六拾文とあり是を三拾六人をわけり。下後を重。三拾五文  
とあり此を重。〇九文と重と定法九六をわけり

後貳万。九百重。三百一拾四文を六万五千五百に拾七人配り同。今分と同

答曰 三百三拾八文

例、曰後文と重百文以上、九六をわけり。下後貳万。〇六拾四重。三百  
二拾二文とあり是を六万五千五百に拾七人を法ふと割む。下後三百二十  
六文とあり百〇文の同と重に十文を加れ一人分三百三拾八文とあり

廿一 金相場場の部

一歩	六二五	二歩	五十五
二歩	七十五	三歩	七十五
四歩	二十五	五歩	百

小判を兩相場六拾は自の同銀拾八重貳百に拾月の金銀と同

答曰 貳百八拾五文

綱 曰拾八貫二百に拾月と六拾に取めてより

銀五貫三百拾六匁五分あり金相變六拾二匁の同銀銀とる金取を同

答曰 八拾五兩三匁

綱 曰銀五貫三百拾六匁五分と六拾二匁取まて取の位を七にこれを八拾五匁と銀銀に拾六匁五分とる相八拾五匁を一割は上あは六拾二匁とに取てよりより歩の代銀拾五匁五分とて銀銀をこれと三歩の如かり

金相場六拾三匁の同を費百六拾五匁五分の代金を同

答曰 拾八匁歩

綱 曰より費百六拾五匁五分と六拾三匁取まて取の位を七にこれを拾八匁と銀銀三拾五匁五分と相六拾三匁とに取て割き歩の代銀拾五匁七分五厘とる是を法して銀銀を割かり

金相場六拾三匁の同を費百六拾五匁五分の代金を同

答曰 拾八匁歩

綱 曰より費百六拾五匁五分と六拾三匁取まて取の位を七にこれを拾五匁と銀銀に拾五匁五分と相拾五匁を一割は上あは六拾二匁取まてよりより歩の代銀拾五匁五分と相是を右の銀銀を一割は上あは六拾二匁取まてよりより法に拾五匁五分とに取てこれを銀の代銀三匁九匁五分とる是を右の拾三匁五分を一割は上あは六拾二匁取まてよりより銀銀を割かり

金相場五拾八匁の同を費百六拾五匁五分の代金を同

答曰 八匁歩

綱 曰より費百六拾六匁の取金を五拾八匁取まて取の位を七にこれを百匁拾匁と銀銀拾匁と金を一割は上あは六拾八匁とに取てよりより歩の代銀拾匁五分と相是を右の銀銀を一割は上あは六拾八匁とに取てこれを銀の拾匁五分とに取てよりより一匁の代銀三匁六匁五分とる是を右の法に取て銀銀をこれと三歩の代銀拾匁五分とに取てよりより

金相場六拾五匁の同を費百七拾五匁の代金を同

答曰 拾八匁歩

算術

算術

答曰 拾七貫八百七拾五文

辨曰 貳百七拾五兩小六拾五匁とわけり

金相場六拾二匁八分のとれ八拾五兩三歩貳朱の代銀を問

答曰 五貫二百七拾八匁八分七厘五毛

辨曰 八拾五兩の上へ三歩の歩通七拾五と加へ又その上へ二朱の歩通十貳五を分り八五八七五と加へ是れ六拾三匁八分とわけり

金三拾七匁貳歩貳朱の代銀貳貫二百の八匁金相場を問

答曰 六拾匁

辨曰 三拾七匁小貳歩の歩通五拾と加へ是れ貳朱の歩通拾二五を分り二七二二五と加へ是れ法りて貳貫二百の八匁を割り

金五兩三歩三朱一銀分五厘をて代銀三百八拾五匁金相場を問

答曰 六拾匁八分

辨曰 三百八拾五匁の内銀分五厘を引五兩小三歩三朱の歩通九三三を分り五九三三五と加へ是れ法りて右の銀分を割り

金を兩の代銀六貫二百匁をて貳拾三匁を歩の代銀を問

答曰 百五拾八貫八百文

辨曰 貳拾三匁小を歩の定法二十五を加へ二三二五と加へ是れ小を金の代銀六貫二百匁をうけり

金を兩の代銀六貫八百匁をて五匁貳朱の代銀を問

答曰 三拾匁貳貫八百拾八文

納<sup>り</sup>曰五兩小貳歩の定法十二五を加八五二五と作る是は六貫八百文と  
かけ百文の下の五拾文平小残百の定法九六をかける

金貳拾五兩貳歩の代残百六拾八貫三百文之を其の代残を問

答曰 六貫六百文

納<sup>り</sup>曰二拾五両小貳歩の定法五拾五を加八五五と作る是を法にして左の  
百六拾八貫三百文をこするなり

金八兩を歩の代残五拾七貫七百に拾八文之を其の代残を問

答曰 七貫七

納<sup>り</sup>曰五拾七貫七百に拾八文を其の代残に拾八文平を其の代残の定法九六をこす  
相八兩小を歩の定法二五を相八二五と作る是と法をこして残を割る  
と其の代残七貫貳百文にして残拾を貫文の代金と同

答曰 七貫貳百文

納<sup>り</sup>曰拾を貫文を七貫貳百文を其の代残に拾八文平を其の代残の定法九六をこす  
残残三貫八百文と作る法の七貫貳百文をこすなり其の代残を貫八  
百文を其の代残一貫を其の代残と其の代残を貫八百文と作るなり

金貳拾三両を歩の代残七貫五文の代残百拾六貫八百七拾八文之を其の代残を問  
の代残百拾月にして残を貫文の代残と同

答曰 拾貳文

納<sup>り</sup>曰貳拾三両小を歩の定法二五を加八五拾五をこすなり其の代残を問  
拾五文と其の代残七貫五文と加八五をこすなり其の代残を問  
ふ其の代残七十文を其の代残九六をこすなり其の代残を問

金拾八両貳歩の代残八拾八貫八百文なり其の代残を問

申してきまの相場を問

答曰 六拾月

納日八拾八貫八百文十銭五厘を引相まき貫百十文と申す  
實りて拾八文小式歩の定法五を加はしと別なり

(廿二) 金仕掛銀仕掛之部

金相場六拾貳文の時貳文に仕掛おて銀百五十五文の代金と同

答曰 貳兩を歩貳文、か銀貳文二を五を

納日六拾貳文小貳文にかと加へ百五十五文を歩の俵と別  
おけ銀貳拾六文に歩の法の中はに文に歩を引別き歩の代銀拾六  
文を歩を引されと歩の俵銀十文を歩又法の十文を歩を  
引別き歩の代銀三文に歩を引別き歩の代銀拾六文を引別き

金相場六拾貳文五文の時貳文五文仕掛の定めを銀三百七十文と申  
おて後まを銀多何程と同

答曰 三百五拾五文七を六を六毛金

納日三百七十文小相場六拾貳文五文と申す是を實り仕掛お  
場六拾五文と申すなり

金相場六拾三文八文の時二文三分仕掛の定めを銀五百文を引銀  
後まを銀多何程と同

答曰 百八拾貳文六分の〇を毛に申す

納日五百文小相場六拾三文八文を引はして三を九と申す  
仕掛お場申す別なり  
右の如く金仕掛を銀後まを八分お場申す仕掛相を申す別なり

三井河屋解



街路  
鏡相庭の  
高下  
桃

世利屋之部

銀一十六匁を去月貳月の利屋にて五ヶ月廿二日の利銀を同

答曰 臣取去分〇匁也

銀三拾六匁を去月貳月廿二日を去月廿二日と云ふ刻一ヶ月三十日 二ヶ月三十日 三ヶ月三十日五三七と云ふ是ふニアと云ふハ二匁と云ふ是を去月三拾六匁と云ふに

銀六匁八百五拾匁と一ヶ月を去月の利屋にて七ヶ月の利銀と同

答曰 七百拾九匁貳分五厘

銀七拾六匁八百匁を去月一ヶ月八匁の利屋にて六ヶ月の利銀を同

答曰 三匁六百八拾六匁に分

銀七拾六匁八百匁を去月一ヶ月八匁の利屋にて六ヶ月の利銀を同

三井河屋解

わしとえ銀七拾六匁八百目おけり

銀三百五拾月六ヶ月の利銀廿七匁三匁二ヶ月何アの利是と同

答曰 七匁ア三朱

銀曰 二十七匁三匁を貸し置し三百五拾月を法申すとれは七八とあり

此七八を三ヶ月の割かり

銀に貫三百目を一月一割貳アの利是申すえ利何程と同

答曰 一貫八百拾六匁 九利と申す

銀曰 一貫三百目を貸し置し九二貳を貯け

銀え利と三貫目あり一月二割の利是とえ銀何程と同

答曰 貳貫五百目

銀曰 三貫目と貸し置し二を割かり

銀を貫目を奉る年の間利ふ利を加へ十二月小何程と同

一割加へ 九利と申す 一貫百貳拾六匁八分を貯け

二割加へ 八利と申す 一貫貳百拾八匁二分を貯け

三割加へ 七利と申す 一貫百貳拾五匁七分を貯け

四割加へ 六利と申す 一貫百〇匁二分を貯け

五割加へ 五利と申す 一貫七十九匁五分を貯け

銀曰 右利銀を奉るおはし貫目を貸し置し五割の利是と申す一匁と十二匁を貯けり

借来六拾石あり三ヶ年の間借し利ふ利を加へ物奉る三割二年間貳割三年間を割き申すえ利も何程と同

答曰 一貫〇貳石九斗六升 九利と申す

銀曰 六拾石を貸し置し十三ヶ月七拾八石おける。貳年同十二ヶ月九十三石六升と申す。三年同十一ヶ月九拾九石と申す



今来あり二ヶ年の間元利金七百三拾七石貳斗八升二匁八分三釐二毫目  
之貳割三年間ハ之割中元来何程と同

答曰 元来八拾石

綱曰 百三拾七石貳斗八升を算出置三ヶ年間の二割ふ十を加八十二で算  
の算字を割む百貳拾四石八斗と成る此算字成二年の二割ふ十を算入  
十二で見れば百〇四石と成る又是を初年の二割ふ十に加八十三で割く

銀に拾三匁付一ヶ月八分六厘の利是れ貳百拾五匁の利銀一年分と同  
答曰 五拾と匁五分 一年分利是れ

綱曰 貳百拾五匁を算出置八分六厘を付けて一八四九と成る是れ一年  
の月数十二を割れば二二一八八と成る是れ算出置一八拾三匁と成る

銀五貫目借用一ヶ月を算出置元利金一匁と成る五ヶ月の利銀何程  
と同作一を算出置一ヶ月の利銀拾貳匁と成る

初月 六拾目

二月 一拾八匁

三月 三拾六匁

四月 貳拾四匁

五月 拾二匁

答曰 五ヶ月の利銀百八拾目

綱曰 生利五角を算出置是れ初月一ヶ月を加て六ヶ月の利銀を二二と成る  
三ヶ月の利銀は是れ五貫目を付けて拾五匁目と成る是れ拾貳匁を付けて

小判百兩貳人小借付る小判を算出置是れ初月一ヶ月の利銀銀を算出置又  
今来入る是れ二分方り双方合して五ヶ月の利銀六百貳拾三匁と成る

全利何程と同

答曰 是れ二分の方 七拾三五  
是れ五分の方 貳拾七匁

綱曰 利六百貳拾三匁を五と成る百貳拾四匁と成る

まきの利をかたれを百拾多は是を在る一百貳拾に六分の内中引ハ  
拾に六分と必又まの三分の内まのまを引も遠浪貳分は是を法  
おして拾に六分を割む七拾三兩となるなり

銀三百兩を二人分借付る小を人ま貳割半の利是合ま今ま二割の利是  
不定り一二人とも小利是等分小か引換と各借付る銀多と同

二割半の方元銀

百三拾二匁三分三厘三毫

利銀二拾三匁三分三厘三毫

答曰

二割乃方元銀

百六拾六匁六分六厘六毫

利銀三拾三匁三分三厘三毫

銀二割半の元銀を知ら八割を法おして貳割半をより十二五と必  
是小十を加へ二十五と方る是を法おして三百兩を引れば貳割半の元銀  
を乃る又三百兩の内まを貳割半の元銀を引も強浪貳りの元銀なり

米五石を正月小借十二月小元利合して六石まで返を納り利何程と同

答曰

外貳割

利米五石

銀二割半の元利も六石と必元米五石まで割一二必内八元米二六利米之

米五石を二年借元利も七石貳斗まで返を年利何程と同

答曰

年貳割

利米貳石貳斗

銀二割半の元利も七石貳斗と必元米五石まで割半石四斗は引と方る是  
用平法まで除き方るなり

米五石を三年借元利も八石六斗は引まで返を年利何程と同

答曰

年貳割

利米三石六斗は引

銀二割半の元利も八石六斗は引と必元米五石までより一七二八はこれを  
用互法小除して方るなり

④ 縮布賣買之部

本縮を及七丈六尺代銀五匁分之内八尺五寸實と尺代銀を同

答曰 八尺五寸 代を及五匁

縮曰 切八尺五寸を實ふ屋五匁分をうけに尺二と寸を是を及の

本縮を及七丈七尺之内九尺五寸實尺代銀五匁分を同六之丈及の代銀何れと同

答曰 七丈七尺 代を及五匁

縮曰 尺八匁分を同六を實ふ屋五匁分をうけに尺九寸五刻之

紗縮を尺七丈二尺二寸 他一丈の尺七丈二寸付銀を及五匁切りてを尺の代銀を同

答曰 七丈二尺二寸 代を及五匁

縮曰 三丈八尺八寸を實ふ屋五匁分をうけに

純子巻三丈八尺代銀五匁八匁之銀拾を及六匁の尺代銀を同

答曰 六尺八寸

縮曰 拾を及六匁を實ふ屋五匁分をうけに三丈八尺八寸を切之

縮子巻三丈二尺五寸代銀七拾匁七匁切之尺三寸の代銀を同

答曰 五丈八尺九寸

縮曰 七拾匁七匁を三丈二尺五寸七寸七刻之尺三寸をうけに



羅紗長六尺五寸幅五尺二寸五毛を尺四方付代帳に五寸五毛を八寸付  
惣代帳何れと同

答曰 百に拾七の三厘

綱曰六尺五寸と五尺二寸をけ合し三三八とせし是より五寸五毛を八寸方の代  
に三三三を五厘をけり

金襴長き又幅を又九寸の切代帳に五寸五毛を五厘の切内と八寸巾に寸を  
堂より代帳を問

答曰 代八分 八寸小に寸 寸分三十二坪

綱曰長き又巾を又九寸を掛合し寸歩百九寸歩を以て是より五寸五毛を  
五厘を割寸分一坪の代或五毛を以て八寸に寸歩をけ合し寸歩百二坪

と必是に或五毛をけり○又綱曰八寸に寸歩をけ合し是より五寸五毛を  
五厘を割寸分一坪の代或五毛を以て八寸に寸歩をけ合し寸歩百二坪

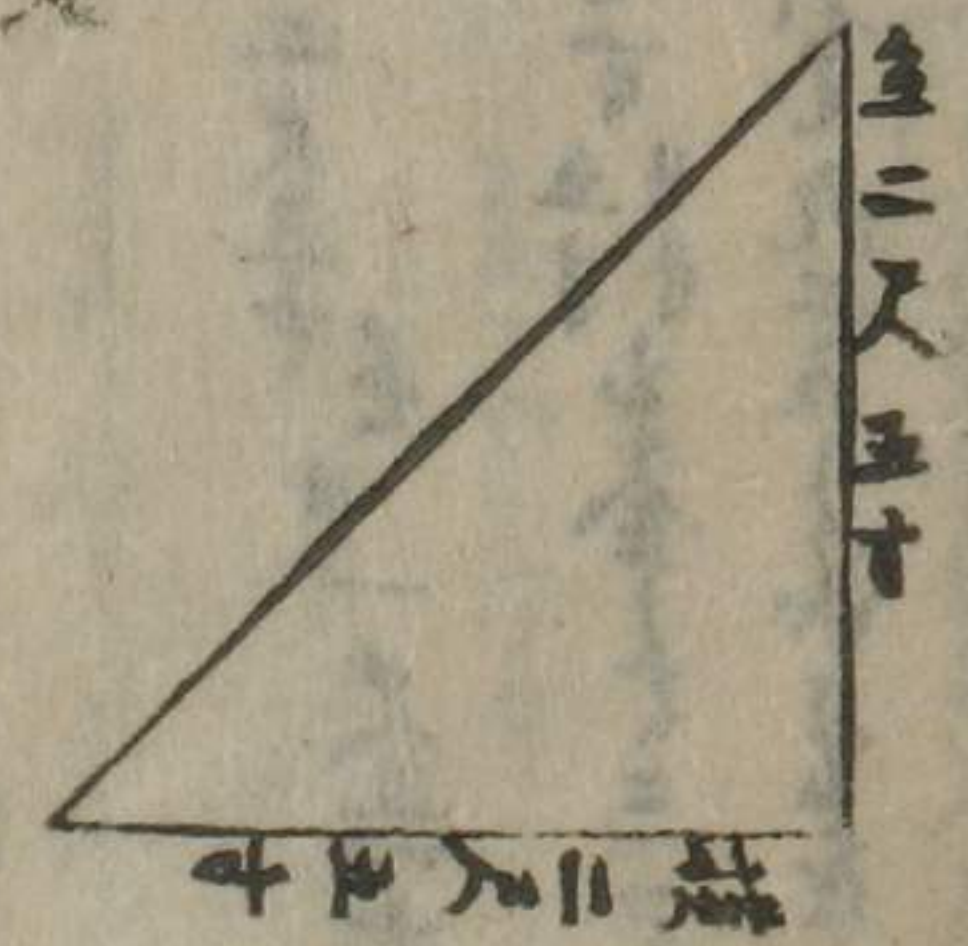
廿五 織物類 尺割之部

今尺の織物ある一尺五寸巾を  
巾七寸五分  
尺割を問

答曰 三尺

綱曰七尺六寸の巾を  
五寸五毛をけ合し五寸五毛を  
五寸五毛を割寸

五寸五毛を割寸



今尺の織物ある一尺五寸巾を  
巾七寸五分  
尺割を問  
答曰 三尺

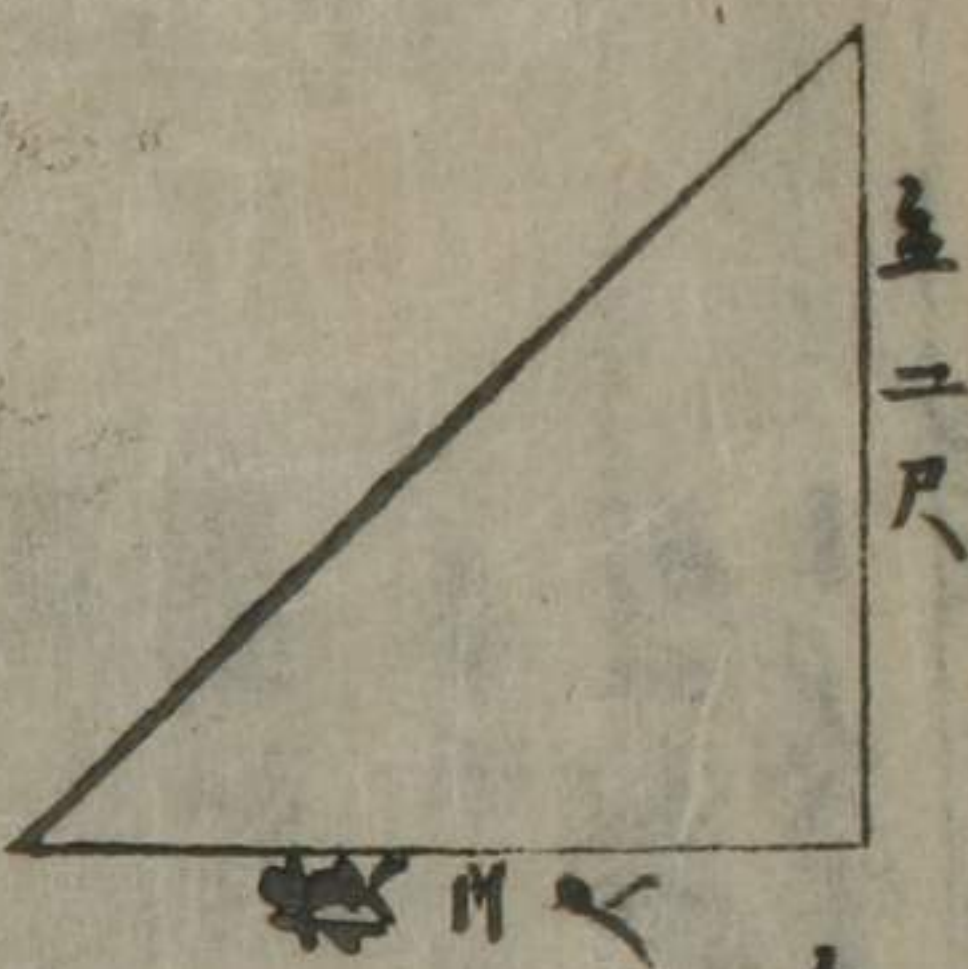
綱曰七尺六寸の巾を  
五寸五毛をけ合し五寸五毛を  
五寸五毛を割寸

又問寸尺半巾の尺を  
尺割如何

答曰 或尺五寸

綱曰五寸半の巾を  
一尺八寸をけり

綱曰先横巾或尺五寸を二に割一二五を  
三一二五とせり  
右に定巾或尺五寸を割寸  
尺割を問



今量のどなたかり物の増切あり式八寸中八寸

尺教を問

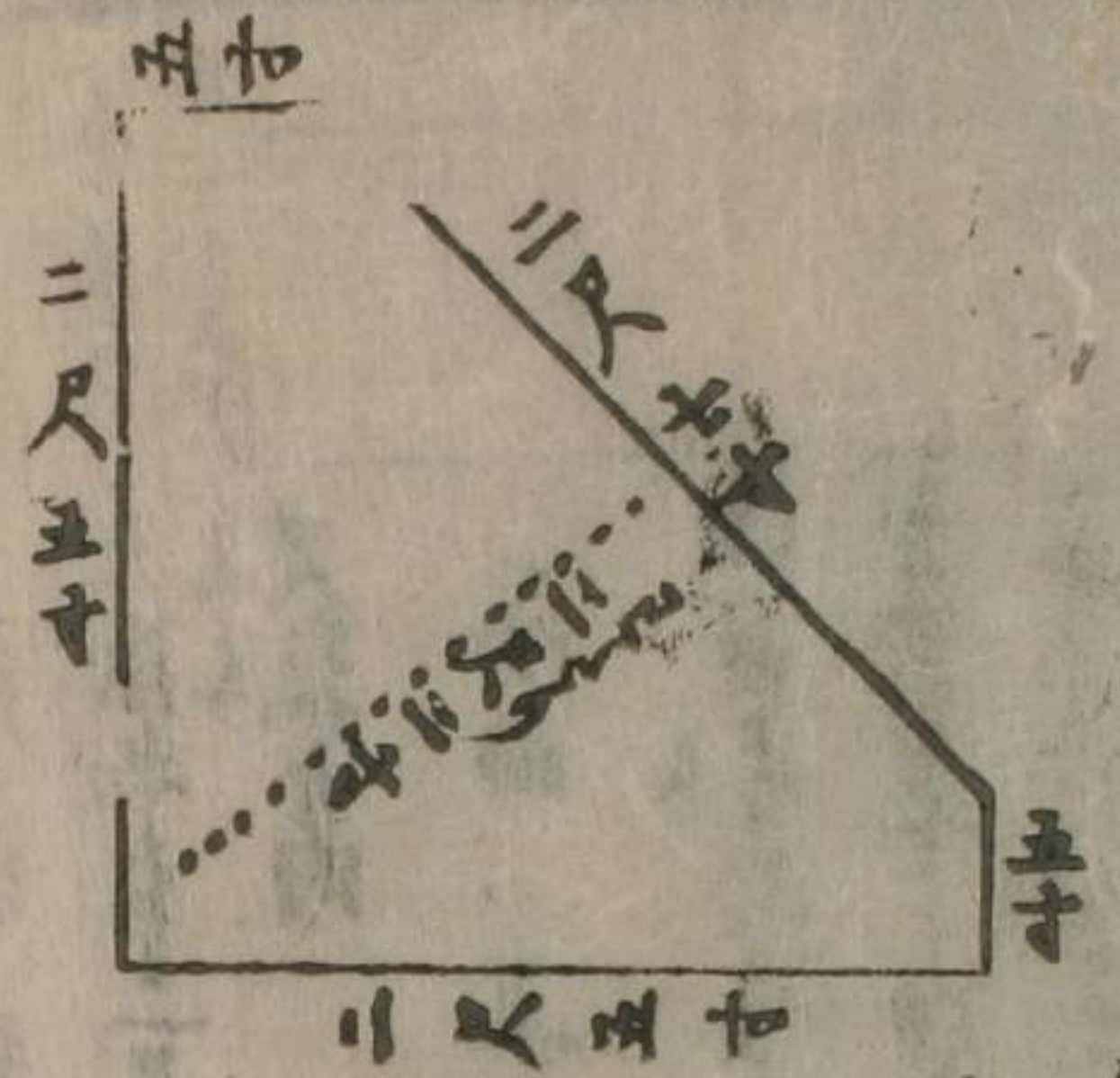
答曰 中二尺五寸 長八寸

綱曰 横二尺を二割一は是れ小五尺を切れども  
 なる是れを式尺五寸中とせよ

今圖のどなた織物の切方二尺五寸幅の川を  
 尺教を問

答曰 中二尺五寸 長一尺六寸八分

綱曰 二尺七寸五寸を合して三尺七寸は是れ小二尺  
 五寸を切れども九二五は是れをより二尺二寸  
 を割れば是れを  
 定中尺五寸中とせよ



其六 著類入尺早積部

九寸幅の縮を着尺を三尺五寸袖二尺五寸小を入尺を問

答曰 式六尺

綱曰 三尺五寸小を尺五寸を加ゆれば五尺となる是れを着尺の定法  
 五二をうくれむ入尺をゆるく〇九寸巾着尺の定法五二なり

九寸幅の本綿を着尺八寸袖三尺の着尺八寸を問

答曰 式六尺三寸

綱曰 二尺八寸小を尺三寸を加へば尺一寸は是れ小定法五二を加ふ

九寸幅の晒布を着尺三尺九寸袖二尺五寸五アの着尺八寸を問

答曰 式六尺八寸三寸

綱曰 二尺九寸と一尺五寸五アを加へ五尺は五アと是れ小定法五二を加ふ

九寸巾の紐を七寸九寸紐を尺五寸の羽織と裁入尺を同

答曰 二丈四尺二寸

紬曰 二尺九寸紐を尺五寸を加へ尺四寸は是れ羽織の定法五寸をかくれを入尺を同○九寸巾にて裁羽織の定法五寸あり

九寸巾 後又縮めて七尺五寸紐を尺五寸裁の羽織は入尺を同

答曰 二丈二尺

紬曰 七寸の尺合して尺五寸を是れ定法五五をかける

⑦ 萬拜用賣買し部

綿を介分細目 三百目 二寸付代を尺五寸に平中用 二寸二寸を介分細目 代根を同

答曰 八丈八寸 二丈四寸付

紬曰 二寸を三寸用にて割三寸は是れ尺五寸用をかける

美綿 三百目を介線綿を二寸味百目を又中実綿 三百目を介線綿を八寸八寸あり上線より中線八何割減と同

答曰 八割減

紬曰 上線百目百目の内中線の百目八拾目を引残八拾目を八丈割之

中実綿 二百目を介線を線綿にして百目百目八拾目あり上実綿 三百目を介線を線綿にして百目拾二五五あり上線八何割増と同

答曰 七割八歩七五毛増

紬曰 上線正目百目拾五五の内中線 百目二拾目を引残八拾五五あり

美綿 全細目 三百目を介代根を尺五寸に平中用 二寸二寸を介代根を尺五寸に平中用 二寸二寸を介代根を尺五寸に平中用 二寸二寸を介代根を尺五寸に平中用

三拾九丈六分



茶拾貳貫目あり見を採りて石八斗をりて竹外あり同

答曰 三升七合五文

御曰拾貳貫目を奉り竹外の方貳百五拾目を割りて拾八升也見を  
法中てをり石八斗をりて

藪九斗貳百七拾束あり銀を付三十二本割りて惣銀を同

答曰 貳百五拾七文五文

御曰九斗貳百七拾束を三十六束を割り

金相場六拾目の時を兩付藪而六拾五束入り九拾九束の代金を同

答曰 金貳歩 銀六文

御曰九拾九束を百六拾五束をりて金の歩通六十となる此内を  
貳歩の定法五十を引を残り十一は是れ金相場の六拾目をりける之





薪子に百九拾五貫目銀を二拾三貫目終ふと銀を二院

答曰 百拾五文

綱曰子に百九十五貫目を拾三貫目を割なり

油式斗に付代銀に拾同方り六拾に女相場の金を二兩の掛取を同

答曰 三斗式升

綱曰六拾に女斗を付二八の金に拾同を割なり

油式斗に付同方に貫五百同に代銀式拾に女銀八文を同方<sub>掛取</sub>を同

答曰 同方 貫五百同 新元 三升三合二勺二文

綱曰銀八文に貫五百同を二二八の金に式十に女を割を同方

以之又同方を貫五百同を二貫五百同を割を掛取を同

沈香三拾を女五を女<sub>掛取</sub>代金三歩三厘を女金を歩の同方を同

答曰 同方 八文三分九厘九毛

綱曰金三歩三厘と女三厘を同方を二七五と女を法

一と二拾を女五を割なり

伽羅同方式拾に女三歩三厘を代銀五文十銀三拾に女一銀一付伽羅

乃同方何程と問

答曰 同方 三文八分五厘

綱曰銀五文三拾に女に分と是此三拾に女に分を二二を割

五文八歩に女是也同方式拾に女三歩三厘を割なり

人參<sub>唐同方</sub>を付 同方 代銀八百同に六拾に女金を二兩式歩の同方と問

答曰 同方 拾九文二分

綱曰二兩式歩お場を付九拾六文之是亦二兩式歩を付八を割

今京大坂場の商人銀百六拾貫目出合唐物を賣示京の金銀六拾貫  
貫八百目出大坂の金銀百六拾貫目出合唐物を賣示京の金銀五拾二貫三百  
出に程の唐物を賣其示之

人參 貳百五拾斤  
糸 八子に百斤

沈香 七拾斤  
卷物 貳百八拾斤

在江島の代銀百六拾貫目方各銀多小意下刺符何程序と同

各目

京

銀六拾に賣八百目分

人參 百七斤拾五  
糸 三子に百貳斤  
卷物 百拾三斤と申五人寸  
沈香 貳拾八斤拾貳斤

大坂

銀百六拾に賣九百目分

人參 二拾二斤と申五人寸  
糸 貳子貳百五拾二斤に拾目

卷物 七拾五斤貳貳八寸五分  
沈香 拾八斤三拾三斤

博

銀五拾貳貫三百目分

人參 八拾五斤申八友三友  
糸 貳子七百に拾五斤百二十目  
卷物 九拾五斤九尺九寸五分  
沈香 貳拾二斤三十五友を友

銀百先人參貳百五十斤と申京の二拾に賣八百目をうけて一六二と申此を  
惣銀百六拾貫目申刻む百七斤二五と申此二五小を斤の定法十六を  
うけてに拾目と申是を二友の定法に申て刻拾兩と申又沈香七拾斤小  
六拾に賣八百目をうけて五三六と申是を惣銀百六拾貫目にて日り  
二十八斤三五と申此三五小定法十六をうけて五拾六友と申に刻て拾五友之  
又糸八子に百斤小六拾に賣八百目をうけて五に三三と申是を百六拾目  
小刻三子に百斤又卷物貳百八十斤小六拾に賣八百目をうけて一八に  
と申是を百六拾貫目申刻む百拾三斤に申て申すはにを申す申の申  
三六八人をうけて五人二寸と申張二人の刻符も日銀あり

縮き足すの同方式百拾六分七厘七毫の系同百同付銀三拾八分七分五厘の廻り

答曰 正代八拾八厘

納曰貳百拾六分七分七厘三拾八分七分五厘をかくる

縮き足す同方式百拾六分七分七厘三拾八分七分五厘をかくる

答曰 系同百同 銀三拾八分七分五厘

納曰系同百同を貳拾五厘八分五分を刻かり

縮き足す同方式百拾六分七分七厘三拾五分八厘の廻り

答曰 正代八拾八厘

納曰貳百拾六分七分七厘三拾五分八厘を刻かり

第六 緒定法

圓法 二二五

圓法 七九

圓法 三一六

玉法 五一

玉法 六二

圓形並法 十二

錐法 五二

錐法 三

三角法 四三三 中鉤 八六六

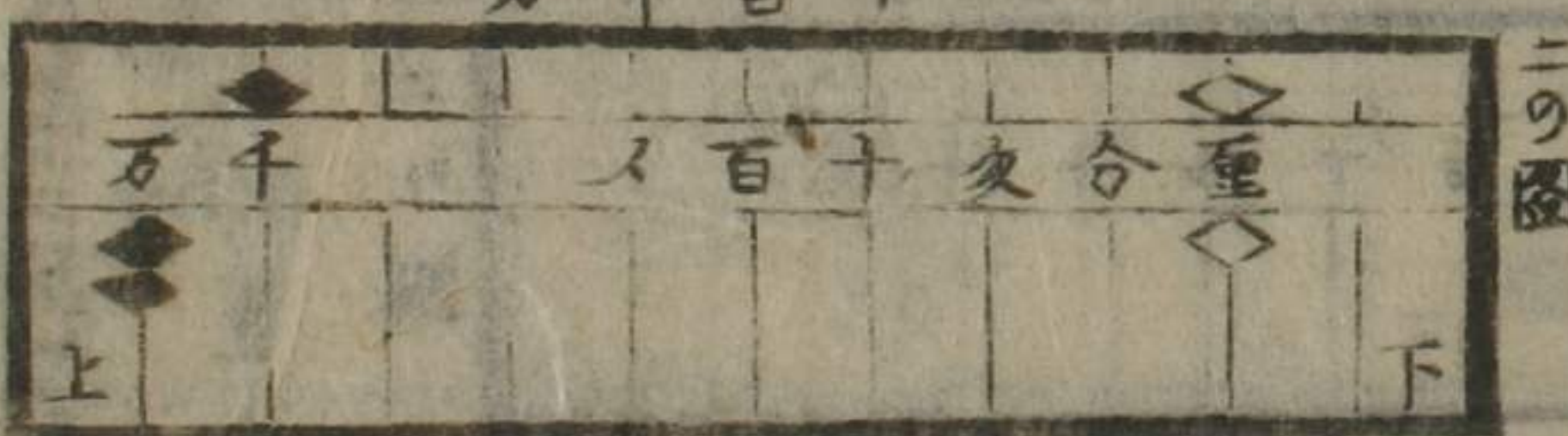
三角整法 一五九六

是ハ四方の寸小此方を三三角の寸をまさると又三角一方の寸を此方より刻

第七 解解定法

銀を五百同を二万五千の刻とする一人分の同

答曰 一人分 六厘



一厘 一十分 一百分 一百分

一の圖の通り、一厘の寸を二分とす。一厘の寸を二分とす。一厘の寸を二分とす。一厘の寸を二分とす。一厘の寸を二分とす。一厘の寸を二分とす。

四方一方の寸をある定法あり

- 一 鱗形法 二五
- 一 五角法 一七三
- 一 六角法 二五九八
- 一 七角法 三六四
- 一 八角法 四八二八
- 一 九角法 六令九二
- 一 十角法 七七三
- 一 蕎麦形法 二七八三
- 一 切筥電法 二三五七
- 一 丸切筥電法 九九四四
- 一 四面六角切筥電法 二七一令五

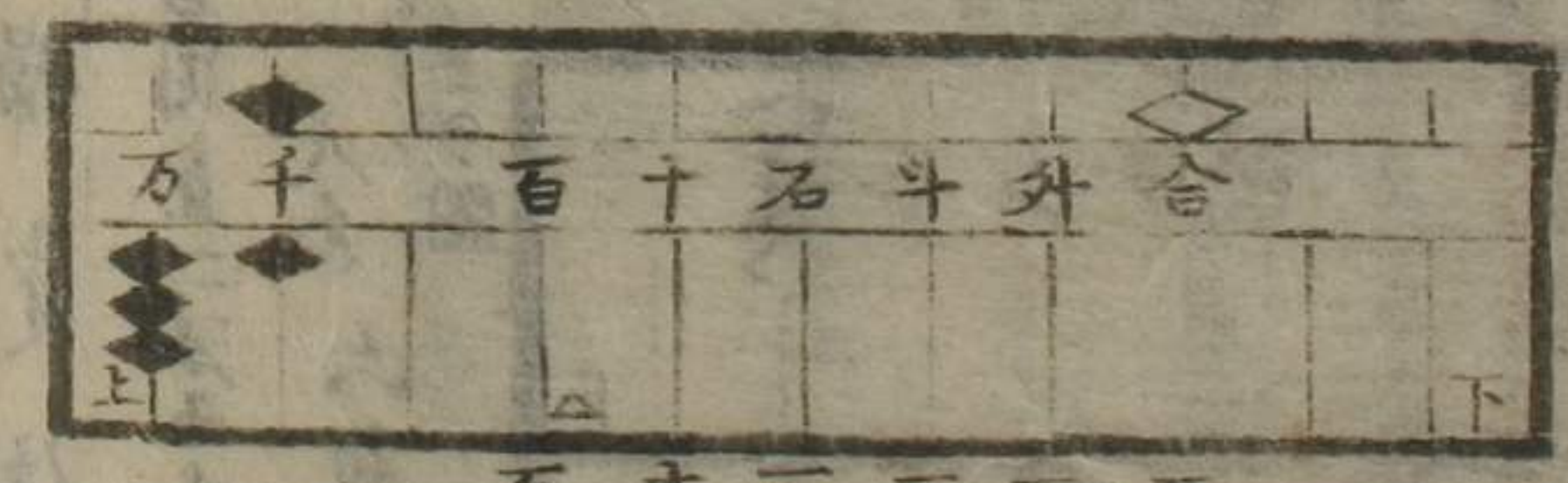
- 一 平歩法 四三二五 四方五寸
- 一 日 四方 三九六九 四方
- 一 日 四方 三六六 四方
- 一 日間法 六五。六三。六
- 一 落法 一六 四寸落
- 一 日 三五 五寸落
- 一 日 九 三寸落
- 一 日 四 二寸落
- 一 日 今拵之法 六二五 或十六因法
- 一 飲積法 五九
- 一 済統之法 三
- 一 裏曲尺之法 一四四二

米百八拾五石を三万二千余配するは一人余

一の圖



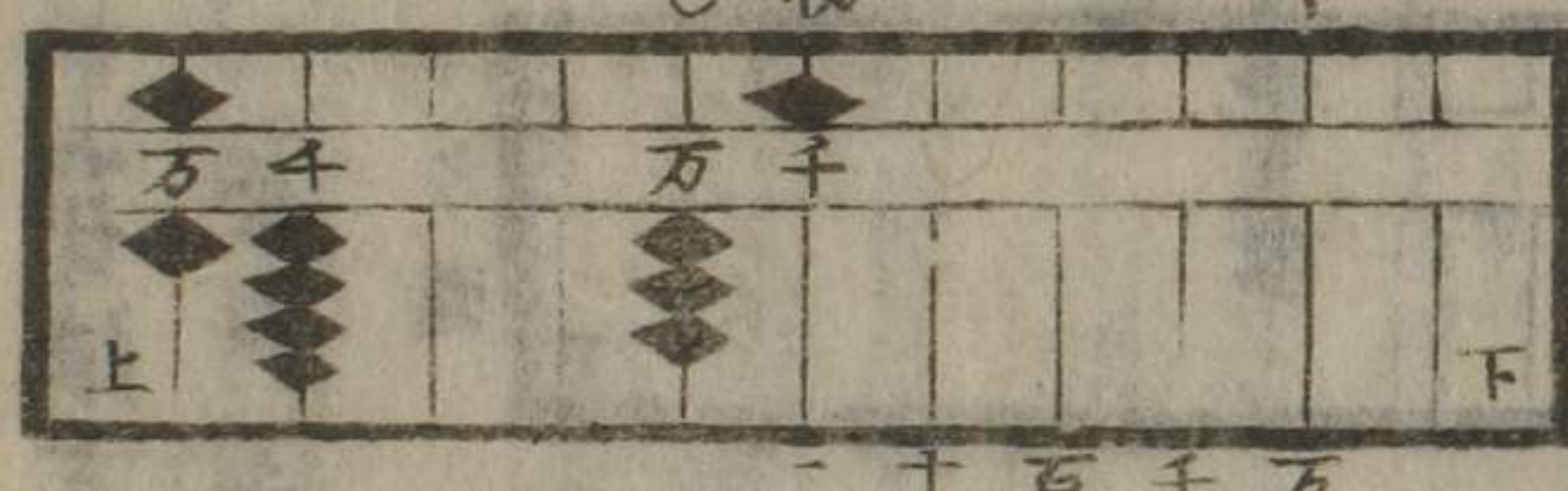
二の圖



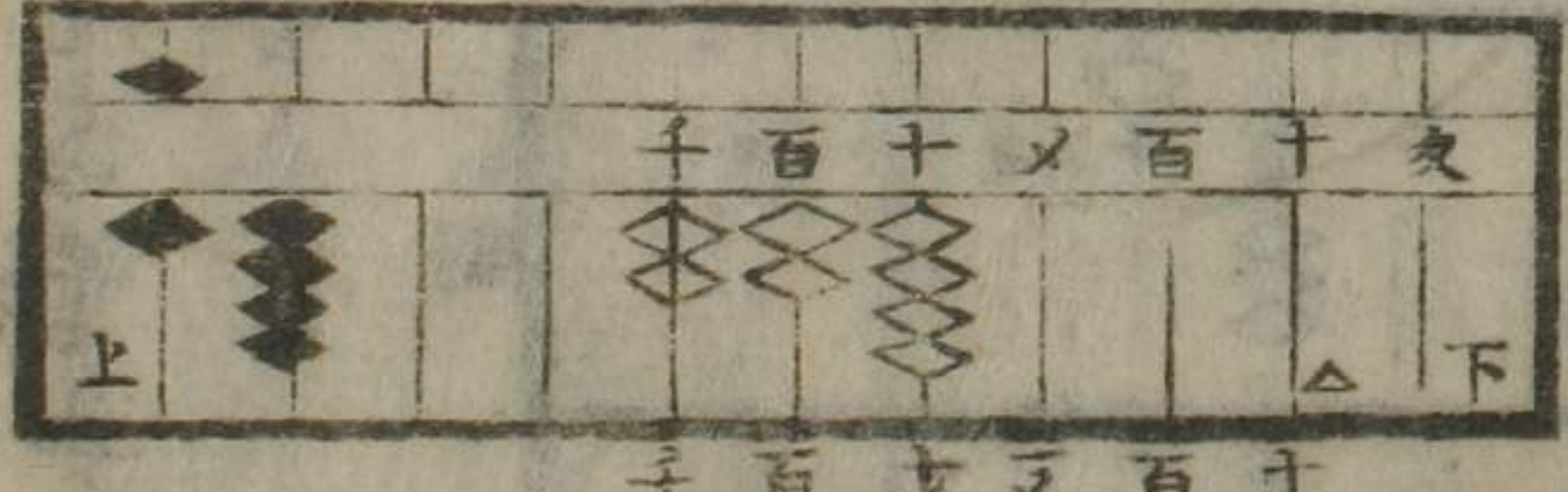
百八十五石とせし三万  
六千人をせし二の圖  
のこゝに五つあつて一  
圖の百のさう次より上  
一升 一十百千方とせし  
一斗 一十百千方とせし  
一石 一十百千方とせし  
一斗 一十百千方とせし  
一升 一十百千方とせし  
一斗 一十百千方とせし  
一石 一十百千方とせし

金相場六十兩の時は三万五千兩の代銀と同  
答曰 二千二百に拾貫同

一の圖



二の圖

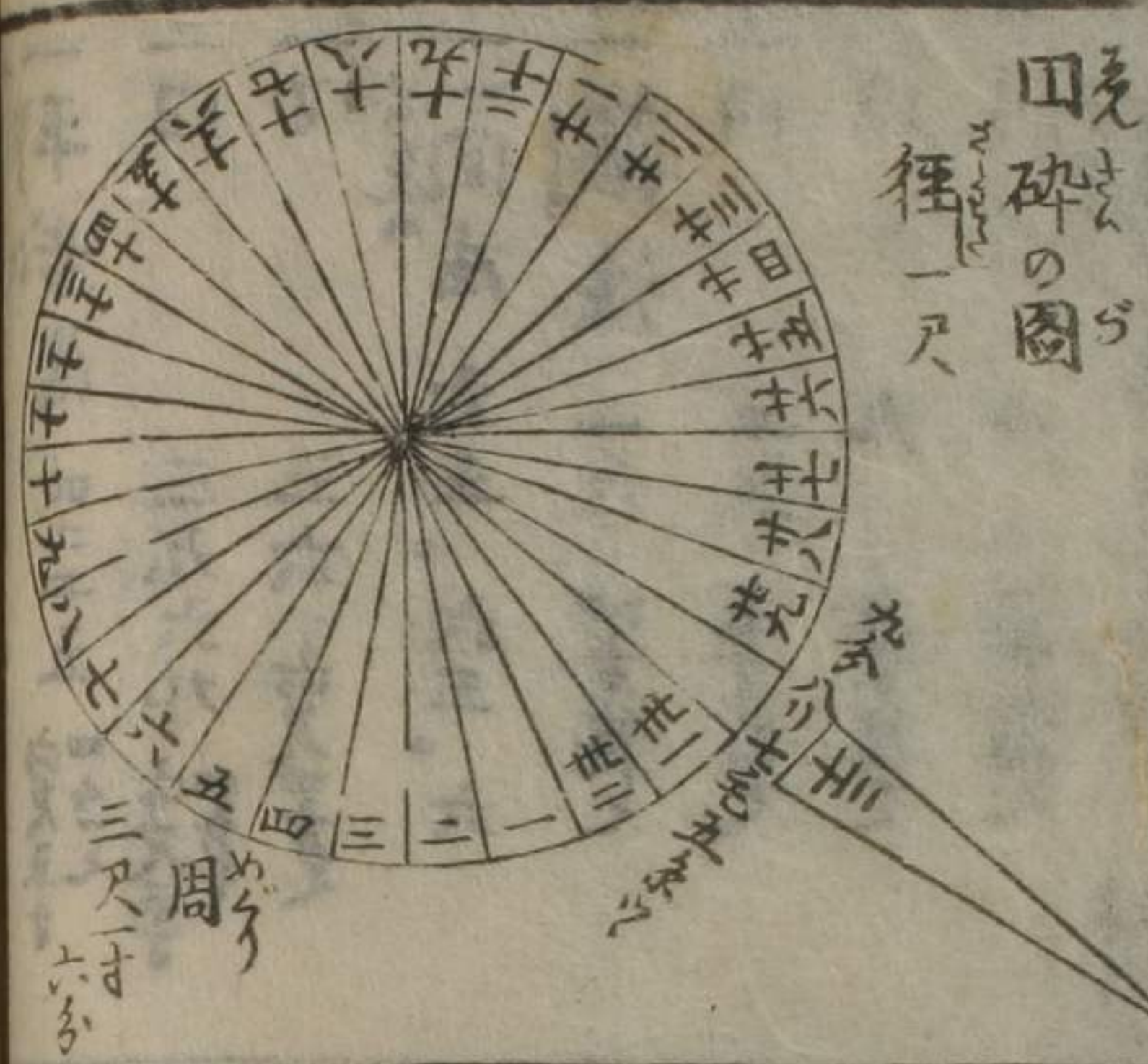


前のさうと刻するは  
一十百と加へ上りて又二目  
百目十文とせしは  
二の圖のさうと刻するは  
一十百と加へ上りて又二目  
百目十文とせしは  
二の圖のさうと刻するは  
一十百と加へ上りて又二目  
百目十文とせしは

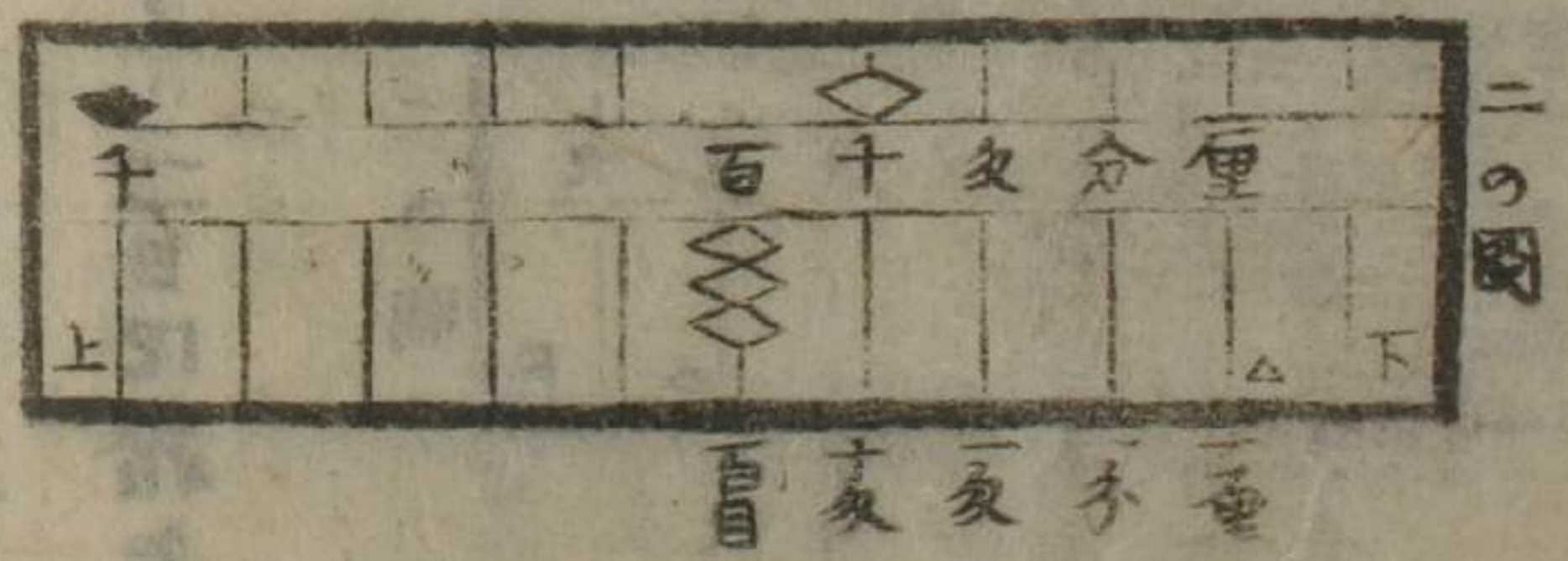
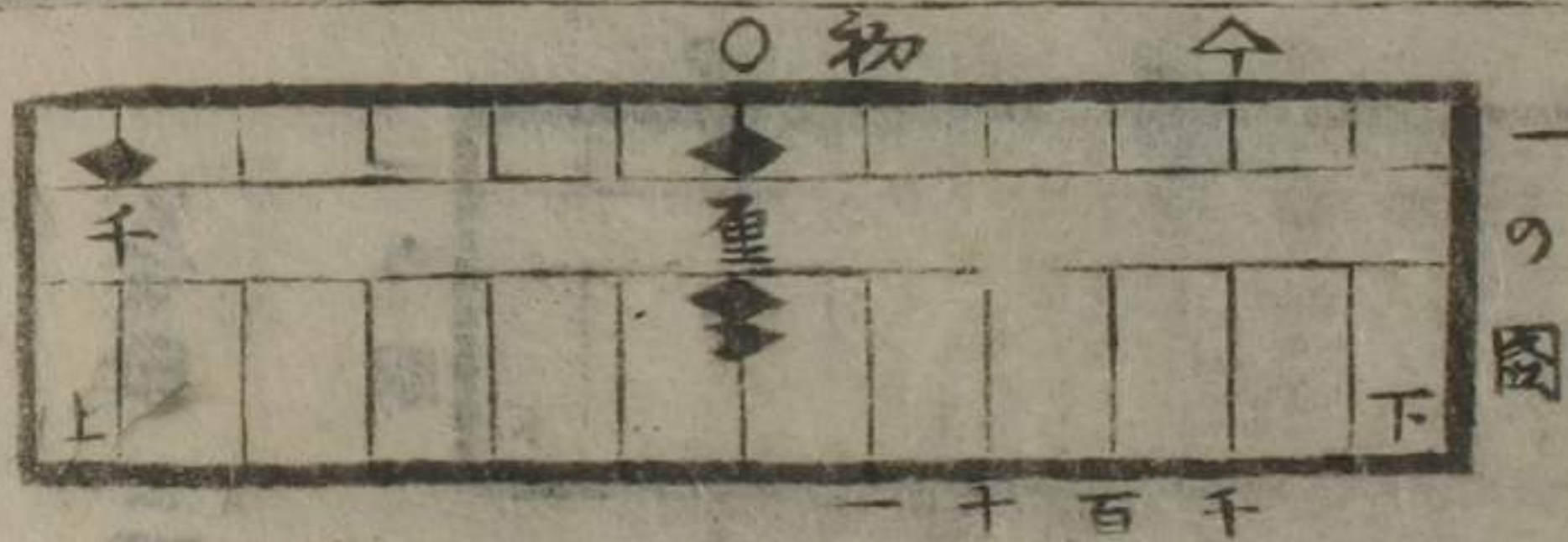
一立法 二七四六二五  
 二方基法 三六二法も帰法之

緒法起源

圓法の解



一本付狼七屋の筆五千本の代狼を問  
 答曰 三百五十目



一の圖の通り七屋と五  
 五千をよかたれた二の  
 圖の通り三五とあま  
 の七屋の下初下の  
 一十百千とあま  
 千の位今のをよ  
 かる今のをよ  
 の位一の圖の  
 一十百一十百  
 とあま上り百目の  
 一三あるより三百  
 十目とあま

四法を七九とま  
 起ハ右円碎の圖の  
 円碎を周世二の  
 付て長廿五  
 巾かか八七五も五  
 あま又世二を二小割  
 十ハツとあま下の  
 圓の通り廻年を  
 ち長廿一又五すハ  
 とあまをす五すま  
 ち長廿一又五す七  
 とあまをす五すま  
 円法を七九とま  
 あり又長廿一又五  
 の圓の周三尺一寸六分あるゆ  
 四回の定法を三二一六とま

五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七

千とあま上り初法をの頭一は目あを。目。百。十  
 九。一。とあま上り初法をの頭一は目あを。目。百。十  
 又する同ハ。頭の折の次より下ハ。二十。百。千。十  
 とあま下り法を万を。千。百。十。とあま上り  
 初法を。一。十。百。千。とあま上り  
 とあま上り初法を。一。十。百。千。とあま上り  
 五折目が万。千。百。十。とあま上り  
 〇素障の位を。一。十。百。千。とあま上り  
 一。十。百。千。とあま上り  
 十三。百。四。千。五。万。六。  
 其法を。左の秋を。一。十。百。千。とあま上り

○ 玉法の解

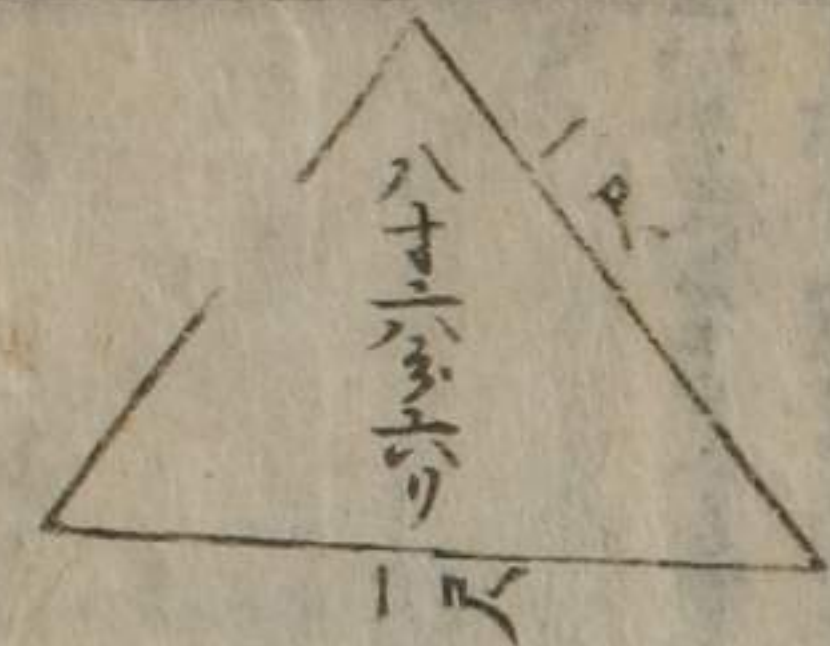


一寸四方六面の積三十五万九千四百廿五歩四分三厘一毛を玉ふると  
 玉の徑何尺と同

答曰 徑九尺  
 術曰 積数を法に用いて

法を以て刻を玉の徑とす  
 曰 積と廻玉を四小刻左右に  
 自より又一度けて四方六面の積  
 何程とす又徑を兩方ふれば  
 各合して又一度けて後四九三三  
 九をけるも同一徑と

○ 三角定法解

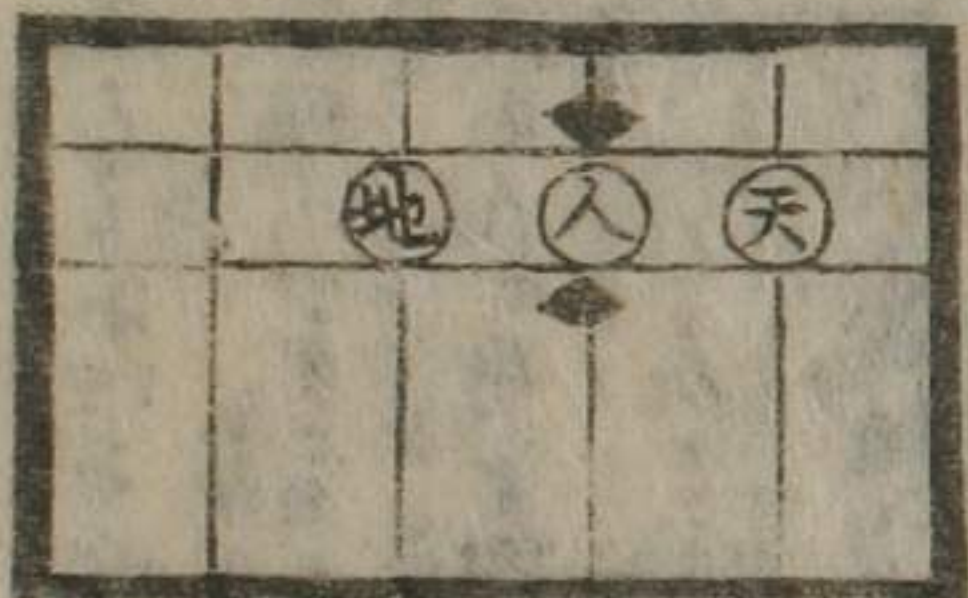


三角の法四三三あり  
 解ハ二尺三方の十坪  
 四十三坪三かあり  
 又八寸六分六厘の面を  
 尺あり付八角十坪  
 八寸一厘六分を  
 是の面の百八を二つ割五寸をかくれば  
 四十三坪三かあり  
 又同三角の面一尺ありと角より下  
 角平

世一 寄算早括秘傳

此法ハ商家大重宝の寄術也。凡そ寄算は  
 此寄算をせむ何五七人のお寄算をせむ  
 の差ありて何きの言か合し  
 正世ハ五七人の同難を成の  
 人も心惜て人付む世の算学者も秘して  
 書小著せむる友志人稀なり。されども人余ハ  
 限里ある法を世の宝なり。是を己に知て人  
 不傳をいふ。今余も消滅せめて何の益  
 あり人傳て今其術をあつるものあり

今テ兩人寄算をせむ其法同ハ  
 ① 貫二百拾り ② 九百五十圓 ③ 貳貫八拾圓  
 ④ 百三拾圓 ⑤ 拾貳三百圓 ⑥ 九百拾五圓  
 ⑦ 拾二万五圓 ⑧ 貳万七圓 ⑨ 六百三十二圓  
 在り一人を拾拾貫 ⑩ 五拾万五圓とす二人  
 を拾十圓 ⑪ 五拾万五圓とす二人を拾  
 ヤと同  
 答曰 貳拾中 ⑫ 五拾二万五圓の寄算

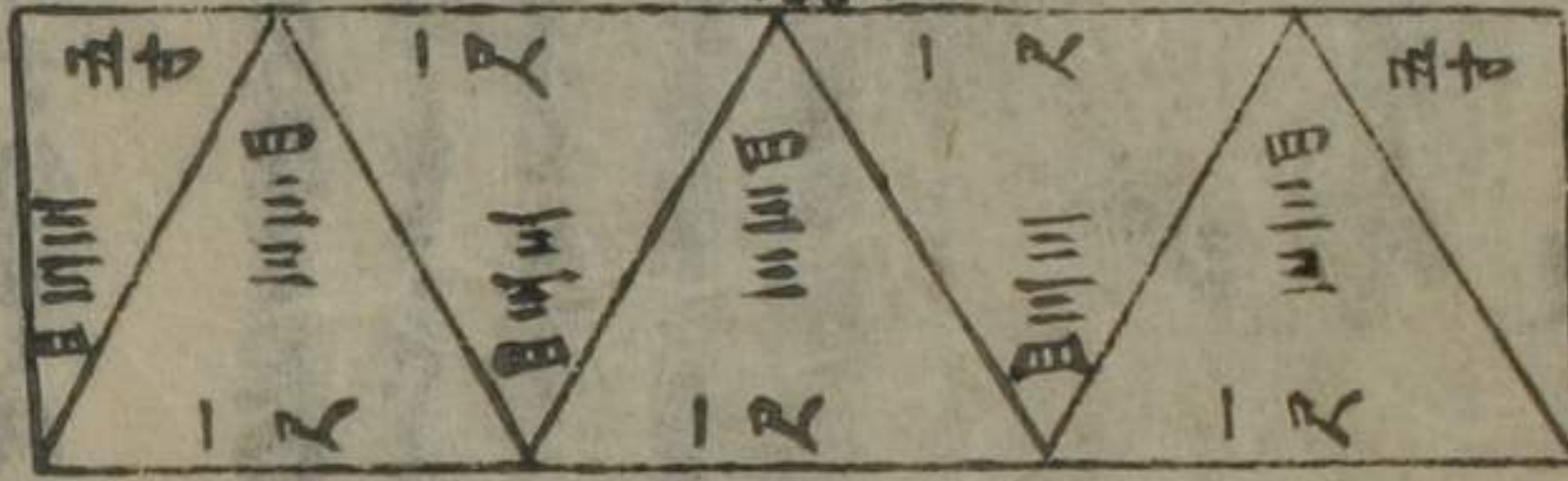


術曰 上の圖の通り、盤三折るハ  
 何百貫月の銀を又法をせむ  
 其上一二百を丸に二つ、其上上上  
 加て四つ、人の術、九百圓を加人



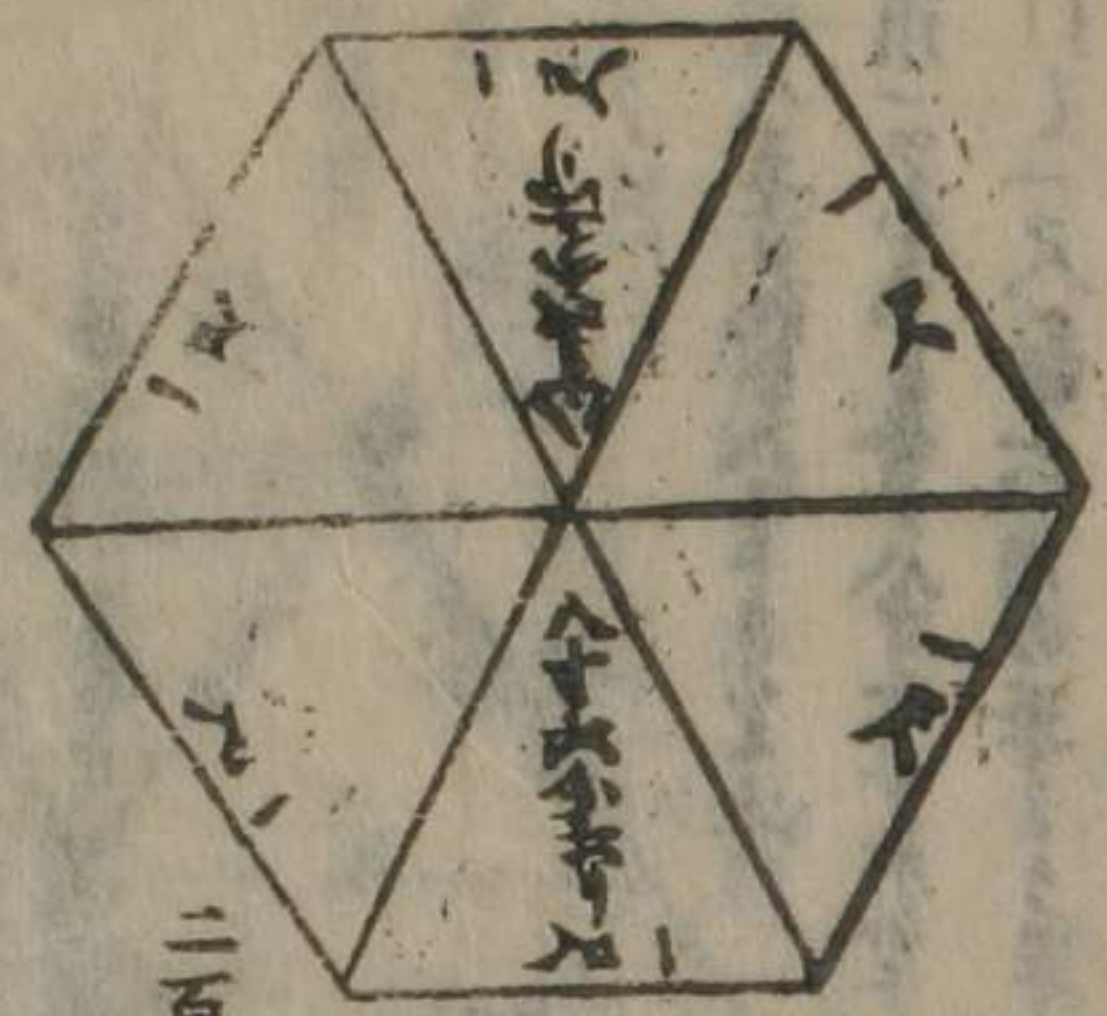
六角法二五九八の図

六角の法二五九八の起ハ  
面一尺の六角小一寸四方の  
坪方二百五十九坪分  
あるも  
法を求む術六角の面  
一尺の面ある時八平の積  
一尺一尺七寸三分三厘  
あるも是を六寸五分ハハ  
寸六分を六寸五分と  
面を尺と二寸五分と  
五寸を尺を二寸五分と  
とあるも是を六寸五分と  
二五九八となるも  
六角の法を  
二五九八とせしむ



此の四段  
坪数を後  
全圖左の如し

此一切寸坪四十三坪三寸三分  
五分倍して四三三三



右の三角  
を六分  
せし此如  
六角の法  
坪数を  
二百五十  
九坪八分

六角の面一尺ある時八平より五分より  
一尺七寸三分三厘あるも是を六寸五分  
次小圖あるも是を六角の面を六寸五分  
の三角より面一尺の六角を出せしより  
たりゆへ六角の三角は又五分五分の  
三角三分三分の法を尺とせしむ

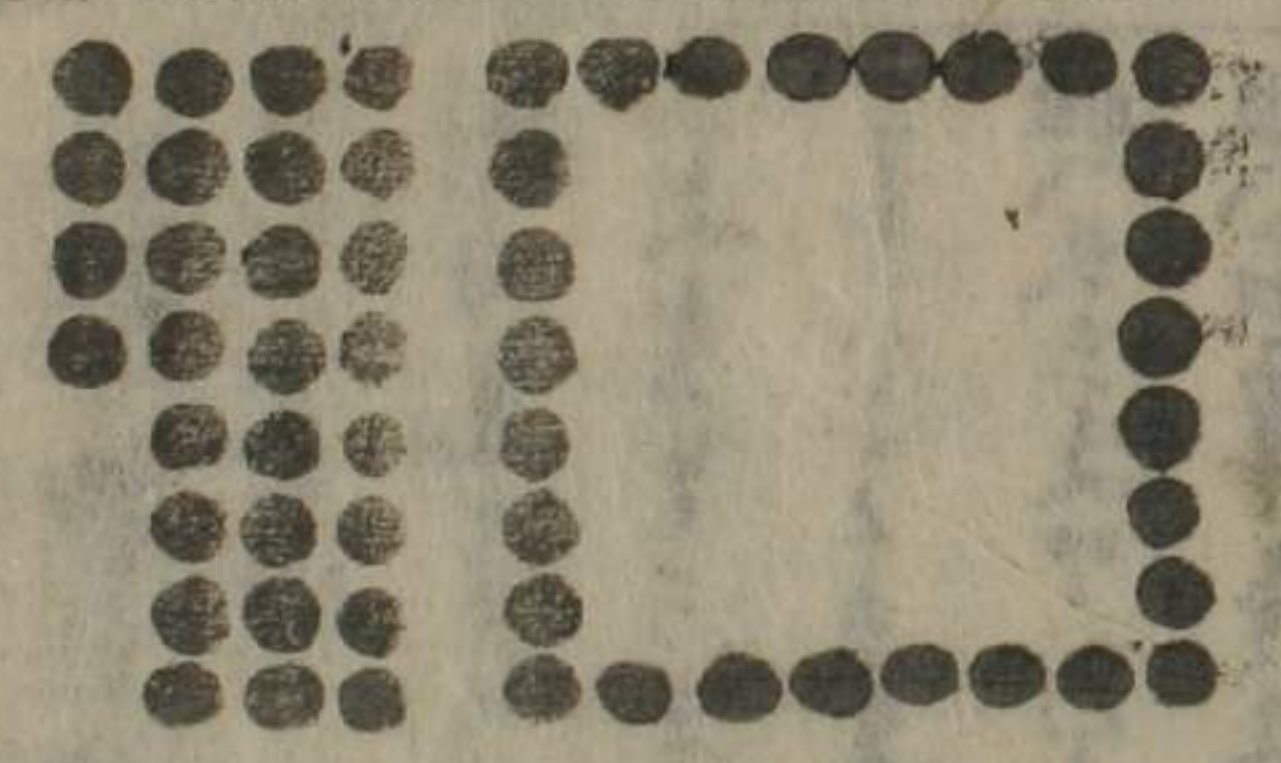
七十より三の三の三の内三を三の折三を加

①天二二三の折九入りて一減と八の二の内三を三  
②天一加る①天二二三の折九入りて一減と八の二の内三を三  
③天一加る②天二二三の折九入りて一減と八の二の内三を三  
④天一加る③天二二三の折九入りて一減と八の二の内三を三

右の加減の理を覺ゆる時何千貫用の寄  
もきををもたふり傍におきまて  
三折して事と會得せしより八十貫盤と  
むも胸の中にも數千貫用の寄を格  
安し世の味も寄を寄せて居るの合  
ありぬをもち人の如何なるも術の達人  
はるる皆此法を會得せしむ

世

屋くー算の法



右のくー算方ふりて一方ハ  
ばあるも片一方の八と其  
まむれ三方をを一八は  
あてられしけしはつあ  
も一井をはりて教教と同  
答曰惣教二十八

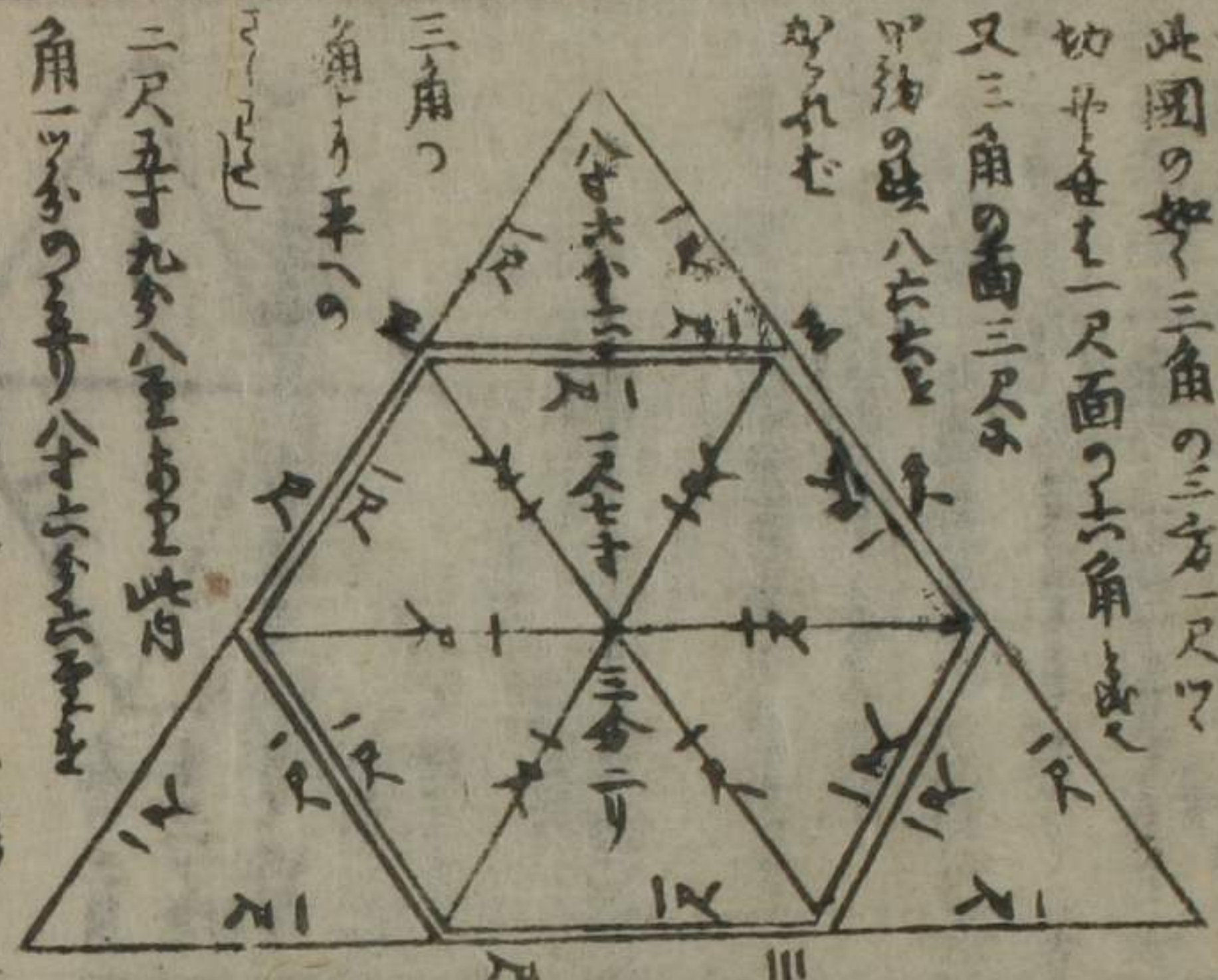
世

百五減の法

八とあるくーとありと久し十二も百也も  
小とにのりたる十六とせれ是も十二をを  
ハとあるくーとありと久し十二も百也も



此圖の如く三角の三方一尺ワ  
切中を二尺面の六角と  
又三角の面三尺  
甲油の長八丈と  
なれむ



二尺五寸九分八厘も此皆  
角二ツ分の一なり分すは此を  
引も一尺面六角の平一う平入の積は  
一尺七寸五分一厘も此皆

○八角定法の解

一尺面六角の平一う平入の積は

八角の坪は九丈

答曰 九丈



又右の力尺面八角の坪数を  
九尺を左尺小を垂て自ら定法の  
四八二四をかくれは三百九十一坪一  
四もふとあふ

○八角早積の法

八角の坪は九丈

是はもとをばて惣数を志る術ありたふ  
人懐中の錢をば持て七丈引れば二丈餘  
又五丈引れば三丈餘又三丈引れば二  
丈餘惣數何程と問

答曰 八十六丈

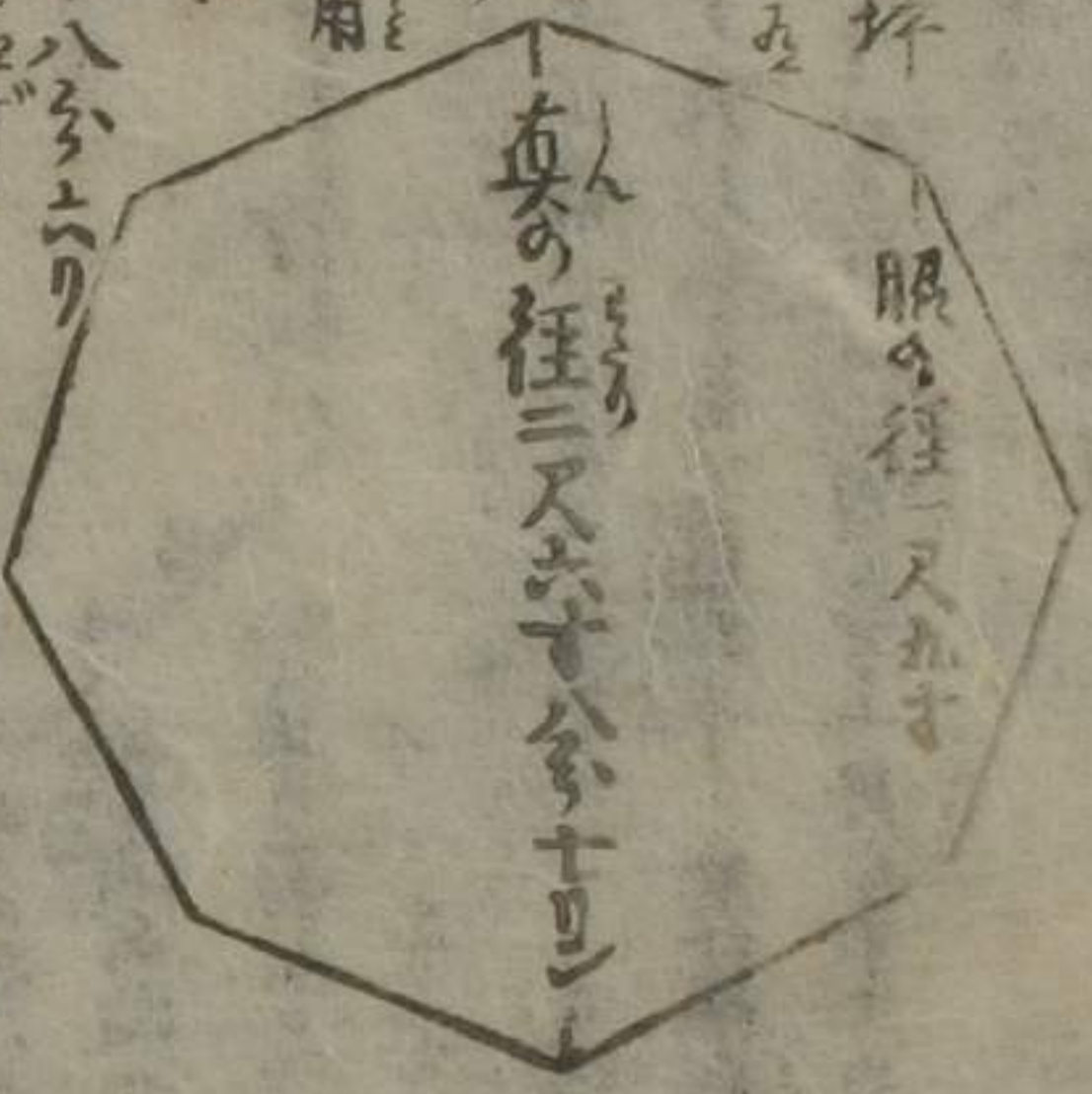
術曰先七丈引一時のりして五十五  
二丈をばて三十五と五又五丈引れば  
一丈をばて十五と五をばて五の上二十をば  
加へ又三丈引れば十と五と五と五と五と  
又右五丈を文の上の百四十を加へ三口合して百  
九十を文あり是を百五と五と五と五と五と  
とをばて一有り内ありを引ば及ぶと二口合

世四 油をりくる法

油を平を二入とかけあはれ三升掛と七升掛  
あて日分先三升掛と三升掛と七升掛と  
七升掛と三升掛と三升掛と七升掛と  
七升掛と三升掛と三升掛と七升掛と  
七升掛と三升掛と三升掛と七升掛と  
掛へ入扱三升掛と三升掛と七升掛と



おしもふまろ法ありたしとてふふ八  
角の物あり一寸四方の坪は八  
又二日  
五百十坪  
五三三

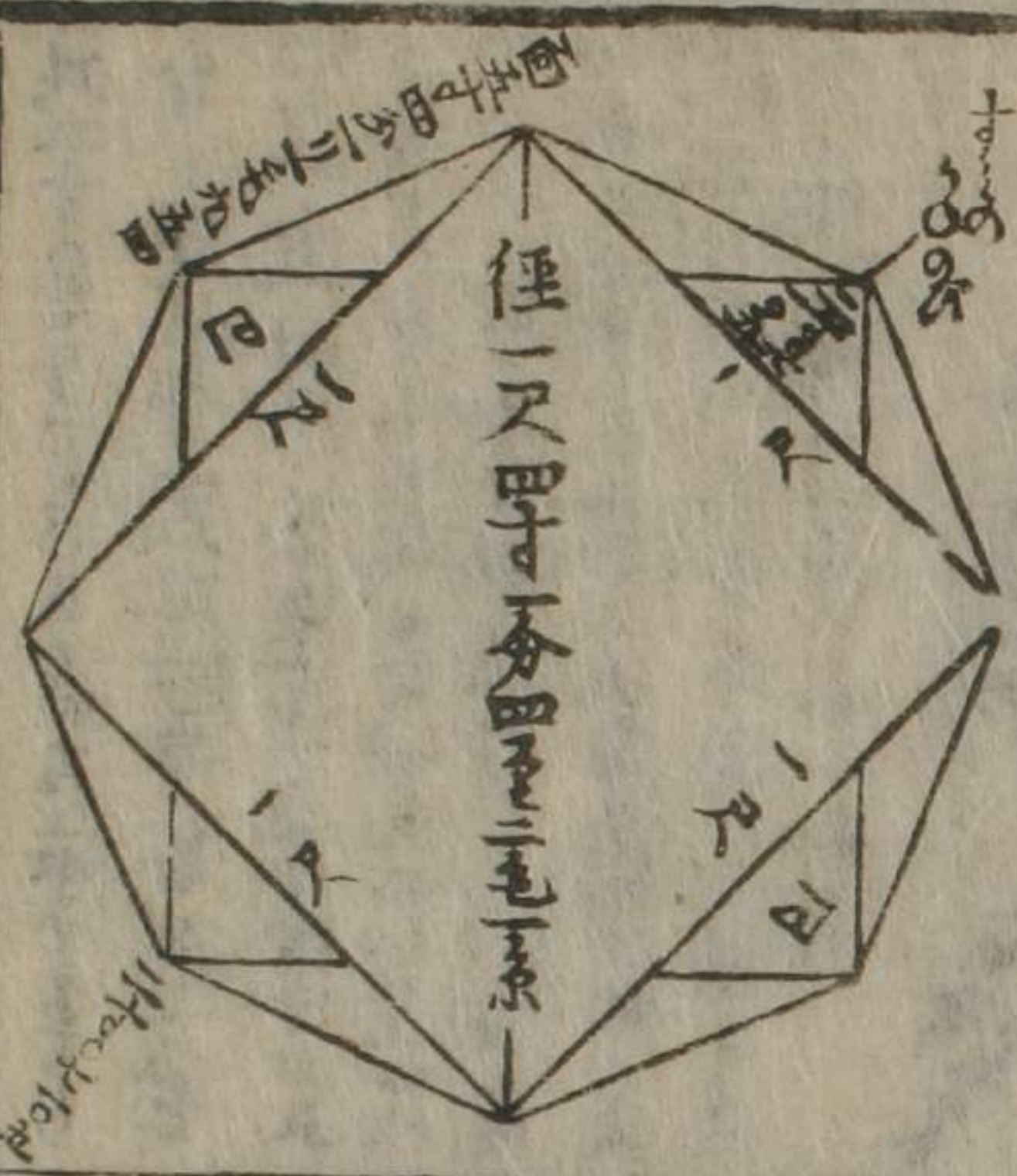


術曰  
先八角の  
角より角  
をさげぬ  
二又二寸八分六厘  
あり又隅角をさす一尺九寸を右  
の二又二寸八分六厘をかかれ坪数を  
又八角のま二又二寸八分六厘を左右  
ふかれうけ合し一四四二一で二も  
はしりぬ  
又平より五の徑をわけ合して二  
の七一をけりぬ

平より平への指し一とてふふ  
又面のすふ二六三二二をかれ角の  
角すの指し一とてふふ

○八角法四八二八四の起

八角をさす角二又二寸八分六厘の  
のひにすふに二も一とあり  
を二つ別を二寸七リ一毛五ツ



世五 驛を等分小糸法

六里の道に一人と  
馬三足ふふ合を

一人一人前  
何程かまを向

答曰一人前  
に里すつふ

術曰先  
一人二里ま

をさけり  
一八三里ま

かり一人に里ま

一人を初二里ま

ありと末に里ま

糸通を二里

をさけり一人ま

三里ありま

通二里のり

かり一人

に里あり

末一里まを

通をかりに里

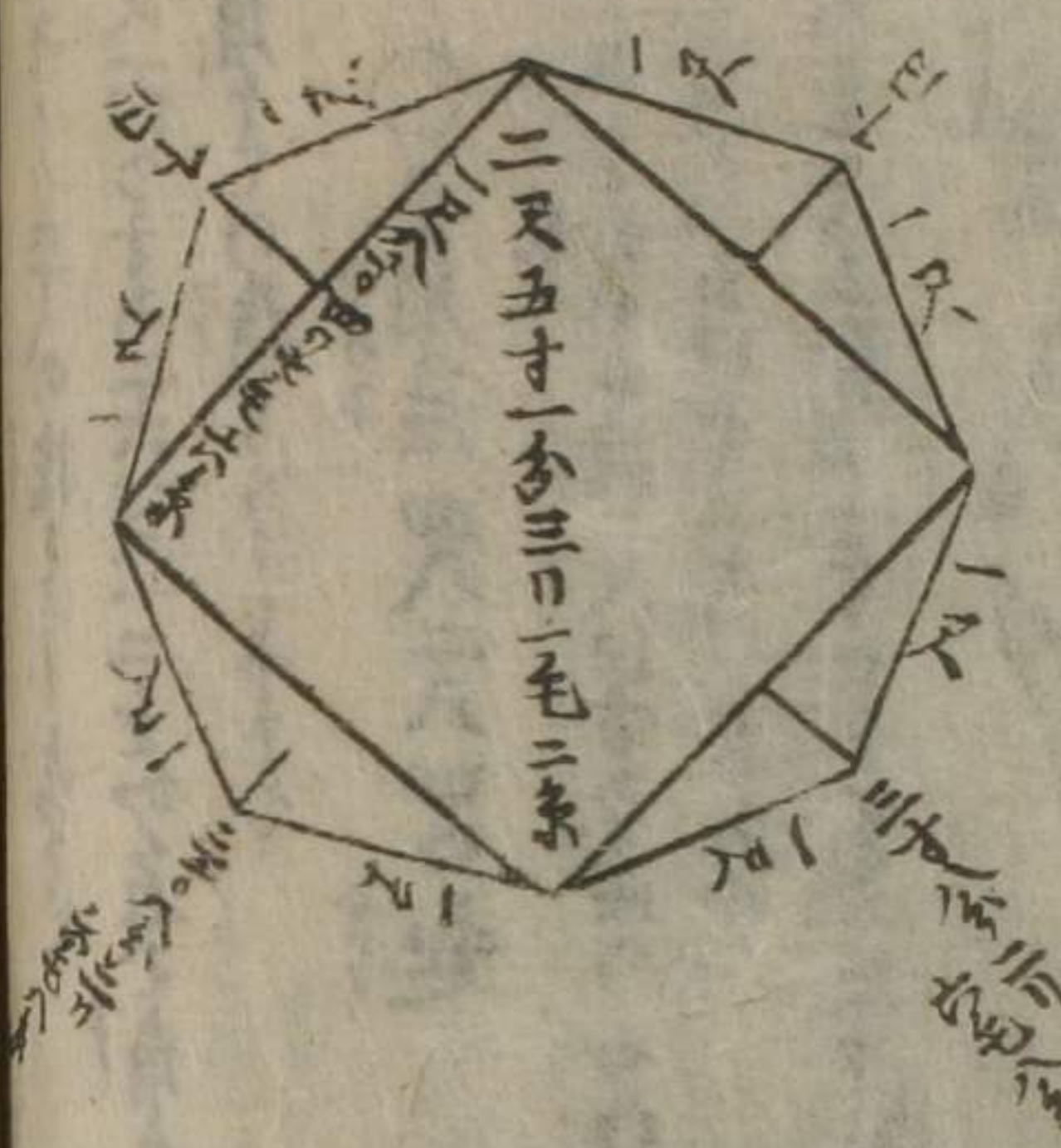
かり一人あり

此術は道より里小馬

三足をかりを六十八里とて是をかり一人にかりを



此二寸のセリ一毛の五を左右に並べ  
 合し四二八九二四八一〇二五と又二尺を  
 ニつお刻五寸とぬきをけ合せ廿五  
 とぬきを右の上へ入る廿九二八九二四八  
 一〇二五とぬきを平法おひく時八角  
 の面五寸四分一厘一毛九糸五にあら  
 法をひく時ぬきを右へ入ると面を又  
 の八角をはくる左のぬきの如し



三人前に里半つのおあつて又此に里半を馬乃致  
 三つてこれ一里半つのおあつて又此に里半を馬乃致  
 ○三里の道を三人と馬二足お解つてあつて  
 三人前二里つて一人と二里のうと末一里あつて一人ハ一  
 里あつて中一里あつて又末一里を一人と一里半  
 り末二里を一人たり

世六

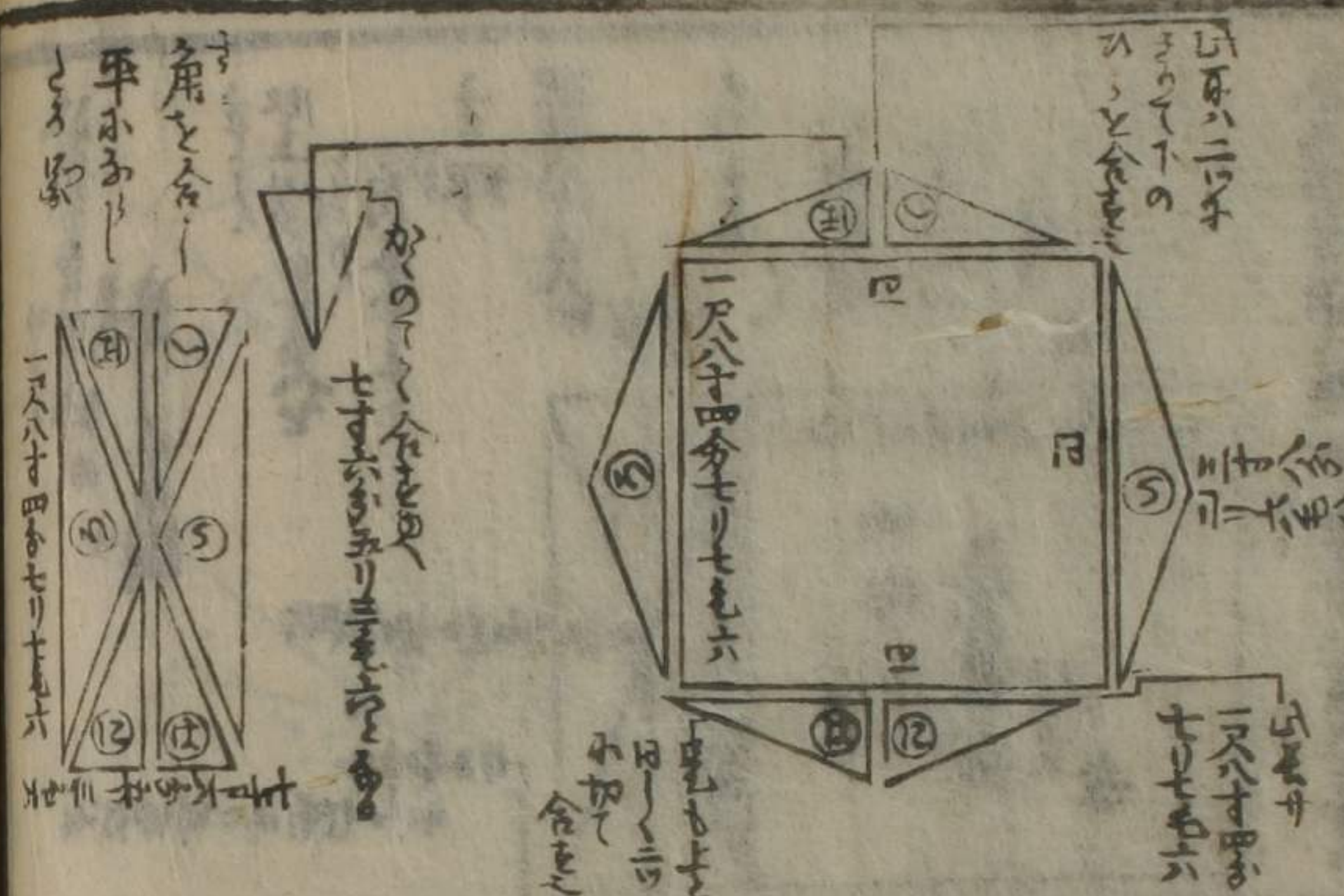
結を分る末致を分て人数を知法

或人橋の上を通り橋の下まで盗人の結を分る  
 を中八及つて分る七及たむ七及つてこれを  
 八及あつてつて結数をひく盗人何人と問  
 答曰 結百三十三及 盗人十五人なり  
 術と曰七及八及を加て十五是盗人の數之十五人ハ  
 七及をひくれば百五及之是ハ八及を加ゆれば  
 結數百三十三及とあつて

八角を平坪の  
 堅横の寸尺を  
 自乗して  
 寸坪  
 四百八十二四  
 尾を分  
 八角の法  
 四八二八四の  
 尾を分  
 此坪  
 三百五十一坪  
 尾を分

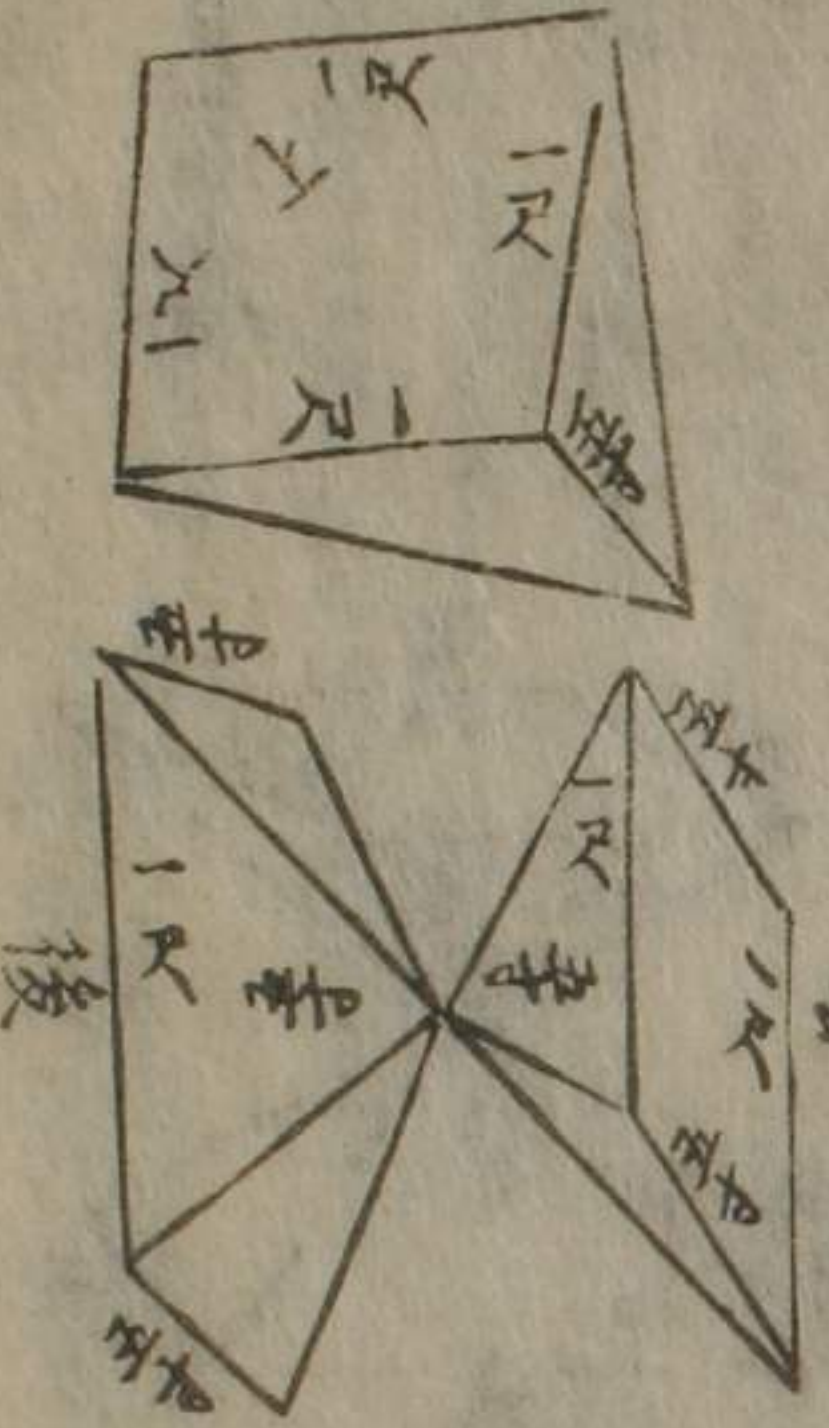


八角と切りかき 平小なる図



○海統の法解

海統の法乃起ハ二尺方源サ五寸  
の海統を敷六ツを以て口内面めて  
六ツの底二尺合と一尺に方一面の  
の二尺に必是を海統の源五寸ある  
文に二尺より二ツ小刻ハ二尺に方  
五寸の海統を敷六ツを以て口内面  
一尺方合と一尺に方一面の源五寸  
海統三ツ割ハ二ツの厚まれば  
海統三破図



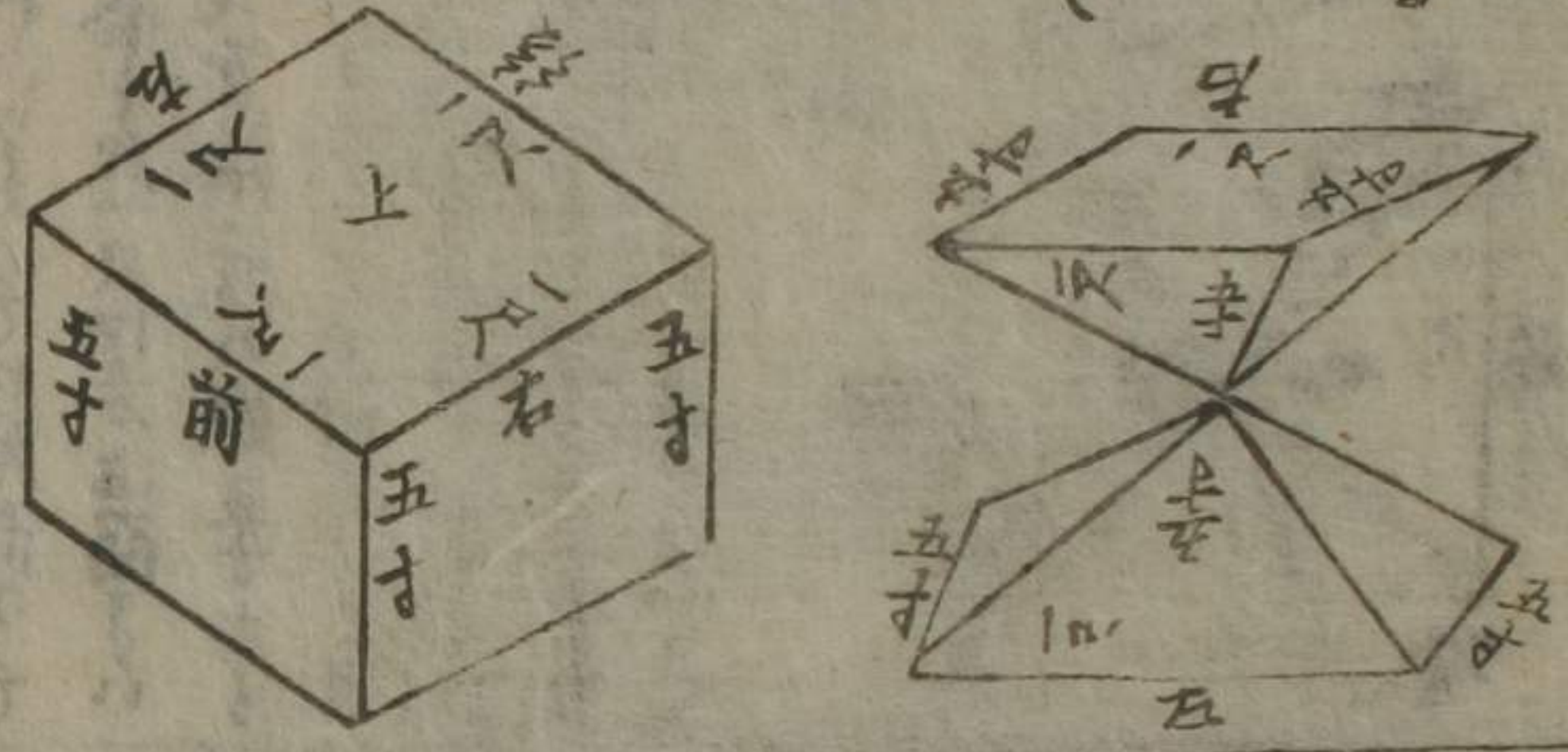
世七 緒物日小一倍の積

○錢一文を三十日間日々小一倍増おし七八日  
何程小なるかと同  
答曰 五拾三万六千八百七拾貫九百十二文  
右ハ丁錢方九六六千八百七拾貫九百十二文  
十九貫六百廿五文ありて二口合して五拾五万九千  
二百四十貫五百三十二文と必なり

○米一石を三十日間日々小一倍増おし七八日  
何程小なるかと同  
答曰 五万三千六百八十七万九百十二石  
右ハ外小六万粒入法より小しと外數八十九石に  
斗七升八合に夕八斗五升三圭八粟と  
○大豆一石を三十日間日々小一倍増おし七八日  
何程小なるかと同  
答曰 粒數を米と同日かり但し大豆一升小  
付て五千粒入法を以てと外數  
千七拾三石七斗二升八合八勺二勺に粒小なる

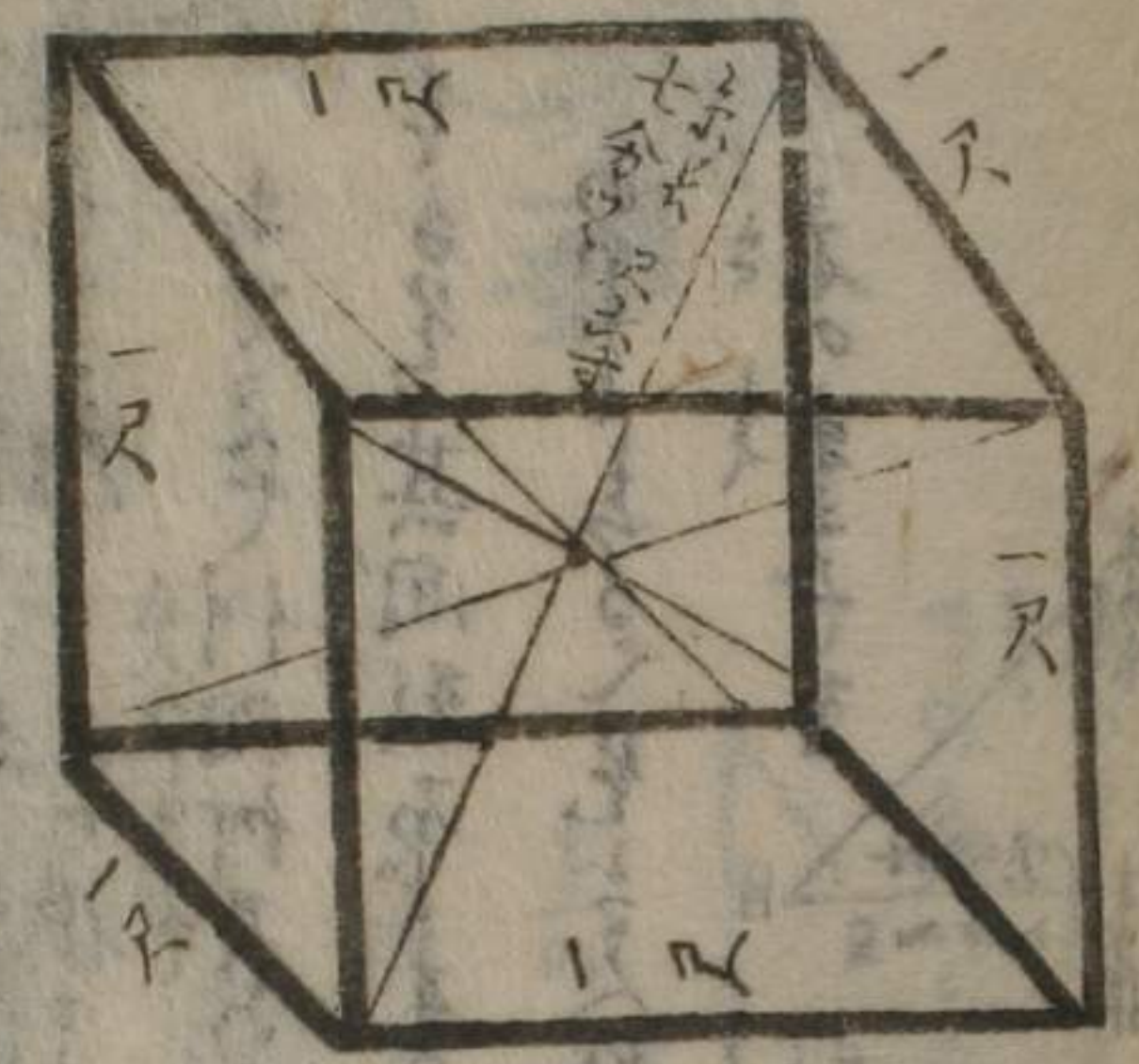
○女子一粒を三十日間日々小一倍増おし七八日  
何程小なるかと同  
答曰 粒數を米と同日かり但し大豆一升小  
付て五千粒入法を以てと外數  
千七拾三石七斗二升八合八勺二勺に粒小なる  
と日かり但し女子一升小付四百粒入法を以て  
と外數一石三斗二升二合一斗七升八粟と  
術小曰右日倍増の法を一粒を八算の五の段にて  
三十日なれば三十度五十日なれば五十度刻を以て  
又一升小に百万粒入と以て一升小女子一粒は  
一と一才に方小六方に千粒入り一升小一才に方  
六十二才合小右六方に千粒小六十二才を以て  
百万粒入と考ふなり

又口の廣サを  
左右にあけて  
わけはじこれに  
係サを倍して  
うけはつ六ツお  
とれ八様敷  
まゝにこれ  
海統の起く



又口を方小せたり付合し又係サと係  
三三三三をうけはじこれに係りて是は六  
面の積は八様の三三三の積

海統の理明圖



左の如く細糸をとりて  
一尺六面はつたに角小糸をつけ一尺  
二寸七寸半のむす下のに角小糸をつけ  
糸を中めてはむすの糸はあ  
底のどかりとありて海統六ツを  
あきさうか小糸ゆる此理をとつて  
左の介緒法に起へ奥の所を記す

世町積の法



川向入より其人の  
丈五尺かり人のまてあ  
所まで町間何程あると問  
答曰三町四十七間二尺七寸四分一厘六四  
右町をばら法ハ三寸むすろの小長サ二尺一寸七  
糸ははけて糸を口かまてむすの人の丈を又るに  
ちめて八を小糸ゆる此八尺八寸三厘二厘八分

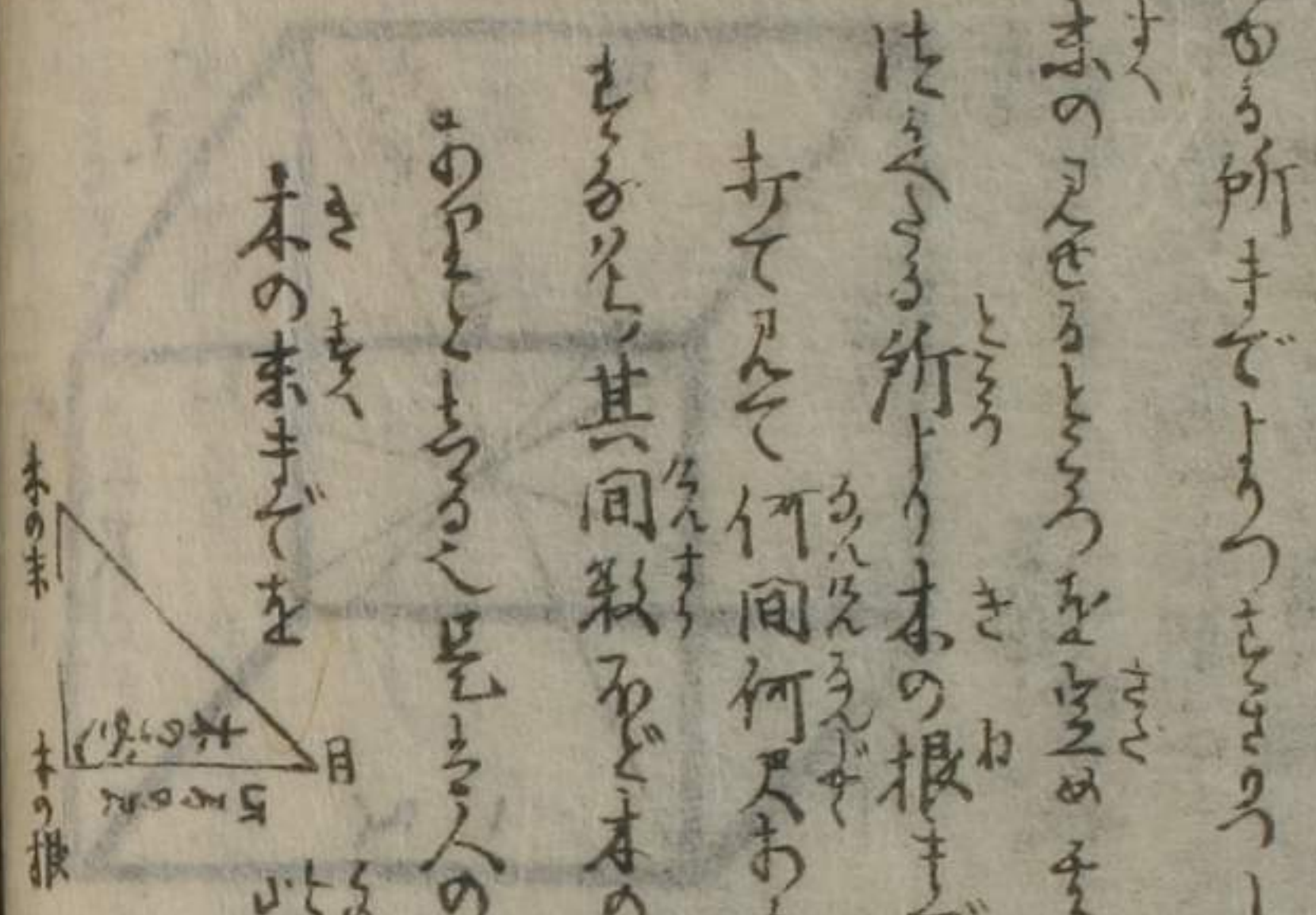
ある是ちて人の丈五尺をよれを二百八回二  
ある此三三六五をよけて二尺一寸六分四厘五  
とむす合して尺百八間二尺七寸四分一厘五  
をます所の法は千回をよれむ  
三町四十七間二尺七寸四分一厘二四  
ありともむすかり



世九 木の間に積る法

山賤あぶりの木をほころハ図のてう  
地おひをつく内股より木の末に

見ゆる所までよりつをさうして木の  
末の足せるところを定ぬさうも成  
はえさう所より木の根まで間の  
おてんて何回何尺あると足さぬ  
もさる其間敷を木のよ  
のりともあると足さぬ人の目を地おひ  
木の末までを  
此てく角おんつり  
木をさとして間敷を  
あうユウなり



又法小紙を四角お折又それを角より折  
下の角、糸を小石ををさうとさうおつけ

上の角まで通して木の末を足さぬ其後我居  
折り木の根まで何回折をさし七回あらを我身の  
居りおを木間へさして木の末サ七回あらを我身の  
法もあふなり

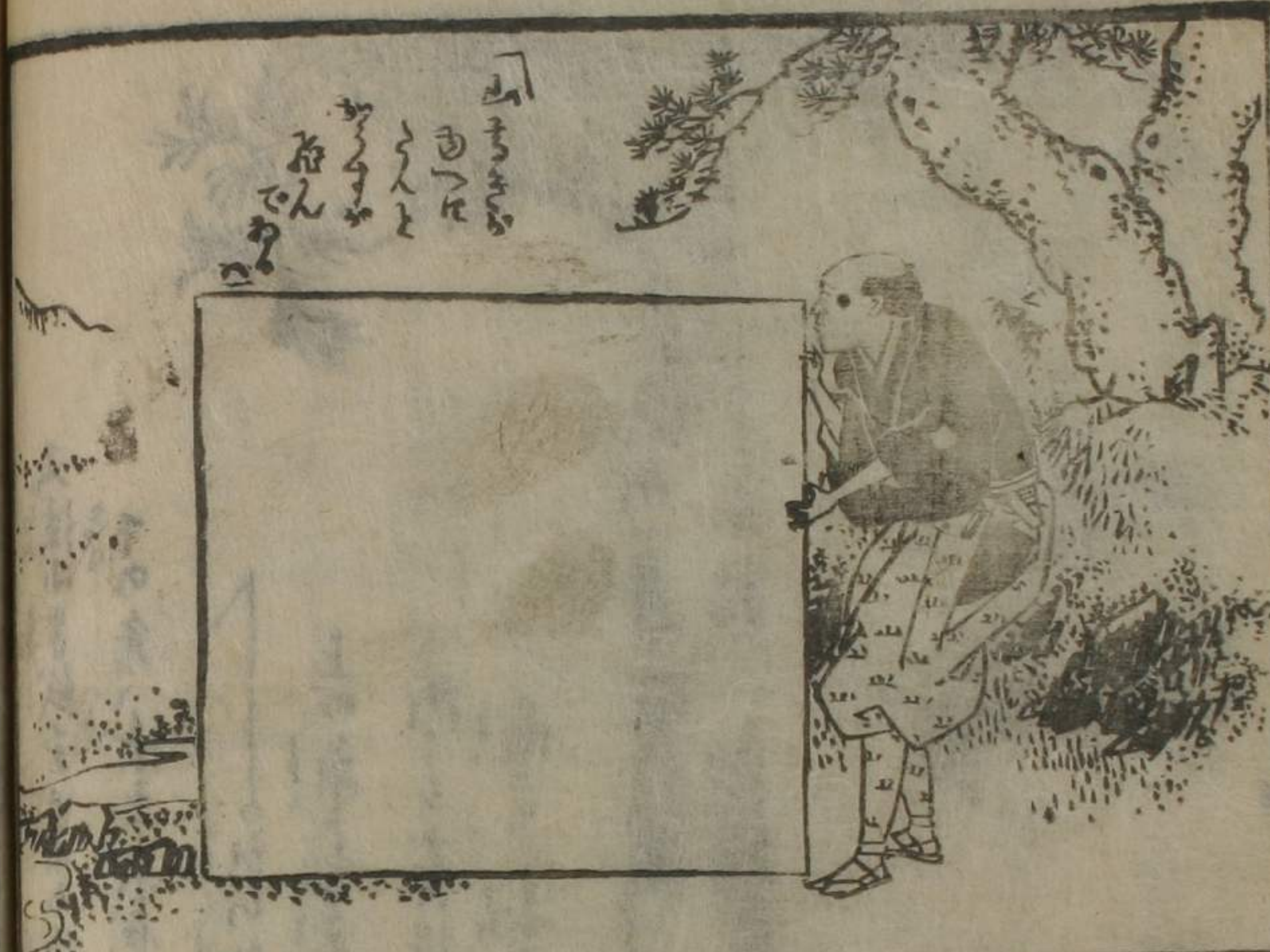
木の末  
木の根  
目  
此てく角おんつり  
木をさとして間敷を  
あうユウなり



山の高さを知る法

五十二

板を所より百間取りどけて又左のどく  
 板をとりて右の角と中のさしの上  
 へと向の山の頂と三所をとりて  
 通を時き六分おろく板退れし百間  
 小初の八分と後の六分とをくれば四十  
 八間とあるは六尺をくれば十八丈八尺  
 と別ふ量又初の八分乃内後の六分を  
 引除てかあるは六尺の尺をくけて全  
 かる是中て左の或十八丈をくれば三十  
 六丈とあるは六尺の方尺をくれば  
 三十六丈に尺とあるは六尺  
 中てこれを山のさしと六尺に尺  
 ありとあるは



四十 山の高さを知る法  
 圖のどくか山あり高さをとるんと  
 ありひきし何程ありやと同  
 答曰 高計六間に尺  
 術小曰 尺に二尺の板を墨のさしに  
 ひくふ尺とつけおかげでなるさし  
 板の角と  
 中のさしの上  
 と又向の山の頂  
 と三所をとり  
 へ尺通を  
 板  
 尺

四十一 嵐箕の積

正月子嵐の父母は子成十二足を親とも  
 十に足てから此嵐二月の子も又子と  
 十二足は親とも九十八足となる  
 約のりし月小嵐親も子も孫も  
 産も十二足で産時十二月何程か  
 なるごと同 答曰 年中嵐の數



二百七拾六億八千二百五十七万に子に百二足  
 術曰嵐二足に七を十二度うれば去る  
 ○右の嵐一足に付一日小嵐五夕で食と死一日の入米千三百八十に万手二百八十七石二斗  
 を合へ○右の嵐尾のふれ付くを入庫する時海を渡ると七十八万八千六  
 百七十七里十二町八寸と尺一里ハ世ハ下を所ハ六十間一間ハ六尺五寸嵐八寸の積

四十二 田地換地之部

今圖の如く堅拾五間換二間の田境を歩殺を同



十五間 答曰 三拾步  
 一町ハ十五一及一十間一畝ハ三十步一歩ハ 六尺寺四万 歩の定法六五なり

圖の如く百貳拾間四方の田境を所殺を同



百二十間 答曰 一町八尺  
 術曰百二拾間を左右ふたれて自今同歩を力に  
 千に百歩と力を是を田の定法三とすれば  
 一町八尺と知く



隆九拾間横貳拾五間の田地乃反教を問

四十間  
九十間

答曰 七反五畝  
解曰 横貳拾五間を以て隆九拾間をうけ合し貳拾五間を以て田地を以て法三を以て割り

隆五拾間横拾五間貳尺二寸の田地の反教を問

答曰 貳反五畝二十歩

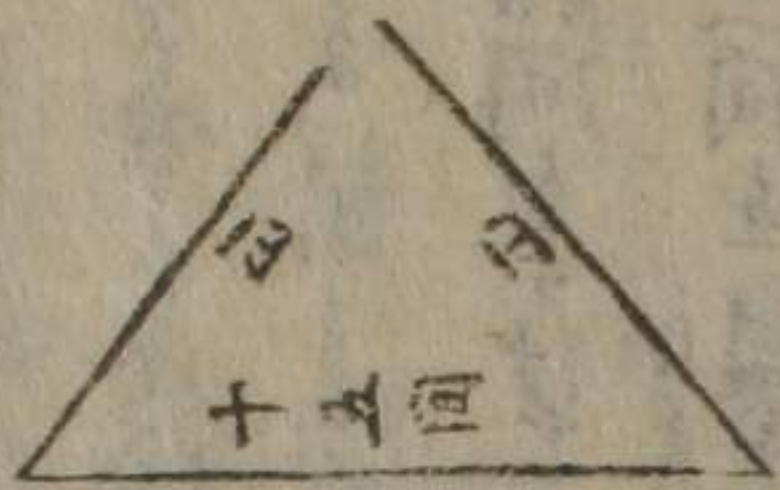
解曰 横拾五間を以て隆五拾間をうけ合し貳尺二寸を以て田地を以て法三を以て割り

隆五拾間三尺二寸五分横拾八間五尺二寸の田地の反教を問

答曰 三反一畝拾九歩二分

解曰 横拾八間五尺二寸を以て隆五拾間三尺二寸五分を以て田地を以て法三を以て割り

拾八間五尺二寸と申九五尺二寸并を六五畝割八畝合しと拾八間八歩り左右と



圖の如く三角の田地あり三方各拾五間と或畝ありと問

答曰 三畝七歩二分五厘

解曰 拾五間を以て自圍しと二二五と或是れ三角の定法に三三を以て九十七歩二分五厘を以て田地を以て法三を以て割り

圖の如く圓形の田あり直徑二拾間あり反教を問

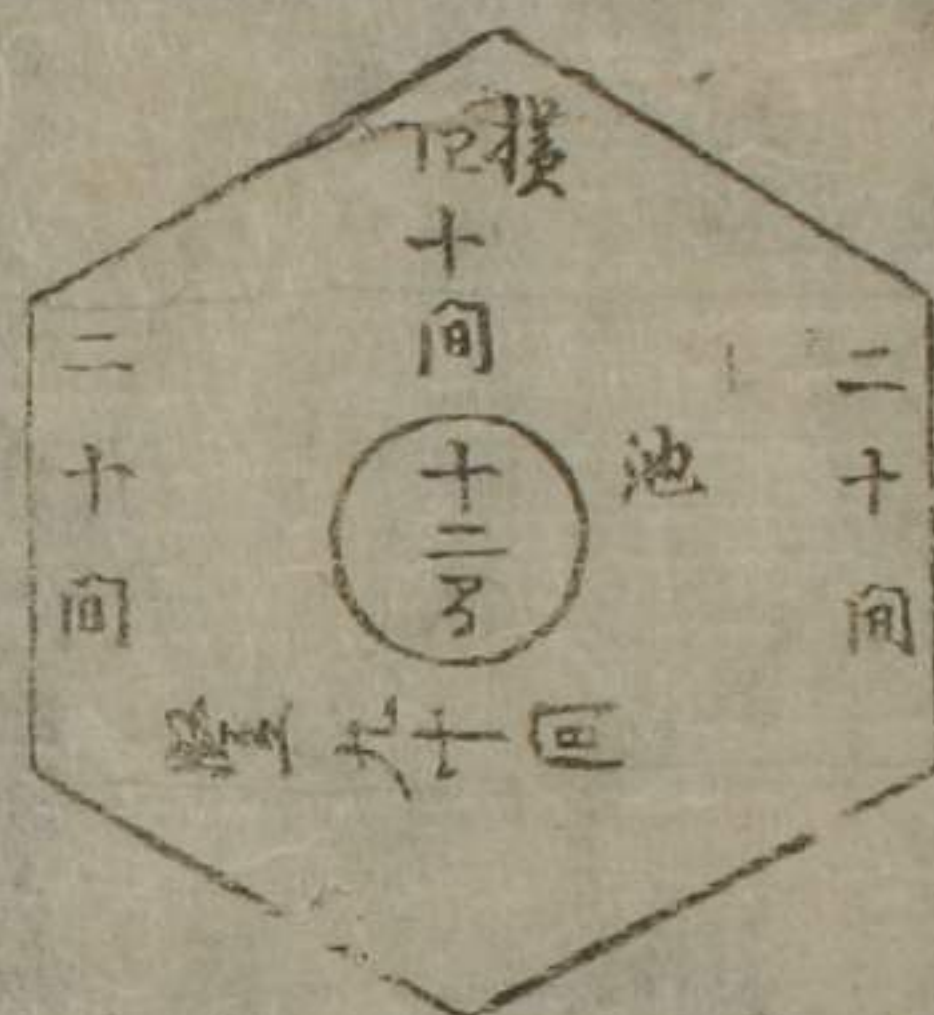
答曰 七反拾六歩

解曰 左右各拾間を以て自圍しと二百歩と申す是れ小圓の法七九を以て三百拾六歩と或是を以て法三を以て割り



又解曰 圓の周六拾三間貳分五厘二拾間を以て自圍しと貳百六拾間と申す是れ大圓の法七九を以て三百拾六歩と或是を以て法三を以て割り

今園の如丸田あり中の池を除く



及敷を問  
答曰  
八及六畝六歩  
二分に重

綿田中に拾間を倍して八拾間四方二十  
間を合して拾間双方合して百二十間之  
是を以て小口して三拾間之是を以て  
九拾間を以て式子七百歩之是を以て  
拾二間を以て式子七百歩之是を以て  
用法七九を以て百十三歩七を以て  
是を以て小口して三拾間之是を以て

図の如丸卵形の田あり及敷を問



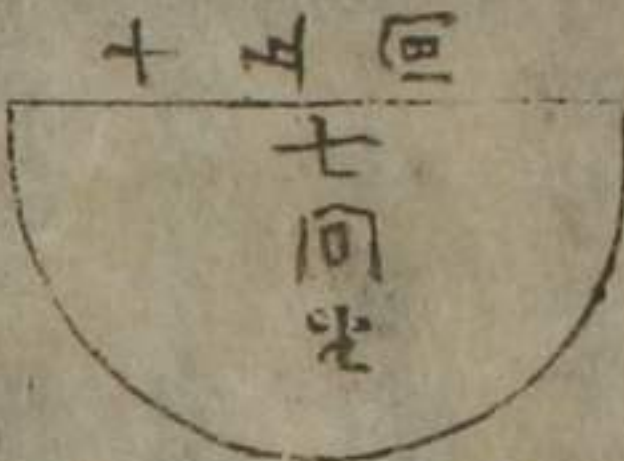
答曰  
一畝及二畝拾八歩八分  
綿田堅三拾間の内横  
十間引残十六間あり  
是を以て横十間を以て

式百二拾に歩之別十に間を以て  
合して百九十六歩之是を以て法七九を  
以て百五拾に歩八分を以て是を  
式百二十に歩小加て三百七拾八歩八分  
に重なり是を以て法三を以て割なり

算法百四



直徑拾五間の半圓田ありて畝取むと問



答曰 畝取拾八歩八分七厘五毛

辨曰 拾五間半七間半を自乘し百拾貳歩五分と如き小田法  
七九を余て八拾八歩八分七厘五毛なるを田法三と割り

半圓形の田ありて半徑拾間横貳拾貳間ありて畝取むと問



答曰 畝取貳拾貳間

辨曰 半徑拾間小横拾貳間自乘し八百八拾歩と如き  
を二小割に百に十歩と如きを田法三と割り

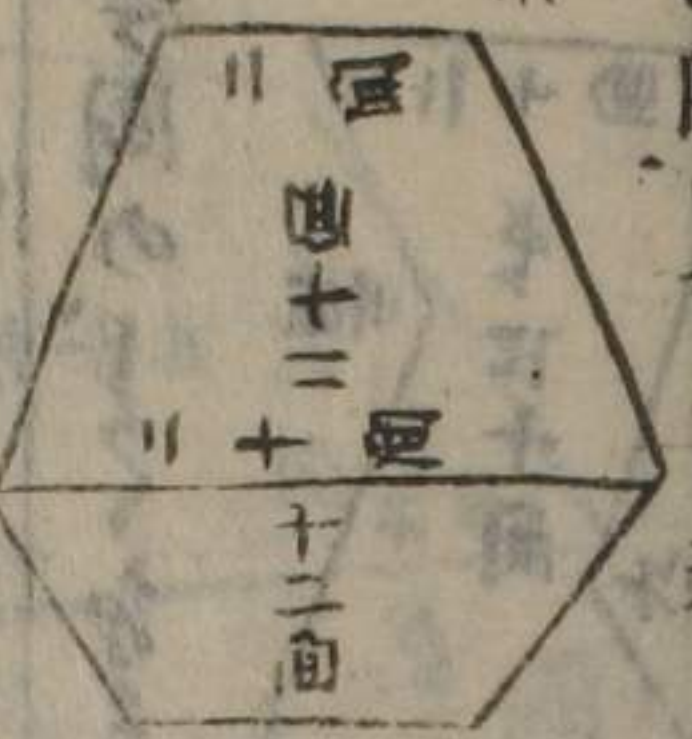
今勾股田ありて半徑五拾小徑拾間横拾間ありて畝取むと問



答曰 畝取

辨曰 拾間小三拾間を自乘し折半して六百歩と如き  
を田法三と割り

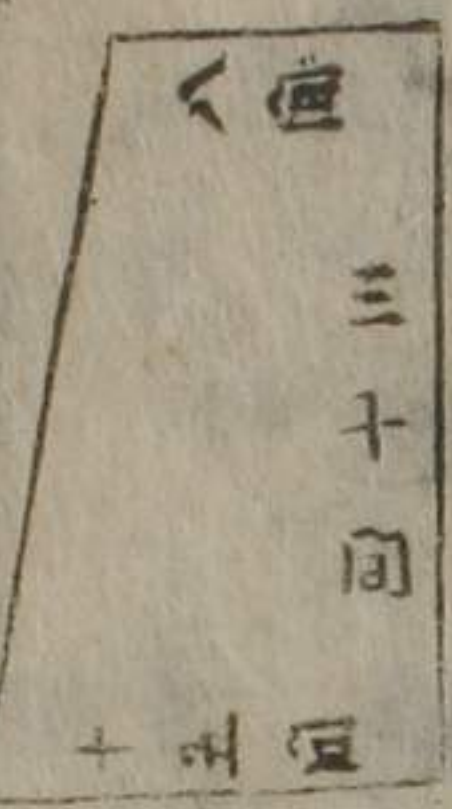
今圓の如き田地ありて畝取むと問



答曰 畝取

辨曰 九間小徑拾間を如く折半して拾五歩と如き小十二間を  
割て百七拾貳歩と如き別小徑拾間小二間を如く折半して十歩と  
如き小徑拾間を自乘し二拾歩と如き二拾歩と二拾九拾貳歩と如き  
田法三と割り

今半圓三拾間ありて畝取むと問



答曰 畝取

辨曰 横拾五間と八間を如く折半して二十三間と成折半して拾二間半  
を自乘し三百に拾五歩と如きを田法三と割り

今圓の如き田地ありて畝取むと問



答曰 畝取

辨曰 二拾六間小六間を如く折半して拾六間

あつて是れ小三拾貳間を系五百拾貳歩と別小拾三間小六間を加へ十九間  
折半して九間半と是れ小十九間を系百八拾歩五分と別二口合して  
六百九拾二歩五分と成るは田法三とて割る

今地紙形の田地あり間敷圖の如し及敷を問



答曰 是れ及九畝十五歩  
納曰 拾間小三拾間を加へ九拾間小成折半して拾五間と是れ  
拾三間を系五百八拾五歩と成る  
是れ田法三とて割るを知る

今周のいづくなる田地あり及敷を問

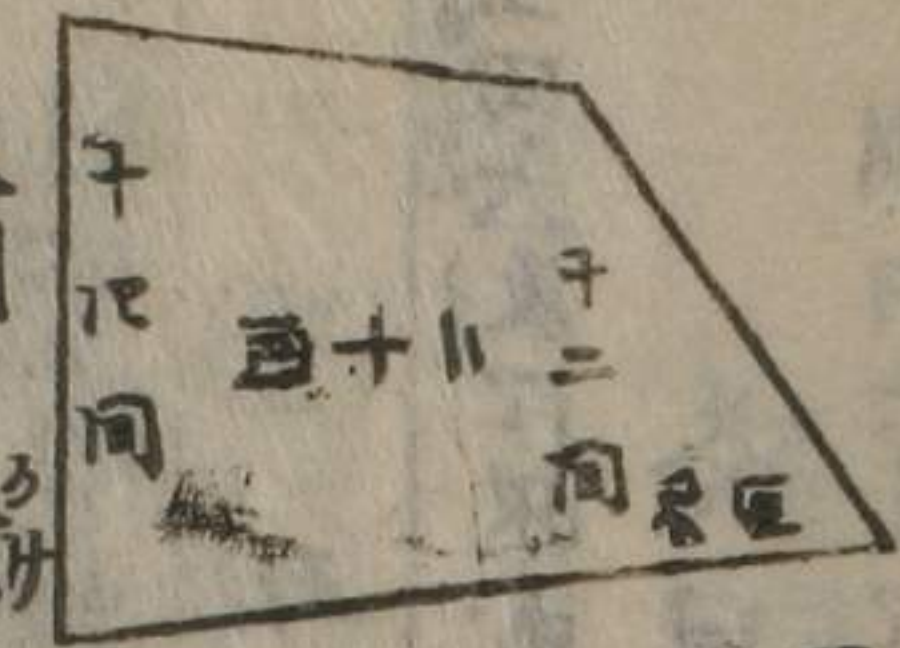


答曰 是れ及二十歩

納曰 拾間小廿間を系して八百歩と成別三間と六間と拾  
九間を折半して四間半と成是れ小拾間を系して八百歩と成

是れ是れ八歩歩の内を刀積六百三十歩と成是れ田法三とて割る

圖の如し田地あり及敷を問



九間を系して五十は歩と成右二口合し三百拾は歩を田法三とて割る

堅九拾二間を尺三寸横に拾五間尺六寸の田地あり及敷を問

横に十五間二寸五分

答曰 是れ町三及九畝拾五歩八分八厘

納曰 堅九拾二間を尺三寸と成九拾貳間半小五寸  
四寸五拾九丈八尺と成是れ尺三寸を加へ五拾九丈九尺三寸  
あり別小に拾五間尺六寸と成尺六寸半を六寸五  
分と割に拾五間尺六寸と成是れ小五拾九丈九尺三寸と成

算術

二七二〇八二二と如き法を法に六五五を引れば百八拾五歩八分八厘二二割二  
分三拾五寸五尺横三尺五寸五分の田地の量何程と問

答曰 三十二丈五尺

答曰 貳拾五歩

解曰 壹三拾貳丈五尺小横三尺二寸五分を丹一〇五六三五と如き平歩  
の法に二二五を割たり

○右貳拾の歩結壹尺横間又壹堅間横尺を以ても其字の自宗一〇  
法六五五を割て一〇又堅横とも小尺のより六平歩の法に二二五を割く

(四) 田地高上中下斗代付之部

上田六反に取貳拾五歩五斗代壹及付壹石五斗之石を問

答曰 九石五斗八合

解曰 六反に取廿五歩と如き斗代壹石五斗を田法三二五を引れば七斗八合と

上田九反三畝貳拾五歩の量拾石五斗五合あり斗代一及付何程と問

答曰 壹及付 壹石五斗代

解曰 九反三畝廿五歩と如き斗代壹石五斗を田法三二五を引れば九反三畝  
七斗八合を法に拾石五斗五合を割たり

上田壹反八畝貳拾八歩五斗あり一及付斗代壹石貳斗貳寸何程と問

答曰 貳石二斗七升四合

解曰 壹反八畝廿八歩五斗と如き二八歩五斗を三二五を割れば壹反八畝九五  
斗八合を法に拾石五斗五合を割たり

上田貳拾五歩あり壹及付壹石五斗と何程と問

答曰 壹斗貳升五合

解曰 貳拾五歩と如き壹斗貳升五合を法に拾石五斗を割れば

算術

中田あり分年七石九斗貳升は合あり及付斗代七石四斗貳升  
て及殺何程と問

答曰 五及六取拾八斗

納曰七石九斗貳升は合と並是を斗代七石四斗貳升と割五及六取  
たり此六とより二斗五升拾八斗と志るなり

知行物成と部

高拾六斗石あり六斗九分取ふと物成を問

答曰 拾斗万〇に百石

納曰拾六斗石を美小おれ六斗九分をせり

物成を拾斗万〇に百石あり取六斗九分をせり何程と問

答曰 拾斗万石

物成を拾斗万〇に百石あり取六斗九分をせり何程と問

答曰 三斗三百拾貳石

納曰物成を拾斗万〇に百石あり三斗をせり

納斗を拾斗万〇に百石あり付三斗はどの口米とも何程と問

答曰 拾斗万二千七百拾貳石

納曰拾斗万〇に百石あり三斗をせり

本米は米も小拾斗万二千七百拾貳石あり付三斗の口米も何程と問

答曰 本米拾斗万〇に百石  
口米三千三百拾二石

納曰拾斗万二千七百拾貳石とせり石と升もこれに本米の口米  
は拾斗万二千七百拾貳石の内中本米を引と残口米なり

手拾六万石あり此物成拾壹万〇二百石ハワツ取ありと問

答曰 六ツ九分取

綱曰物成拾壹万〇二百石を言拾六万石を割方

手拾六万石ある物成拾壹万〇二百石何換ありと問

答曰 三換を分

綱曰拾六万石の物成拾壹万〇二百石引物に万六千五百石ありと問

拾六万石を何換あり

物成拾壹万〇二百石あり石付に米二升と米六升と米三升の言を問

答曰 米合九子九百二拾六石

綱曰拾壹万〇二百石ハ米合と九升を割方

物成拾壹万〇二百石あり石付に米二升と米六升と米三升の言を問

答曰 六子六百貳拾六石

綱曰拾壹万〇二百石ハ六升を割方

物成拾壹万〇二百石あり何換ありと問

答曰 本米合拾貳万〇二百拾六石

綱曰物成拾壹万〇二百石と並本米を石と米三升と米六升と三

合と米九升を石の言を割方

〇右本米を問を 米九升と割之〇米三升合せり本米を問

九升と割方〇米三升とも米九升を問を米三升の言ハ三

升を米九升を割之〇米三升を問を米三升の言ハ三

四 年貢納方之部

今米貢米八石六斗七升あり此内と石付に米貳升と米納

答曰 納言 八石五斗

納言 八石六斗七升を石二升割之  
銀納言 貢六百七拾五石納言 付一石付  
五拾五分五分中ては銀五拾五分付  
納言 石を同

答曰 貳拾六石四斗七升 五斗八升

納言 六百七拾五石を石二拾五石に銀  
五分二升を加貳拾五石五分五分は是と  
法中て右の銀を割なり

答曰 五百拾五石五分五分を銀  
銀拾六石八斗五升定納言 石二付三拾  
五分五分一石銀拾六石五分五分納言 同

納言 拾六石八斗五升と量是石二斗七升七石五分八斗七合五分  
是小銀三拾用を要するなり

言子五百石也此物成六百五拾石八斗五升六合之箇東村は七斗西  
村三斗九分也と東村の取言何程はと問

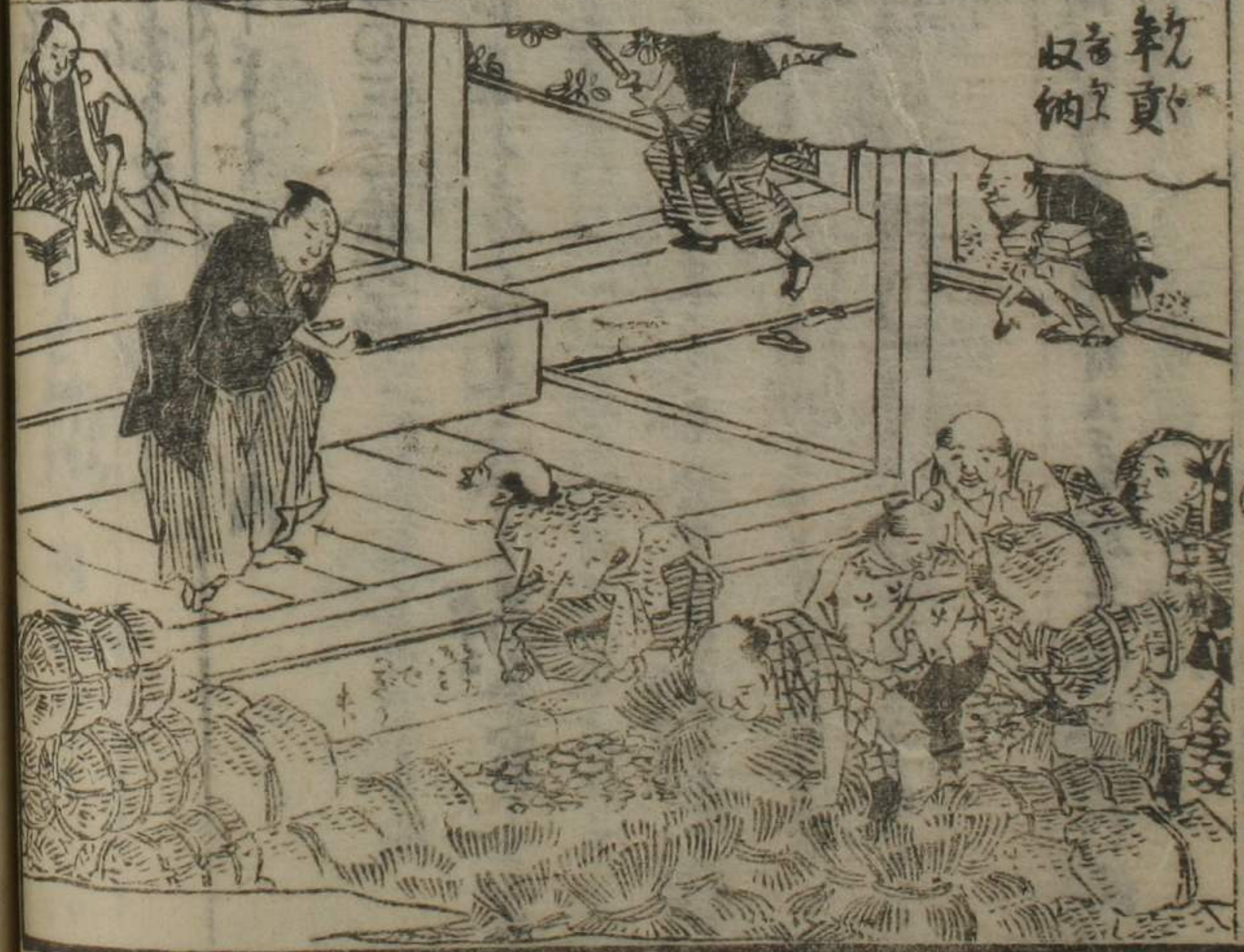
東村 言八百三拾五石七斗  
物成言三百九拾貳石七斗七升九合

西村 言六百六拾石二斗  
物成言貳百五拾九石七斗七合

納言 言言子五百石三斗九分を割け五百八拾五石五分也此物成六百五拾石  
石八斗五升六合の内を引張六拾六石八斗五升六合也言是を引七斗の  
内三斗九分引張八斗是を法中て右の残銀を言

今村言言上中下也此物成付貳分下中下也物成言五百石  
上村言貳百石 中村言百七拾石 下村言百三拾石  
右物成言五百石内免九拾石引張物成百拾石是を上中下付貳分

納言 納





右村百石付義成ありと同

上村百石

物成百六拾七石に年日升

八分三厘七毫二毛

答曰

中村百七拾石

物成百三拾八石九年貳斗四合

八分三厘七毫二毛

下村百世石

物成百三石六年三斗六合

八分九厘七毫二毛

綱曰中村百七拾石二分をけて三石に年日又下村百一拾石二分を俵と  
尺分をけ五石貳斗に二分合一と八石六年と米量に百拾石小如に百拾  
八石六斗を五石とてより上村八分三分七厘貳毛と志多之次と八分三厘  
五毛貳斗五拾石皆畑と上中下此上中下永何程と同

上畠拾石貳斗五合五厘十五歩

此永拾九母貝百三拾三又五分

中畠八町五反貳拾七歩

此永拾七費九百九又八分

下畠五町貳反貳拾七歩

此永貳費六百廿又

綱曰一畑拾七町貳反五畝十五歩と並拾五歩年二刻十町貳反  
五畝五町貳反百七拾七又を多る中下も此畑と同

右永続八百又が銀六又六分

寺貫又六六拾六又 寺貫五 百 又八三 拾 三 自 二 歩 代

貳百五拾六拾六又五分 寺貫代 百八拾七又半八拾二又三分七厘五毫 三 歩 代

百貳拾五又八又貳分五厘 二 歩 代 六拾貳又半八分一分二厘五毫 一 歩 代

今永続貳費五百貳拾五又あり金と何程と同

詳法圖詳

答曰 去兩武歩一銀を六分五厘

綱曰 武歩五尺五寸を武歩の定法二十五寸に換ふに拾分五厘と  
なる此拾分五厘を以て刻む武歩二歩に換残るふを武歩の代銀拾  
六分五厘をうけるなり

置 儀 枚 形 算 之 部

枚 採 の 儀 下 採 八 儀 箇 里 去 儀 之 懸 儀 枚 之 同

答曰 三拾二儀

綱曰 左右八儀を置左一儀加  
九儀とす是を右の八儀に合し  
七拾二儀とす是を二刻す

下 採 拾 五 儀 箇 里 五 儀 の  
枚 採 の 懸 儀 枚 之 同

答曰 百拾儀

綱曰 左右十五儀を置右一  
儀加十六儀とす此箇里を  
五儀引殊拾を儀に採左  
五儀加二十儀とす左右去  
合して武百廿儀とす是を三  
分刻す

綱曰 八百八拾儀ありの箇七儀  
の枚採ありて下採を以て箇里  
何儀と問

答曰 上箇 六に儀  
下採 三十儀



綱曰下七儀より枚形の儀数を去れむ二十八儀之是へ百八拾九儀を加  
或百十七儀と必是を上至七儀を去れむ世を儀と必是を左に  
左の方を儀引三拾儀是下より又右の方世を儀の内より上より七儀と  
引む世に儀と必是は田の儀数なり

枚併の上下併三拾儀上至八儀之物儀数を同

答曰 或百拾二儀

綱曰二十儀を儀加へ三拾を儀へ此内上至八儀引或拾三儀  
と必是より上至三拾儀加へ五十三儀之是より上至八儀をより百廿  
二儀と必是を折すてあるなり

米の儀枚併よりより三十に儀上の通り下の撮并と或儀何と同

答曰 上田 十或儀 下併 已拾五儀 或三十を儀

綱曰上至三十に儀の内を儀引余上Fの或三十三儀より儀引  
或の儀を上至三拾に儀して何儀の位を割り偶方を偶より  
是よりこれを奇小割今の形は奇奇なれを奇小割五拾七儀と或  
六十或とたる或三十三儀を加へ各二小割下の併に拾五儀と或三  
十一儀下の併の内より三十三儀引む拾二儀或は是上の田より  
米百九拾儀あり枚併より下併何儀と同

答曰 下併拾九儀

綱曰百八拾儀を倍して三百八拾儀となる是を帯綴同平除く

①六 演出運賃の部

今米ありと里の距離を石付六分と定め或里五里八里三所(送  
る右送儀等分して)八里より何往つ送るかと同

答曰 或里 米三百三石三斗二升 送儀三百六拾三石六斗三升六毛

五里

年一白八十石を二里一升二合一匁三釐  
陸奥二一六拾二匁六分三釐六毛

八里

年七拾五石七升五升七合五匁七釐  
陸奥二一六拾二匁六分三釐六毛

納日石を石を二里一割を五之〇又石を五里一割を二之〇又石を八  
里一割を二五之〇二に合して八二五と必是中五五石を日りに(金六六六六)  
六と必是五五をくけて二里の米多之〇又二里をくれば五里の米多之〇一二五を  
くれば八里の米多之〇陸奥二里をくれば二里をくれば二里をくれば二里をくれば二里を  
年九拾石あり 船賃石付六升あり九拾石の内中 陸奥を年を年同

答曰 五石九升に合 二匁に力

納日九拾石を六升をくけ五に必是を石六升をくけり

答曰 八拾石九年五合六匁二匁

納日九拾石を石六升をくけり

四七 依物藏小積部

去藏間二間真行九間五分廿八間あり  
合して三十六坪あり 依何往入と同

答曰 貳千五百九拾二俵

納日三拾六坪小定法七拾二俵を

うけり〇或は坪小六拾二俵を  
の法もあり此積り同八石を藏小

入禾 貳千貳百五拾俵を

納日一理小三拾六坪小六拾二俵をうけり



間は三間無<sup>おのれ</sup>り拾二間<sup>か</sup>三間の<sup>ま</sup>藏<sup>ち</sup>の  
米俵の入数を問

答曰 比子百貳拾五俵

粥曰三間小拾壹間を<sup>ま</sup>余令<sup>か</sup>て  
三拾三坪<sup>ち</sup>之<sup>ち</sup>是<sup>ち</sup>小<sup>ち</sup>二間<sup>ち</sup>を<sup>ち</sup>け<sup>ち</sup>て<sup>ち</sup>六<sup>ち</sup>拾  
六坪<sup>ち</sup>之<sup>ち</sup>是<sup>ち</sup>小<sup>ち</sup>定<sup>ち</sup>法<sup>ち</sup>六<sup>ち</sup>拾<sup>ち</sup>二<sup>ち</sup>俵<sup>ち</sup>を  
を<sup>ち</sup>け<sup>ち</sup>る<sup>ち</sup>此<sup>ち</sup>六<sup>ち</sup>拾<sup>ち</sup>貳<sup>ち</sup>俵<sup>ち</sup>の<sup>ち</sup>定<sup>ち</sup>法<sup>ち</sup>

圖の如く一間に方半  
二俵あり是を五  
坪の積ハ二間は五  
坪六拾二俵也

此れも俵の大小と積中より遠く

問 米穀賣買と部

米貳升五合代銀を<sup>ま</sup>受<sup>か</sup>り<sup>ま</sup>實<sup>ま</sup>同<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>石<sup>ま</sup>の<sup>ま</sup>重<sup>ま</sup>度<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>問

答曰 壹石代に拾目

粥曰<sup>ま</sup>受<sup>か</sup>り<sup>ま</sup>石<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>五<sup>ま</sup>貳<sup>ま</sup>升<sup>ま</sup>五<sup>ま</sup>合<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>法<sup>ま</sup>に<sup>ま</sup>割<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>石<sup>ま</sup>の<sup>ま</sup>代<sup>ま</sup>銀<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>問

答曰 壹石代に拾目

粥曰<sup>ま</sup>受<sup>か</sup>り<sup>ま</sup>石<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>五<sup>ま</sup>拾<sup>ま</sup>貳<sup>ま</sup>合<sup>ま</sup>五<sup>ま</sup>分<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>法<sup>ま</sup>に<sup>ま</sup>割<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>石<sup>ま</sup>の<sup>ま</sup>代<sup>ま</sup>銀<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>問

答曰 貳拾貳貫五百同

粥曰五百に拾石を<sup>ま</sup>貳<sup>ま</sup>升<sup>ま</sup>に<sup>ま</sup>外<sup>ま</sup>少<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>割<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>問

粥三升五升入の俵百俵に付貳十五五俵十多なり金お物六十六  
りて米を石の代銀を問



答曰 三石 七拾七石九分

辨曰 金貳拾五兩を歩銀拾石と此内拾石を引き歩を引きて  
刻高二五二五必是六拾六石を引き費六百六拾六石五分  
是六拾石を加へ三拾五石を法りて割なり

米三斗五升入の儀百俵の代金貳拾三兩貳歩之金を両の掛取を同  
答曰 三石に斗八升九合二勺六分

辨曰 金六三拾五石を法りて割高三貳貳拾三兩貳歩を是此内貳分斗を引  
割高二三五と歩は是中石の米を割なり

米三斗五升入百俵の付代金貳拾五兩の米三百俵あり又三斗五升入と  
百俵の付金拾貳兩貳歩と銀六石五分の米五百俵あり金相場六拾六  
石と右の米あり引かりし百俵の代金を同  
答曰 百俵代金拾三兩貳歩

辨曰 貳拾五兩に三兩俵を引かれ七拾兩と必又貳拾貳兩貳歩を引  
かれ此内貳歩斗を引刻高五と必又銀六石五分を金相場六拾六石五分を引  
かると必是右の五と加貳拾貳兩六と必是六五百俵を引きて百拾三石五分  
二石の金合して百八拾八兩と必是を八百俵と割なり

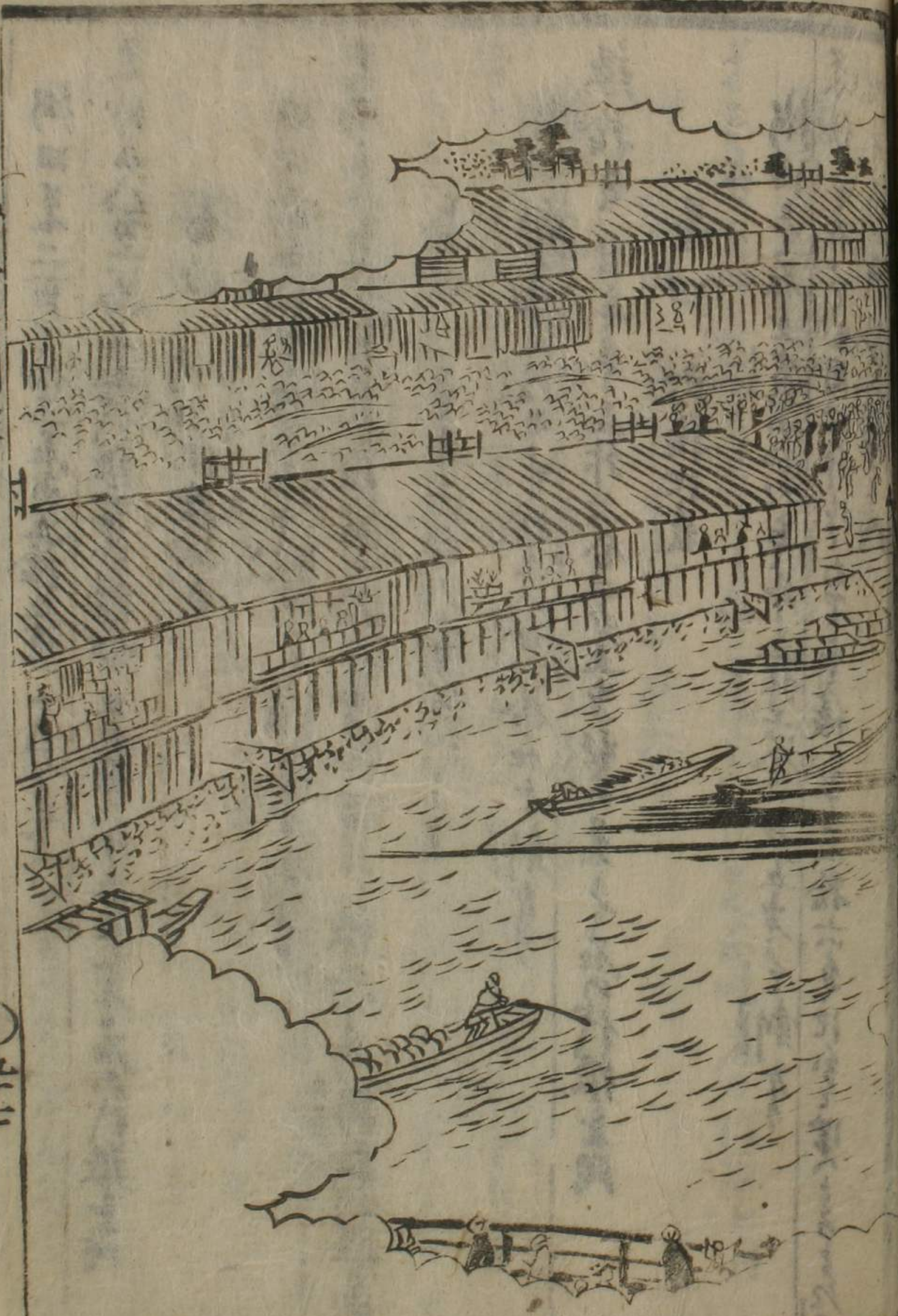
銀八百六拾五石五分の銀拾石貳斗に引替の米を賣石高を同  
答曰 貳拾石〇七斗六升九合六分

辨曰 八百六拾五石五分の貳斗に引替を引かり

銀拾三貫五百八拾五石五分の銀と一石に拾五石替の米を賣石高を同  
答曰 三百〇三石九斗

辨曰 拾三貫五百八拾五石五分を引拾五石と割なり

米貳百八拾三石ありと三石五拾五石替りて銀を同  
答曰 拾三貫三百六拾五石



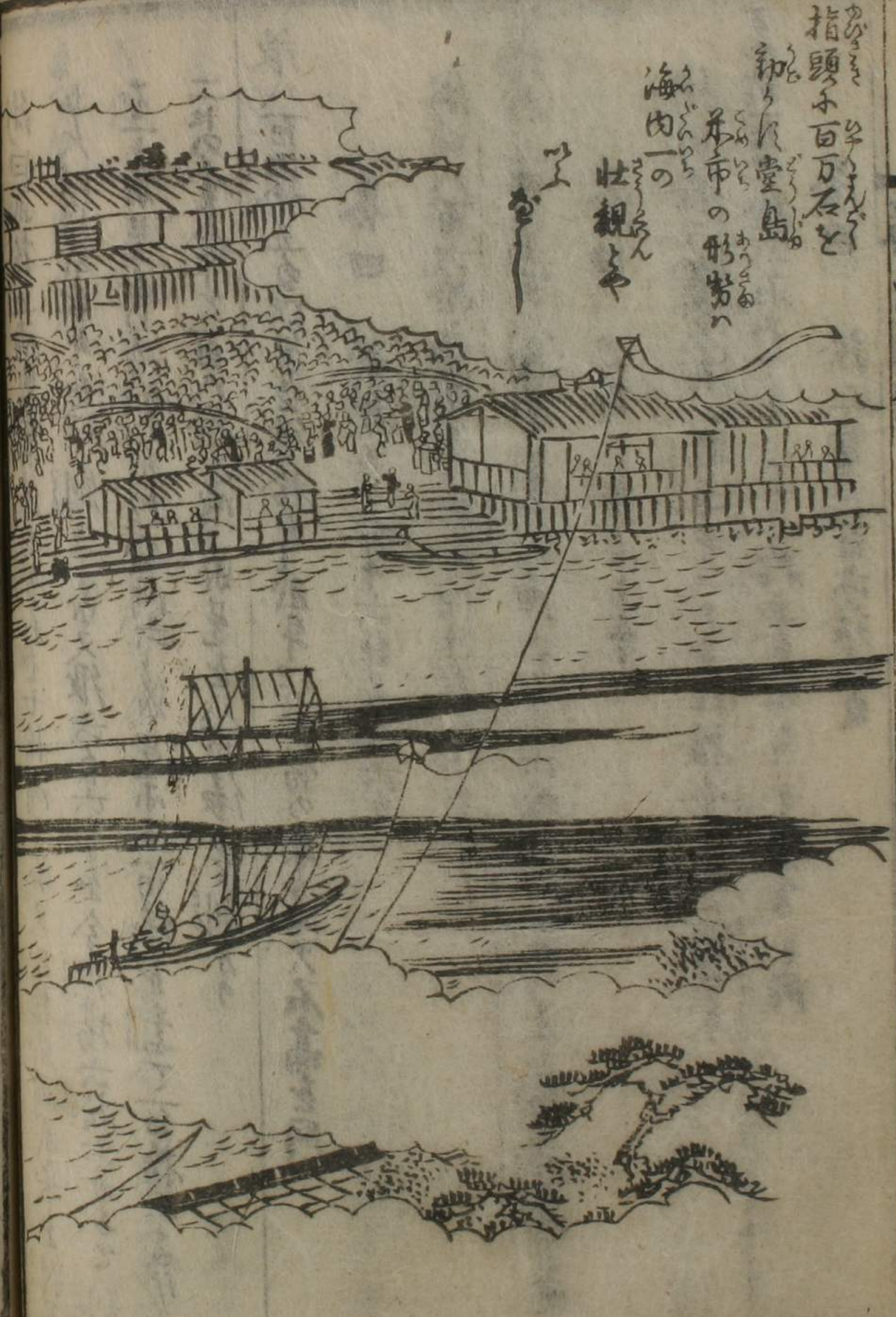
指頭さしづめ 小百万石と

初はつ 堂島

糸市いとち の形勢かたち

海内うみのうち の

壯觀さうくわん と



漢法圖詳

綱曰二百に拾三石五拾五石  
朱貳百八拾五石代銀百貳拾八  
答曰 五石に拾五石

綱曰貳百八拾五石を法中し銀言を刻なり

朱貳百八拾石の代銀百七拾を貫六百日の銀拾石の掛取何程同  
答曰 五石六拾六合六分六厘

綱曰銀高を法中して貳百八拾石を刻なり

銀拾石付五石五拾六合二分五厘の朱を石の代銀と同

答曰 六拾石

綱曰朱を石に實小把を五拾六合二分五厘を刻なり

朱を石に用は外はありて三拾六石に付二拾六石は銀と同

答曰 二拾五石

綱曰三拾六石を石に付を刻なり

朱を石に付不足ありて三拾六石に付二拾六石の代銀と同

答曰 三拾七石九分五厘

綱曰三拾六石に付を九石六拾と割なり

銀五百二拾八石五分三厘ある上朱を石に付に拾五石中朱を石に付に  
拾五石下朱を石に付に三拾貳石九厘と石に付に三拾七石大是を石に付  
貳拾五石より五石は掛取何程同

答曰  
上朱 三石九分五厘 代百三拾九石貳分七厘五毫  
中朱 三石九分五厘 代百八拾三石貳分五厘  
下朱 三石九分五厘 代九拾九石  
大是 三石九分五厘 代百拾石五厘五毫  
大是 三石九分五厘 代七拾七石七分五厘



綱曰 粟小五百三拾八石五分二厘と名上粟は拾五石中粟三拾五石下  
 粟三拾貳石より上粟三拾七石大粟貳拾五石を合して百七拾石を  
 是を法中して右の銀を刻く代銀はそれの相違をうけるなり  
 根貳百拾六石八分あり上粟を石貳拾七石二分中粟を石貳拾五石下  
 粟を石貳拾三石七分上粟より中粟二倍中粟より下粟八倍中より買  
 申の銀と同

上粟を石貳斗五升二合五勺 二拾石を石五分  
 答曰 中粟石五斗〇四合九勺 六拾貳石六分貳厘  
 下粟五石〇〇九合八勺 百拾八石七分三厘

綱曰 粟小貳百拾六石八分と名上粟一石代斗七石二分中粟二石代五拾  
 石下粟は石代九拾石八分三厘合して百七拾三石七分を法中して  
 右の銀を刻く上粟の石を倍する中下八石を倍して五石  
 下二斗七升八の銀と下斗貳升八の銀と合して五百俵あり此言貳百〇一石

五斗より各俵幾何程と問  
 答曰 四斗貳升八 二百二拾俵  
 三斗七升八 百七拾俵

綱曰 五百俵は下斗二升をけ貳百拾石と此内本石貳百〇を石五斗を  
 減去を殘八石五斗あり是を實小並別下斗二升の内少して二斗七升  
 を減去殘五斗あり是を法中して右の八石五斗を刻く三斗七升八の  
 俵數を得たり又五百俵三斗七升をけ方を下斗貳升八の俵數あり  
 下斗三斗三拾五石八斗五升あり下斗八斗六合八の俵より俵數を問

答曰 貳石七斗拾九俵下二斗貳升二合  
 綱曰 下斗三斗三拾五石八斗五升を下斗八斗六合と刻なり

下五百七拾七石あり五斗廻りして俵數を問  
 答曰 下五百五拾四俵 綱首と曰ト

⑤ 檜皮廻之部

檜皮五百束を束にして三束を一束小縛して五尺に寸なり是を五尺繩五尺繩と云ふ  
 一と二何束小なると同

答曰 百七拾八束貳分八厘八毫

綱曰 五百束を三束を刻む百七拾束と云ふ五尺に寸をけり合して  
 二九一六と云ふ是は小百七拾束を束にして九五七二と云ふ是を束と云ふ別五  
 尺を自糸して二五と云ふ是を法りて刻ん

按皮貳百束一縛五尺繩を代限定め賞取しを五尺繩の代に尺五寸  
 縛して後と云ふ是此同法取束數を問

答曰 貳百に拾六束九分五厘七毫

綱曰 五尺を自糸して二五と云ふ是は小二百束をけりて五と云ふ是を束と云ふ  
 別五尺に尺五寸を自糸して二〇二五と云ふ是を法りて刻ん

檜皮に尺五寸を貳百束を五寸をけりて何程と同

答曰 百六拾貳束

綱曰 尺五寸を自糸して二〇二五と云ふ是は小貳百束をけりて〇五是を束と云ふ  
 小糸別五尺をけり合して二五と云ふ是を法りて右の二〇五を刻ん

一五尺繩の内一寸不足ありてハ 二八一分一厘貳毫二

一五尺繩の内二寸不足ありてハ 八分五厘〇二

一五尺繩の内三寸不足ありてハ 一厘二分一厘七毫三

一五尺繩の内四寸不足ありてハ 一厘二分一厘七毫七

一五尺繩の内五寸不足ありてハ 二厘二分一厘五毫六

右五に不足の尺板を問

答曰 綱ハ五尺の内五寸不足の時五尺を自糸して二五と云ふ別五尺に尺五  
 寸を自糸して二〇二五と云ふ是を右二五の内五寸を減去し残りに七五と云ふ

云を二〇二五との身之二二三にても此術といひたり依て略と

五十 竹廻之部

其を尺八寸繩子縛て百貳拾五束傳取らぬ内貳拾五束不足あるは依て  
其より小貳尺繩の志ありて取らぬ何程ぞと問

答曰 貳拾二束二分五厘

綱曰 其を尺八寸を自糸一三二にても是れ貳拾五束を糸にて八寸は是れ其

小並別二尺小二尺をけりは是れ是れ法より右の八寸を割たり

又右の貳分五厘ハ何程と問

答曰 其を束を貳分五厘を割るに依て一束をけりて取らぬ

竹を尺八寸繩子縛て一束代銀貳匁を此より取て貳尺繩縛き束の志問

答曰 貳匁に六厘九毛一

綱曰 二尺をけり合しては是れ別を尺八寸を自糸一三二にても是れ

其の内を引も綱七六とある是れを三二にても割二より三より五毛と其は

○周曰 拉皮其新其束の物皆此術を以て推て去る也

一 其を尺八寸繩の内 一寸不足ハ 一より二分五厘一

一 其を尺八寸繩の内 二寸不足ハ 二より六分五厘六

一 其を尺八寸繩の内 三寸不足ハ 三より四分

右不足の尺板ハ拉皮といひ綱更略と

一 其を尺八寸繩の内 一寸増を 其より一分五厘九

一 其を尺八寸繩の内 二寸増を 其より二分五厘六

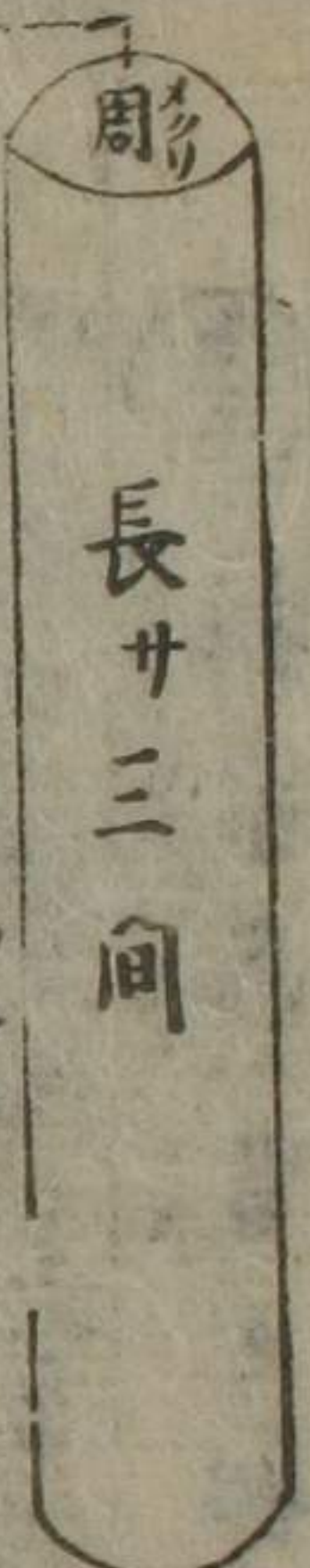
右増をいふ綱ハ其を尺八寸を自糸一三二にても又貳尺を自糸一三二にても

此内にて三二にても綱七六を三二にても割る二寸増へ余ハ綱なり

五十一 材木賣買之部

長サ三間周五尺三寸六分二厘一毛八厘木角小造りて何寸角と問

答曰 一尺二寸四分

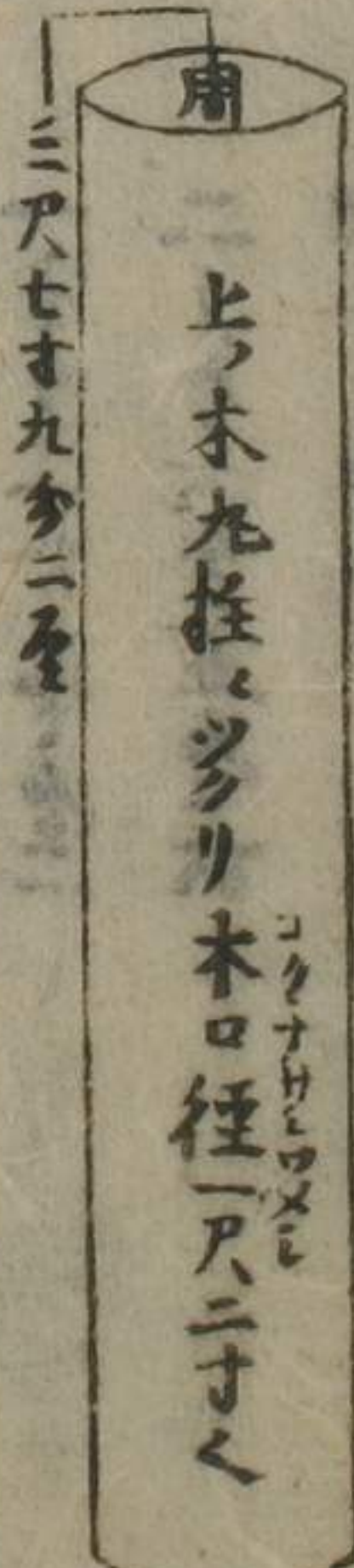
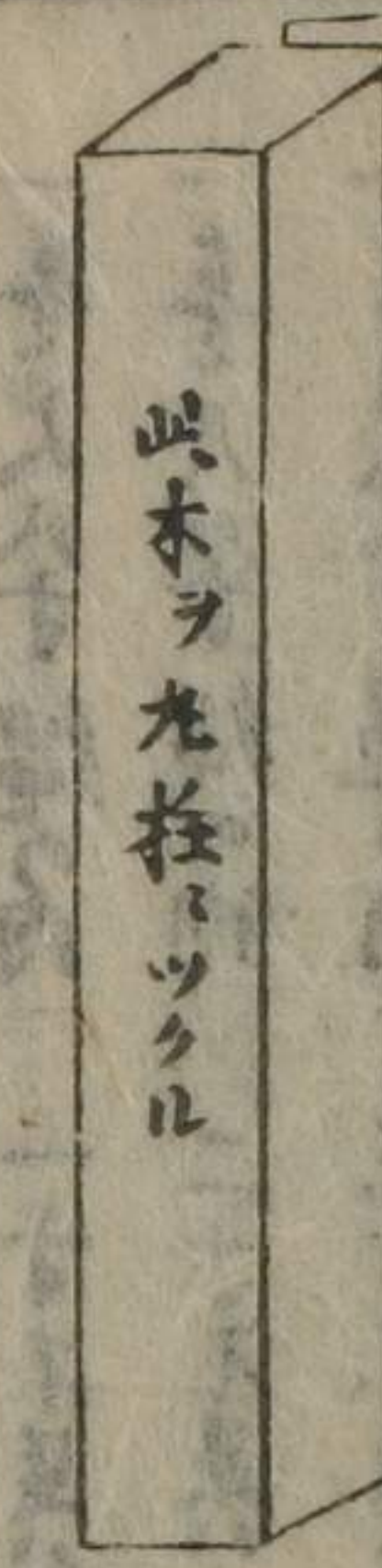


五尺三寸六分二厘六毛八糸



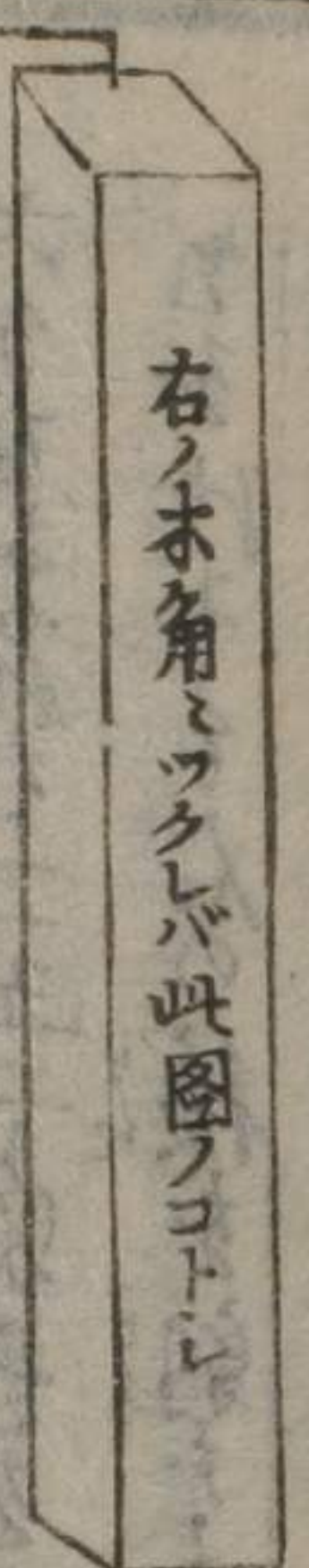
綱曰周五尺三寸六分二厘六毛八糸を四四六八九まで割るを尺二寸角と  
 ありて〇又綱曰周の尺を三二六分刻一六九七と糸を四四二二刻も同じ  
 木にきき尺二寸角の本を九柱小造り岡九柱の周の寸尺何程と同

一尺二寸角 答曰 周三尺七寸九分六厘



綱曰一尺二寸を尺式寸不定法三二六をきけるなり

徑一尺二寸の木ありて此木九柱小造り岡九柱の周の寸尺何程と同  
 答曰 八寸四分八厘五毛二

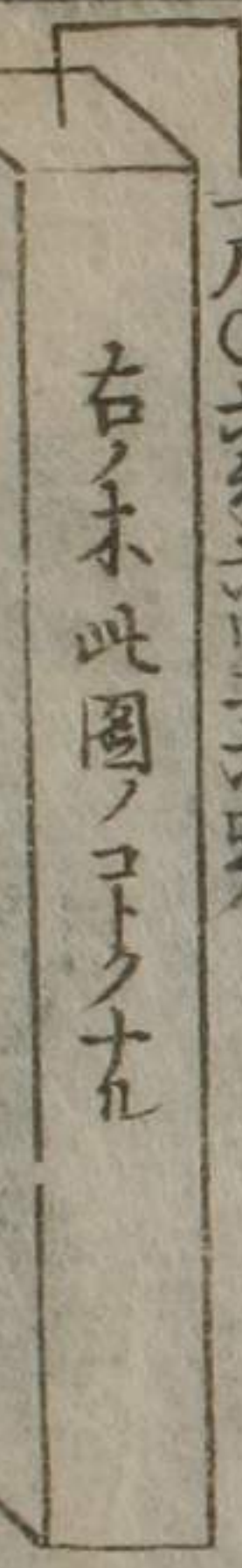
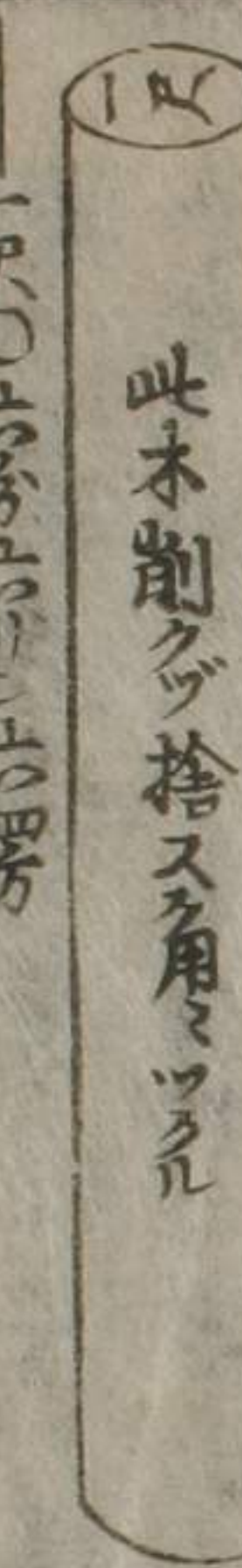


八寸四分八厘五毛二

綱曰一尺二寸を尺式寸不定法二四四二まで割る

徑一尺二寸の木ありて削屑捨ちて何  
 寸角おかしと問

答曰 一尺〇六分六厘六毛八糸



綱曰一尺二寸を尺式寸不定法二二五まで割る



武間半の六寸角二百本の代は二間の四寸角をどう河何程敷と同

答曰 二百五拾本

綱曰六寸角を自算して二六の比は二二百本を算して七二の比を算

ふれば別六寸を自算して二六の比は二二百本を算して七二の比を算

武間の四寸角を本と付き六寸角を算して此を廻りて六寸角二百本

の代銀何程と同

答曰 七百貳拾月

綱曰六寸角を自算して二六の比は二二百本を算して七二の比を算

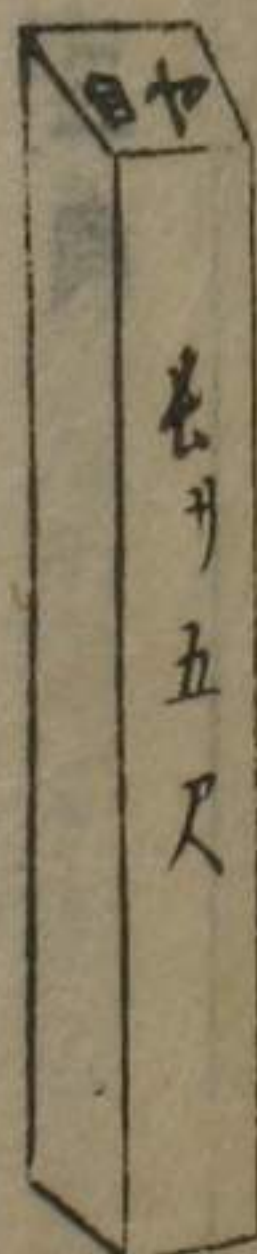
六分を算れば二五二の比を算れば左の比は寸を算して二六となる

乞を法めて右の積を割るなり

武間半の四寸角を本と付き六寸角を算して四寸角の長サ五尺の切敷あり

此代銀何程と同

答曰 六分を算して五毛三

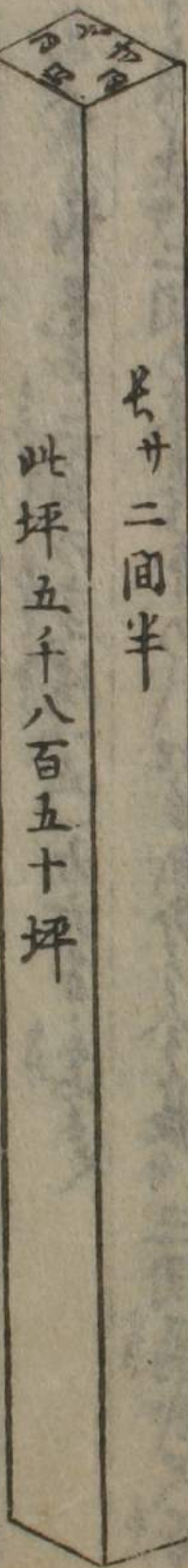


長サ五尺

綱曰六寸角を五尺を算して三三の比を算して三三の比を算

長サ武間半本は六寸の本方錐中と長サ拾三間延一本口の寸を間

長サ二間半



此坪五千八百五十坪

答曰 本口は寸五分五厘七毛余

長サ十三間

綱曰五寸八百五十坪の定法三を算して一万七千五百五拾坪の比を算

十三間六五を算して八丈は尺五寸中を算して右の坪敷を算して二〇七六九

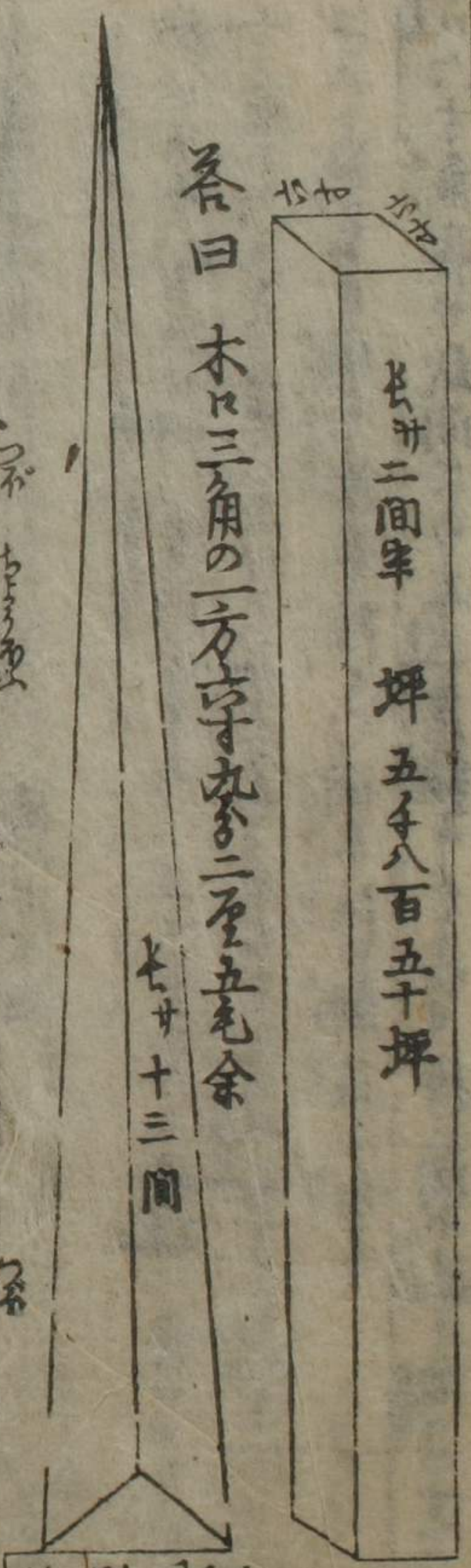
二三と比を算して用平法を算して除く〇用平法の解後小出を

本は六寸角長サ武間半の本三角錐中と長サ拾三間延一本口の寸と同

長廿二間半 坪五千八百五十坪

答曰 木口三角の一方字九寸二厘五毫余

七廿十三間



術曰 五千八百五拾坪の定法二をうけ一万七千五百五十坪と作る是を八丈に尺五寸の尺くくり二〇七六九二三の尺是を平法小用けをにす五分五厘七毫余の尺是を三角の定法一五九六をうけ

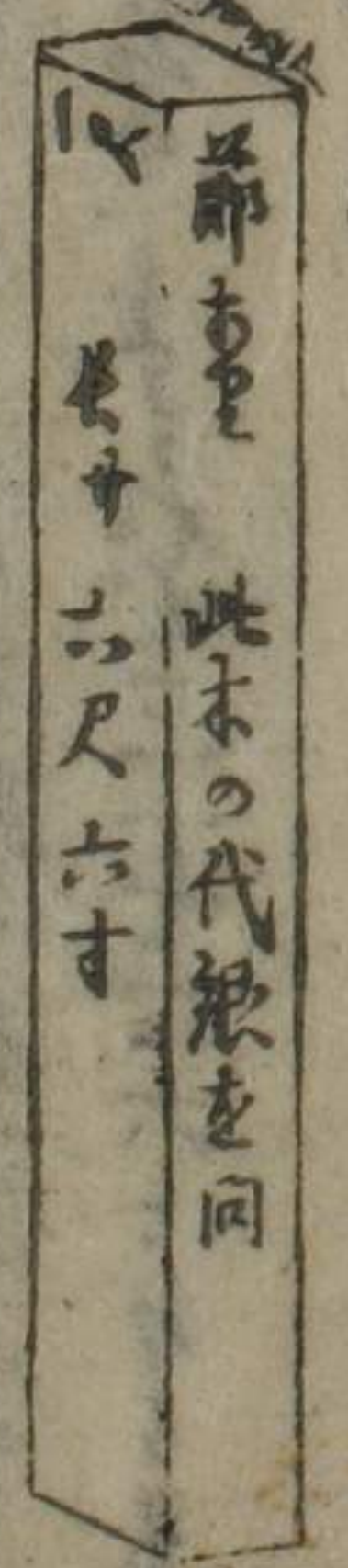
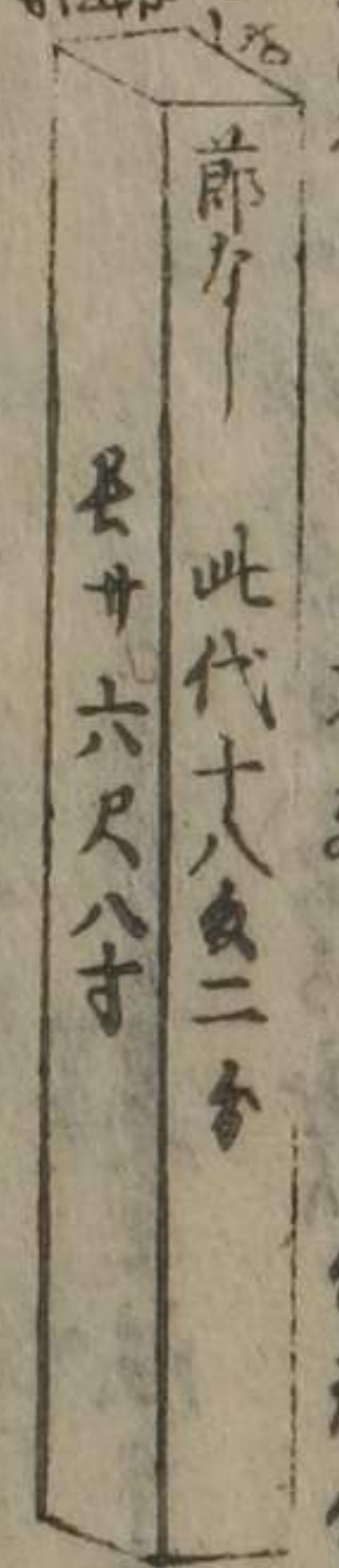
本は字角長廿二間の木を本の代に尺貳寸九寸今長廿三間幅貳尺厚半八寸五分の平物を右二間本の壺廻りとして代銀を問

答曰 廿九文七ヶ五



術曰 八寸五分の二尺を削て二十の尺是を二間をくくりは五二の尺銀に尺貳寸をうけて二に二の尺是を右にせ左に六寸をうけ合は二

今長廿六尺六寸巾を尺厚廿七寸五分即ち右に核ちを右の節なり二割をりや坪廻りとして代銀何程と問



答曰 拾に文五分六厘

術曰 節ありの本の巾一尺厚廿七寸五分をうけ又廿六尺六寸をうけ合は二に九五の尺是を十二寸の尺は二割りこれを二九六の尺是を實に左に九寸一分八寸をうけ又六尺八寸をうけ合は四九五〇四の尺是を法して右の三九六をうけ合は八の尺是を拾八の尺是をうけ

厚子并三分の板拾間の代銀貳拾八匁なり又厚子并二分板貳拾五間あり是を方坪廻しに半分板の方より三分板の方へ本撓任更のくより十間貸中間のくむ算用申と此に半分板貳拾五間の代銀何程と問

答曰 八拾八匁八分八厘八毫

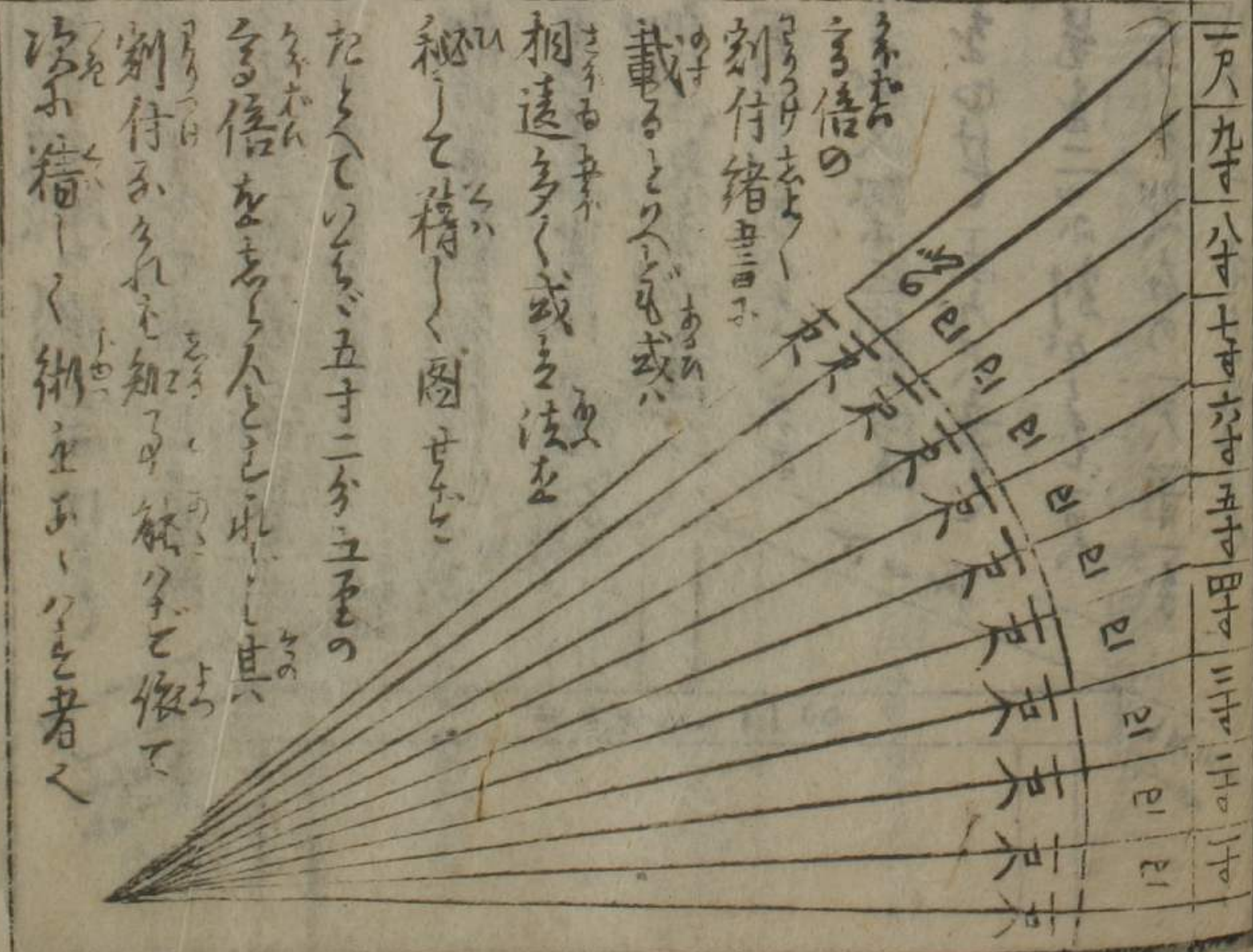
細白板二十五間小口分を系て一と此是を定小並別小拾間小二分を系れと二一五と分も是を法中を右の一をくれと二一七に六と分る是小貳拾八匁をかるるなり

五十二 高倍延之部

五分高倍延	一厘二毛四糸九忽	一寸高倍延	一厘九毛八糸七忽
一寸五分日	一分一厘一毛八糸二寸日	二寸高倍延	一厘九毛八糸七忽
二寸五分日	三分〇七毛七糸三寸日	三寸高倍延	一厘九毛八糸七忽
三寸五分日	五分九厘二毛八糸四寸日	四寸高倍延	一厘九毛八糸七忽

四寸五分日	九分六厘五毛八糸
五寸日	一寸一分八厘〇三糸
五寸五分日	一寸四分二厘二毛七糸
六寸日	一寸六分六厘二毛
六寸五分日	一寸九分二厘六毛八糸
七寸日	二寸二分〇六毛五糸
七寸五分日	二寸五分
八寸日	二寸八分〇六毛二糸
八寸五分日	三寸一分二厘四毛四糸
九寸日	三寸四分五厘三毛六糸
九寸五分日	三寸七分九厘三毛一糸
一丈尺	四寸一分四厘二毛七糸

以上



一尺九分八厘七寸六分五厘四寸二分一寸二分一寸一寸二寸三寸四寸五寸六寸七寸八寸九寸一丈

算術圖解

四寸言倍の延何徑と同

答曰 七寸七毫〇三糸三忽

絀曰四寸を自糸にして十六寸は是れ

勾配の定積百を加へ正矩を以て

除む一尺〇七寸七毫〇三糸三忽

よか一尺を引除り七寸七毫〇

三糸三忽をのびとあるあり

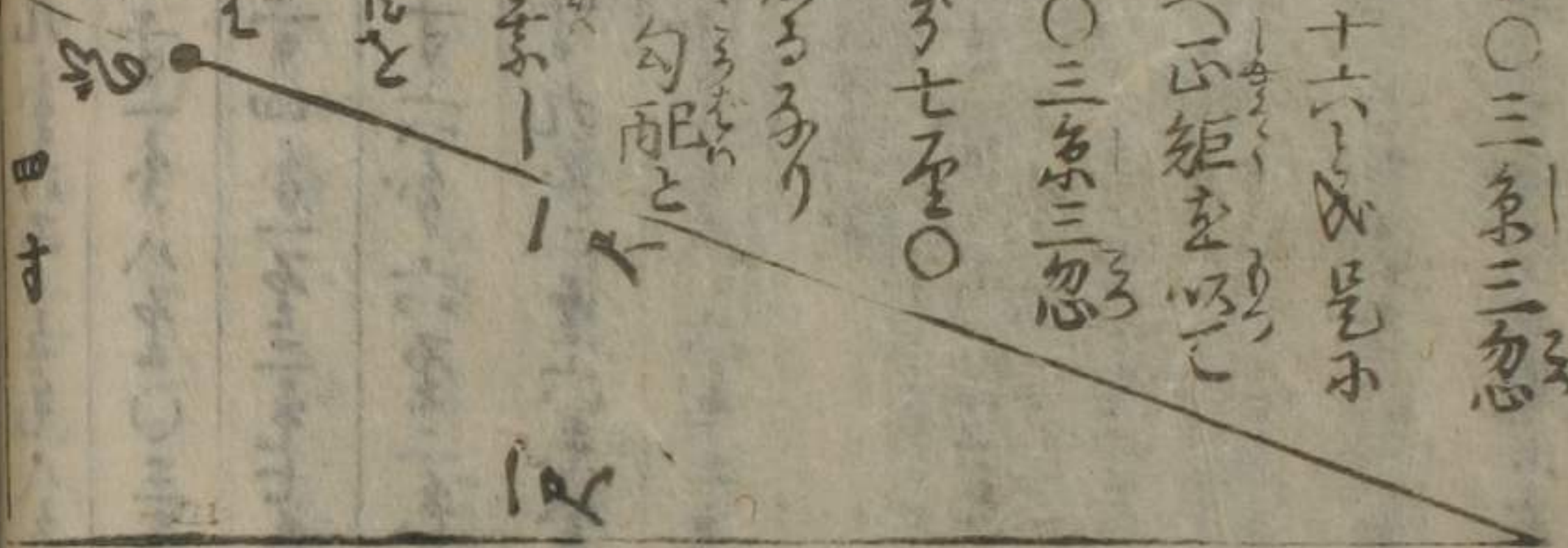
たえ何寸何分何厘を勾配と

りとも其寸分厘を自糸と

寸坪を積り定法を以て

加へ正矩を以て除けむ

日とも不知る一尺減ト



五寸勾配の梁三間けりむ

一尺三寸をて楯の長サを問

答曰一丈二尺三寸五分

四毫二毛三糸

絀曰五寸を自糸にして

廿五毫は定法百を

加へ正矩を以て除けむ

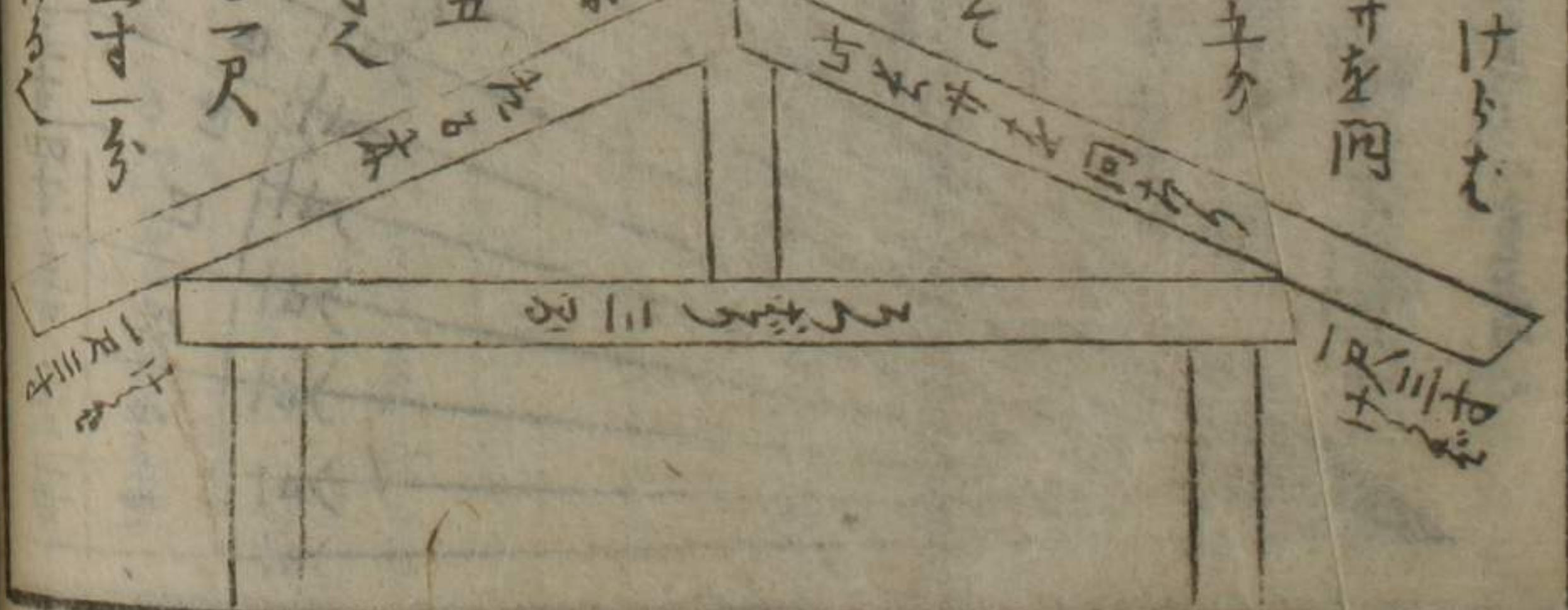
一尺一寸一分八毫〇三糸

よか又梁三間六五

をわけて一丈九尺五寸

毫を二ツ小割をむむ一尺

三寸を加へ右の一尺一寸一分



堀普請堤普請部

堀幅貳拾間あり下を八七間なり深サ六間半長サ百二十間此坪敷を問

答曰 一萬五千五百三拾坪

絀曰貳拾間ハ七間を加へ折半して拾三間才よか是れ深サ六間半をうけり

八七七五よか是れ深サ六間半をうけり

坪敷坪 一間四方の重サ 同方を問

答曰 貳万七千は拾六貫貳百五十石

但一尺四方六面 十貫目につき

絀曰六尺五寸を自糸にして二三五よか是れ深サ六尺五寸を糸で貳百七十坪

坪六分二厘五毫よか是れ深サ一尺三分の同方十貫目をうけり

山貳百七拾坪坪六分貳厘五毫一厘八貫目持ふて何敷を問

答曰 三百は拾三何貳分八厘一毛二五

絀曰惣坪敷を八貫目まで割かり



土貳百七拾に坪六分二厘五毛を及行  
三千町ある所へ運ぶ一荷八貫目持て  
一日八里歩ゆ後一人分裁之ると同

答曰 一百人 貳百八拾八行

一人を九厘五毛

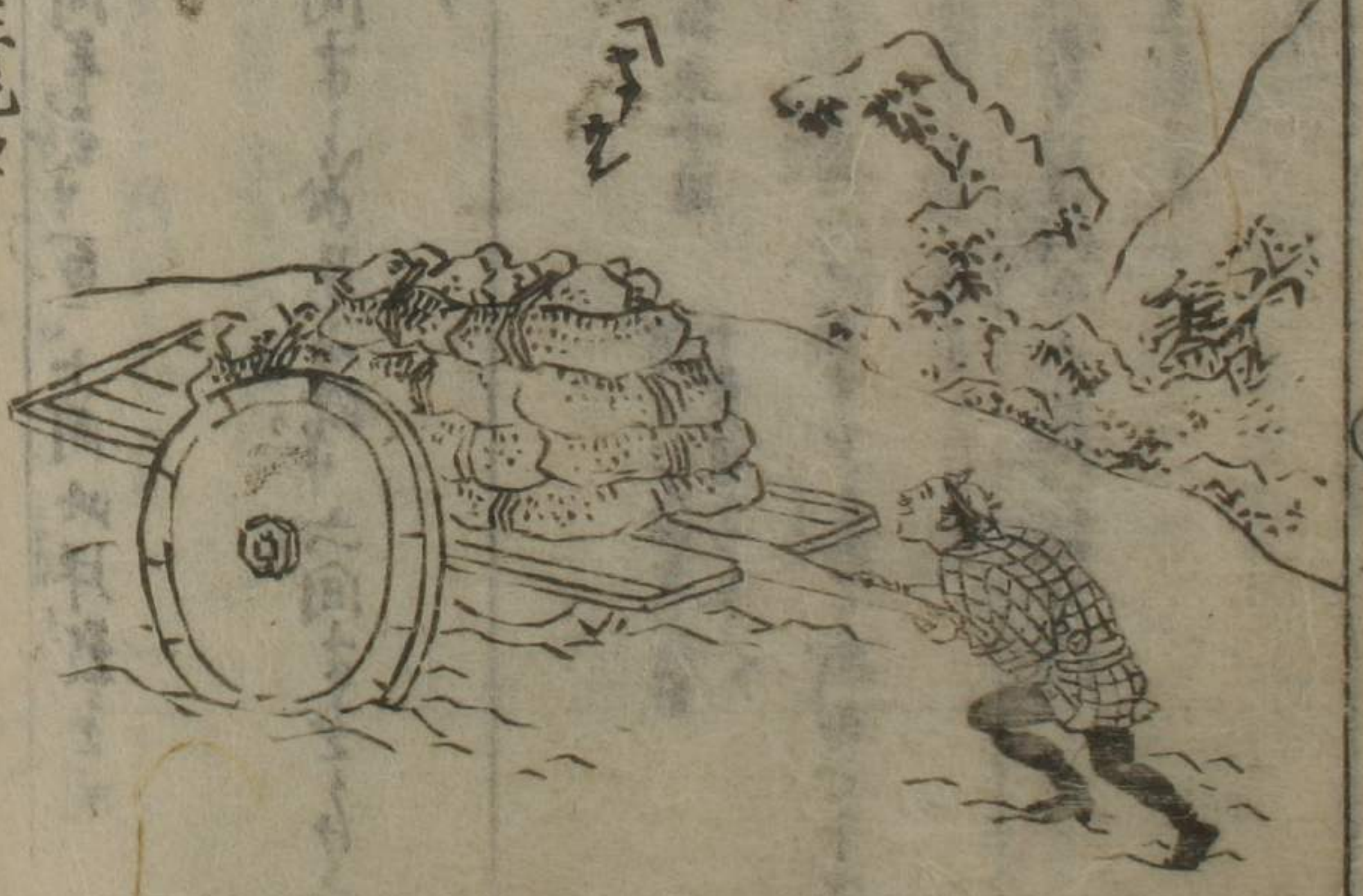
他一を里八世六町

を町八六十間あり

綱曰 貳百七拾に坪六分八厘五毛を  
美小敷別八里一里の法世六丁と  
くけ貳百八拾八町とを人分裁之ると同  
是八貫目を算して貳千五百〇日費と成

是を實の坪敷を以り

一人を九厘五毛と



拾坪あり是を三間ある所へ運ぶ一人分八貫目持て人是何人とも  
綱曰 拾坪の去を一人第一日の荷敷貳百八拾八行八貫目をくけ貳千  
三百〇日費用是を刻き一人を九厘五毛を算して是を算す方〇五百世坪敷を  
去坪敷を方〇五百三十坪あり是を算す方六百間小慶廿拾二間深廿五間  
半の古堀へ埋る同八廿廿何百間埋ると同

答曰 一人を 壹万貳千五百五拾を人七分六厘

綱曰 壹万〇五百三十坪を算す美小敷別八拾二間半二間半を算す一八と成  
是を實の坪敷を算すなり

答曰 七廿五百八拾五間埋 廣十二間 深二間半

土坪敷を方〇五百三十坪あり是を算す方六百間小慶廿拾二間深廿五間  
半の古堀へ埋る同八廿廿何百間埋ると同

答曰 一間三尺〇〇六至二毛五 廣十二間 長廿六百間

納曰六百間小拾二間を仔七三〇は是也と云々方〇五百三十坪を刻一間は六二五と此此六五并小一間の定法六五を各ある

堤あり長廿三百間高サ或間中馬踏二間上の根並下の六間之此坪敷を問

答曰 三千坪

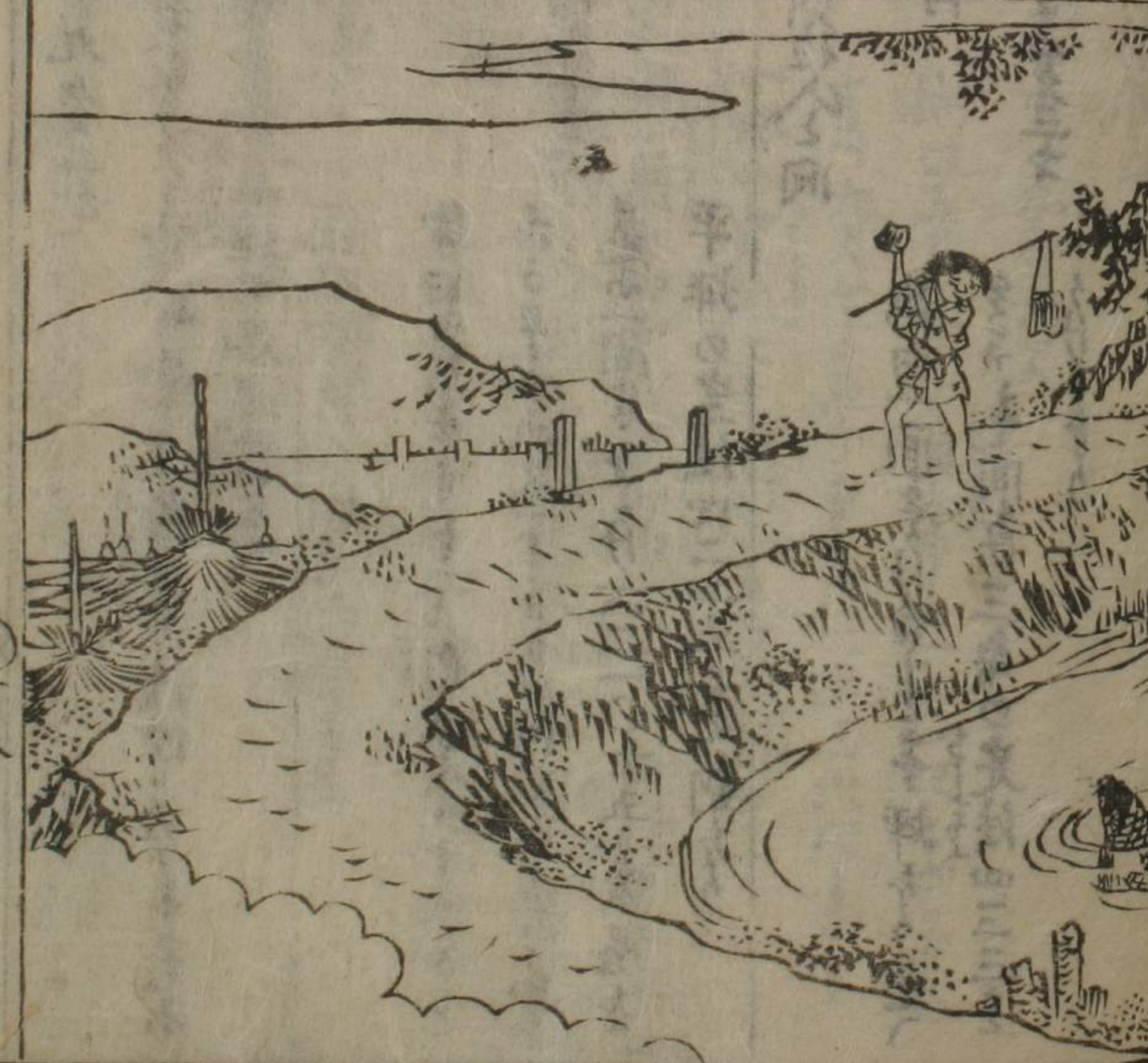
納曰二間小六間を加八五之是を二刻ては間ハ是也二間中を仔十坪ハ是也小三百坪を仔なり

馬踏三間根並十間西五ハ了路二間根並五間東西ハ高サ二間之此坪敷を問

答曰 六百坪

納曰東上下合と十三間西上下合と七五東西合と二十間是を二刻五間ハ是也二間をうけて十坪之又是ハ六十間を各ある

長廿七間中口徑五尺寸の蛇籠あり栗石を入る石何程入と問

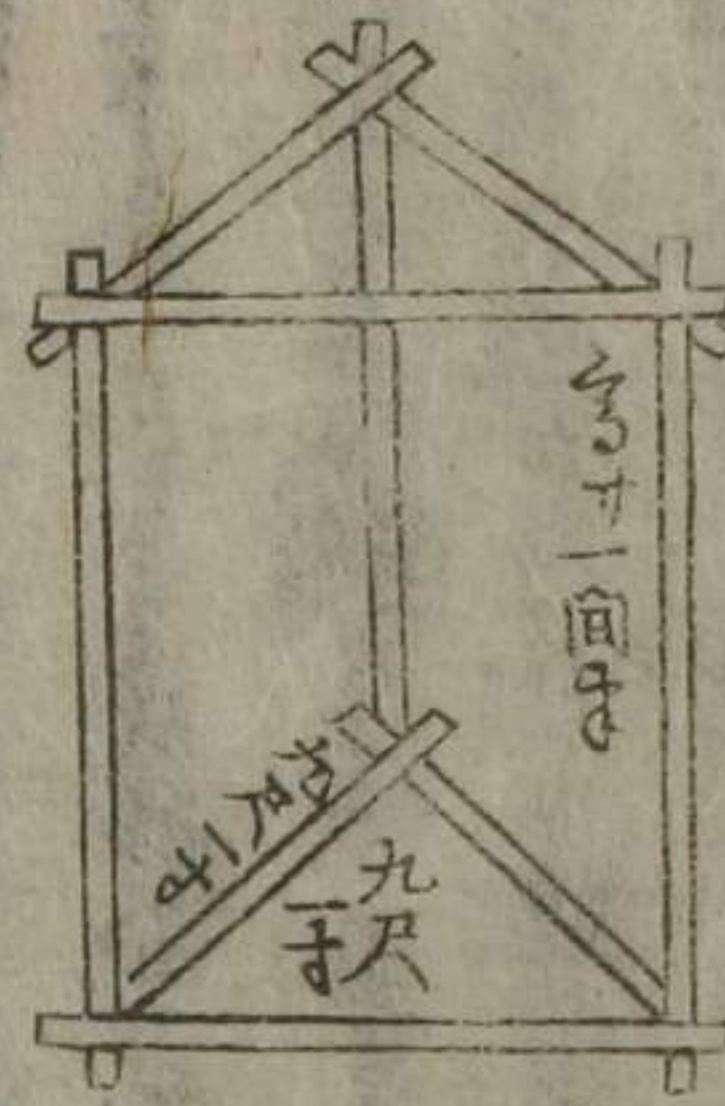


漢法圖詳

答曰 三坪七分九厘二毛

測曰五尺二寸五分五厘法をうけて八寸八分は是を自乗して六にたかる是小  
 長廿七間半をうけては八寸八分は是を自乗して七九を乗る

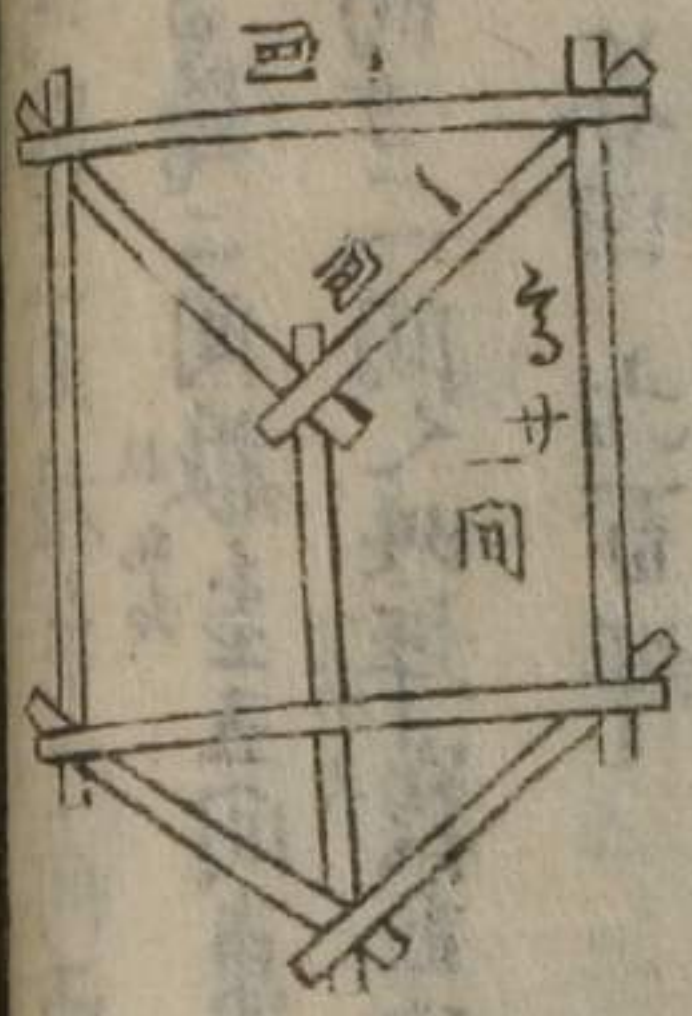
図の如く角一隻の坪数を問



答曰 一坪に合七寸

測曰九尺七寸を二に割に尺五寸五分と  
 あら其小九尺一寸をうけては二に〇五とある  
 是小一間半をうけて六二二〇七五とあるを  
 平坪の定法に二二五と割方なり

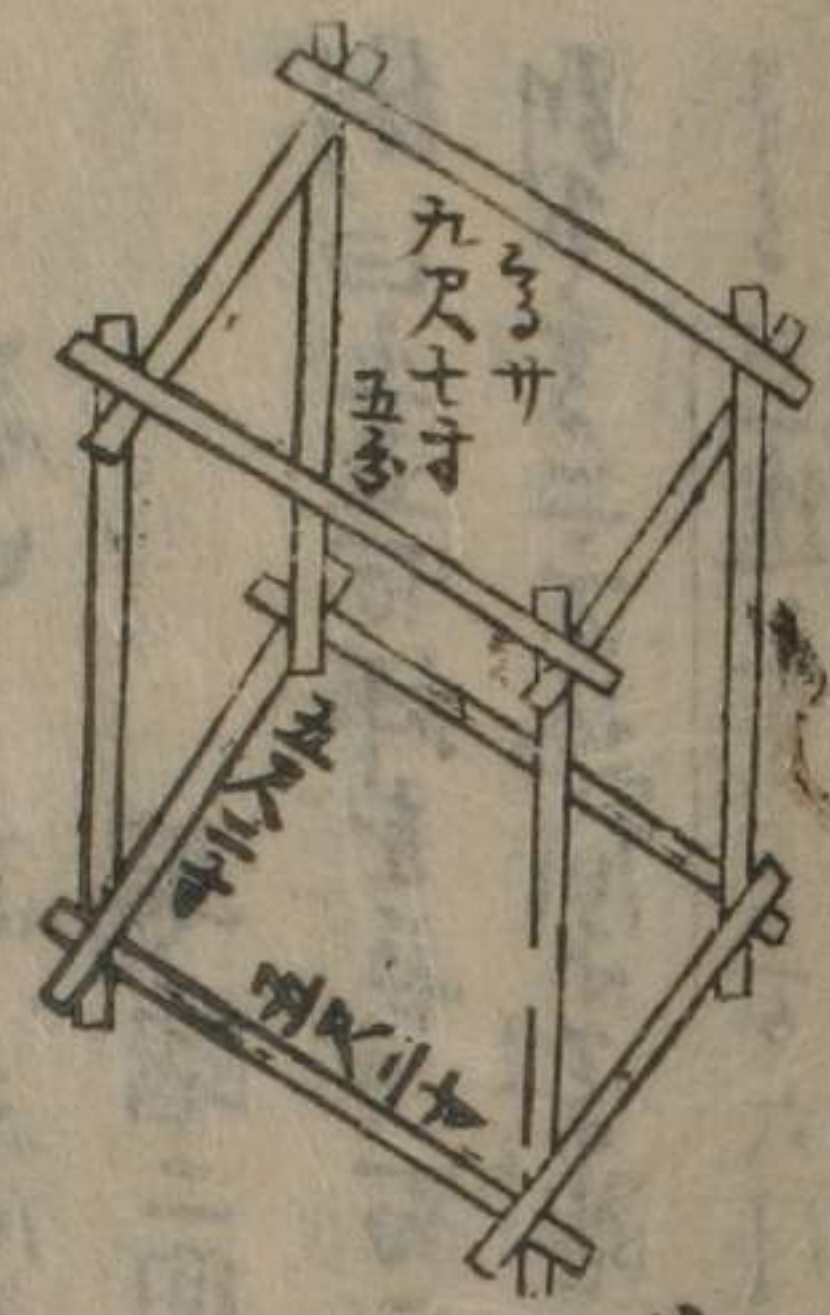
図の如く三角の竹葉小栗石何程かと問



答曰 一坪に合三寸五分

測曰一間をうけて合して三坪あり是  
 三寸五分を間半三角の定法四二二三を  
 うけてあり

図の如くは角の竹葉小栗石何程かと問



答曰 九合六尺

測曰五尺二寸を自乗して二七〇に八分は是小  
 三寸九尺七寸五分をうけて二六三六に八分は  
 一坪の定法二七に六二五と割方なり

土三百坪あり三所へよりのはは一所を二町五万石取二町を六町に万石取二  
 町八町六万石取如く清原の如く路の遠近又知行小甲乙丙の如く  
 小八如何程か法を問

- 答曰
- 一町 五万石取 百に拾坪の六分貳厘五毛
  - 六町 一百万石取 七拾五坪
  - 八町 六万石取 八拾に坪三分七厘五毛

測曰三町を二町小割二五とあるは五万石をうけて二五とある又別小一坪

を六町小刻。二六六六。是は六万石をうけ。六六六六。又別小一坪を八町  
小刻。二五。是は六万石をうけ。七五。とある三に合して。二二五。是は  
三百坪を刻。二二五。是は五万石取の。二二五。をうけ。而に拾坪。一。を五  
毛とある。其法もそれの法をうけて。取土の言をあるあり。

土五百坪の堤の長。十百三十間。高。五間。馬踏。貳間。二。方。付て。土の厚。サ  
如何程。并。高。サ。馬踏の間を問。

答曰 土厚。サ。一尺九寸八分。貳。毛。  
高。五間。高。五尺九寸八分。二。毛。

馬踏。二間。三尺九寸六分。二。毛。

御曰。土五百坪を長。サ。百二十間。小刻。む。二八四六五。是を。刻。小。方。  
別。小。方。拾。間。小。踏。二間。加。拾。二間。たり。是。由。て。右。の。積。を。一。け。  
三。進。三。十。二。三。六。六。一。扱。抄。教。を。今。刻。と。る。二。を。九。九。小。合。一。三。三。  
九。九。三。三。九。九。一。と。日。所。を。二。三。六。六。五。と。扱。刻。と。る。二。を。倍。

一。して。三。十二。を。左。の。十二。の上。加。十三。二。と。是。由。て。右。の。積。六。六。一。五。を。一。と。  
刻。に。進。に。十三。に。十二。二。八。八。一。扱。今。刻。と。る。二。を。九。九。小。合。一。四。十六。一。四。十六。  
一。と。四。より。下。へ。四。折。目。ふ。て。二。を。一。三。〇。三。と。扱。今。刻。と。る。二。を。倍。して。  
四。十六。を。左。の。十三。の上。加。十三。三。六。と。是。由。て。右。の。積。を。一。折。目。見。ま。  
五。頭。取。九。二。三。九。三。三。一。扱。今。刻。と。る。九。を。九。九。小。合。一。九。九。八。一。一。九。  
九。八。一。一。と。九。より。下。へ。四。折。目。ふ。て。二。度。引。残。九。八。八。一。扱。今。刻。と。る。九。を。倍。  
倍。と。九。三。六。と。左。の。十三。三。六。の上。加。十三。三。九。六。と。是。由。て。右。の。積。を。刻。  
七。進。七。十。三。七。七。一。一。七。九。六。三。三。一。扱。今。刻。と。る。七。を。  
九。九。小。合。一。七。七。四。九。一。七。七。四。九。一。と。日。小。觸。て。二。度。引。残。三。〇。に。九。七。七。  
ふ。一。間。の。法。六。五。を。う。けて。土。の。厚。サ。を。と。る。と。

又曰 土厚。サ。一尺九寸八分。二。毛。

高サに間二尺に寸三分八厘八毫  
馬踏二間を尺六寸二分七厘六毫

綱曰五百坪を堤の長サ百二十間にて割三八に六一五。必別高サ二方の  
間と踏を間と合して九間半是也右の殺を一折割九三如下二三五  
十五引割三を九九小坪三三九引三三九引と三より三折同也二度引割三を  
二倍して三十二を左(加)〇七。必右の二を一折上へあげ並強八六五五五の二  
〇七もて一けた割七進七十。七を十九引割今割七を九九小坪七を十九  
引七を十九引と七より四折下也二度引強五七三五。必割今割七を  
二倍して三十八を左(加)〇九八。必是也右の残積を一けた割五進五十  
五九四十五引。五八四引割今割五を九九小坪五々廿五引五々廿五引五  
より五折下也二度引強二二〇必割今割五を二倍して二十を左へ  
加一。必是也右の残積を割二進二十。二か二引割今割二を九九小坪  
三。二引二二引二より四折下也二度引強殺を捨余の高三七五二必

是れ五六五をよめられた土の厚サをよめるなり

土五百坪ある堤の長サ三拾間高サ五間馬踏二間の二分、付土の石を  
かゝり高サ馬踏の間を問

答曰 高五間三尺三寸二分八厘  
馬踏二間二尺三寸二分八厘

綱曰土五百坪を堤の長百二十間小割三八四六一五。必別高サ二方の  
踏の間殺を合して七間と必是也右の高を割七三四十進二十割  
割三を九九小坪合一五々二十五引と五の下の折也一度引強九六  
一五。必割五を一倍して二十を左へ加て八と必是也右の九六一五を一折  
割八進二十割今割三を九九小坪二か一引と割三より下より下へ四をこ  
めの一を引強二六〇五。必割割三を一を倍して二を左へ加八〇二。必是  
也右の残殺を割八一下二八進二十。二を四引割割三を九九小坪

二二四口と五桁をて四を除た増殺を捨割る高五二二の定法の六  
五を多れを土の厚サ三尺三寸二分八厘とせよ  
土五百坪あり堤長百三十間高サに間馬踏一間二分小付て土の厚サ并  
高サ馬踏の間を問

土厚に尺〇八分

答曰 高に間に尺〇八分

馬踏二間八寸三分三厘

御曰土五百坪を堤の長百三十間小割三八に六一五に別ぶるサと踏  
の間を合して五間ま是を右を一桁割五三加三五六世引御今割る  
六をかく小呼六を世六引と次の桁を引残一八六二五に別割る六を倍し  
て六十二を左に加六七に別是を右の残殺を二桁とる六一加下四六進一十  
二七十四引御今割る二を九を呼二二三四引と二より桁めの四を除残五一  
七五に別割二を倍して二四を左に加六七四に別是を右の残殺を一とる

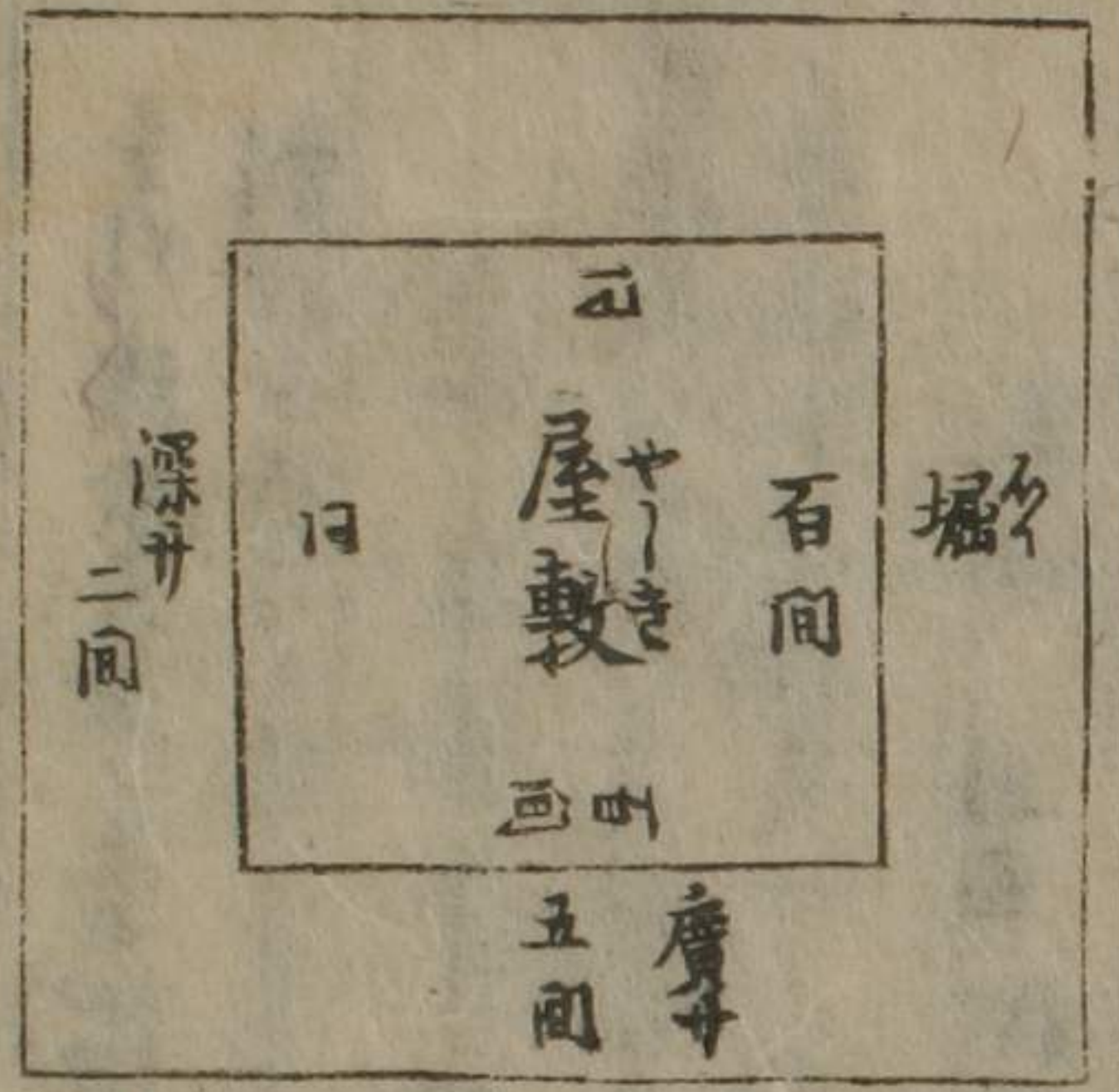
六五八十二倍一階六尺五寸七を四十九引四七廿八引御今割る七と九をかく  
七を四十九引と七より四をさめて引残は五二二に別割七を倍して七十四を左に加  
六七五に別是を右の残殺を割六四六十四六七零二引五六世引四六廿四引  
御今割る六を九を小呼六を世六引と六より四をさめて除残殺を捨  
ちこれより高六二七六分なる日示六五を差なり

屋敷築上之積

百間に面の屋敷あり外廻に方小廣サ五間深サ  
二間の坪をあり其土をて屋敷の地形を築上る  
くたハヒの百サ何程と問

答曰 二尺七寸三分

御曰掘中五間を倍し百間を加へ百拾間二間  
を自乘して一万八千歩此内至敷地の歩一万歩



深サ 二間

を引残る歩是れ深サ二間をうけに八貳百坪は是をまき万歩中て  
別に分貳をうけ是れ定法六五をうけて知なり

⑤ 屋根葺板之積 一坪の定法六尺五寸をうけ金一二十二百  
二十五歩あり四十五を定法とまき

屋根板の歩殺三十五歩あり 但六尺葺 四歩一歩く 是を二十五分板あり二十五分歩  
とれ板殺何程不入やと同

答曰 板殺 貳万九千五百七拾五枚

緋曰板巾二五歩足二をうけ五歩是を一坪乃定法に三五を見れば八  
百は十五歩是れ三拾五歩をうけるべし又新めて八寸足中めて八寸五分  
足棟小て八寸五分の同三所を平均と一寸五分足を用る板巾も二寸  
小てもはすも在の緋といはり理あり准どとまき

圖の如く家五葺根の歩殺まき中て六拾に歩あり葺葺耳ありと板殺如何程  
但し新めて一寸五分中めて一寸五分足棟あり二寸五分葺板巾三寸五分入敷を問

二万〇〇八拾八枚八

緋曰六拾に歩

一歩の定法四三五を

かけ二七〇四と

別小板巾三寸あり

軒中棟の葺足

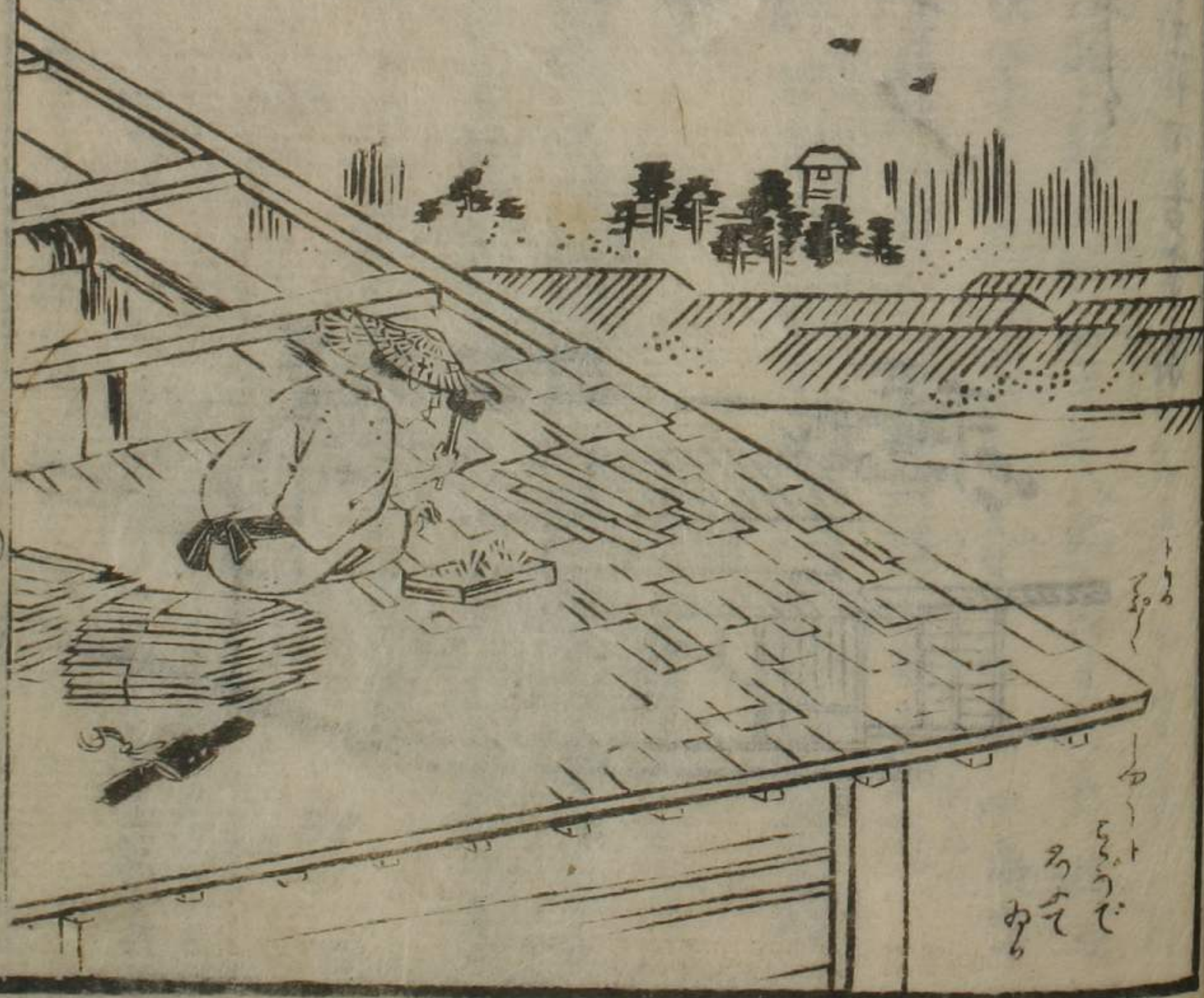
平均と一寸五分

是を板巾ありかけ

四五は是を法と

右の二七〇四をこれと

板殺とれなり



図の如く家あり此坪数何程と同

答曰

軒の厚 歩殺

品の厚 百五拾七坪は

角桁長三間半

但一軒厚品の厚長廿一回半

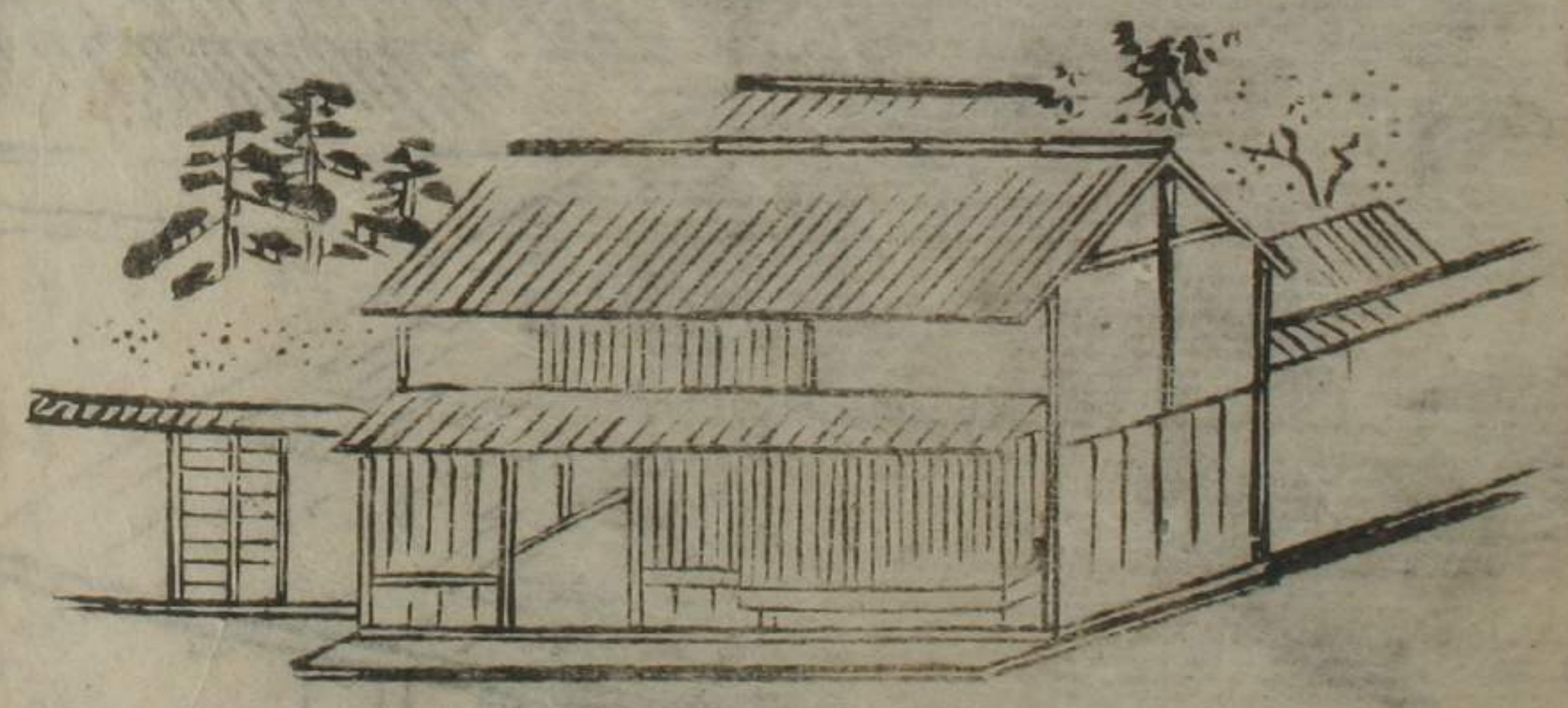
厚廿一尺を一步としり角上り長廿

二間を一步 又又各もは前より

紳曰棟八間半桁外拾間加折半

九間是小二間をうけて十八歩と

又桁外拾間半桁十三間加折半



又折六間半二間加折半しては間半は是れ二間をうけ拾三歩半と三所  
合して六拾六歩と系より百三拾二坪又軒廻三十八間半は寸をうけ拾五  
歩分のみ又又小長拾六間半寸あり三坪二歩あり又三のうりに角の  
て拾二間あり二間あり七坪と此に合して百五十七坪に分ると知く

答曰 千九百二拾枚

紳曰ま丁成五切五くを尺寸を以て別時には五廿歩一は厚廿八寸と  
八小刻厚寸の是を二十寸とて百字歩と板厚廿寸を十二枚のみ  
とて百二十寸と十二をうけ千九百二拾枚あり

五五 分治 押早 積之部

定法

三寸箱八寸四方あり尺二三が九より九を定法と  
寸箱八寸四方あり尺四十六より十を定法と

落百枚不付代銀拾に及勢りて千三百枚の代銀を同



答曰 三百或拾或五

綱曰 或千三百枚を算ふ或拾口を算ふ

銀百八拾用を算ふ是亦百枚に付拾或五等の箔を算ふ何百枚のと同

答曰 子五百枚

綱曰 百八拾用を算ふ或拾或五等を割かり

三寸箔二子二百枚の代りに寸箔を算ふ枚数を同

答曰 子三百五拾枚

綱曰 三寸箔二子二百枚を算ふ是亦三寸箔の定法九を算ふれを或

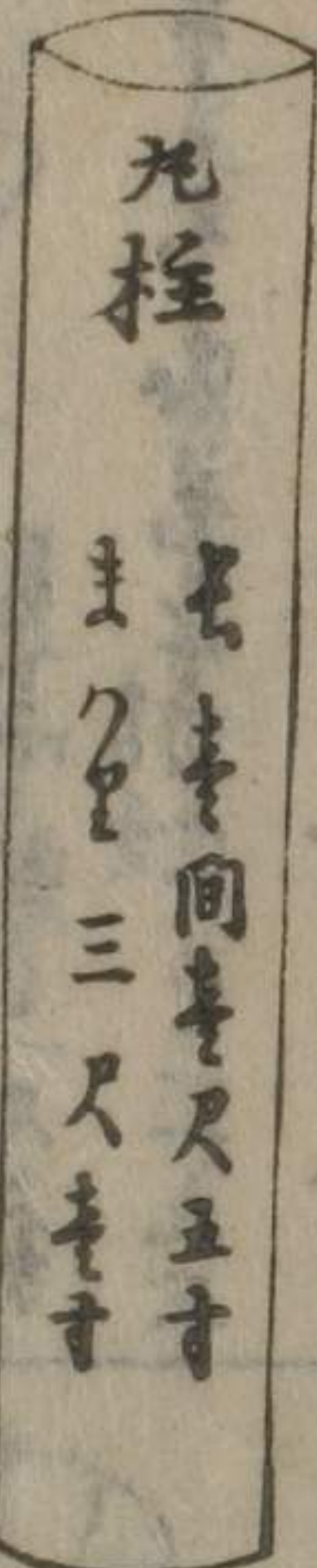
百子六百歩と或是を寸箔の定法十六を割かり

寸箔子五百枚の代りに三寸箔を算ふ枚数を同

答曰 或子六百六拾六枚或六百を算

綱曰 寸五百枚に寸箔の定法十六を算ふて或方に寸歩と或是と三寸箔の定法九を割かり

長サを同二尺五寸周三尺を寸の九柱に寸箔を算ふ箔枚数を同



答曰 四寸箔 百五十五枚

綱曰 寸を同二尺五寸を算ふ或れ一回を寸歩と或是法六五を算ふれを物重八尺と算ふ是亦周三尺を寸を算ふれを寸歩二子に百八十歩と或是を寸箔の定法十六を割かり

綱の如く是形の寸の三寸箔を算ふ寸箔を同

答曰 三枚二寸六分六厘



綱曰 徑七寸五分を四廻の定法三二六を算ふれを二尺三寸七分と算ふ是を寸箔を算ふ五寸九分二厘四方と算ふ此五

十九を二を自乗して三五と必是を三寸竹の定法九を割ると八  
即ち高三枚八八と必此八八をより三をよりちり

圖の如た扇小三寸竹を  
おの竹を教を問

答曰九十枚をす

術曰廻りのす尺を合

して四尺三寸七寸と必

是を二に割ると一尺九寸

二五五と必是を自乗して二一九三

と必是を三寸竹の法九をてれば十三

二六と必此八十枚をりね三二二二と必

三をよりて九を七を八を



圖の如た扇小竹を挿入教を問

答曰 五枚一丈五寸六分

術曰此周を考れと二尺八寸

二寸のり是を四

割七寸五分と必

是を又自乗して

四九七と必是と三寸

竹の法九をて割ると五枚二二と必

此二二小三をよりて一丈五分六分と



圖の如た二枚扇同を五尺八寸幅三寸をす

と必是を三寸竹の法九をてれば十三

二六と必此八十枚をりね三二二二と必

答曰 七拾六枚にちり

術曰二寸小八寸をよりて八坪と必

是より五尺三寸をよりて

に百坪に坪と必又はす小二寸と

加へ六寸と必是より二尺二寸と倍

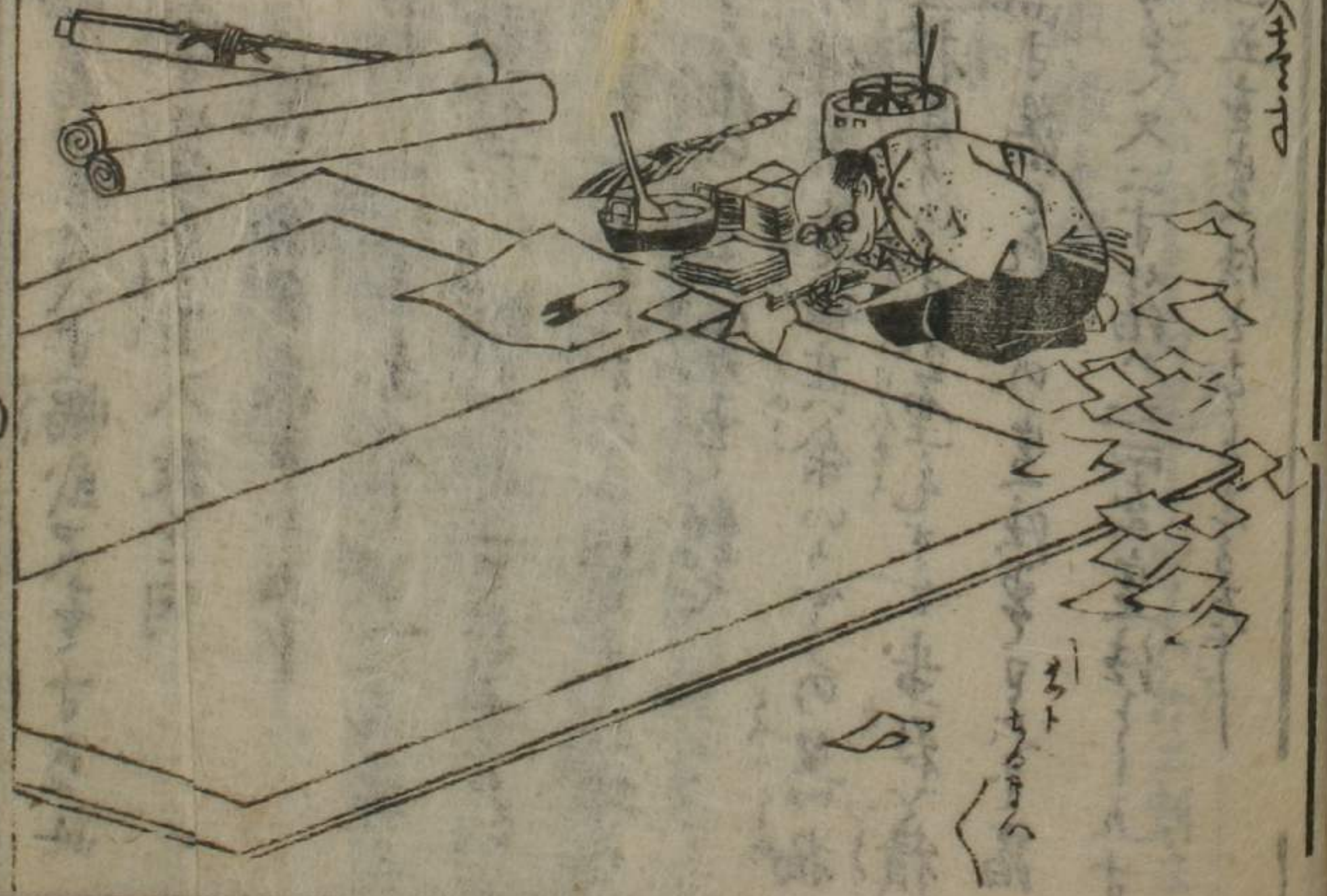
に尺にすをよりて二百六十坪に坪と

二を合して六百八十八坪と必是を

三寸竹の定法九をよりて

右の六百八坪を割る

竹を教





筆跡

上段屏風高廿五尺八寸幅貳尺寸五分此  
縁の内小三寸幅を並入段を同

答曰 七百拾貳枚五寸五分

御曰二尺寸五分六分を並れを一丈二尺二寸三  
此内五の縁五寸幅を並れを二尺寸五分とあ  
是五尺三寸を並れを六寸幅十三坪の  
これを三寸幅の定法九寸を割て

○衣の外佛殿着板其餘のうらの物  
少も壁掛用ひの寸分厘毫分を歩尺と積  
三寸幅四寸幅を並れの定法中尺を隔  
後刻より又二寸幅ハ二四を定法と一五寸  
幅ハ五二五を定法ととるとなり

（五）増減の部

銀三百七拾九匁四分を五是を見先三人分るる見より申下八分二割下  
下申より末子八分二割下下を各取銀を同

見 百五拾五匁五分

答曰 申子 百貳拾匁四分

末子 九拾九匁五分

御曰先百匁を二五外二割を八と分る是申子の法なり此八を二  
五外割六に必是末子の法なり三に合して二に必是法なりと割八分  
の取銀より兄の取銀を二五を割て申子の取銀之残銀を末子に与

銀三百に拾匁五分に五毛五分を姉妹三人分るる姉妹より申娘と  
内三割下り申娘より乙娘ハ内三割下りを格取銀を同

答曰 姉妹 百五拾五匁五分

申娘 百〇八匁八分五分

乙娘七拾六を分九を五毛

術曰姉の法左一と並中娘の法左一と並此内三割引て七と必是を左  
小加左一七叔中の法七亦又七を素七に十九と必是を又左へ加合して左二一九  
と必是也惣報言を割を姉の取銀なり。姉の取銀亦七を素れハ中  
娘の取銀ハ中娘の取銀亦七を素れハ乙娘の取銀なり

娘拾貫貳百拾九を三分に毛七素五忽あり是を一番上申下以分引  
六割下二番上申下。以分内二割下三番上より中八三割下中より下八三割下五より  
三組も上のかを同報亦取付亦取銀を同

答曰

一番 上取銀を貫五百五拾同  
中曰 九百六拾八を七分五毛  
下曰 六百〇五を八分七毛七五

二番

上取銀を貫五百五拾同  
中曰 九百九拾貳毛  
下曰 六百七拾八を二分五毛

三番

上取銀を貫五百五拾同  
中曰 九百〇八拾五毛  
下曰 六百七拾八を二分五毛

術曰一番上の法を丁並中の法ハ一を六割六二下の法ハ六二五を二六五を  
三九〇六二五より三合して三〇一五六二五と必〇二番上の法一と並中の法ハ一を  
二割引てハ一下の法ハ八八を素六にハ一と必三合して三にハ一と必〇三番上の  
法一と並中の法ハ一を三割引て七と下の法ハ七ハ六二五一の内三引り七  
に三七五と必三合して二三三七五と必惣法三合して六五九三貳と必是也  
法ハ一と惣報言を割を上の取銀をある。一番ハ是を以分ハ一六五を割と  
ある。二乗引分ハ八をうけてある。三番ハ上の取銀亦七をうけて中の取銀  
をある。中の取銀亦六二五をうけて。下の取銀をあるなり

銀三貫用ありは人小配りなり一番より二番ハ一倍増二番より三番ハ一倍増三番より四番ハ一倍増中より右取銀を問

答曰 一番 貳百貫 二番 貳百貫 三番 八百貫 四番 貳百貫 五貫六百貫

郷曰一を左右小座右の一を倍して二下取左二を加左三とぬ又右の二を一倍して三下又左の二を加右二を倍して八下又八を左へ加て十五と

一を倍して三貫用を割て一番の取銀を志す是を以て九の一倍して九と知く  
日雇五組中て三千人をも番組五百人二番三百人三番七百人四番九百人五番六百八十人  
是は銀に貫七百拾貳百八拾五文なり是を番より二番内三割下二番より三番外二割上三番より四番内二割下四番より五番外二割下と知く  
一と後をも右銀を問

答曰 一番組五百人 取銀貳百貫  
二番組三百人 取銀貳百拾拾貫  
三番組七百人 取銀一貫百七拾六文  
四番組九百人 取銀一貫二百六拾四文  
五番組六百人 取銀七百五拾五文

郷曰一番組を志すを五百余りして五百貫二番組七を志すを三百余りして二百拾五三番八を志すを七百余りして五百八拾八文四番七を志すを五百八拾八文五番六を志すを六百余りして二百七拾八文五口合して貳貫二百五拾六文なり是を法中を右銀を志すを以て一番組より二番と志すなりは法中を以て法を二かより法中よりけり

五七 入子 鍋 貫 積

五ッ入子端代銀二拾六匁二匁六厘  
 頭より一割下三匁六厘改より二割下四匁  
 六厘改より三割下五匁六厘改より四割下  
 六厘改より五割下六匁六厘改より六割下  
 七厘改より七割下七匁六厘改より八割下  
 八厘改より九割下八匁六厘改より十割下  
 九厘改より十一割下九匁六厘改より十二割下  
 十厘改より十三割下十匁六厘改より十四割下  
 十一厘改より十五割下十一匁六厘改より十六割下  
 十二厘改より十七割下十二匁六厘改より十八割下  
 十三厘改より十九割下十三匁六厘改より二十割下  
 十四厘改より二十一割下十四匁六厘改より二十二割下  
 十五厘改より二十三割下十五匁六厘改より二十四割下  
 十六厘改より二十五割下十六匁六厘改より二十六割下  
 十七厘改より二十七割下十七匁六厘改より二十八割下  
 十八厘改より二十九割下十八匁六厘改より三十割下  
 十九厘改より三十一割下十九匁六厘改より三十二割下  
 二十厘改より三十三割下二十匁六厘改より三十四割下  
 二十一厘改より三十五割下二十一匁六厘改より三十六割下  
 二十二厘改より三十七割下二十二匁六厘改より三十八割下  
 二十三厘改より三十九割下二十三匁六厘改より四十割下  
 二十四厘改より四十一割下二十四匁六厘改より四十二割下  
 二十五厘改より四十三割下二十五匁六厘改より四十四割下  
 二十六厘改より四十五割下二十六匁六厘改より四十六割下  
 二十七厘改より四十七割下二十七匁六厘改より四十八割下  
 二十八厘改より四十九割下二十八匁六厘改より五十割下  
 二十九厘改より五十一割下二十九匁六厘改より五十二割下  
 三十厘改より五十三割下三十匁六厘改より五十四割下  
 三十一厘改より五十五割下三十一匁六厘改より五十六割下  
 三十二厘改より五十七割下三十二匁六厘改より五十八割下  
 三十三厘改より五十九割下三十三匁六厘改より六十割下  
 三十四厘改より六十一割下三十四匁六厘改より六十二割下  
 三十五厘改より六十三割下三十五匁六厘改より六十四割下  
 三十六厘改より六十五割下三十六匁六厘改より六十六割下  
 三十七厘改より六十七割下三十七匁六厘改より六十八割下  
 三十八厘改より六十九割下三十八匁六厘改より七十割下  
 三十九厘改より七十一割下三十九匁六厘改より七十二割下  
 四十厘改より七十三割下四十匁六厘改より七十四割下  
 四十一厘改より七十五割下四十一匁六厘改より七十六割下  
 四十二厘改より七十七割下四十二匁六厘改より七十八割下  
 四十三厘改より七十九割下四十三匁六厘改より八十割下  
 四十四厘改より八十一割下四十四匁六厘改より八十二割下  
 四十五厘改より八十三割下四十五匁六厘改より八十四割下  
 四十六厘改より八十五割下四十六匁六厘改より八十六割下  
 四十七厘改より八十七割下四十七匁六厘改より八十八割下  
 四十八厘改より八十九割下四十八匁六厘改より九十割下  
 四十九厘改より九十一割下四十九匁六厘改より九十二割下  
 五十厘改より九十三割下五十匁六厘改より九十四割下  
 五十一厘改より九十五割下五十一匁六厘改より九十六割下  
 五十二厘改より九十七割下五十二匁六厘改より九十八割下  
 五十三厘改より九十九割下五十三匁六厘改より一百割下  
 五十四厘改より一百一割下五十四匁六厘改より一百一割下  
 五十五厘改より一百一割下五十五匁六厘改より一百一割下  
 五十六厘改より一百一割下五十六匁六厘改より一百一割下  
 五十七厘改より一百一割下五十七匁六厘改より一百一割下  
 五十八厘改より一百一割下五十八匁六厘改より一百一割下  
 五十九厘改より一百一割下五十九匁六厘改より一百一割下  
 六十厘改より一百一割下六十匁六厘改より一百一割下  
 六十一厘改より一百一割下六十一匁六厘改より一百一割下  
 六十二厘改より一百一割下六十二匁六厘改より一百一割下  
 六十三厘改より一百一割下六十三匁六厘改より一百一割下  
 六十四厘改より一百一割下六十四匁六厘改より一百一割下  
 六十五厘改より一百一割下六十五匁六厘改より一百一割下  
 六十六厘改より一百一割下六十六匁六厘改より一百一割下  
 六十七厘改より一百一割下六十七匁六厘改より一百一割下  
 六十八厘改より一百一割下六十八匁六厘改より一百一割下  
 六十九厘改より一百一割下六十九匁六厘改より一百一割下  
 七十厘改より一百一割下七十匁六厘改より一百一割下  
 七十一厘改より一百一割下七十一匁六厘改より一百一割下  
 七十二厘改より一百一割下七十二匁六厘改より一百一割下  
 七十三厘改より一百一割下七十三匁六厘改より一百一割下  
 七十四厘改より一百一割下七十四匁六厘改より一百一割下  
 七十五厘改より一百一割下七十五匁六厘改より一百一割下  
 七十六厘改より一百一割下七十六匁六厘改より一百一割下  
 七十七厘改より一百一割下七十七匁六厘改より一百一割下  
 七十八厘改より一百一割下七十八匁六厘改より一百一割下  
 七十九厘改より一百一割下七十九匁六厘改より一百一割下  
 八十厘改より一百一割下八十匁六厘改より一百一割下  
 八十一厘改より一百一割下八十一匁六厘改より一百一割下  
 八十二厘改より一百一割下八十二匁六厘改より一百一割下  
 八十三厘改より一百一割下八十三匁六厘改より一百一割下  
 八十四厘改より一百一割下八十四匁六厘改より一百一割下  
 八十五厘改より一百一割下八十五匁六厘改より一百一割下  
 八十六厘改より一百一割下八十六匁六厘改より一百一割下  
 八十七厘改より一百一割下八十七匁六厘改より一百一割下  
 八十八厘改より一百一割下八十八匁六厘改より一百一割下  
 八十九厘改より一百一割下八十九匁六厘改より一百一割下  
 九十厘改より一百一割下九十匁六厘改より一百一割下  
 九十一厘改より一百一割下九十一匁六厘改より一百一割下  
 九十二厘改より一百一割下九十二匁六厘改より一百一割下  
 九十三厘改より一百一割下九十三匁六厘改より一百一割下  
 九十四厘改より一百一割下九十四匁六厘改より一百一割下  
 九十五厘改より一百一割下九十五匁六厘改より一百一割下  
 九十六厘改より一百一割下九十六匁六厘改より一百一割下  
 九十七厘改より一百一割下九十七匁六厘改より一百一割下  
 九十八厘改より一百一割下九十八匁六厘改より一百一割下  
 九十九厘改より一百一割下九十九匁六厘改より一百一割下  
 一百厘改より一百一割下一百匁六厘改より一百一割下

六	五匁六厘	六匁三厘	七匁二厘	八匁一厘	九匁
七					
八					
九					
十					

綱曰十九八七六を合して四十は是を五  
 匁の代銀三拾六匁を割るは二匁の代  
 九匁は此九小九を割るは二匁の代  
 又八を割るは二匁の代又七を割るは二  
 匁の代又六を割るは二匁の代

六ッ入子端代銀貳拾五匁六厘  
 不付に下つて改より下つて吾代銀と同  
 答曰  
 頭四匁五厘 二匁四厘五 三匁三厘七  
 四匁三厘三 五匁二厘九 六匁二厘五

六					
七					
八					
九					
十					

綱曰一二三五を合して十五は是を四匁を  
 五匁の代銀是を物代銀不加て貳十  
 七匁は是を端改より六割は改二匁の  
 代銀は改より是を合して一匁あり

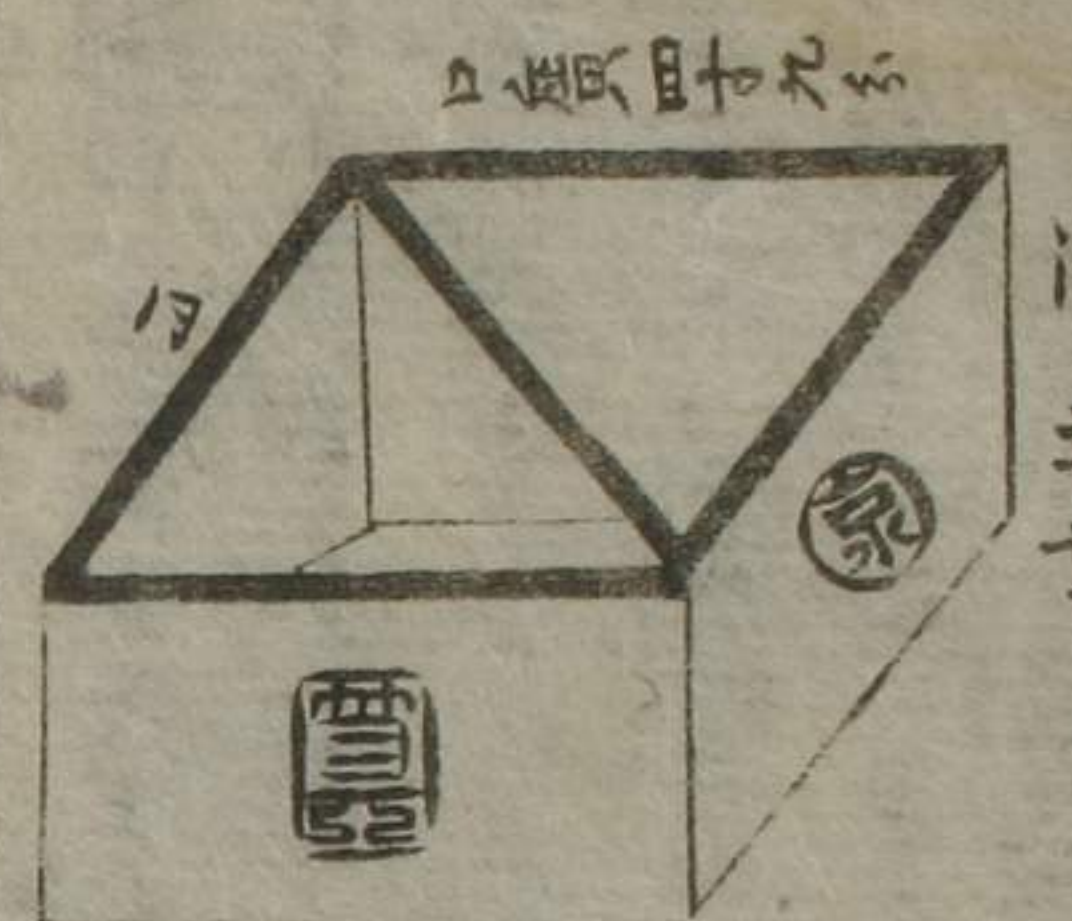
圓の如き七ッ入子の文庫を物代銀  
 貳拾五匁あり一匁付六匁下つて何程と同

- 答曰  
 頭四匁八厘 二匁四厘五 三匁三厘六  
 四 三 匁 五 二匁四厘 六匁五厘八  
 七 匁 二厘

綱曰一二三四五六と並合二十一と  
 是を差六匁を割るは拾二匁六厘 是を  
 惣代銀廿五匁あり加三拾三匁六厘と  
 是を七割頭の代銀を割るは拾八  
 六厘下つて改なり ○又末の代銀を割るは  
 一二三四五六を並合して二十一と差六匁を割るは拾二匁六厘と  
 是を五匁を割るは内五匁を割るは八匁六厘は是を七割末の代銀と改なり



⑤ 拵目之部



今拵目之部

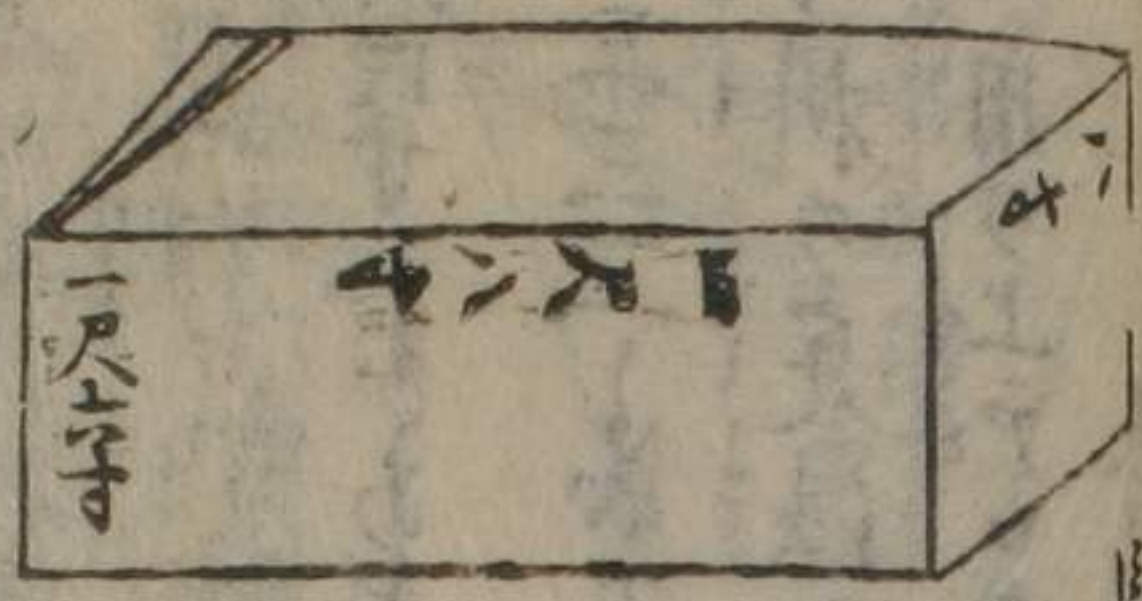
拵目今拵の法は四寸九分を自余一四〇一と記し  
二寸七分を系て寸歩六拾四歩八二七と記す  
法を六四八二七とす。古拵の定法も是と同一但  
古拵ハ口廣廿五寸四方深廿二寸五分

答曰 拵石を斗七升八合

拵石を斗七升八合余

堅四尺九寸幅一尺四寸七分深一尺八寸の拵目本何石入と同

拵曰堅四尺九寸幅一尺四寸七分深一尺八寸  
寸九分をくれむ寸歩二万三千六百拾三歩六分七分と記す。是を今拵の  
定法六四八二七とす。又古拵の拵目を知れ八二七五分と記す。



此拵今拵何斗入と同

答曰 九斗四升

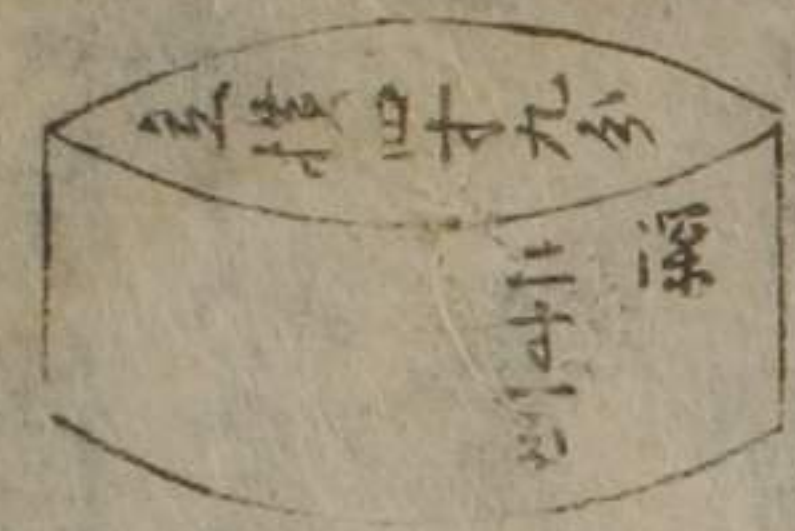
七合七勺三分

拵曰四尺八寸幅八寸をくれけて  
三八四と記す。一尺六寸と系

六千一百四十四歩今拵の法をて刻て知

図の如丸曲物入拵目を同

答曰 七合九勺



拵曰徑四寸九分を自余一四  
一と記す。二寸七分をくれ系法七九と  
け今拵の法をて刻る



図の如丸飯椀形の曲物入拵目同

答曰 一斗五升四合八勺

拵曰一尺四寸九分八  
分を系一四〇一と記す  
別九寸八分を自余一  
四〇一と記す。是を今拵の  
定法六四八二七とす。

拵目九分 是ハ口廣用印法二と系

拵目九分 是ハ口廣用印法二と系  
一四〇一の内を引む残二二三八九六  
と記す。深一尺四寸七分をくれ今  
拵の定法六四八二七とす。是と同一但  
拵目九分をくれ今拵の法をて刻る

廣徑六尺三寸七分底徑五尺八寸八分  
深井八尺一寸の酒桶を柵殺何程と向

答曰 三拾七石五升一合

御曰 廣徑六尺三寸七分底徑五尺八寸八分  
五尺八寸八分を糸れを坪殺

三千七百拾五坪五分六厘と也

又此の徑の内にて底の徑を引て

殘に九分あり是を自算かして二四〇

一〇〇是を海鏡法三を以て割て八

三三三三〇〇是を右の坪殺の糸れに八尺一寸をけ又四法七九を糸

今柵の定法六四八二七とて割て右の柵殺を算る

三角の上戸口廣二尺四寸五分深三尺二寸四分の柵殺を向



圖の如く六角の音八入柵殺を向

答曰

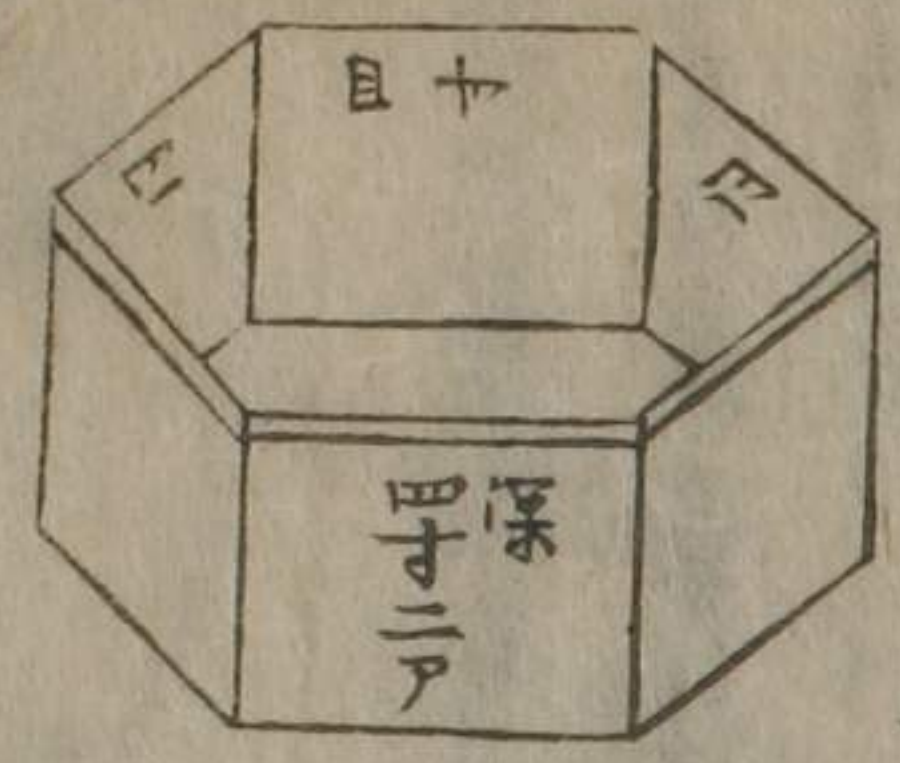
式并六合九丈二寸

御曰六角の一方四寸

自算して六〇〇〇是を

深井四寸二分とけ六

二七是六〇〇角の法二五九八をけ一七四五  
八五六〇〇是を六四八二七とて割て



二寸五分の八角深四寸三分此柵殺を向

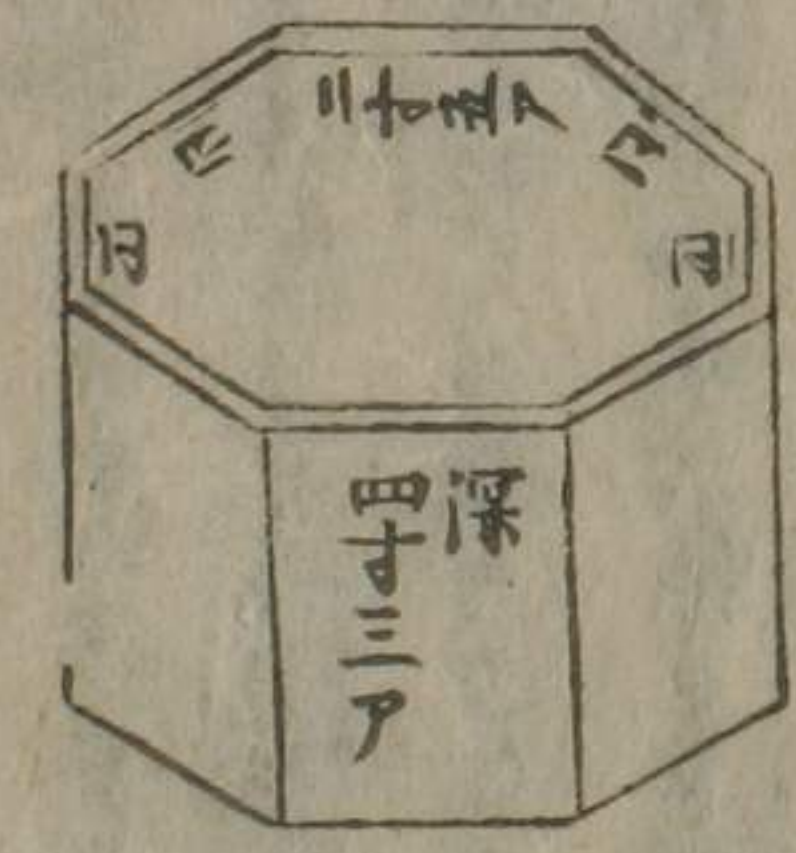
答曰

二并〇〇一六八余

御曰八角一方の二寸五分

を自算して一六二五〇〇

是六〇〇深四寸三分をけ二六八七五〇〇是六  
八角の法四八二八四をけ二二九七六三三五  
〇〇〇是を六四八二七とて割て







図の如き壺の拵敷を問

答曰 四斗二升

綱曰 上一尺四寸七分下七寸三分五厘を乗て百〇八坪四分五厘を別ふ壺又上の尺の内を下の尺を引を積七寸三分五厘を自乗して海統の法三を以て割む十



図の如き折敷入拵敷を問

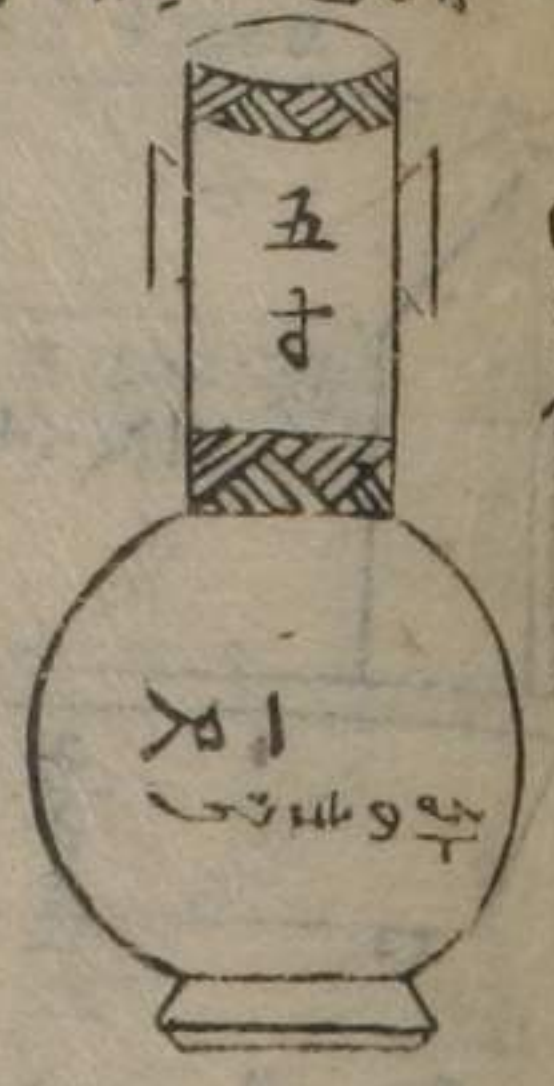
答曰 一升三合七勺

綱曰 中指より一尺を自乗して百坪と又角一寸五分を自乗して二坪二分半と必是を百坪の内を引残り九十七坪七分五厘を深九寸を以て今升の法六四八二

図の如き花蓋小水何程入やと問

答曰 三合五勺五勺九

綱曰 銅の厚を五分三二六を乗一倍して六分三厘を毛と必是を外廻り一尺の内を引を内の廻り九寸



九分三厘を六八と必是を四より二寸四分八厘を二と必是を三五にして十五坪三三〇六二と別ふ壺又口の二指後一寸五分を自乗して九六と必是小四法七九を以て一五に八に必是を二の長五寸を以て七坪七に二と必是を右の坪小加減拾三坪〇七二二と必是を今升の法六四八二七を割り

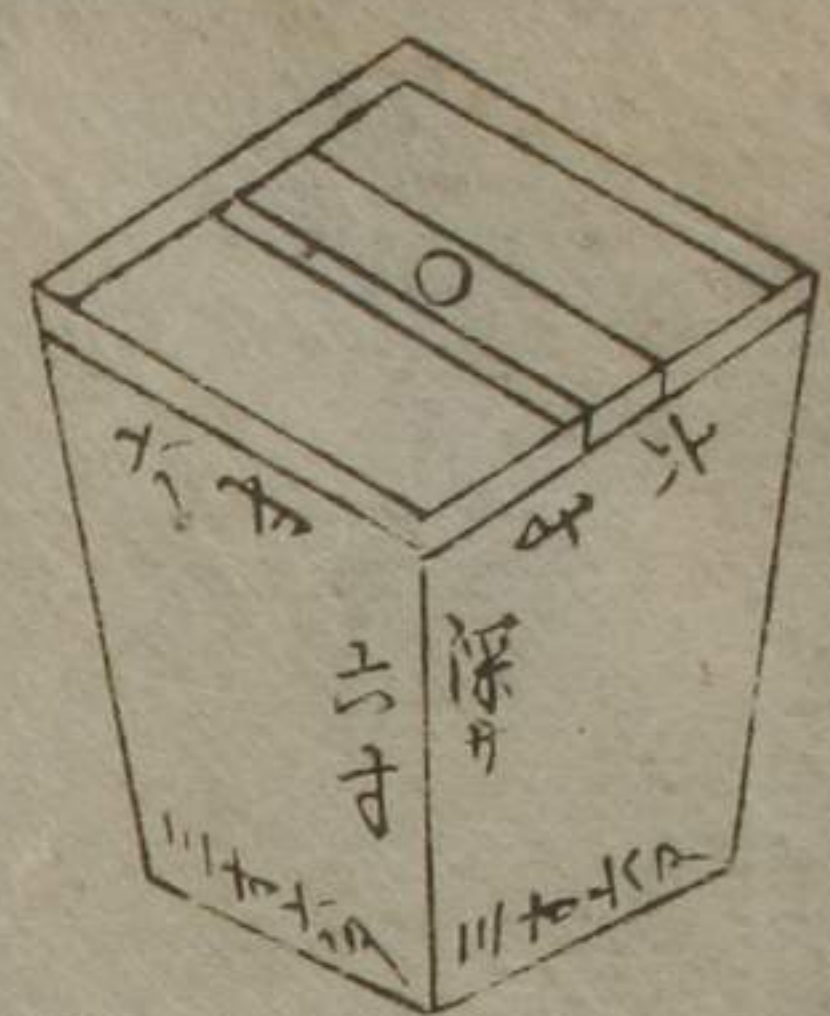
図の如き陶器小酒何程入と問

答曰 七升〇三勺二勺

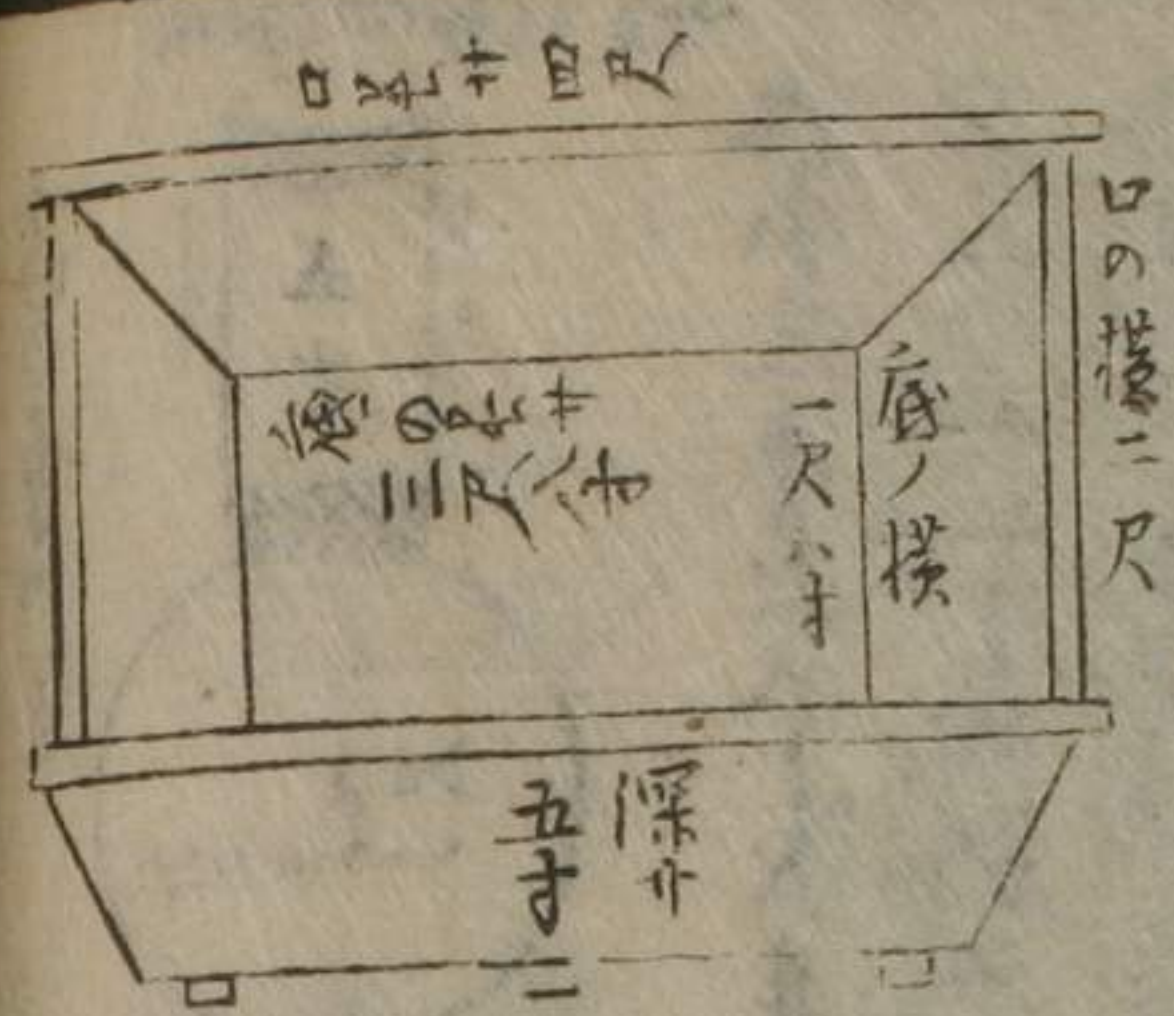
綱曰 底の指渡五寸六分を自乗して三三二六と必是小深八寸を乗二五〇八八と必是四法八を以て一〇〇七



〇四と必是小海統の法三を以て割む六六九〇三余と必は六四八二七を割り



右別と平一歩教加ハニ三五二是ハ深六寸を古升の法六二五にて刻之



圖の如し平船古升にて水何程全同  
 答曰 古升二升二合五夕七支九二  
 細口六寸ハ底三寸六分を糸にて一十坪六分ハ別  
 ちた又口六寸の内底の三寸六分別を二寸四分残是を自  
 して五七六ハ是を滿統の法三五を刻一九二ハ是を  
 答曰 古升 五升九升三合六夕七支六余  
 細口四尺ハ二尺八寸を加七尺八寸ハ又二尺ハ一尺八寸加三尺  
 八寸ハ是ハ右の六尺八寸を糸に二寸九分十四歩ハ  
 又別ハ四尺の内三尺八寸引二残三寸是を自糸一に歩ハ  
 是を滿統の法三ハ刻一歩三三余是を右の二寸九分六  
 十に歩ハ加四にて刻深サ五寸を糸古升の法を刻之

○ 人を外固小積る法

廣サ 一尺〇五ア  
 六重三毛  
 四方



斗拵斗桶寸法

口ノ横 一尺一サ五ア



深サ六寸七ア八リ

口ノ横 一尺〇四ア

或人我が身を  
 外固小積る法の  
 有やと向  
 答曰  
 宿心安か  
 水のなりこそ  
 水風呂の水を  
 一斗ハ其人を入し  
 扱あがせ減る水の一斗ハあちまて  
 井をとりて水をとり入るハ二斗一升五合入より  
 是即ち出身の外殺なりといふハ感心しと止む



五九

大石運送夫數の積

大石あり長廿三間頭中七尺七寸末中七尺三寸上下も厚廿六尺  
此石曳ると何人夫何人を用也を記と問

答曰 五万五百世人を曳之

術曰 七尺七寸を七尺三寸を加へ一丈五尺は是を折半して七尺五寸なり是は  
厚廿六尺を厚一尺坪四十五坪なり一問六五を厚一丈九尺五寸を厚  
是を下の四十五坪よりけて八百七拾七坪なり是を二坪十二人掛ありて  
右八百七拾七坪より十二を厚けて夫數を記たり

○問右の如し大石一尺坪十二人掛ありとも石の大小よりて人夫不問あり

長三尺小口一尺四方の石あり即ち尺歩六坪あり人夫何人持と問

答曰 人夫十二人 但し十八人持入  
二人を厚一尺

石持の法五拾坪より八尺坪一ツは二人かを厚五十坪より六尺厚より増人足

この里但し一人を厚より八尺溝川橋の上山越ありの向も弱く方の助力之

百足持 石巻持 直棒持

答曰 一

華表の柱一かあり

小指渡二尺

長廿一丈九尺五寸

右も左も

入足を向

答曰 百十五人

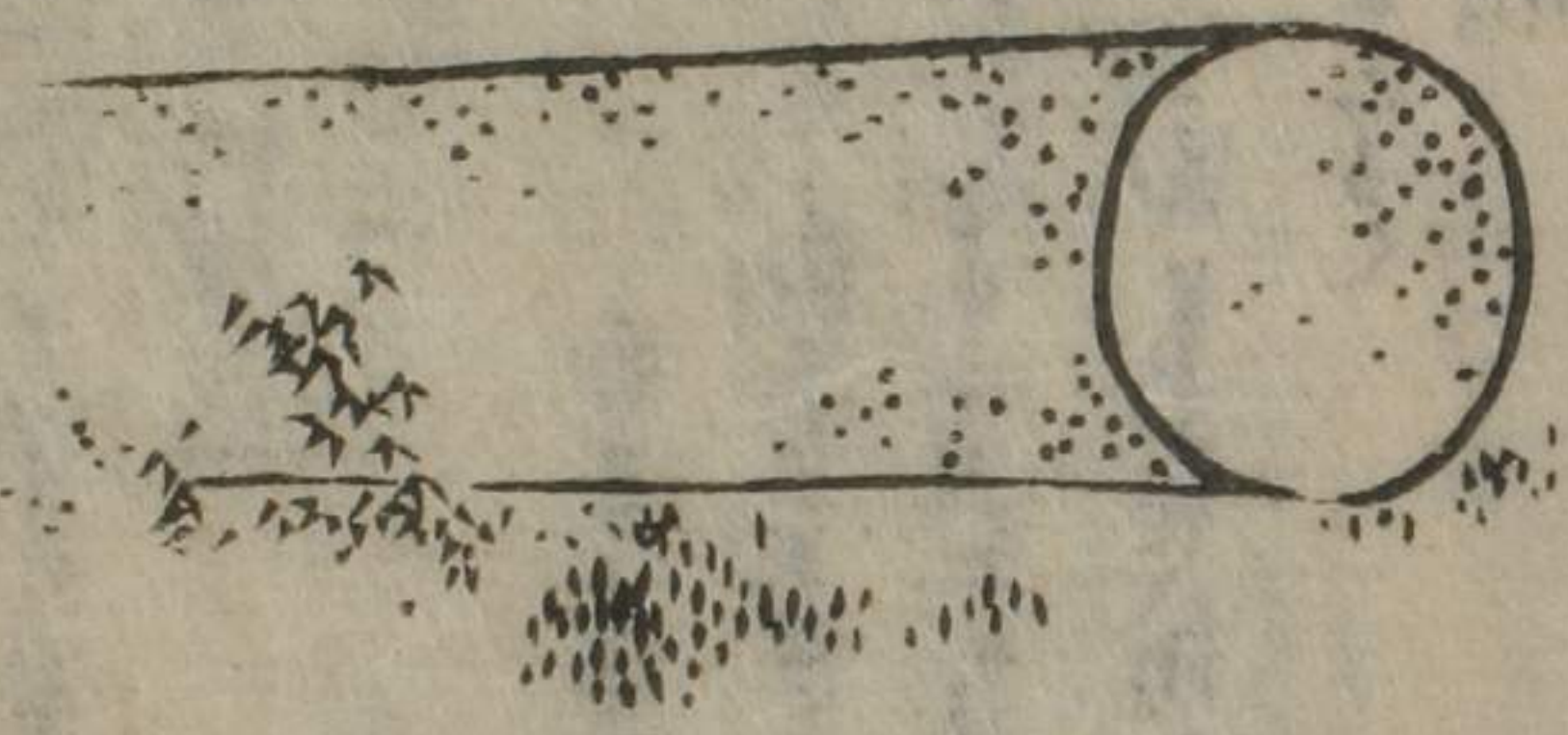
術曰 經二尺を向

口坪之厚小一丈九尺五寸

を厚け旧法七九を厚け

六拾一坪六分二厘を厚

是を一坪三人掛ありて坪數を記と問



大石一ツ尺坪  
二百十坪あり  
是を修羅を  
曳を厚け  
夫數を問

答曰

八百甲人

右一坪は人

の厚け

五で二百十坪は

四を厚け

大八車を

曳

人殺の

積を記と

問



六十一 石垣つら坪のりを知積

石垣長廿二拾間高廿四間中て字のりせり  
りて築つる面の坪数何程と同

答曰 百廿坪〇六二に

細目のりすを自糸一十二必是百と  
加へ平法小用けを一〇七七必是を  
はす句配の比びく是ふ高廿四間を  
て面の間に間三分〇八必是八間と  
系れを右の坪数をさるく

六十二 同石数の積

右の石垣ふ石二尺八寸四方廻して石  
数何程入と同

答曰 石数に百五十三八をさる

御曰百廿坪〇六二に平坪の法に二五と  
うけ右ふ左ふ二尺八寸を自糸一と七  
八に必是を右の坪数を割かり

六十三 石数積取つら面坪廻

石の面三尺四方廻して二千二百坪  
内今日後免の石数大小もふ百二十  
あり此尺坪千に百に拾坪のりせり  
三尺四方廻して八何程成どと同

答曰 百六拾

術曰三尺四方を何合と三九九必  
是をて千に百に拾坪を割く

甲ふかの如くして  
二ト六百の都合さるく



石垣  
築図

⑤ 石垣を積上る法

図の通り上のありしたる十六間お十に間高せ  
 ざる石とも十二間ありて築せし根石より  
 一石のりり五寸あり二間より上へ一石ありて  
 一石五分のりりをせしめたりとせしむる根石  
 の地行縄張を何程ありとせしめやと同

答曰 堅廿五間 横廿三間

綱曰 高十間おのり五寸をせしめ五石を  
 一倍して十一石をせしめ十六石を加せ七間  
 あり此内おのりを間おせしめ一方の  
 二間あり廿五間おのり下の堅の同敷く  
 廿五間の内又二間あり下の横廿三間とせしめ  
 是とせしめて一間おせしめ二間の差とせしめ也

⑥ 石段築上る積

今石段築とせし延是を丈三尺に寸五分幅二間を此石段八寸のりなりと云  
 石一ツ厚サ七寸ありて幾段もあるや又踏段中何寸ありてのりりとかなを  
 せしめ石の長サ何間ありと問

答曰

石段十二段 かつ石 長二石に寸五分  
 一層厚七寸 踏幅八寸七分五厘 両方合はる九寸

惣石二十八間九寸八

術曰 延是一丈二尺に寸五分とせし

是を八寸勾倍一尺二寸八分とせし  
 一石一丈五寸とせし

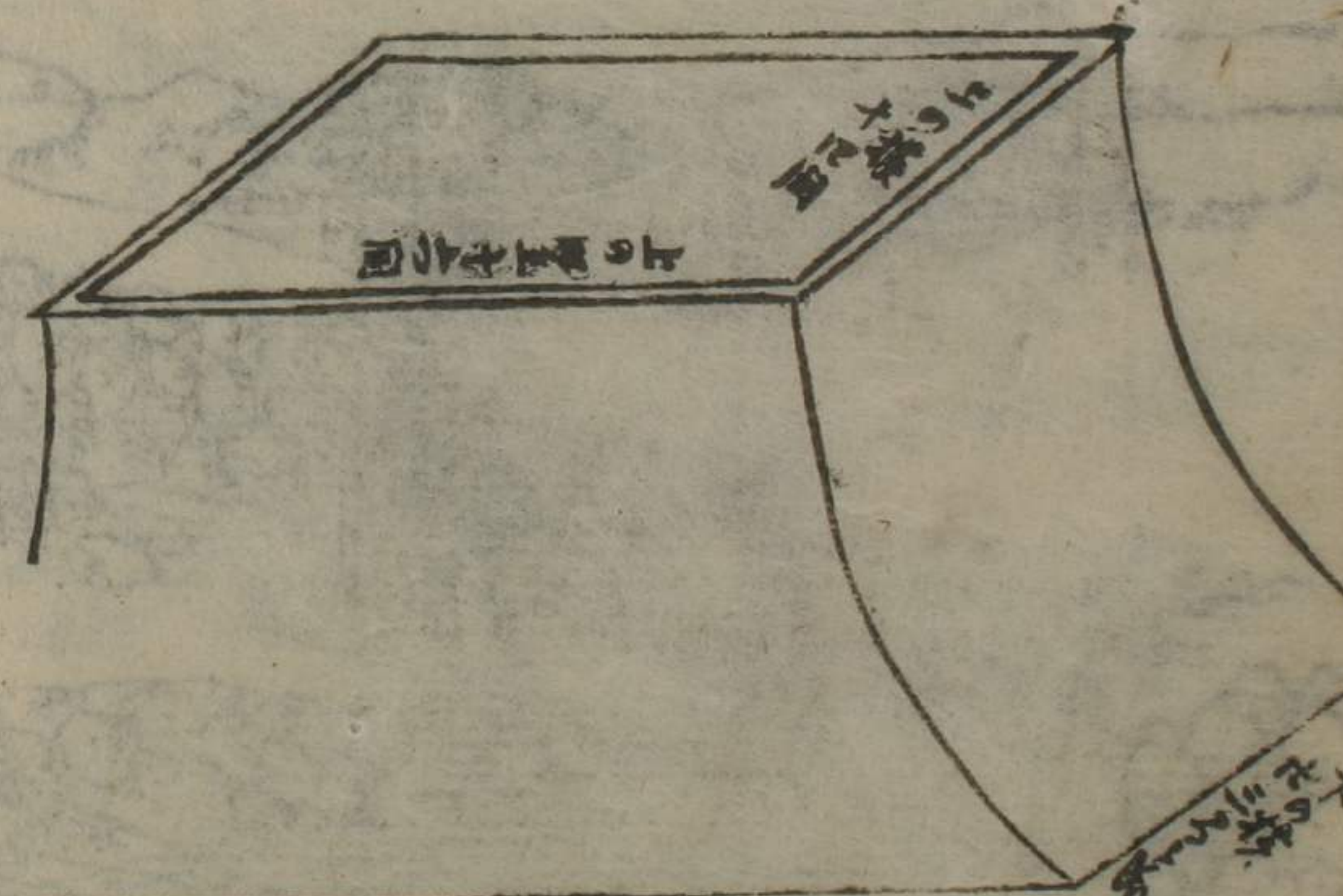
是を自乗し

法



石段築上る積

百廿七



高十  
十二間

下の堅二十五間

■二〇三三三とぬ。又別一丈三尺にす五分を向糸して一八〇九〇二五とぬ。右より  
 少を引除七〇五八九五を冊平法、除た八尺にすとぬ。是を七すことこれ十二段  
 とぬ。此十二段で一丈五寸をより踏まぬ八寸七分五厘とぬ。又かづらね一丈三  
 尺にす五分を六五ゆて割二間にす五分とぬ。両方をて二間九寸と

（五）

栗石をて石垣を積法

栗石二百五十一段あり此石場の地面幅八尺あり

是れ右の栗石三段の積りけさすあく一間の間の

大を一間の間の下の地形二段三段何れも何れ

つれあつるやと同

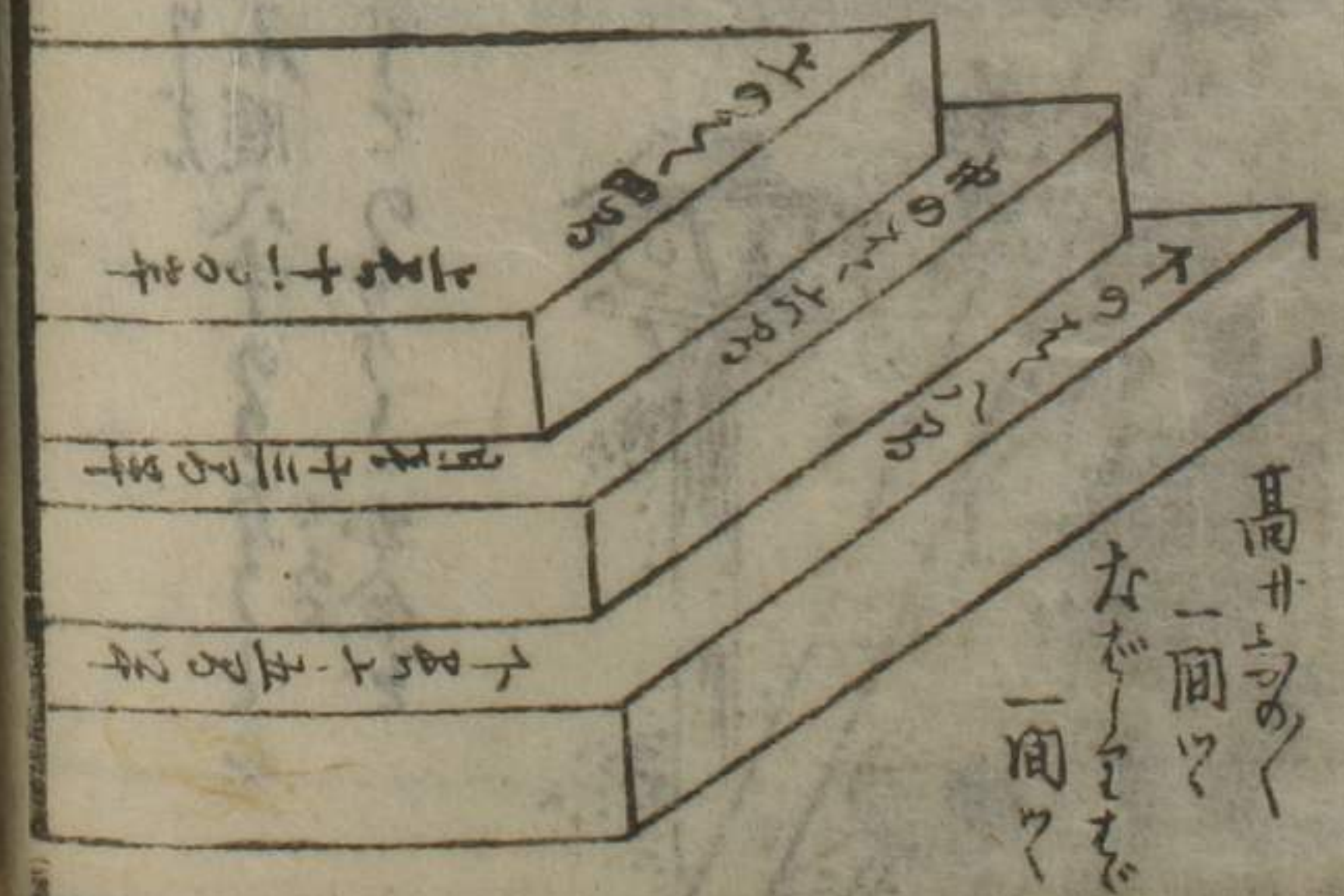
上の幅四間半長十一間半

答曰

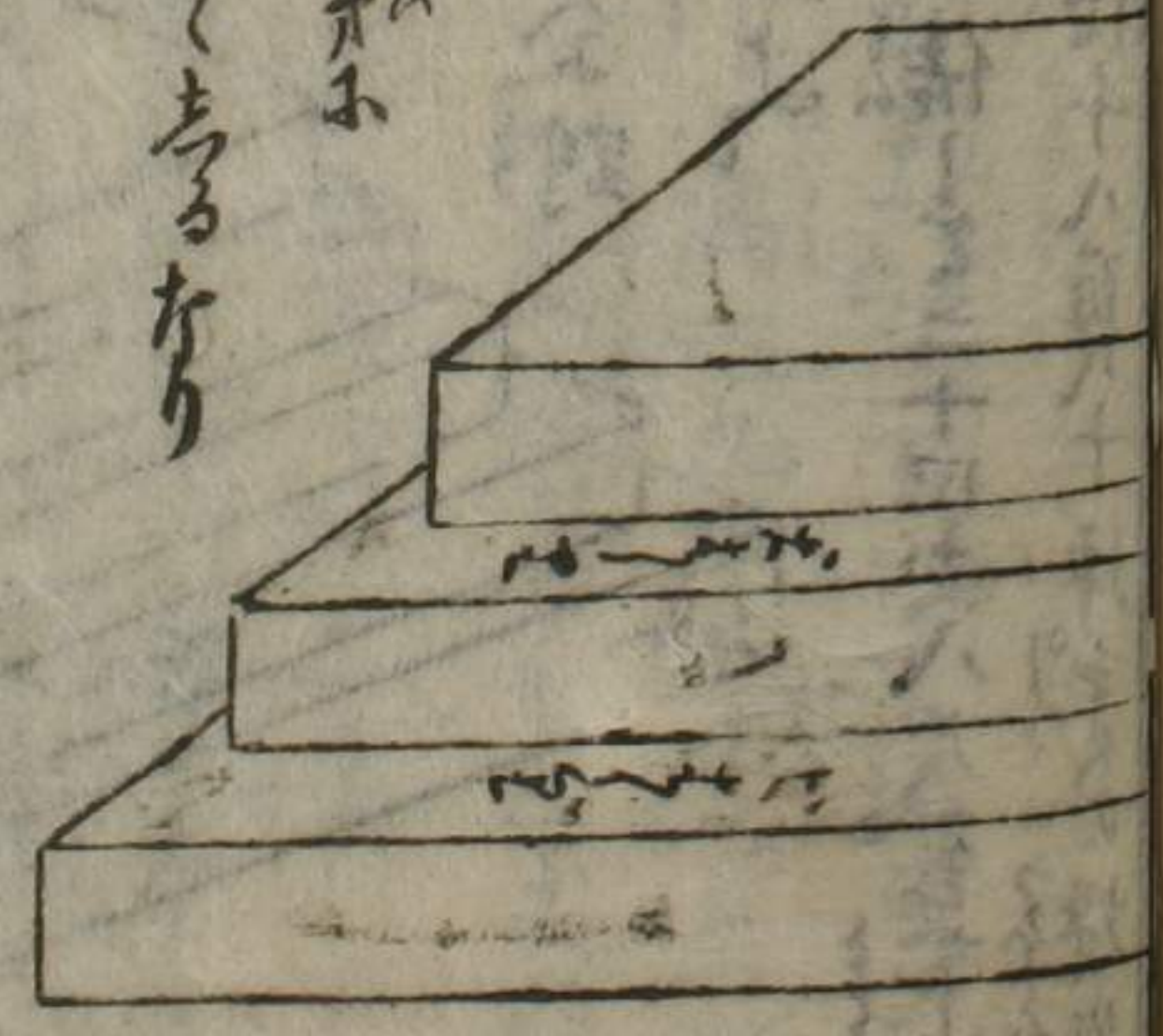
中の幅六間半長十三間半

下の幅八間半長十五間半

術曰八間の内二間引む六間とぬ。是れ二をけり



十二坪とぬ。是を有坪二百五十一坪へ加て又六間の内  
 二間を引む二間とぬ。是れ二をけり十六坪とぬ。  
 又是を有坪へ加二口合すと式百七十九坪とぬ。是を  
 右へ並八る六間は三口合すと十八間とぬ。是を法りて  
 右坪を引むれは下の長十五間半とぬ。上へ六段あり  
 二間を引むるなり



（六）

栗石をて五重の石垣を積法

栗石七百五拾坪をよりて五重の石垣を積り高廿各五尺ふして上より二重用  
 大丈五尺三重月六尺四重月七尺五重月八尺一丈を各四方の間敷を同

答曰

- 上の段四方で五間五尺三寸三厘五毛
- 二重用四方で十一間二尺三寸三厘五
- 三重月四方で十三間一尺三寸三厘五
- 四重用四方で拾五間二尺三寸三厘五

五重目四方にて十八間二尺八寸三厘五毛

術曰七百五拾坪を尺坪小車にて二十万五千九百

六十八坪七分五厘を扱太走十下り二重目五尺を

一倍して一丈自糸にて五百坪を三重目六尺を倍して

一丈二尺。是を二重目を加二丈二尺。二重目二百二十坪

四重目七尺を倍して一丈二尺。是を二丈二尺を加へ

三丈六尺。自糸にて一丈五重目一丈を倍して

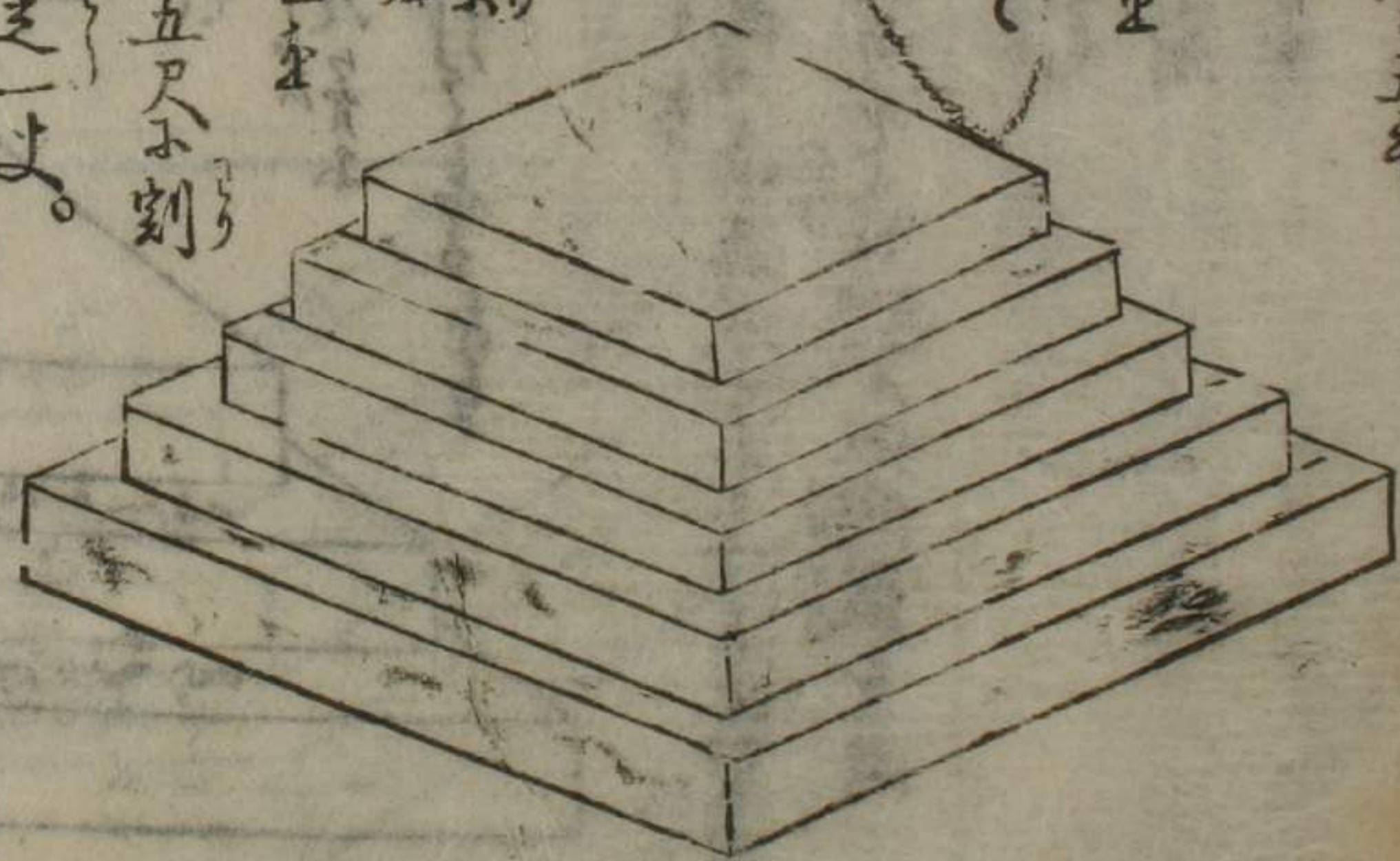
二丈。是を三丈六尺を加へ五丈六尺。自糸にて一丈五千六百八十坪

各坪殺合して一萬五千八百八拾坪。本坪の内少くは

別て残十八万八百八拾八坪七分五厘。是を高十尺五尺小割

二万六千七百七拾七坪七分五厘。是を美小車又太走一丈。

二丈二尺。三丈六尺。五丈六尺。四合を拾二丈八尺。是を倍して二十間八尺。是を倍して



の内に引又太走を自糸して又五尺を美小車一萬八千坪美の内を引残三千二百

九十七坪七分五厘。二高三尺。是此高倍して六一の高小車六百六十坪を

て千八百坪美を引。高帯縦自糸七百四十四坪。小隅三九坪。小隅を

十五坪美より引残七百八坪七分五厘。三の高八寸。是二の高倍して十二丈八尺

自糸して百坪八分。是小隅六分。是加五尺。小隅五百七坪二分。引三の

高八寸。帯縦お周して百九十八坪。は引残三坪一分五厘。四の高三厘。是

一二三の高倍して十二丈七尺六寸。今より三厘小車三分八厘。二毛八厘。小隅三九

分。加五尺。是を美小車坪を自糸。〇は五美より引四の高帯縦自糸して七

分。是に毛引残は九厘。一毛九五。五の高五毛。是を美小車二毛八厘。二小隅

五。二五加之。寸は三分。是九毛。〇一六二五。美を引残四厘八毛。九厘。三七

五。是不更なり。とあり。

橋銀割付之積

法去圖詳

五七

今、橋本番をこぼる小入用銀十二貫目  
 然る小橋より東八所橋より西  
 五町町家あり東の橋結の町より  
 西の橋結の町より一割下を小出銀  
 東西も小橋結の町を頭として  
 二丁目三丁目と次第小一割下  
 て各出銀を問

答曰 東

橋結町 一ノ二百九十四文一分  
 二丁目 一ノ百七十六文四分五厘  
 三丁目 一ノ百六十九文五分  
 四丁目 九百七十二文二分七厘  
 五丁目 八百八十三文八分九厘  
 六丁目 八百三十三文四分四厘  
 七丁目 七百三十四文九厘

八丁目 六百四十四文八厘

西

橋結町 一ノ百七十六文四分五厘  
 二丁目 一ノ百六十九文五分  
 三丁目 九百七十二文二分七厘  
 四丁目 八百八十三文八分九厘  
 五丁目 八百三十三文四分四厘

術曰 ○一ツと重き小十一をを  
 ○二ノ如き小十一をを又二をを  
 二四ノ如き小十一をを ○二六六二と  
 あり是小十一をを ○三三三三と  
 是小十一をを ○三五三三二と  
 小十一をを 二ノ如き ○一九四七  
 一七二と 二九八口合して十八八三令





五九一と云を法あり銀拾二の五百目を割る東八町の方末八町目の差  
六四六拾は八をとりたる。是小十一を差れば七町目の出銀をとりしは是小十一  
をうけ上るあり。又西町と東の二丁目の差が西の橋結町の差東の二丁目の差  
が西の五丁目の出銀をとりたるなり

橋二所お掛るふ入用銀貳拾壹の目なり。然るふ兩橋の中は四町あり此四町が  
銀七の目出を扱橋より南は七町橋より北は三町あり橋の中の町より八橋の  
外の町を銀を扱わぬ二丁目三丁目とは是れ銀を扱わぬ下で出銀を  
とれ橋の外頭町の出銀を問

答曰 六百に八は分三をとり

頭町二丁の出銀

納日七町の方一二三に五六七を合して貳十八之三町の方一二三を合して六  
あ方合して三十に八を合して三十八に百六拾二を合して六  
七貫目を加八貫目百六拾二を合して三十八に百六拾二を合して六  
町の出銀を問るは百六拾二を減して三十八を問るなり

六六 間平法 正矩術とも云

夫間平法ハ正矩術と云て今有歩數坪數を方面より何丈何間四方と云  
事を知術して算学者是と秘し神文誓言の上多とハ是を授むと世上  
お流布する塵劫記に此術を載る書有と云も皆古流の間平法なり大方と  
取二方塗角引をとり事あるを覚安くと術書を添れども元術入組は  
注解してハ解しごと事多く幼童初心の輩倦勞れて書を抛りて今  
此書に載る所を近世博才の算術家の間たり新法の間平法にて其術  
甚と解し安し。譬ハ古流の間平法ハ瀬田を廻して三里の遠を歩と草  
津不到るが如く。此書に載る新法ハ矢橋の渡舟に乗一里ありて草津に著る如  
平法既の間平法に到る間平法に用ふ法と問ふと云はるは精々次の注解を問ふ

新法平法	一一半除	二二二除	三三四半除	四四八除	五五十二半除
半九々声	六六十八除	七七廿四半除	八八三十二除	九九四十半除	

六九 用平法手順口訣

第一 壹位を立る事

右坪を足合し除る  
どの位の位を立る事も  
初番といふ事

第二 立る位をて除る事

第三 定法折半事

第四 初商をて帰る事

第五 半九をて除る事

第六 初商をて帰る事

第七 三商半九をて除る事

右八位おねたる坪数の内上より千百十一と成ふか下り一と成  
けり上へ一をまきけり一〇十の百。千と成ふか下り一と成  
千あるを千と成ふか下り一と成ふか下り一と成ふか下り一と成  
どもり百ありむ百。十ありむ十。等しむりのなごり一と成ふか下り一と成  
右立る位を初商といふは初商一あり二あり三あり四ありと  
九あり合し右の坪数の成を二あり三あり四あり五ありと成ふか下り一と成  
右九ありて引る残りの坪数を減るを八ありの二の限りて引る  
右新法用平法の定法をて右法ふたつなり

右二の限りて引る残りの坪数を又初商をて一あり二あり初番  
一あり二進二十三ありを二進二十三四五以下成るとは

右よりたるを二番といふ此二番一あり二あり半引二あり三あり  
と二番を半九をて半残る坪数以内を一あり引たり三四以下は

右半九をて引る残りの坪数を又初番をて一あり二あり三ありと  
引たりて後初番と二番と九あり合して砂坪と引

右初番二番九あり合し引たり後三番を半九をて半引たり  
右坪数を引たり三番といふは三番四番以下成るとは

右よりたるを二番といふ此二番一あり二あり半引二あり三あり  
と二番を半九をて半残る坪数以内を一あり引たり三四以下は

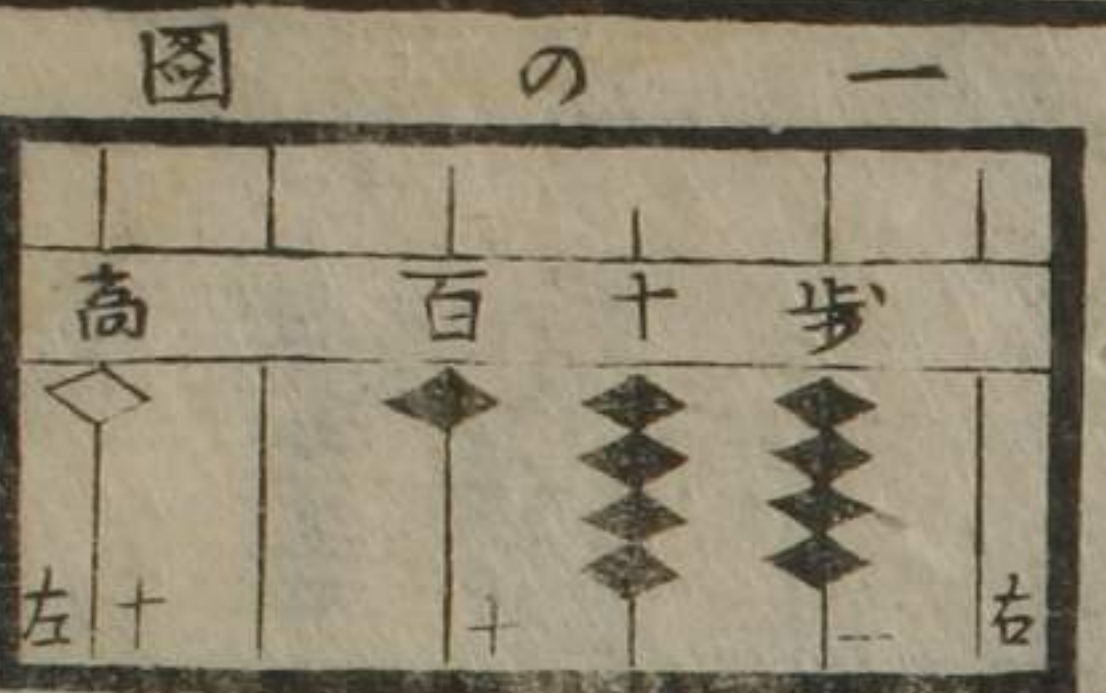
右半九をて引る残りの坪数を又初番をて一あり二あり三ありと  
引たりて後初番と二番と九あり合して砂坪と引

右初番二番九あり合し引たり後三番を半九をて半引たり  
右坪数を引たり三番といふは三番四番以下成るとは

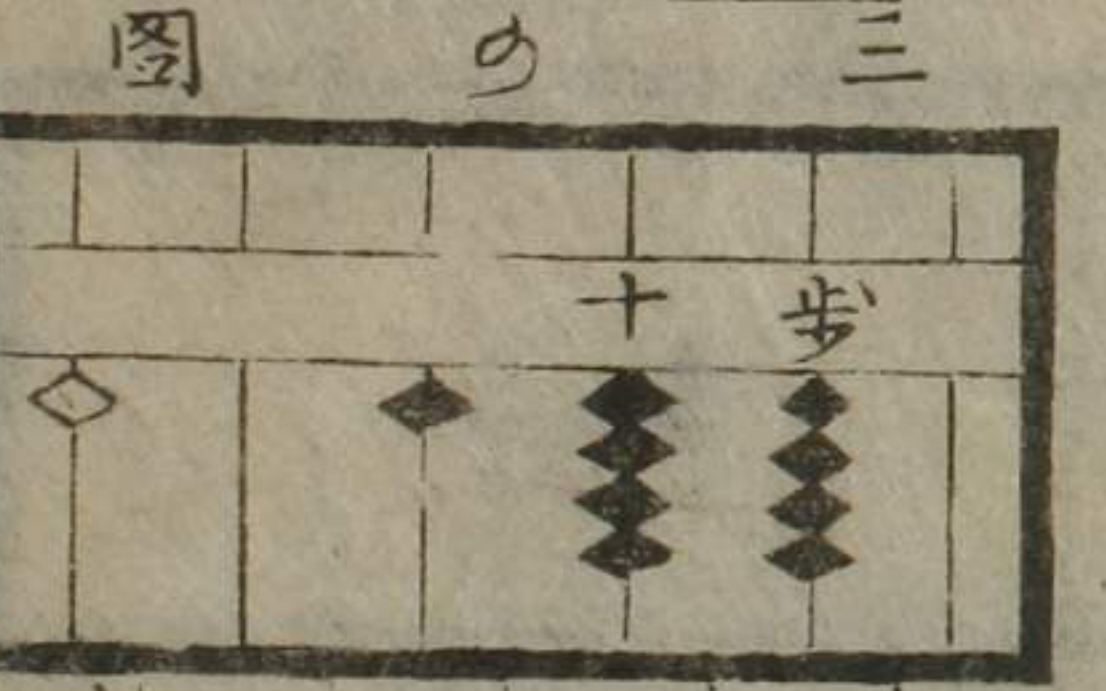
右第七までの口訣をて  
初商を見一の割折と見、除法ハ初商九を二番半九をて引三商あり又二番三  
番を半九の九を合しを引。扱三番半九を半九あり合して除四商五商以下は半  
九。三番四番。四番五番。と二折り九を合しを引。扱三番半九を半九あり合して  
猶ほ一六次の図解をて覚ゆべし

今寸坪對百に拾四歩ありて何尺四方なると同

答曰 一丈二寸四方



は歩のきを一寸の位とけは  
左一十と一と一と一と一と  
は十のきを一寸の位とけは  
左一十と一と一と一と一と  
は十のきを一寸の位とけは  
左一十と一と一と一と一と



一が一引けをいへ  
一が一引けをいへ  
一が一引けをいへ  
一が一引けをいへ

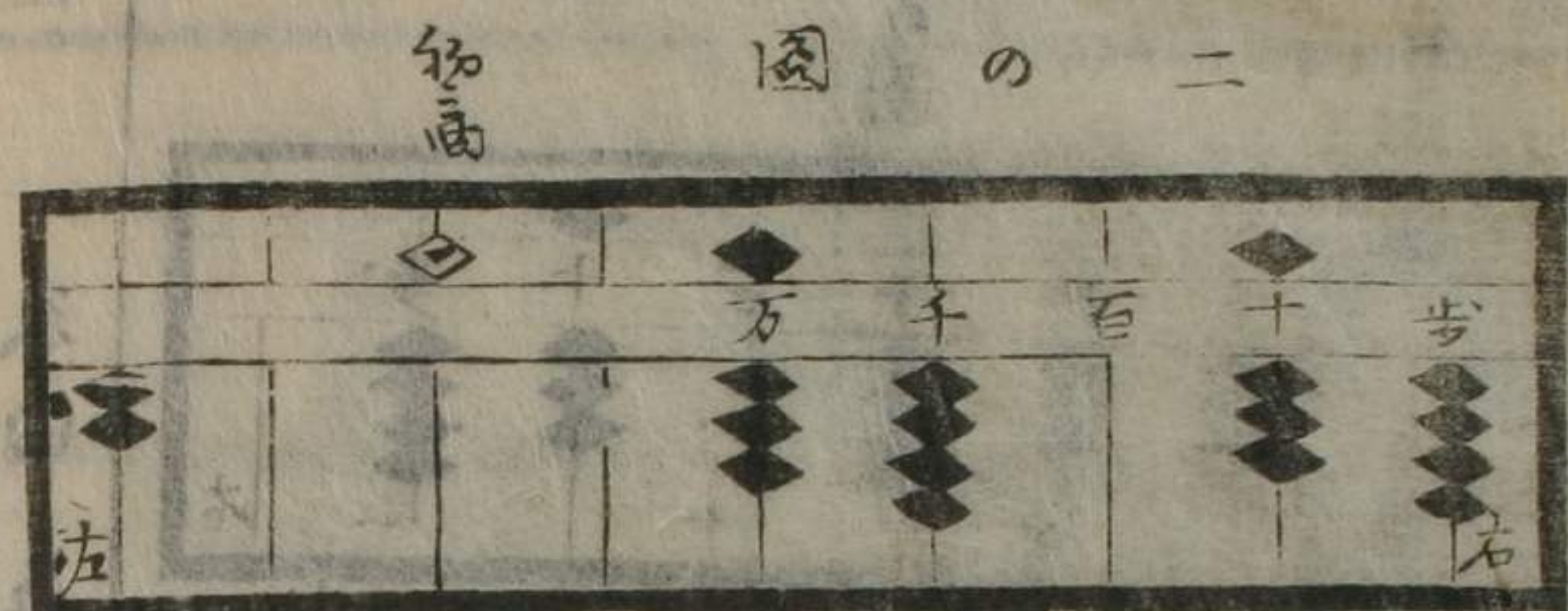
算法圖解

二百七二



初高より引る残坪圖の如し

三の圖



八進に十  
 八進に十  
 八進に十  
 八進に十

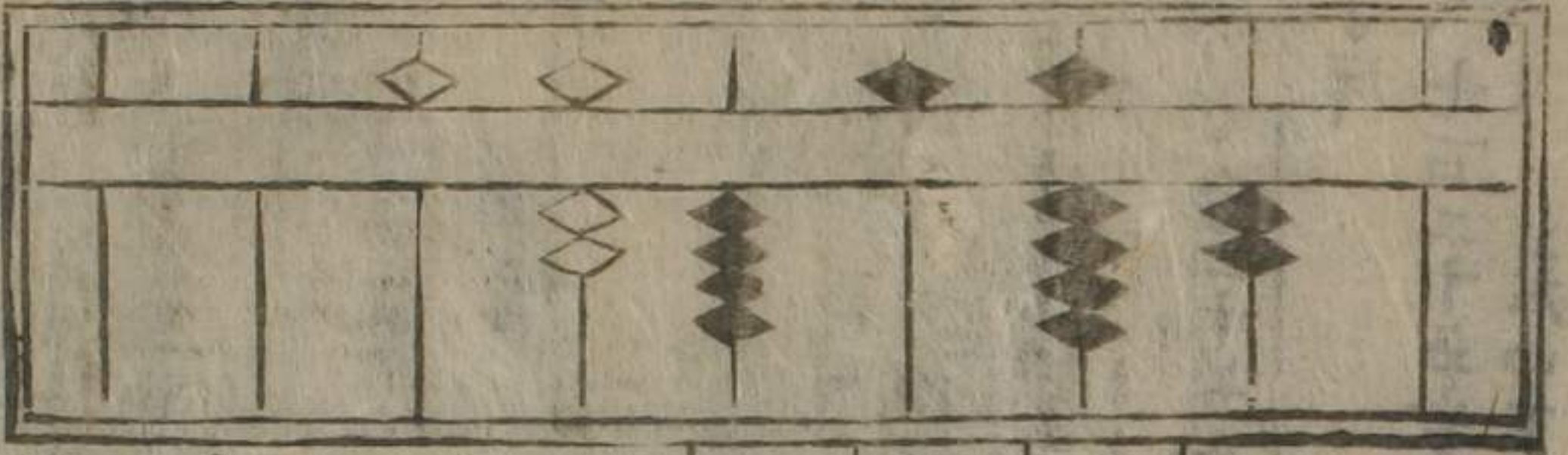
兩平法の定法二ありを  
 残る坪残るを  
 削るも四二〇四二と  
 下の圖の如し



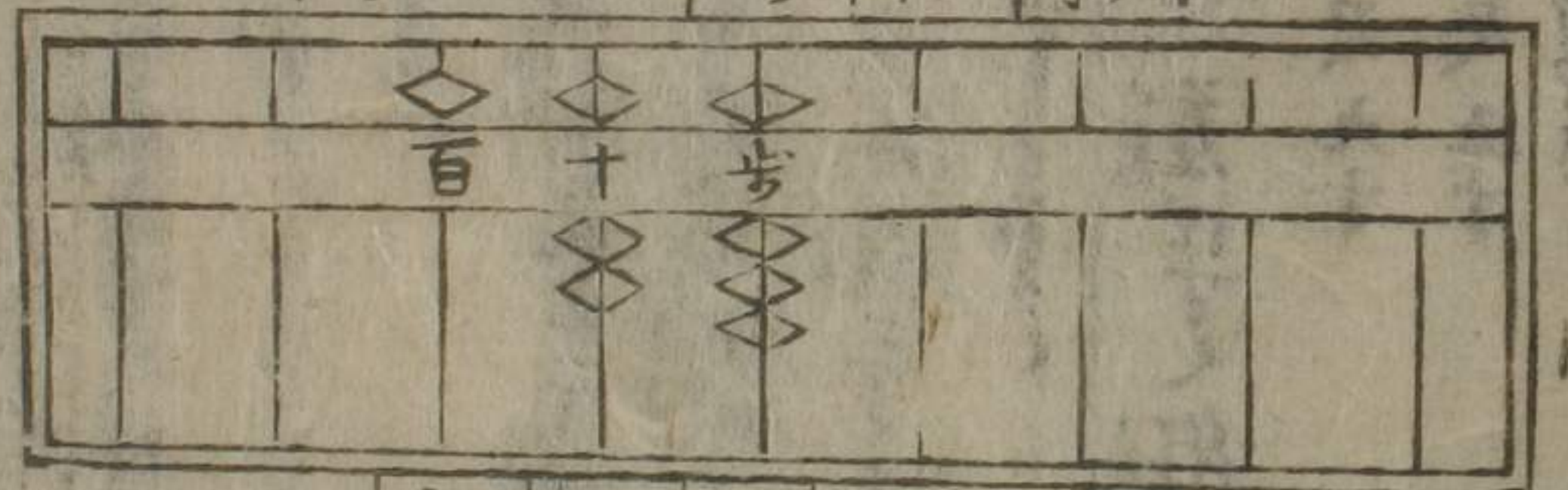
七七廿四半引  
 七四廿四〇倍一倍五五八  
 五四加四〇倍一倍五五八  
 七七廿四半引  
 七四廿四〇倍一倍五五八  
 五四加四〇倍一倍五五八

二の圖

四の圖



八三十三引  
 七八五十六引  
 五四加四  
 八三十三引  
 七八五十六引  
 五四加四



五の圖

初高 五百寸。五丈八寸  
 二高 七十寸。七尺八寸  
 三高 八寸  
 右五丈七尺八寸を問ふと  
 何間と同  
 答曰 八間五尺八寸  
 樹曰 定法五五と一と割く

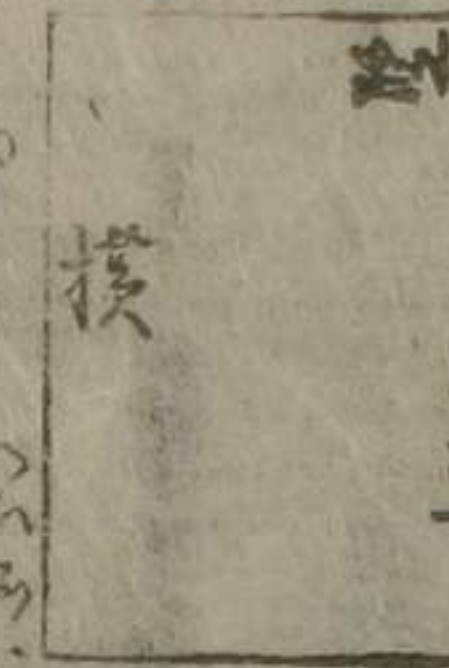
七十 帶 縱 開 平 法

是ハ坪の直積 堅横 長短ありて 堅横の  
差を以て 堅横の式を 何回何尺と 知術也

寸坪三百十五歩の直積あり堅横の差寸寸人堅横の寸尺を問

寸坪 三百十五歩  
差六寸

答曰 堅 二尺一寸  
横 一尺五寸



術曰 差六寸を實し是を二刻三とかる此三を兩方分ちて  
自乘せし三九歩は是を本坪三百十五歩加へ三百二十四歩  
右一尺八寸の内差三寸を減を横一尺五寸とちる又

寸坪七百二十五歩の直積あり縦横の差四寸人縦横の寸尺を問

寸坪 七百二十五歩  
差四寸

答曰 縦 二尺九寸  
横 二尺五寸

術曰 差四寸を折半して二あり此二を左右分ち自乘して

二尺歩は是を本坪七百二十五歩加て七百二十九歩は是を平法小開けし七  
七寸七歩は是を差二を加れ縦の尺又差二寸を減を横の尺なり

平法小開けし  
此圖の如し  
折半し自乗し  
二尺歩なり

田	二尺五寸
縦	二尺五歩
横	五十歩甲

田の寸歩より  
二尺五寸を加  
縦をよめ  
尺とかる  
下の圖の如

田	二尺五寸
縦	十歩
横	十歩

以上の二圖ふ  
く算術の理  
を考へ  
ちるべし

寸坪百八十歩の直積あり縦横の寸合して二尺七寸人縦横の寸尺を問

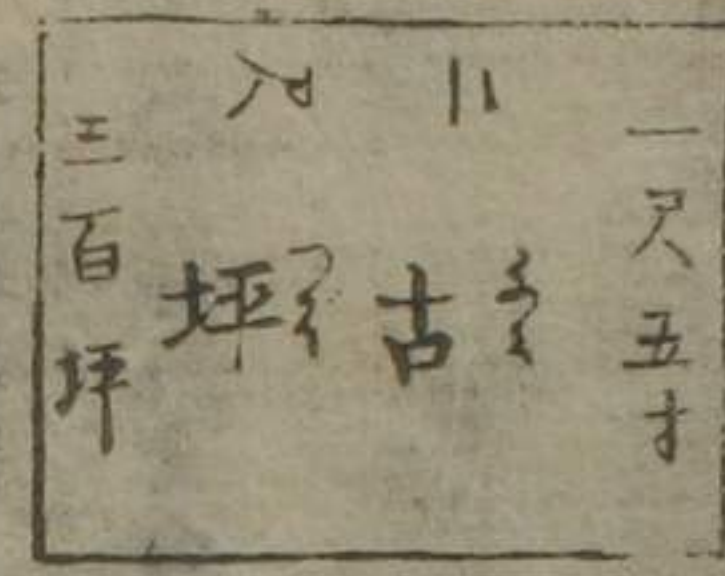
答曰 縦 一尺五寸  
横 一尺二寸

術曰 二尺七寸を折半して一尺三寸五分は是を左右分ち自乗して百八十二歩五分  
五分は此内本坪百八十歩を減し二歩五分を五毛く是を平法小開けし一尺五寸と  
ちる是は一尺三寸五分を加れ縦の尺一尺五寸とちる二尺七寸の内差一尺五  
寸を減て横の尺一尺二寸とちるなり

七 相應兩平法

是ハ古坪の寸尺ハ相應して或ハ大ハ一或ハ小ハ二  
新坪の寸尺を造る術ハ古坪の寸尺ハ相應して

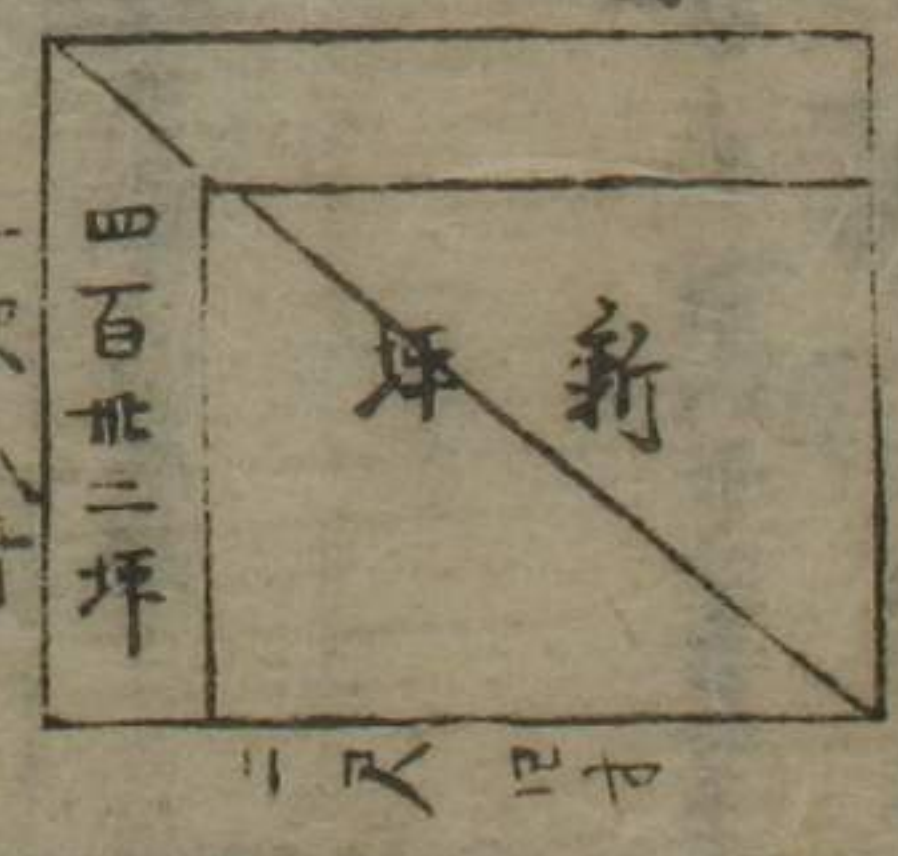
今堅式尺横一尺五寸管あり此寸坪三百坪ハ是ハ相應して四百三十二歩乃  
管を造ると凡堅横の寸尺何程と同



答曰 堅二尺四寸 横一尺八寸

術曰古坪三百歩を法して新坪四百三十二歩を

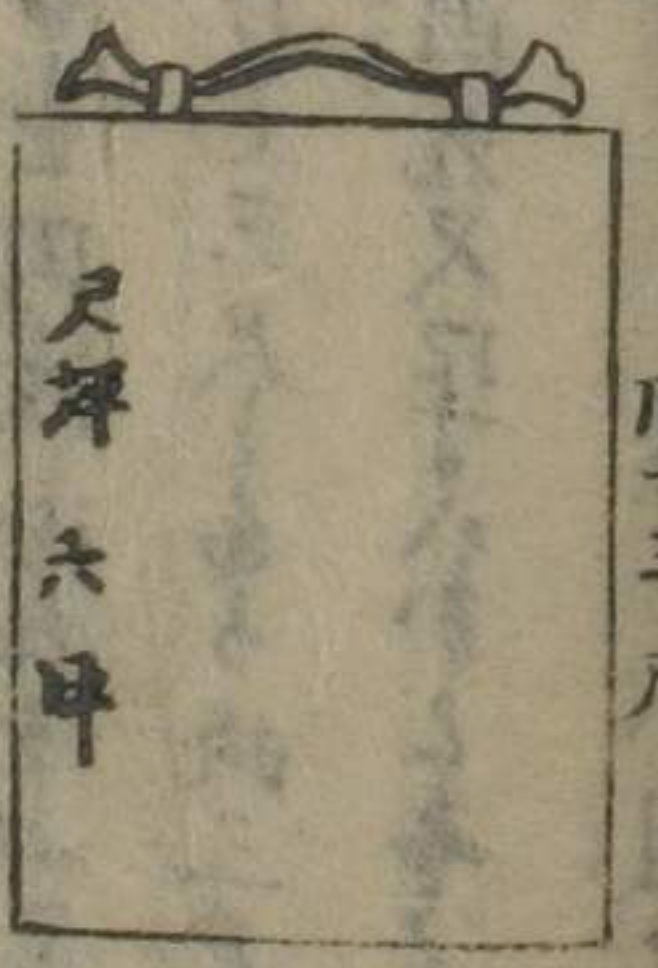
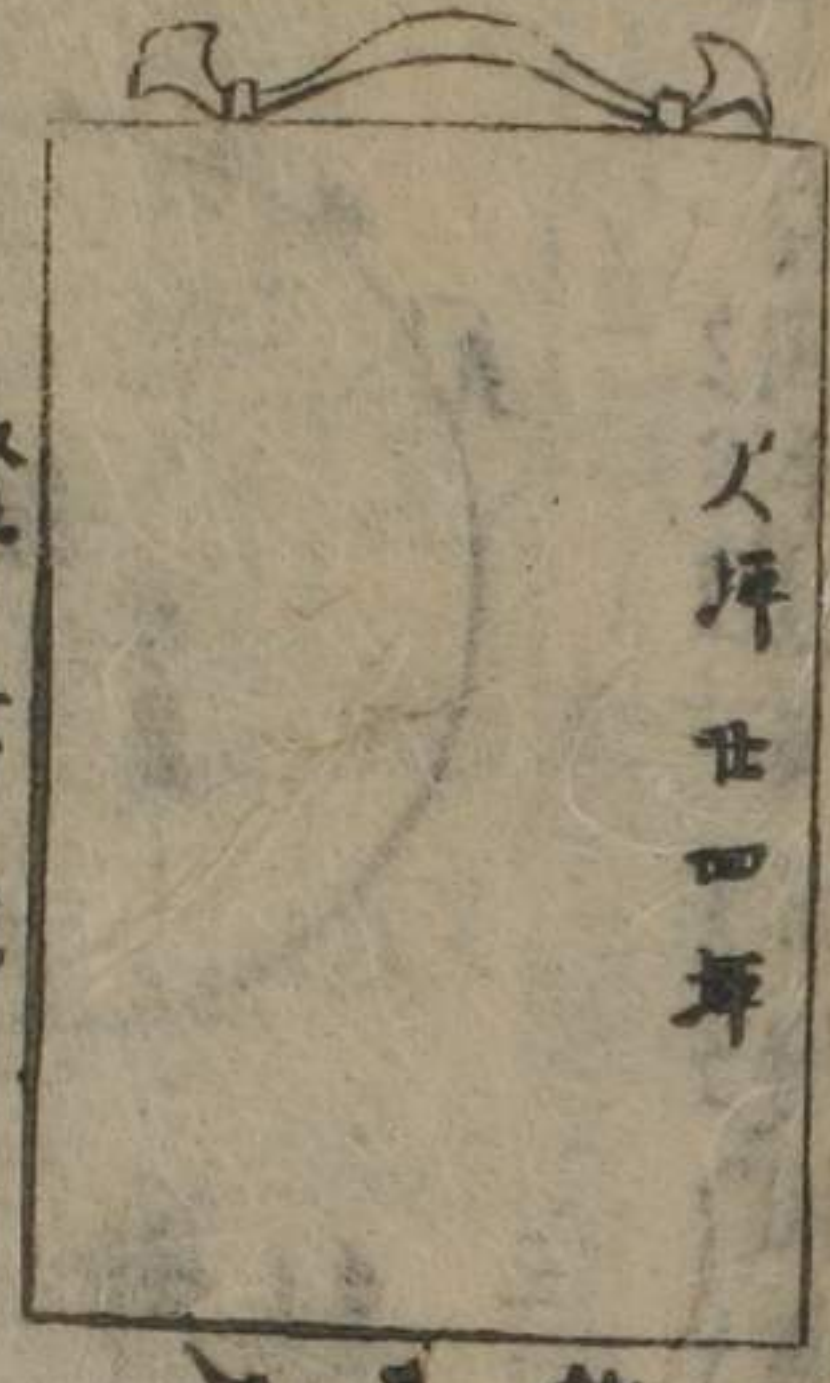
割む一步に比し必是を平法小用を二とし



是を周法とて古坪の堅二尺二寸法を平法を新坪の堅二尺四寸とて  
又古坪の横一尺五寸ハ二用を平法を新坪の横一尺八寸とて  
今堅式尺横一尺五寸の古者板を尺坪六歩とて古者板ハ相應して新者板  
を造る堅横の尺を同

答曰 堅三尺 横二尺

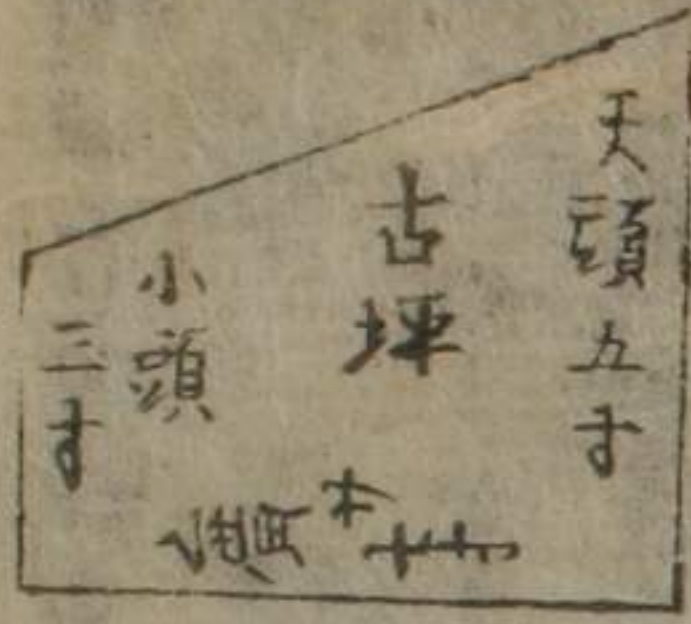
尺坪廿四坪



術曰古者板の堅六尺横四尺を自乗して尺坪二十四坪あり是を新者板の坪  
六坪を法して割む四必是を平法小用を二とし此を法して古者板の堅  
これを新者板の堅三尺を又古者板の横を二としこれを新者板の横と知

大頭五寸小頭三寸廣七寸の半梯ハ相應して百七十五歩と

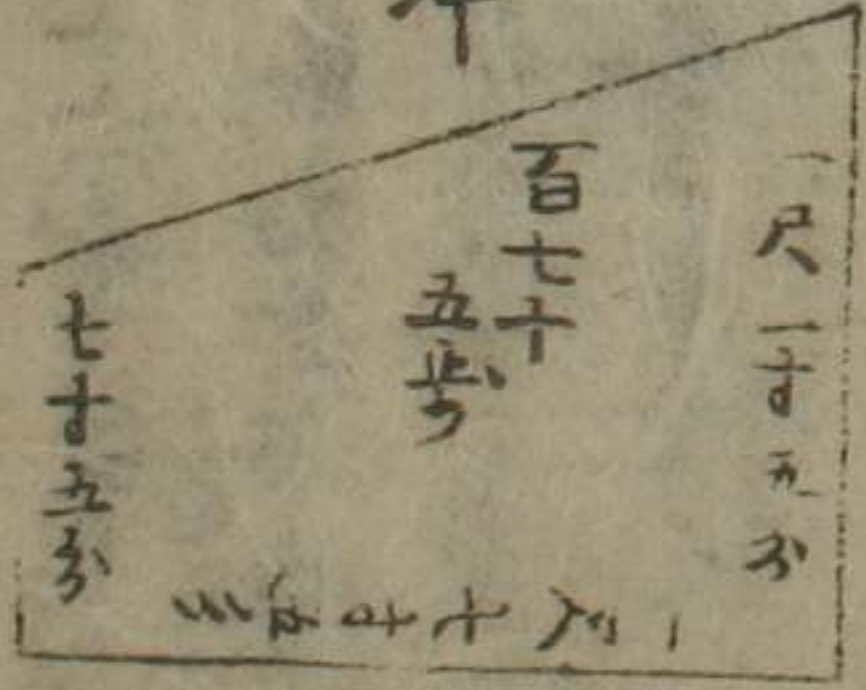
とて半梯を造る三方の寸を同



答曰 新坪

大頭一尺二寸五分 小頭七寸五分 廣一尺七寸五分

新坪



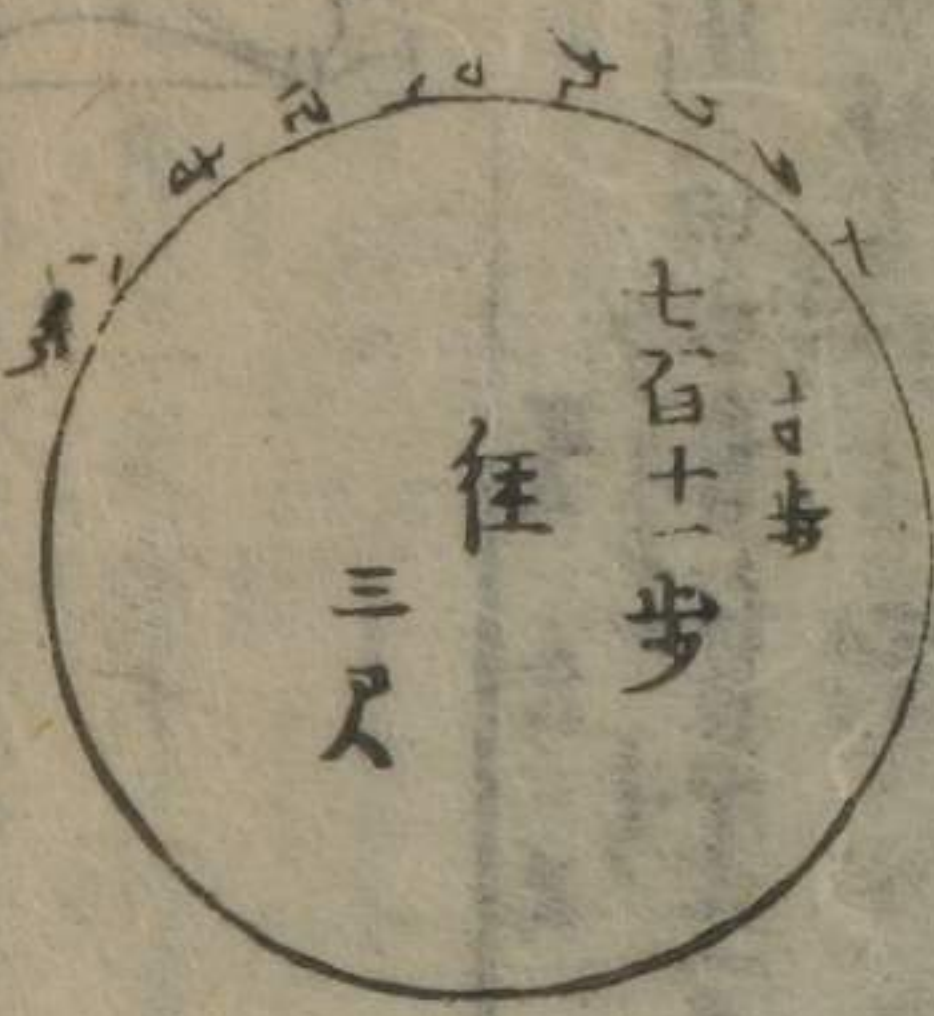
術曰古大頭五寸古小頭三寸を加て八寸。是は廣サ七寸を五十六歩、是を  
 二小割て二十六歩。是を法とて新坪百七十五歩を割む六二五とぬ。是を平法と  
 用む二五とぬ。即ち周法とて古大頭五寸、是れを新大頭の寸をさる。又二五と  
 古小頭三寸を新小頭の寸をさる。はしく廣サふけて新坪の廣さをさる。

用平圓法

今寸歩七百十一歩の是を圓形に造る。其の徑何尺又周何尺と同

答曰

徑三尺 周九尺四寸八分



術曰七百十一歩を圓法七九を以てこれを九尺とぬ  
 是を平法に用けて三尺とぬ。此三尺は圓の徑  
 三二六をこれを周九尺に寸八分とぬ。

右用平法系 帶縱相應圓法用平法算學家秘する所也。幼学の爲

小は算術をあるは、この方り用平法を會得をれを、用立法をあるは、安し結  
 心を凝し、數百遍をくりくりして、幼学の爲

用立法

正算術とも云

用立法は正算術といひ、今有所の歩數坪數を四方六面、何丈何尺あると  
 り、事を知術を、珠算更算學家秘する所也。是又幼学の爲左頭  
 立法倍九々也

一、一、一、一、減	二、二、一、八、減	三、三、一、廿七、減	四、四、一、六十四、減	五、五、一、百廿五、減
六、六、二、百一十、減	七、七、三、百一十、減	八、八、五、百一十、減	九、九、七、百一十、減	

用立法手順口訣

是も平法といひ、理を對し、其の坪數の角何歩とありたるを  
 を一の位より、左、一〇〇。十〇。百〇。千と二桁と、ひのか、そのか、と、  
 一〇〇とナリ、百あり、百千あり、千をかく、その桁より二と、と、  
 位をさる、是も、は、初高かり

第二初高初高にて倍九倍九を引事

右より初高十あるハ二カ引と実の積を引又初高二あるハ二カ八引三あるハ三カ二十七引とて主法の倍九を引事

第三初高初高にて割事

初高十あるハ一進千二進二千あると割初高二あるハ二進百あると三進百あると割事

第四定法定法ニ五割事

右初高にて実の積を引事割一後又主法の定法三引何歩と引事割一後又主法の定法三引何歩と引事

第五初高初高にて一桁割

右定法三引何歩と引事初高を法引て積の既を一引事

第六二高二高を九々呼引事

二高を引てもその其二高を半の九引事積を引かりたるハ二あるハ二カ四引三あるハ三カ九引のたがひ

第七定法定法三引て半引事

右二高を九々呼引て引事積を定法の三引事

第八初高初高にて半引事

右定法三引何歩と引事初高を法引て積の既を一引事

第九初高にて倍九倍九を引事

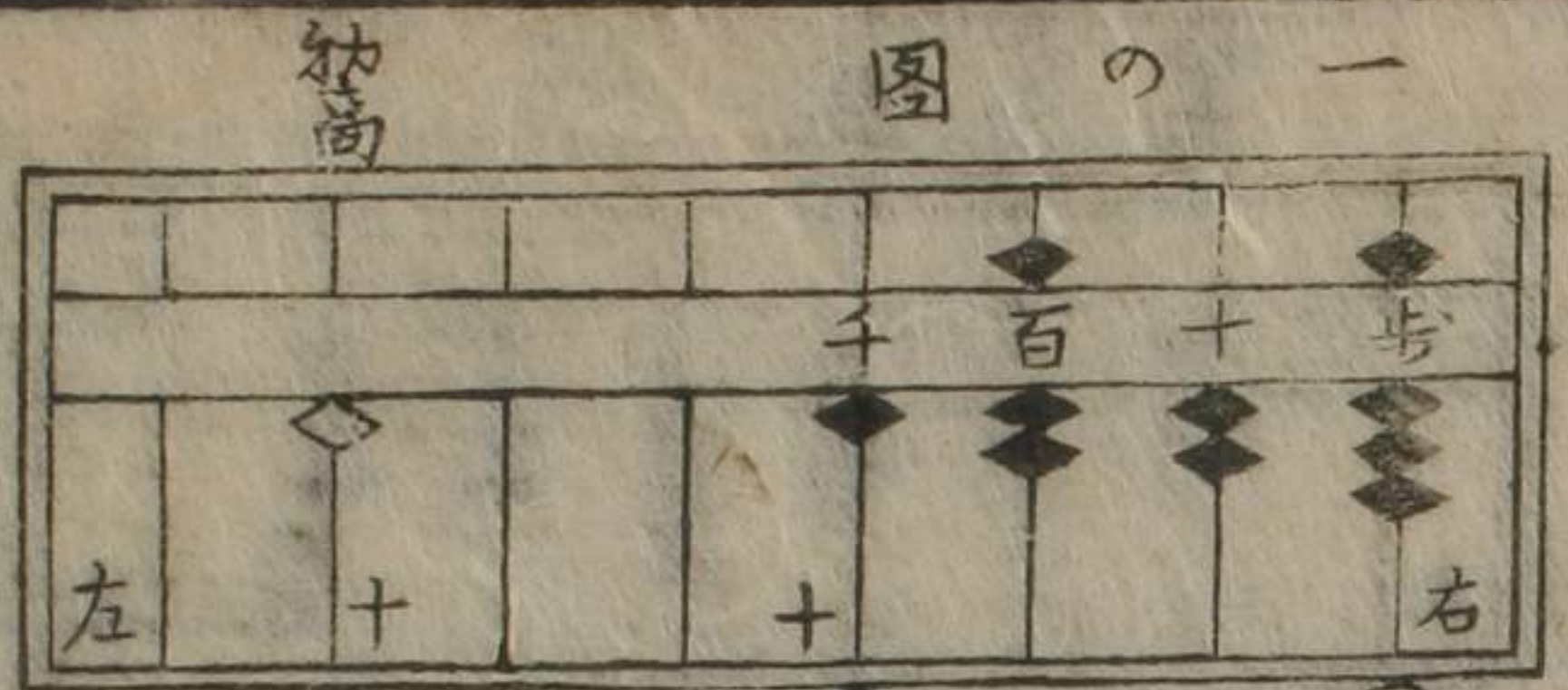
初高にて積を引事

右第九までの順を暗記せし三高四高以下皆曰道理之於圖解左小頭

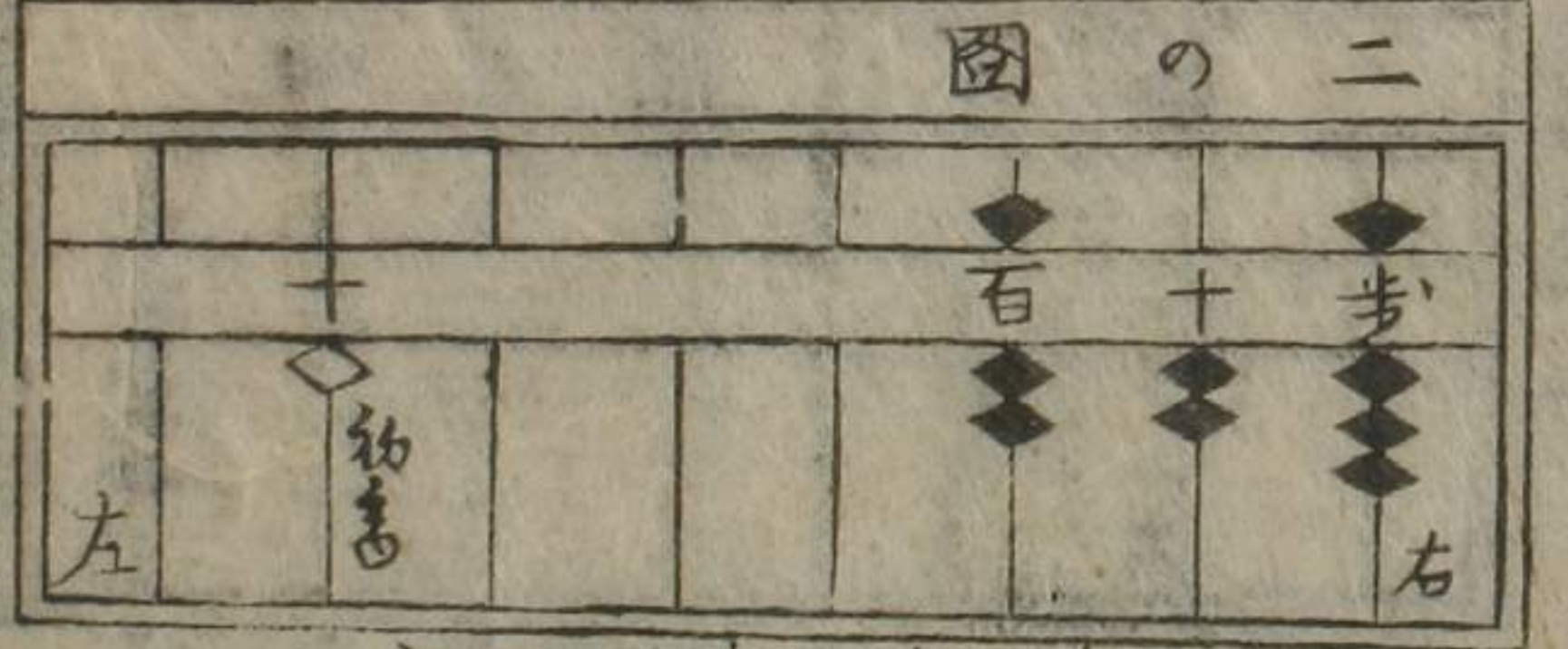
今寸歩を積千七百二拾八歩あると四万六面ありと寸尺何程と同

答曰 寸尺二寸

術曰 積千七百二拾八歩あると四万六面ありと寸尺何程と同

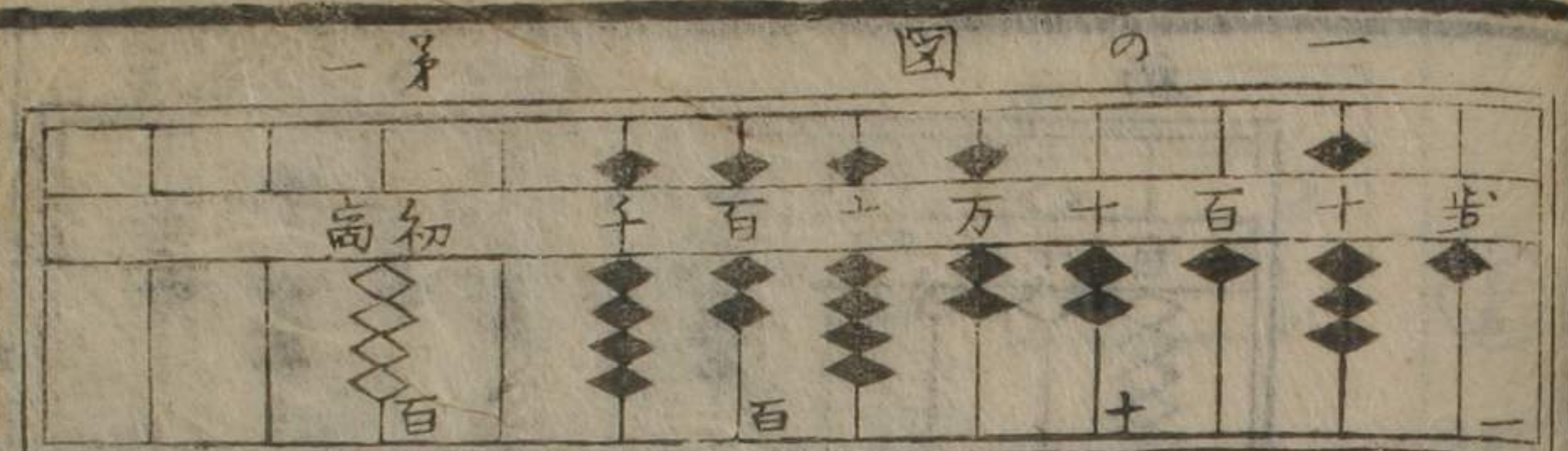


①此を一の位とす... ②この二を... ③この三を... ④この四を...



八進八十	六進二十
二進二十	三進二十
七進七十	三進一
初高にて	六進二十
	定法三引て



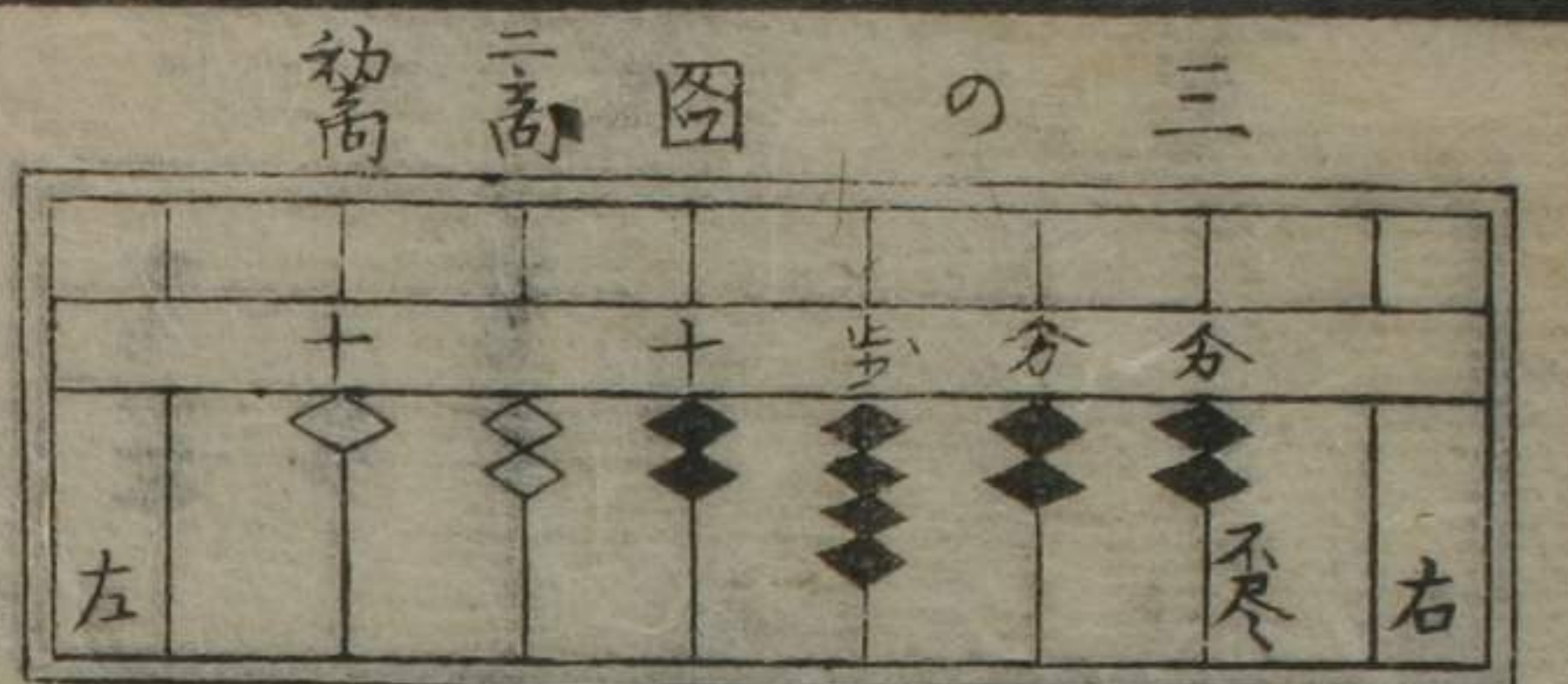


① 此桁と一の位と一〇〇十〇百〇千と左かたより上より千と進一ハ実小引るを移  
 カつて初高を百の位と一の桁ハ初高四百をよす

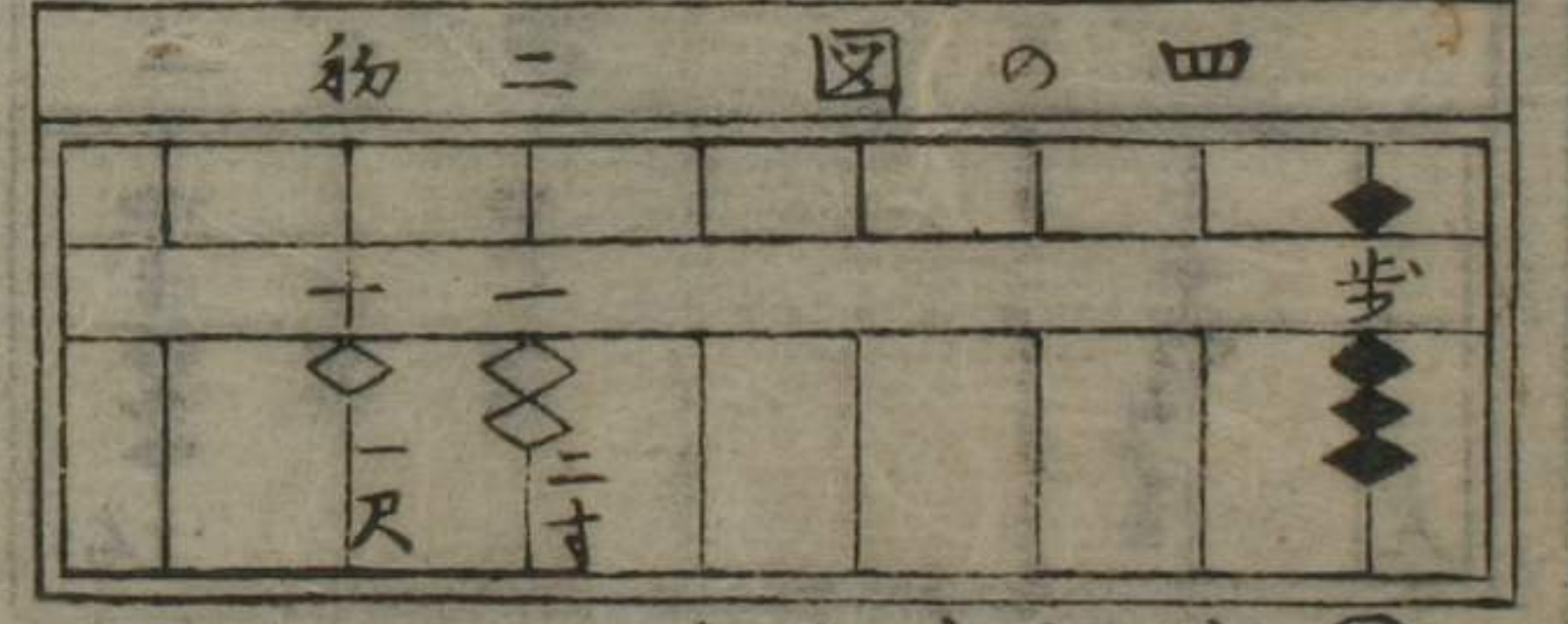
② のまの四を五法の倍九々小呼 四六千四を実の積めて引を残積三千三百  
 九十七万二千八百八十歩と必〇扱初高四と万の桁まで別を八万四千九百二十と  
 不尽四百百千アと必〇次小定法三と万のけをよす二万八千三百〇六と  
 不尽六千百千アと必〇次小初高四と実の  
 から一桁引る 四二天作五〇四進二十一をよす二高六  
 をよす此六を口殺の九々小呼合 一六六六引を  
 残七百〇六と不尽六千百八十一アとある是小定  
 法三をかれを二百十二と不尽四千百八十一アとある  
 是小又初高四をかれを八十五万二千百八十一アと  
 がる二の図のよす

四二二二二	三二六十二
八進二十	九進二十
四二二二二	六進二十
四進一十	六進二十
四三七十二	三二六十二
六進二十	三二六十二
初高五引	定法三引
初高五引	定法三引

③ 此桁ハ初高をよす小先三百をよすハ倍九々三三〇七引小実の積ありあり  
 又五百をよすを倍九々五々百二十五引ハ口殺たをよす四六千四と引  
 残積三千三百九十七万二千八百八十一アと必かり



前のよす定法三と必〇  
 必〇此図のよす二四歩二  
 か〇必〇又不尽二かありけ  
 必〇時又初高をよす二進二十と  
 必〇のまの二をよす必〇のま  
 必〇二をよするも二もよす  
 必〇あり扱引二を口殺の九々小  
 必〇よす二二四引と〇のまの  
 必〇四をよすふけり二かと不  
 必〇尽二かとかる扱〇のまの  
 必〇二か小定法三をよす二三三  
 必〇三をよす必〇〇のまよす加  
 必〇のまよす必〇のまよす加



① 此八を引く  
 此図の如く残積八アとある  
 扱二高の二を五法の倍九々小  
 呼二二が八引と〇のまの八アを  
 よすハ残積つた高二尺寸  
 をよすなり

寸歩五積九千七百九拾七万二千八百八十一歩あり四万六千六百一十七方面を向

答曰 四六六尺一寸

術曰 積を算しよす法小用て方面をゆて向ふ答



くけりる敷を引残二十八歩、高六寸を兼百六十八歩とかる是より積三段の二万  
千歩をこれに百二十五をゆり是を互法小用五を得る是を因法より古上面  
二寸をくれね新上面をかる又因法小古下面をくれね新下面をかる又因法五  
古高をくれね新高をかる

(七六)

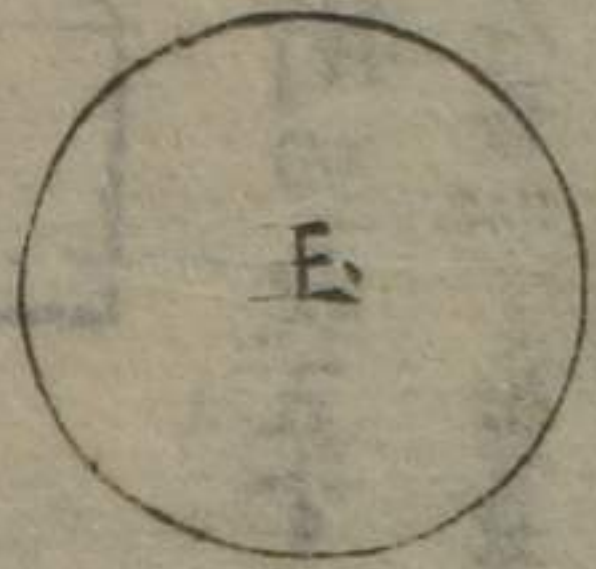
圓法開互

定法

五一 六一 法

寸坪七千九百六十八坪七分五厘の玉の貫何程と問

答曰 貫二尺五寸



術曰 七千九百六十八歩七分五厘を法五一にて割一五六二五とかる  
是を互法小のけりる貫をかる

○又玉の坪敷有て周の寸尺を知ら玉の歩敷小法六二をけりる法小用  
けりる周の寸尺を得る

(七七)

方平

今一尺四方の方平あるを斜の寸尺を問

答曰 一尺四分四厘二毫 是より曲の定法

術曰 一尺を自因して百歩は是より又百歩を加て二百歩と  
かり平法小用けりる

(七八)

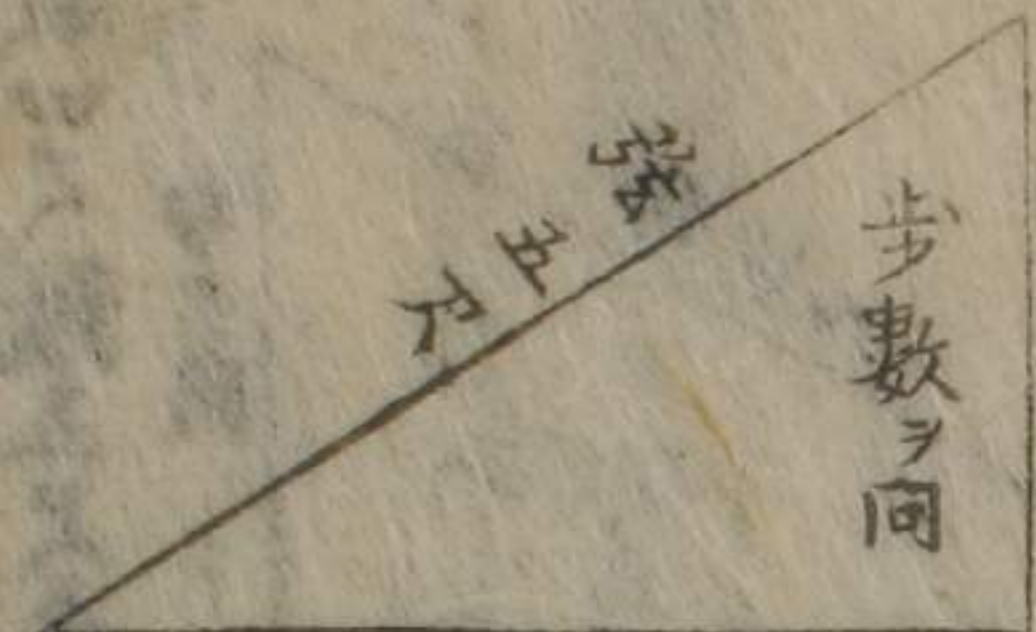
又曰 斜の寸尺をかり方尺をかり定法二四二とかる  
勾股強 小頭形 三四五の曲尺より



勾三尺股四尺強五尺右歩敷を問

勾三尺

答曰 寸歩六百歩



術曰 勾三尺と股四尺と  
自因して千二百歩をかり  
折半して六百歩とかる  
又股四尺を二割是より  
三尺をかり理

勾三尺股四尺あり強の尺を問

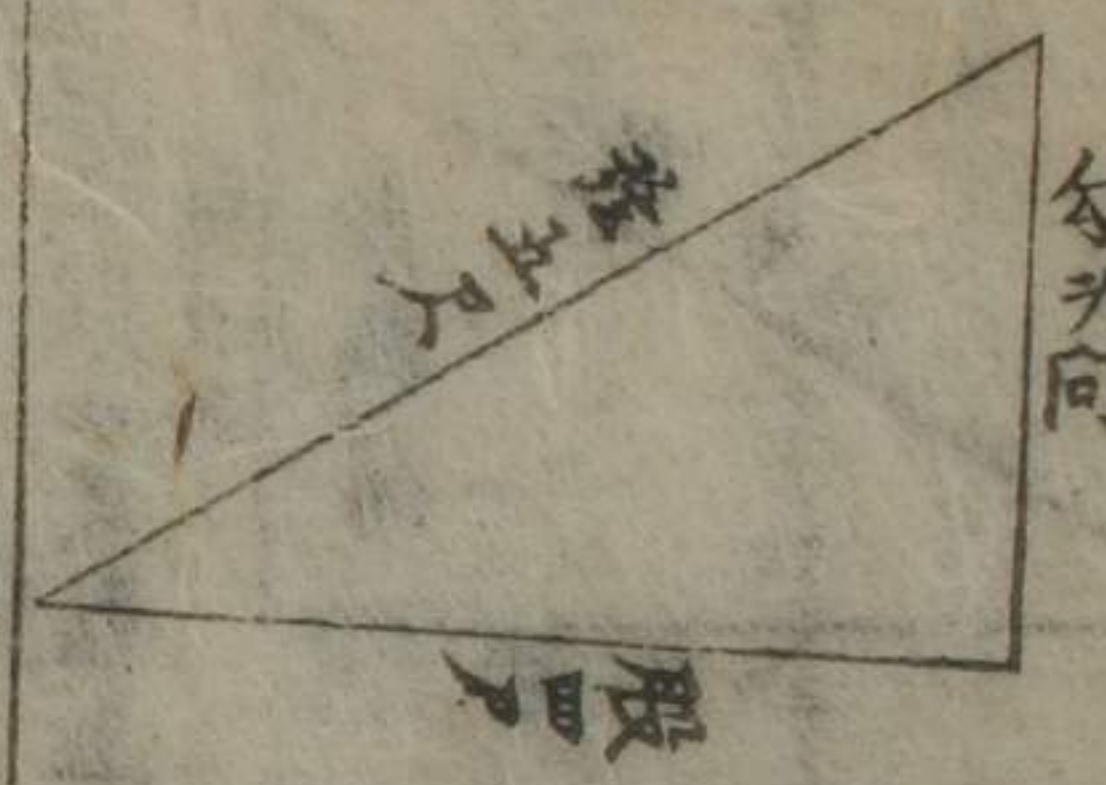
勾三尺

答曰 強五尺



術曰 勾三尺を自因  
して九歩股四尺とかり  
合して十六歩二合と  
井五歩是を平法小  
のけりる

股四尺弦五尺勾の尺を問



答曰 勾三尺

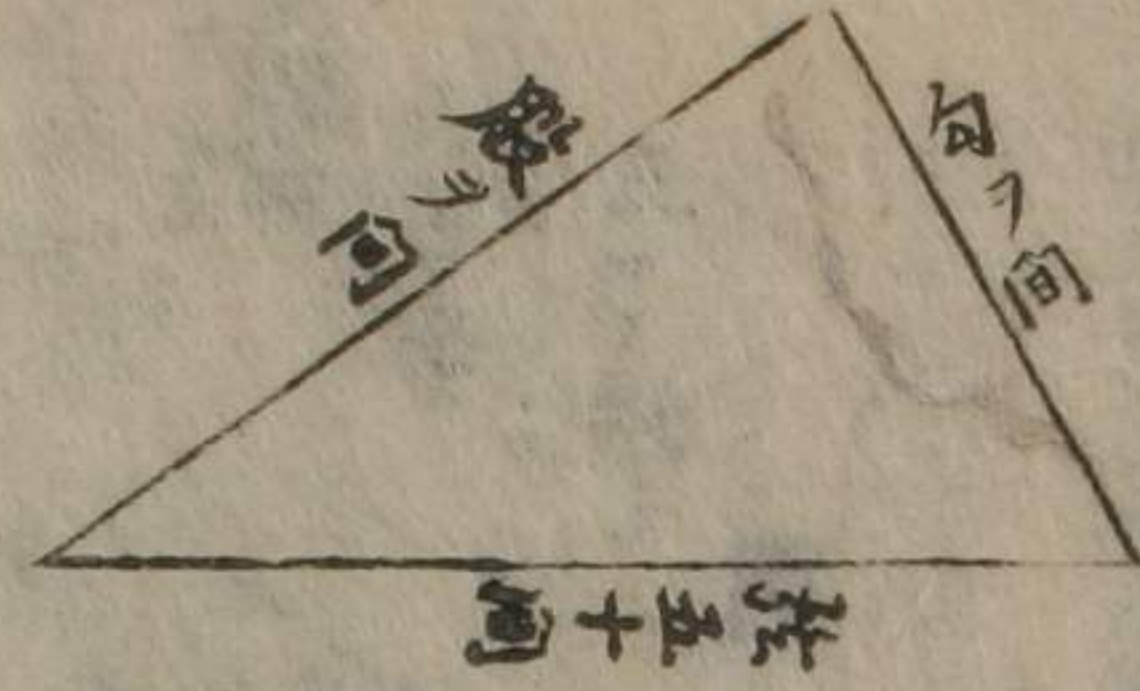
術曰 弦五尺を自因して二十五歩又股四尺を自因して十六歩是を右二十五歩の内を引を殘九歩とす是を平法ゆりゆり三尺をゆり

勾三尺弦五尺有股と中鈎の尺を問

答曰 股四尺 中鈎二尺四寸

術曰 弦五尺を自因して廿五歩勾三尺を自因して九歩是を二十五歩の内を引殘十六歩を平法ゆりゆり股四尺を得る又中鈎八股四尺の勾三尺を自因して十二歩是を弦の五尺ゆりゆり二尺四寸を得る

小頭形の田地あり三方あり内五十間ハ弦勾股の間と問



答曰 勾三十間 股四十間

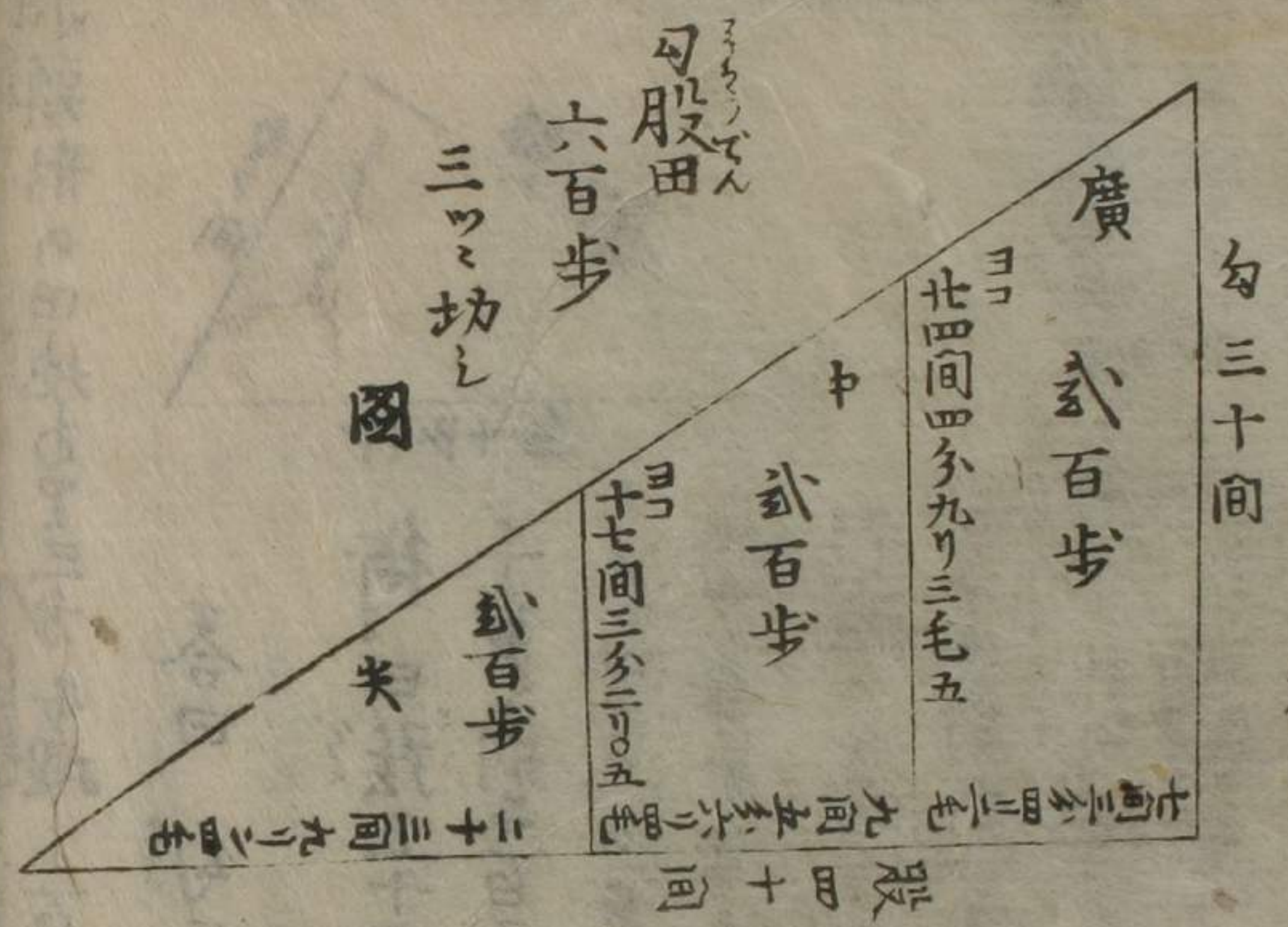
術曰 弦五十間を自因して二千五百歩是を倍して五千歩と別百二十間の内弦五十間引殘七十間是を自因して四千九百歩是を右の五千歩の内を引を殘百歩有此百歩を平法ゆりゆり十間とす是を七十間の内を引殘六十間を折半して三十間是勾の間數と七十間の内を三十間引殘四十間股の間とす

小頭形の田地あり勾三十間股四十間歩數六百歩是を二百歩等分す

答曰 尖の方 縦廿三間九分四厘 横十七間三分二厘五

中方 縦九間五分六厘四毫 大横廿四間四分九厘三毫五 小横十七間三分二厘五

縦七間三分四リニモ  
大横三十間  
小横廿四間四分九リニモ五

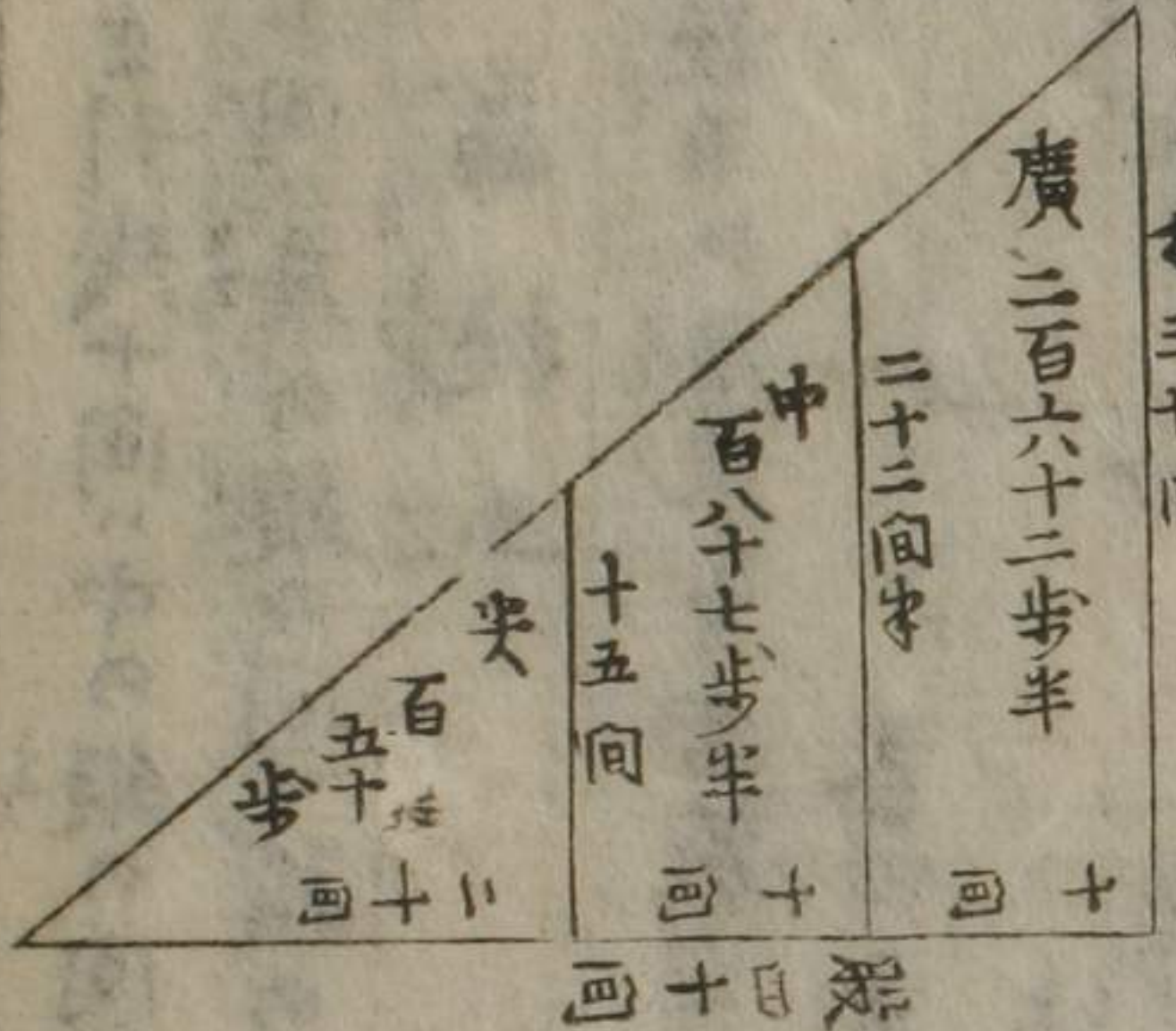


街曰長四間自因して千六百歩是と三ノ  
 勾と五百世三步三分三リニモとある是と  
 平法小間九二十三間〇九を四毛とあるは  
 尖の方の縦の間へ扱五百世三步三分三リ  
 一倍して千〇六十六歩六分六厘を平法  
 小間九三十二間六分五厘八毛とある此尖乃  
 縦の間を引残九間五分六厘四毛是中の縦の  
 間なり扱惣長廿四間の内世二間六分五厘八  
 毛引残七間三分四リニモ廣の方縦の間へ  
 〇横の間をある術、勾三十間尖の間廿三間九

を四毛を自因して股四間小割を十七間三分三リニ〇五是尖の横の間へ又尖  
 の二十三間九を四毛小中の九間五分六厘を四毛を加へ世二間六分五厘八毛是中勾  
 三十間を引股四間小割を廿四間四分九厘三毛五是中ノ大の横の間敷  
 此法を四幾調術と云ふなり

勾三十間股四間の田地歩敷六百歩あり是を三ノ小切と見廣の方へて二百六十二歩  
 半より中へて百八十七歩半より尖の方へて百五十歩とる各縦横の間を問

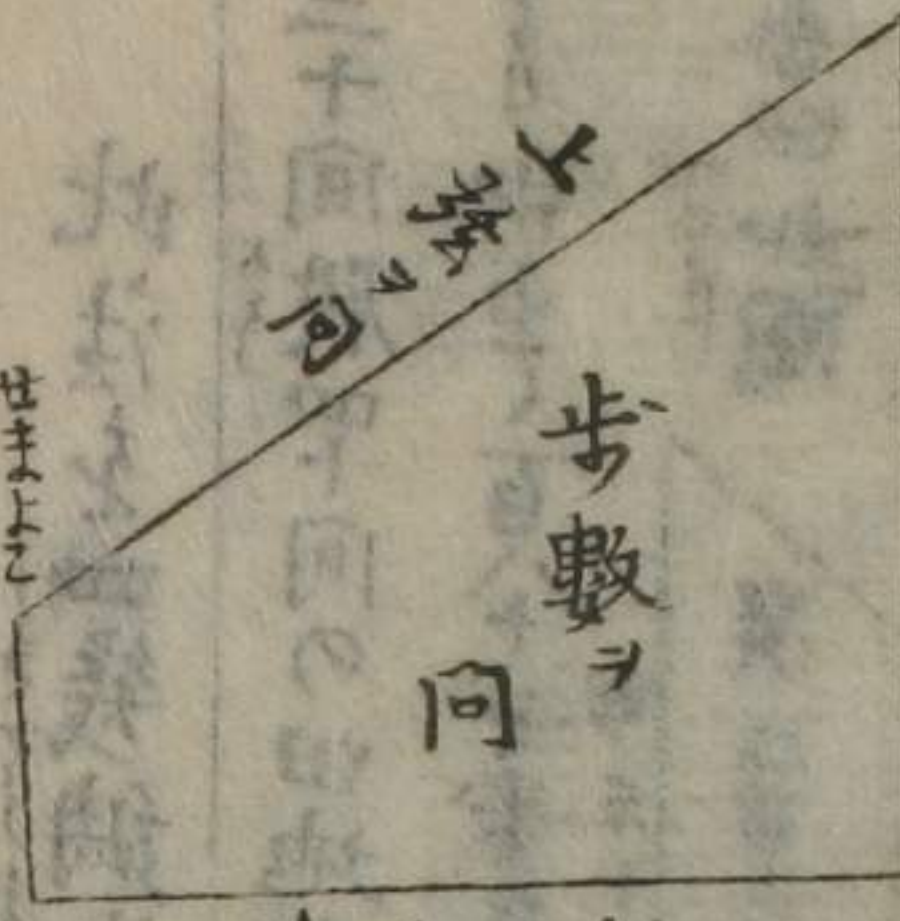
各日如图



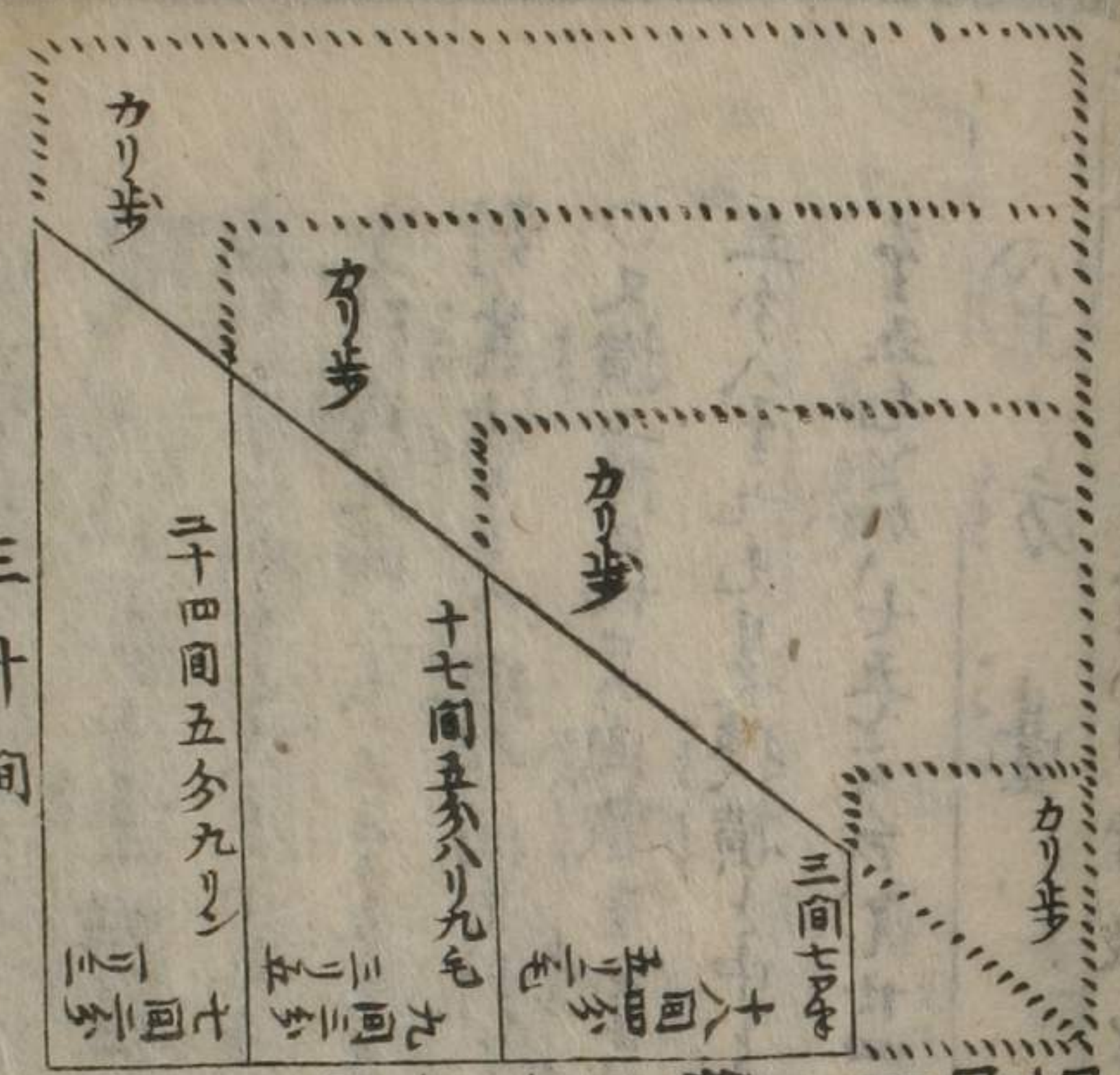
街曰股四間を自因して四千六百歩是と  
 百五十歩を系惣歩六百歩して割を四  
 百歩をわる是を平法小間を二十間と  
 是尖の縦の間へ扱尖の歩敷と中の歩敷  
 と合して三百三十七歩半是小千六百歩を  
 引惣歩六百歩小割を九百歩を得る是  
 を平法小間を三十間とある此内尖乃長

二十間を引残十間ハ中の縦の間へ又尖と中の長三十間を股平間の内にて引残十間ハ廣の縦の間へ横の間ハ前の四義調術にて割をまゝく  
七九 扁狭平

圖の如く扁狭平の唐皮を歩數并上弦の尺を問  
答曰 歩數尺步五步九分〇六を二毛ま  
上弦四尺三寸七分五リシ



狭横二間七分五厘を廣横三十間縦三十五間の扁狭の地形あり惣坪數  
五百九十坪の六厘二毛まは是等分三の小分る間數を問  
答曰 如图  
術曰 三十間の内三間七分五厘を引残二十  
六間二分六厘あり是を縦三十五間にて  
割勻配七五是を二間七分五厘と割を  
先のび五間とたも是は二間七分五厘を  
くけ折半して九歩三分七厘五毛となる是  
を五百九拾歩令六分二厘五毛に加之六百歩  
となる是を歸法してと〇別小縦三十五  
間小仮間五間を加へ四十間と一是を自因  
して千六百歩是を因法してと  
叔百九十六歩八分七厘五毛 惣歩數の上へ  
仮歩九歩三分七厘五毛と加へ二百〇六歩一分



右三〇の小坪數  
百九拾六歩八分七厘五毛

答曰 歩數尺步五步九分〇六を二毛ま  
上弦四尺三寸七分五リシ  
術曰 廣横三尺小狭横三寸七分五厘と加是を二小  
引縦三尺五寸をまゝれが歩數をゆるく  
又上弦を知ら廣横三尺の内狭横三寸七分五厘を引  
残二尺一寸五分五厘を得勻股弦の術にて知り  
答曰 如图  
術曰 三十間の内三間七分五厘を引残二十  
六間二分六厘あり是を縦三十五間にて  
割勻配七五是を二間七分五厘と割を  
先のび五間とたも是は二間七分五厘を  
くけ折半して九歩三分七厘五毛となる是  
を五百九拾歩令六分二厘五毛に加之六百歩  
となる是を歸法してと〇別小縦三十五  
間小仮間五間を加へ四十間と一是を自因  
して千六百歩是を因法してと  
叔百九十六歩八分七厘五毛 惣歩數の上へ  
仮歩九歩三分七厘五毛と加へ二百〇六歩一分

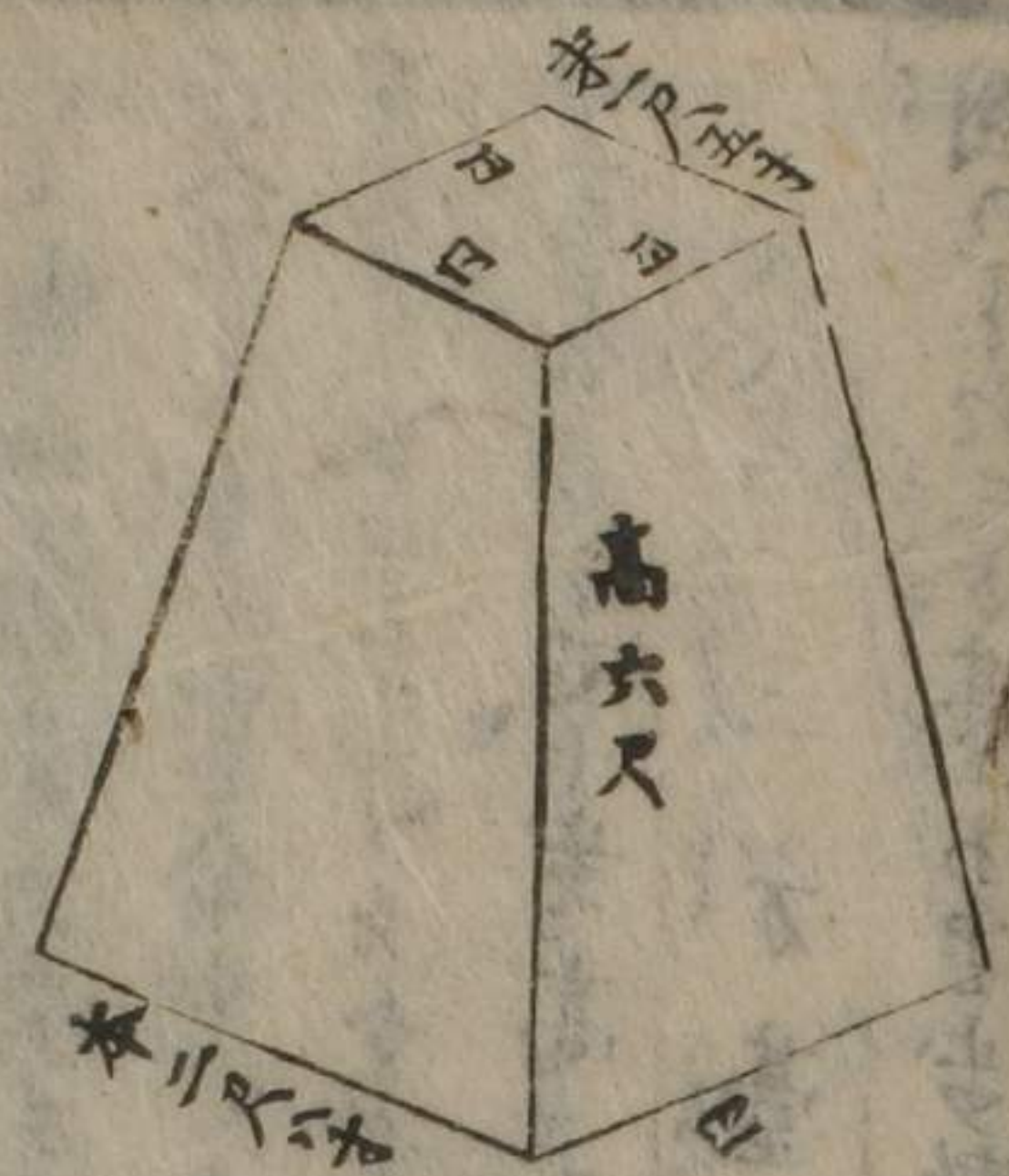
五至とある見へ周法千六百歩と乘歸法六百歩とこれを五百五十歩と  
 かる是を平法小周法千三百歩と乘歸法六百歩と得る此内仮間五間を引十八間  
 四分五至二毛是狹横の方此縦の間なり○又百九十六歩八分七至五毛と二倍  
 して三百九十三歩七分五至一仮歩九歩三分七至五毛加へ四百○三歩一分二至  
 五毛、因法百歩を乘歸法六百歩と割千○七十五歩とある是を平法と  
 周法千三百二間七分八至七毛を引る此内仮間を引又次の十八間四分五至二毛  
 を引残九間三分三至五毛是中の縦の間なり○又廣縦四十間の内仮五間を  
 引其次々々の縦の間を引て残七間二分一至三毛廣横の間數なり  
 ○又横二階の切口の間數を知り初の廿三間四分五至二毛、勾配七五を引十七間  
 五分八至九毛是狹横と中との切口なり○又廿三間四分五至二毛、中の九間二分三  
 至五毛と加へ七五と引れば廿四間五分九至二毛五至中と廣との切口の間とある

(八十)

方 臺

定法 三六二 小歸法あり

今圖のり方甚あり歩數を問



答曰 二千八百五十八歩

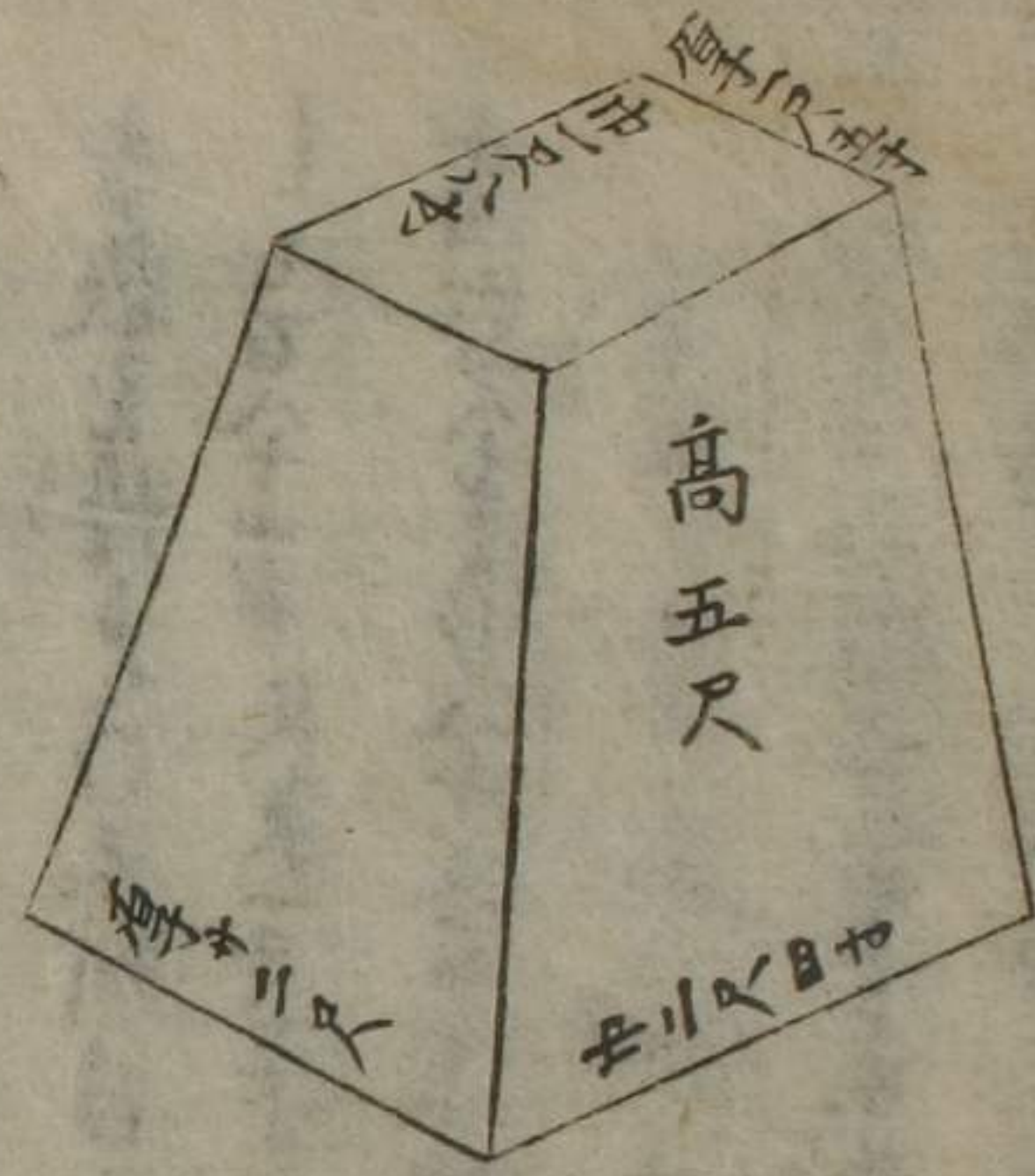
折て曰末一尺五寸を倍と三尺木二尺八寸を加五尺八寸  
 是亦末一尺五寸と引て八百七十歩○二尺八寸と一倍  
 して五尺六寸 是亦末一尺五寸と引て七尺一寸小なる是亦本  
 二尺八寸を引千九百八十歩二合して二千八百五十八歩  
 小高廿六尺を引一万七千四百八歩是を定法六割  
 歩數を得る○又術と曰末一尺五寸を自因し二百二十五歩  
 又木二尺八寸を自乘 四百二十歩 三合して千四百廿九歩と  
 高六尺を引千八百七十四歩となると定法三割て割てもはり理なり

(八十一)

厚 幅 方 臺

定法前より

本の厚廿二尺幅二尺厚末厚廿一尺五寸幅二尺八寸高五尺乃厚幅方臺あり  
 歩數を問 答曰 千八百五十歩



術曰末幅二尺八寸を倍して六尺是亦本幅二尺四寸加へ六尺是亦末の厚二尺五寸を倍して九百歩とあり  
○別亦本幅二尺四寸を倍して四尺末幅二尺八寸を加へ六尺是亦本の厚二尺を倍して千三百廿歩と二百合と二千二百二十歩是亦高五尺を倍して一万千歩是を定法六めて置る

○又術曰末の厚二尺五寸小末の中二尺八寸を乗て二百七十歩○又本の厚二尺本巾二尺四寸を乗て四百八十歩○本巾二尺四寸小末厚二尺五寸を乗て三百六十歩又末厚一尺五寸小本巾二尺四寸を乗て三百六十歩此二合して七百二十歩折半して三百六十歩以上三合して千百十歩高五尺を乗て五千五百五十歩を定法三と割も何り理あり

全三

三方基

定法四三三因法之 定法三歸法之

圖のどしれ三方基ありと歩數を同



答曰 三千令三十一歩  
術曰末二尺を倍して二尺本二尺を加へ四尺是亦末二尺を倍して四百歩○別亦本二尺を倍して四尺末二尺を倍して五尺小本二尺を倍して千歩○二合して千四百歩小高三尺を倍して四万二千歩是を定法六と割り七千歩のかる定法四三三を倍して○又術曰末二尺を自因して百本二尺を自因して四百末一尺小本二尺を乗て二百三合して七百歩高三尺を倍して二千千歩是を定法三と割り七百歩とあるを定法四三三を倍して何り理なり

全三

圓臺

定法六歸法之 七九因法之

末の徑二尺五寸本の徑二尺八寸高六尺の圓臺あり坪數を問

答曰 才坪 二万二千五百七十八坪二分

術曰末一尺五寸を自因して二百二十五坪○本二尺八寸を自因して七百八十





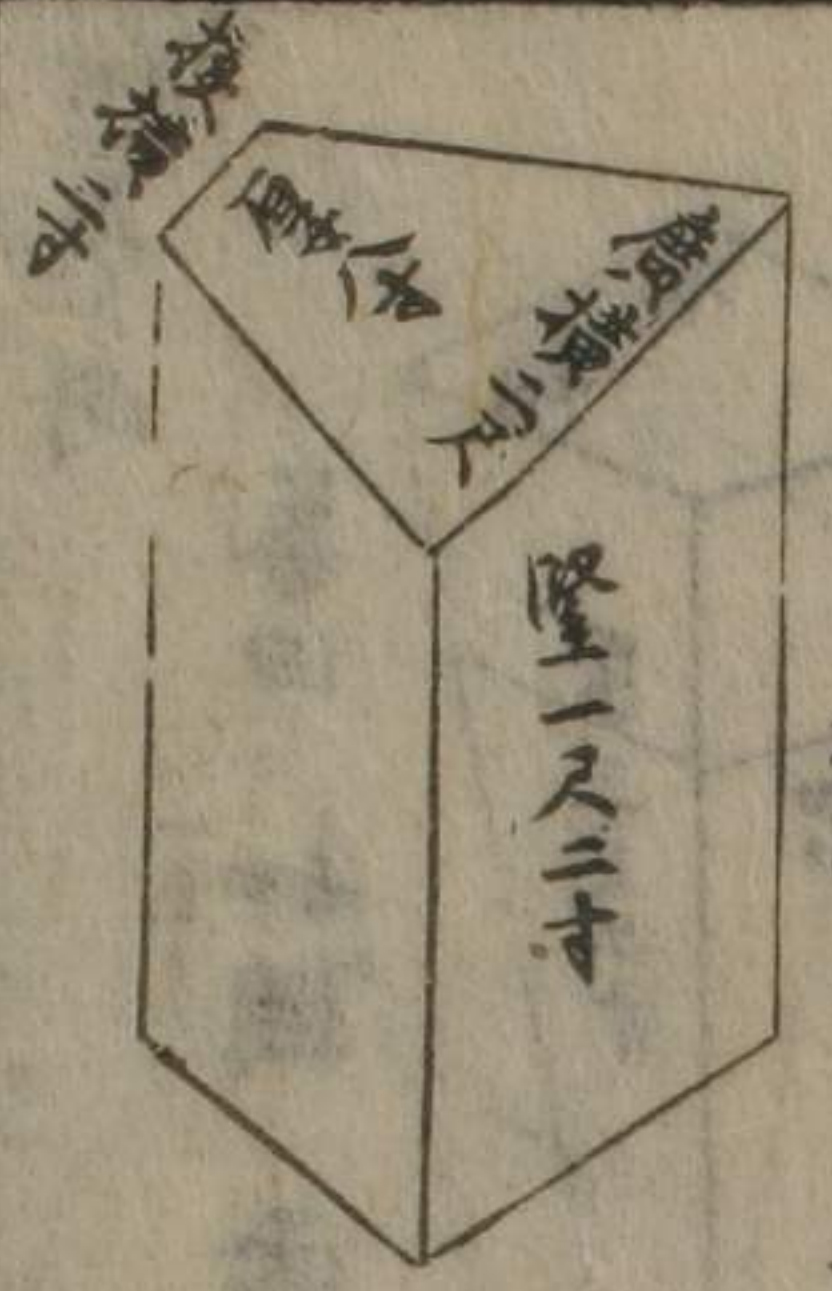
五尺六寸、末一尺五寸と加へ七尺一寸是の本二尺八寸と糸て千九百八十八坪二口合  
 二千八百五十八坪是の高廿六尺をけ一萬七千四百八十八坪小圓法七九をけ一萬三千  
 五百四十六坪九分二厘と定法六分五厘も一日り理なり

④ 山形堅



七寸 山形堅あり歩敷を向  
 答曰 寸歩 百四十四坪

⑤ 扁狭堅



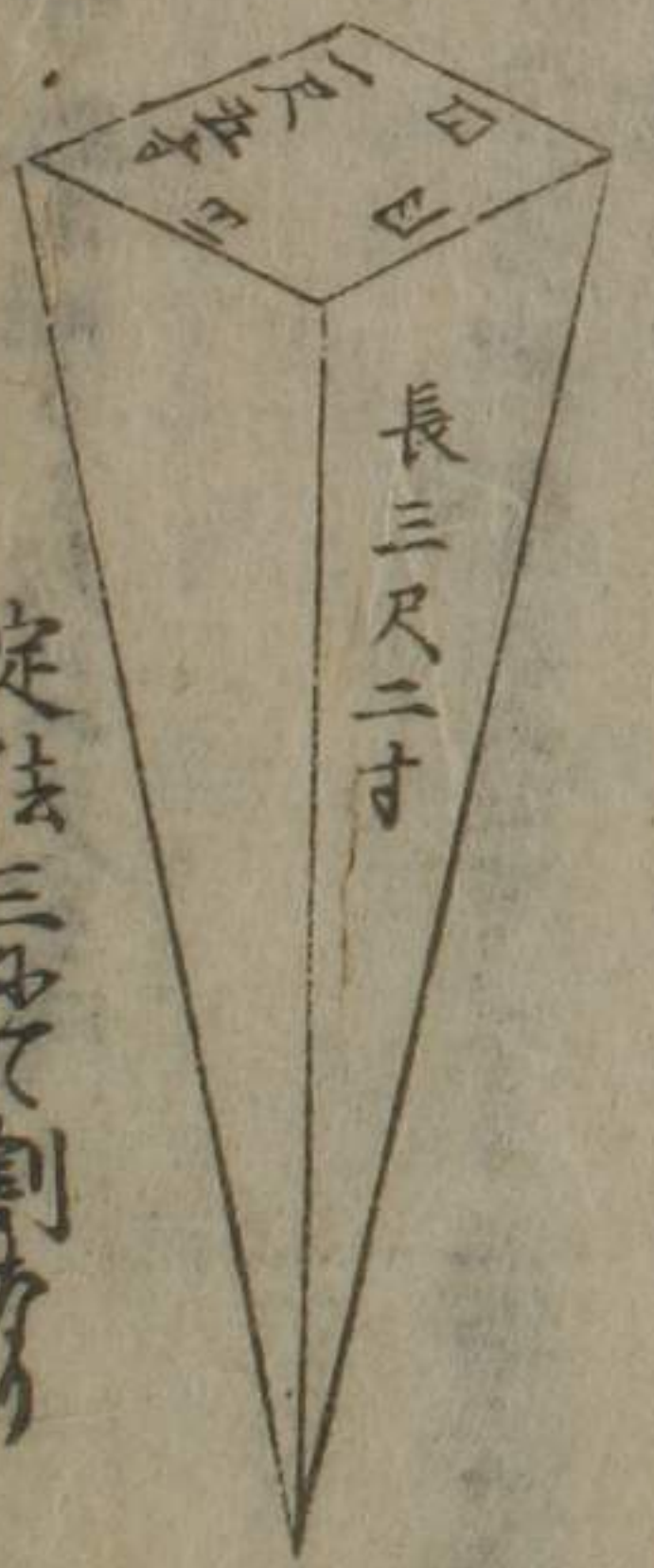
図の如く扁狭堅あり歩敷を向

術曰 厚四寸小巾六寸を糸二十寸堅一尺二寸と糸二百八十八坪是の折敷あり  
 答曰 寸坪 二千百十二坪  
 術曰 廣二尺小狭二寸と加へ一尺二寸小割て一尺  
 寸是の小厚八寸とけ八十八坪是の小堅二尺八寸  
 を糸二千百十二坪なり

⑥ 方錐

図の如く方錐あり歩敷を向

答曰 寸歩 二千四百坪  
 術曰 方一尺五寸を自糸一五歩  
 是の小長三尺二寸をけ七千二百歩なり



定法三十七割なり

寸坪二千四百坪を以て堅三尺二寸の方錐小帳と死只尺を問

答曰 方一尺五寸

術曰 二千四百坪小定法三を乗七千二百坪堅三尺二寸より二百二十五坪とあるを平法小用けを一尺五寸を得るなり

堅三尺二寸方一尺五寸の方錐あり歩數等分して二尺切尖の方口の方何尺と問

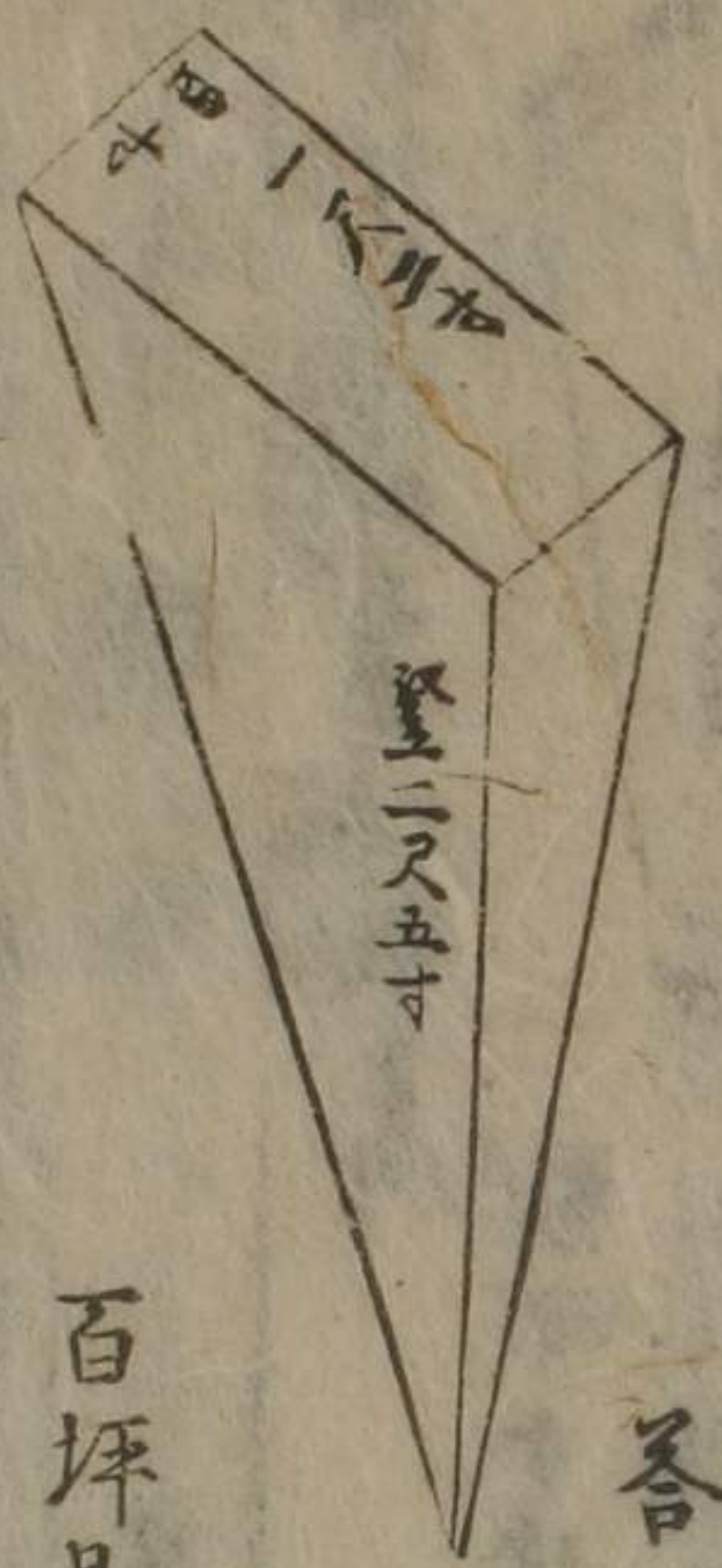
答曰 如图 両方とも千二百坪



術曰 堅三尺二寸を再自乗して三方二千七百六十八坪是を二よりして一万六千三百八十四坪を定法小用け二尺五寸を得る是尖の方長なり口の方長三八二寸の内尖の方の長さを引残りの方の寸なり

全 厚幅錐 定法三 平法

図の如く厚幅錐あり坪敷を問



答曰 四百坪

術曰 厚四寸巾一尺二寸と自因四十八坪是小堅二尺五寸と乗千二百坪是を錐方二より四百歩とあるなり

寸坪四百坪を厚幅錐小造る小厚四寸隔一尺二寸ありて堅何尺何程と問

答曰 二尺五寸

術曰 坪敷四百坪小錐方三を乗千二百坪とある別小巾一尺二寸小厚四寸を乗四十八坪是を法小して千二百坪を割む堅の尺をゆるく

寸坪四百歩の厚巾錐堅二尺五寸厚四寸ありて巾と求ると如何と問

答曰 一尺二寸

術曰四百坪日錐法三を乗て千二百坪○又堅二尺五寸小厚四寸と乗て百坪是を法ゆして右の千二百坪をさるる

寸歩四百坪の厚巾錐堅二尺五寸あり巾より厚八寸狭し厚と巾とを問

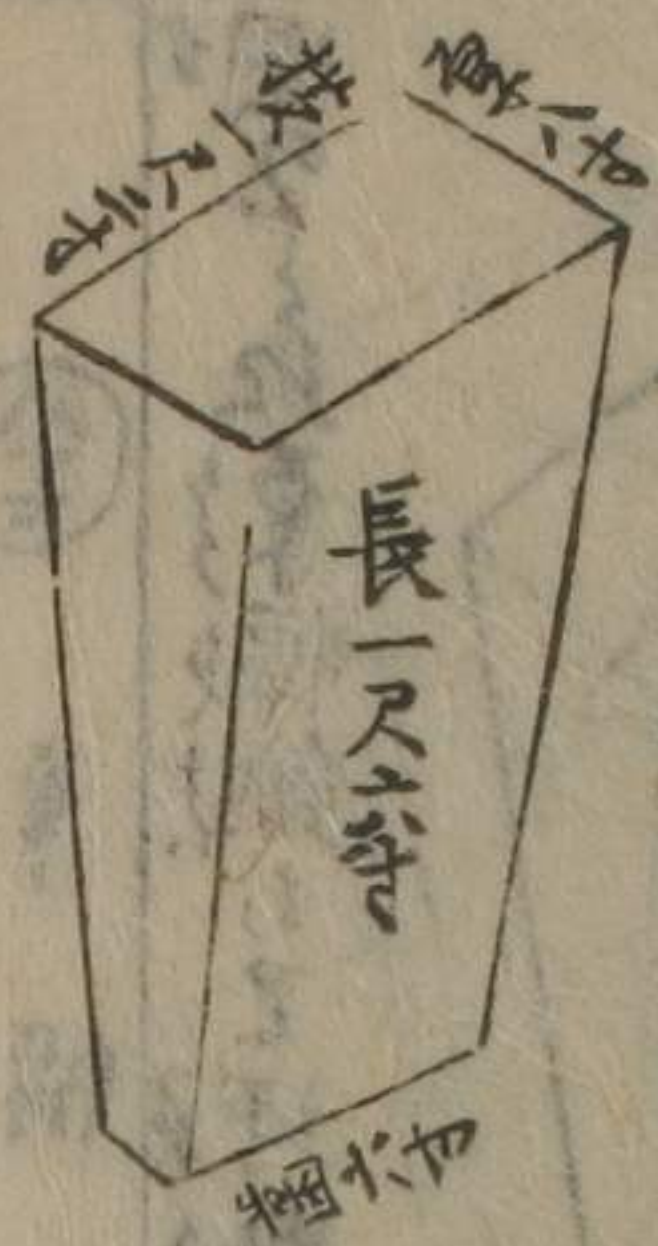
答曰 厚四寸 巾一尺二寸

術曰坪數四百坪日錐法三を乗是を堅二尺五寸とて割四十八坪あり是を帶綴用平小除る厚四寸をさる此厚小差八寸を如く巾の尺とさるる

(六) 擗形

定法六 歸法八

圖の如く擗形あり坪數を問



答曰 十坪 六百四十坪

術曰幅一尺二寸と倍して二尺四寸是齒六寸と加へ

三尺是厚八寸と乗 四十坪 是小長十一尺六寸と

かけて三千八百四十坪とさる是と定法六を割て

擗形坪數六百四十坪ありて巾一尺二寸堅二尺六寸齒六寸あり厚と問

答曰 厚八寸

術曰六百四十坪日定法六を乗三千八百四十坪○又巾一尺二寸と倍して二尺四寸小齒六寸を加へ三尺是厚八寸と乗 四十坪 是と法ゆして右の三千八百四十坪をさるる

擗形六百四十坪ありて巾一尺二寸厚八寸齒六寸あり堅の尺を問

答曰 堅一尺六寸

術曰六百四十坪日定法六を乗 三千八百四十坪○又巾一尺二寸と倍して一尺四寸齒六寸と加へ三尺是厚八寸と乗 二百四十坪 是を法ゆして右の坪數と割へ

擗形六百四十坪ありて厚八寸堅一尺六寸齒六寸ありて巾を問

答曰 幅一尺二寸

術曰六百四十坪日定法六を乗 三千八百四十坪○又厚八寸小堅一尺六寸と

八坪 是亦右の坪敷をより三尺をゆる此内齒六寸引残二尺四寸と  
二ツの割を巾一尺二寸とある

擇形六百四十坪之巾一尺二寸厚八寸堅二尺六寸引て齒を向

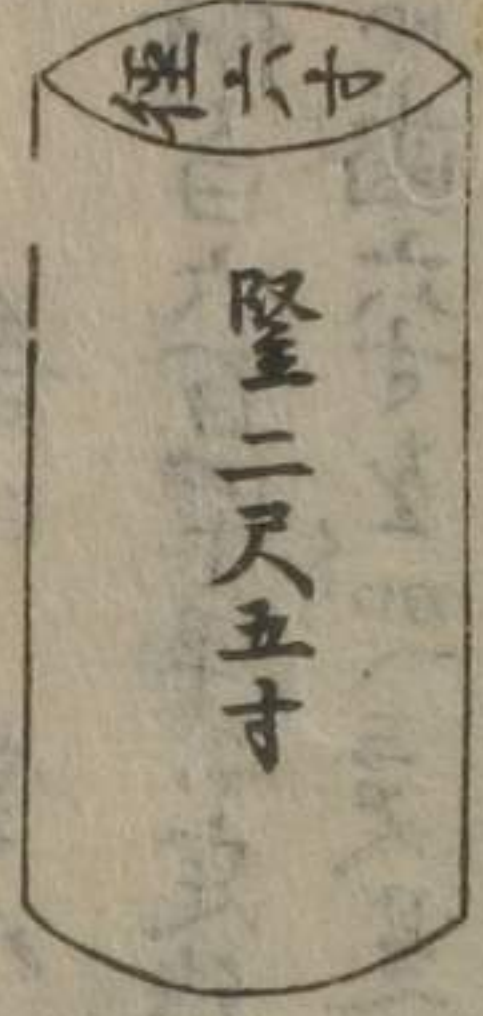
答曰 齒六寸

術曰六百四十坪の定法六とくけ 四百坪。又厚八寸堅二尺六寸と乘 八百坪是  
少く左の坪敷をより三尺をゆる此内幅一尺二寸と倍一 四寸と引残六寸齒を

全 圓 堅

定法七九 因法

圖の如丸圓堅あり坪敷と同



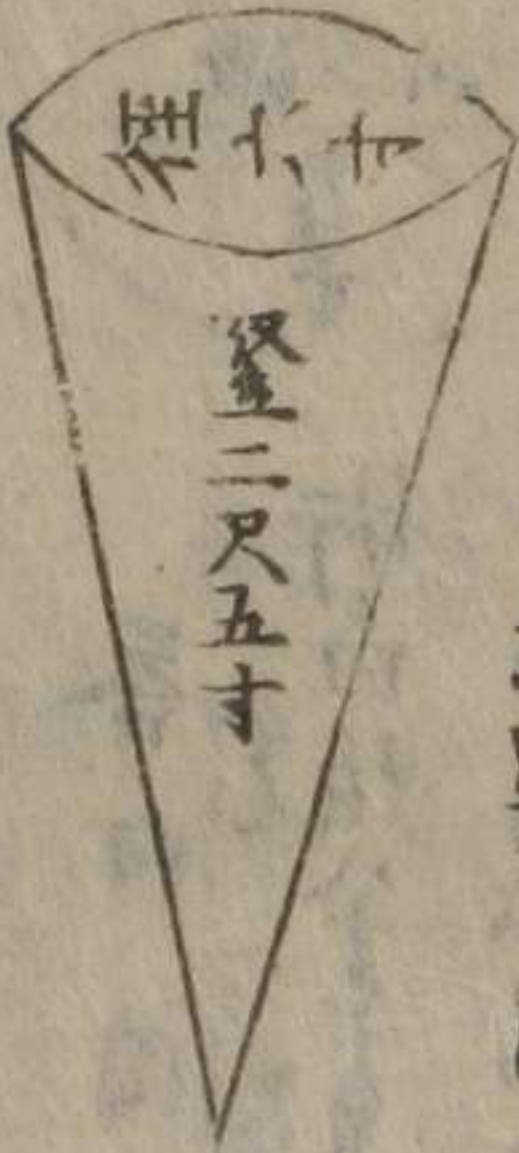
答曰 寸歩 七百十一坪

術曰徑六寸を自因一三十六坪是亦堅二尺五寸と  
くけて九百坪是亦因法七九をくけ坪敷をゆる

九十 圓 錐

定法 七九 因法 三 歸法

圖の如丸圓錐あり坪敷を向



答曰 寸歩 二百三十七坪

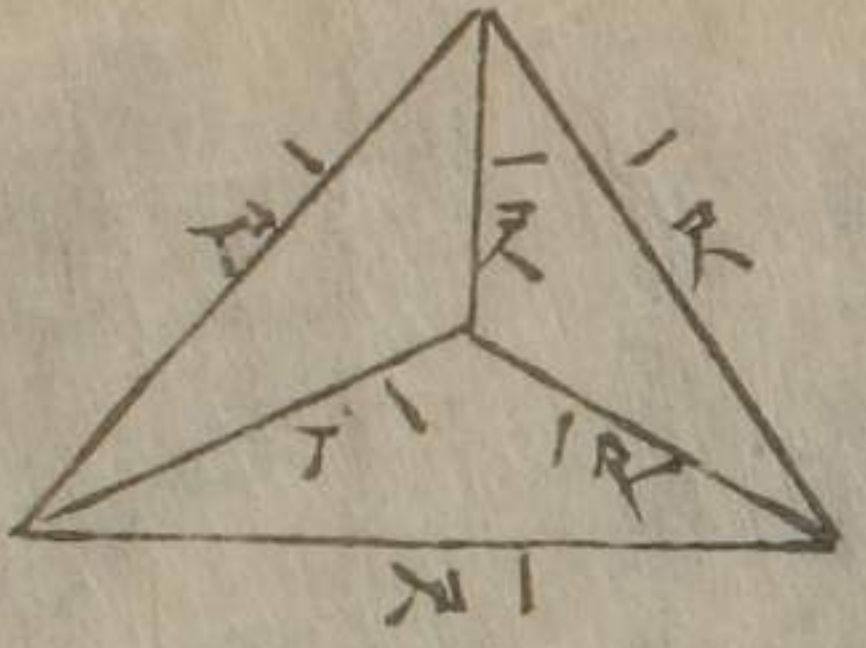
術曰徑六寸を自因一三十歩是亦堅二尺五寸と  
くけ九百歩是亦因法七九を乘定法三小く

全 葦 麥 形

定法二七八三

一尺三方の葦麥形の歩敷を向

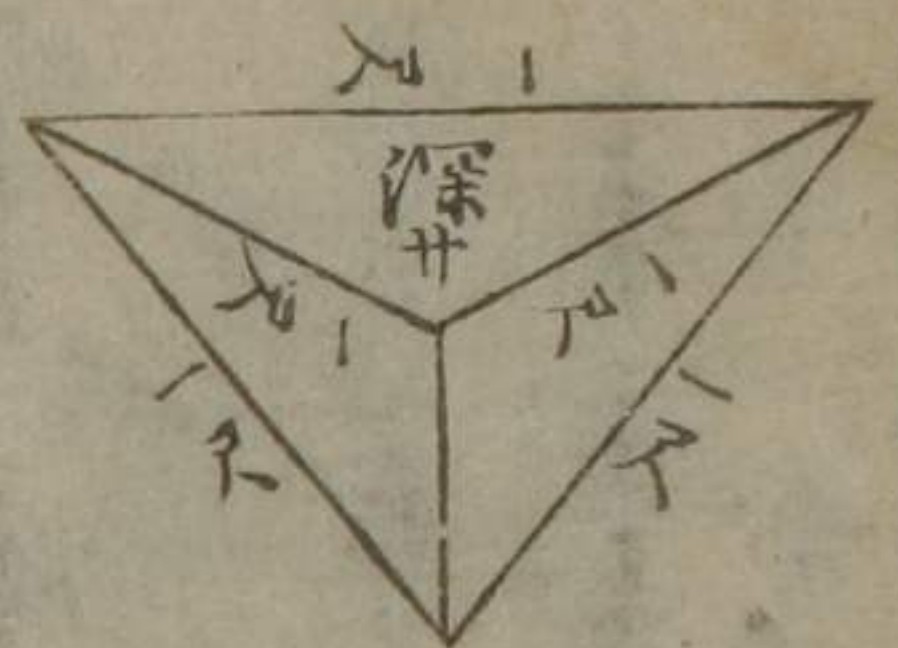
答曰 寸坪 十一坪七分八厘三毫



術曰方一尺を再自因一 定法二七八三とくけて坪敷をゆる  
坪敷あり葦麥の造る六坪敷を定法二七八三ふ  
よりて互法を用くなり

○右の葦麥形と三方錐よりて深さを向

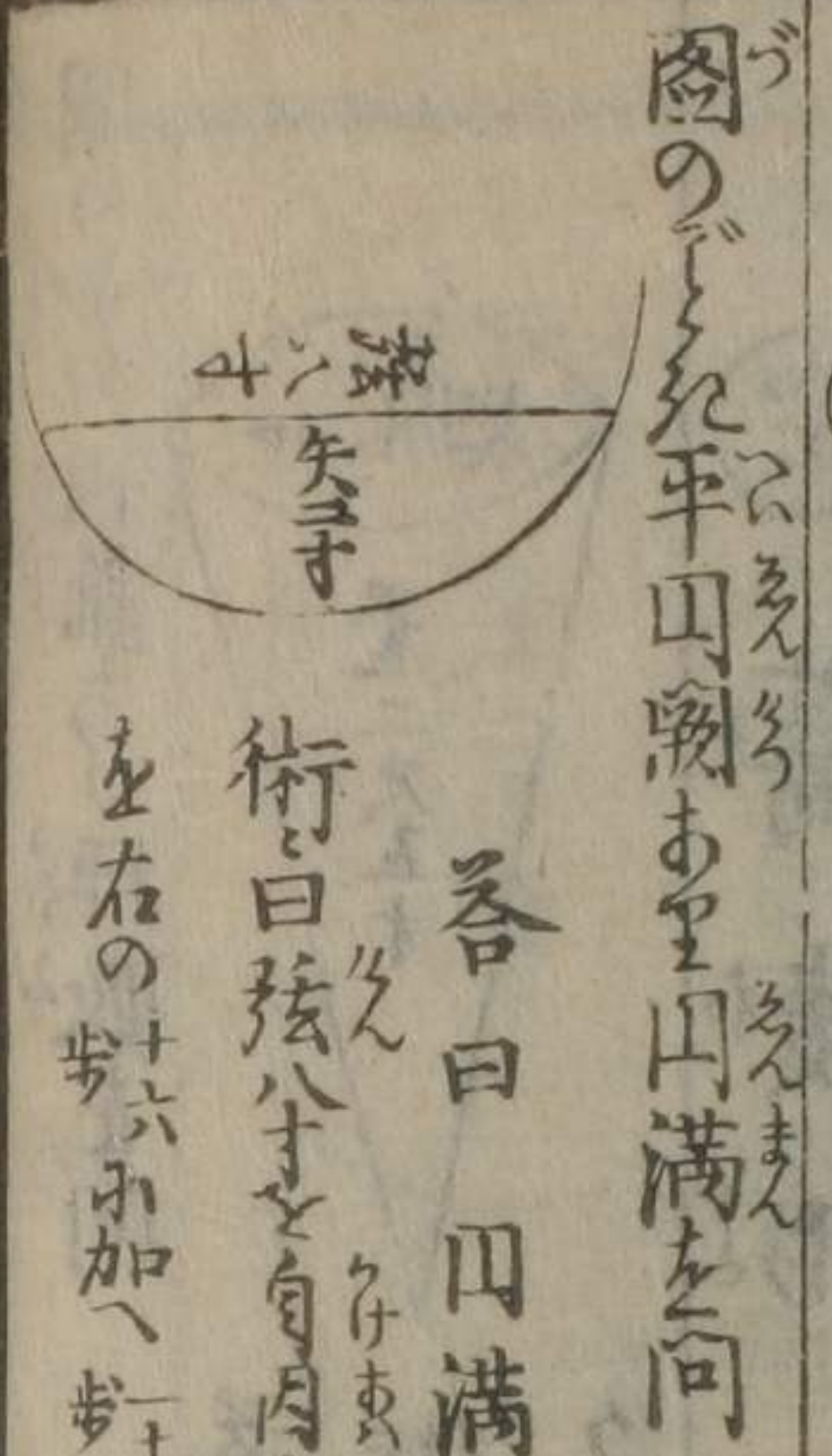
答曰 深サ 八寸一分六厘三七八



術曰一尺三方の甚高変形と三方維めて只の歩數四十三歩二分  
あり是を三小割む拾四歩四分三厘三毫となる是を一倍して  
方一尺小日リ二寸八分八厘六毫となる是を勾と見扱三方乃  
中經八寸六分六厘を弦と見て勾股弦の股を求る術を用ひ  
深サをまゐるなり

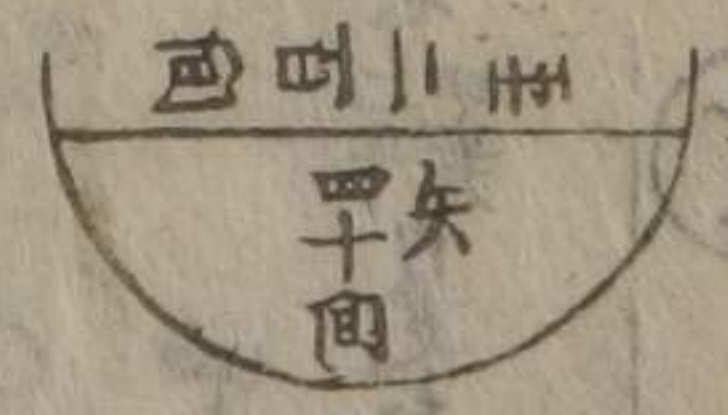
○又此坪數をまゐる術と方一尺を自因一歩是亦四三三とけ又深サ八寸一分六  
厘三毫七八をけ定法三小日リ坪數十二坪七分八厘三毫をゆるこ

平圓圖 定法六



圖の如く平圓圖あり山満を問  
答曰 山満一尺  
術曰弦八寸を自因して六十是を四より歩十六○又矢二寸を自因して四是  
を右の歩十六小加へ歩十是を矢二寸もて割山満一尺をゆるこ

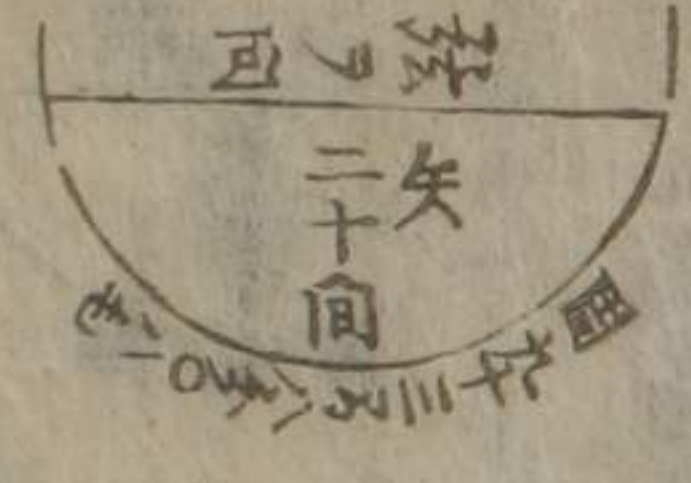
圖の如く平圓圖あり



答曰 弦百六十間  
術曰徑二百間を折半して百此内矢半間引て倍是を自因して  
○又徑折半して百を自因して一歩此内中て右百歩を引残六千四百歩  
是を平法小用む八十をゆる是を倍して百六十間弦の回数



圖の如く平圓圖の矢を問  
答曰 矢五十間  
術曰周百五十八間を自因一歩千坪○又弦百間を自因一歩是と右の内  
中て引残千坪是と四法六小割二千五百坪是と平法小用矢とゆるこ



圖の如く平圓圖の弦を問  
答曰 弦八十間  
術曰周の間を自因一歩八十八○又矢二十間を自因一歩是と四法六をまて  
二四百歩是を八千八の内中て引残百歩是と平法小用矢とゆるこ



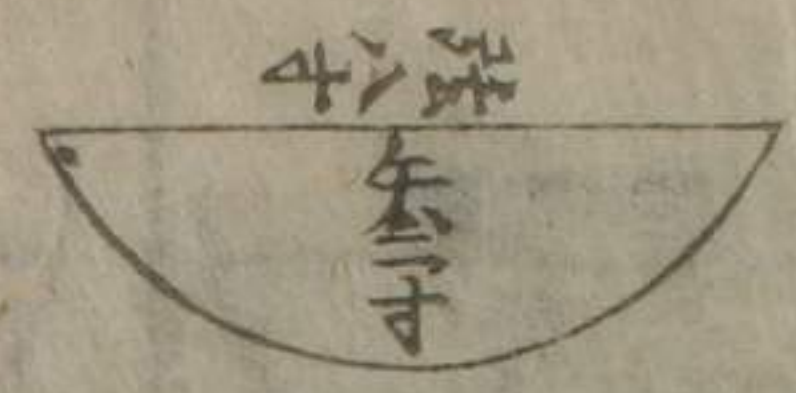
図の如く平四半周を問

答曰 周一尺五寸八分一厘

術曰 矢手を自因一五寸是亦定法六を乗百五〇又弦一尺を自因一五寸是亦定法六を乗百五〇又弦一尺を自因一五寸是亦定法六を乗百五〇又弦一尺を自因一五寸是亦定法六を乗百五〇

図の如く平四半周を問

答曰 寸歩 十一坪四分五厘

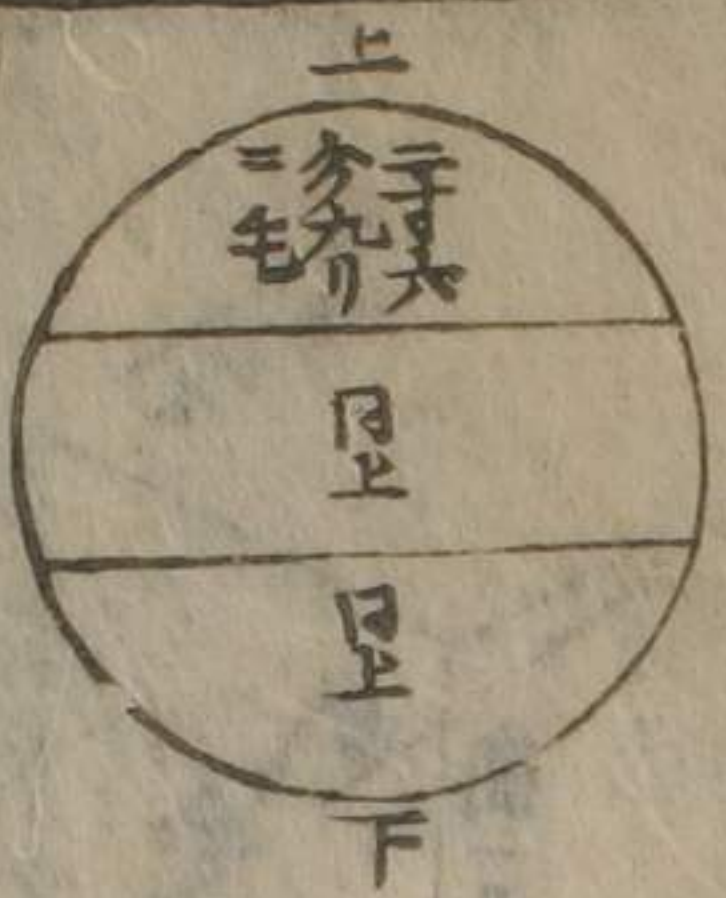


術曰 矢手を自因一四寸是亦定法六を乗四寸〇又弦八寸を自因一四寸是亦定法六を乗四寸〇又弦八寸を自因一四寸是亦定法六を乗四寸〇又弦八寸を自因一四寸是亦定法六を乗四寸〇

九三

圓截

徑一尺の平四半歩數等分三



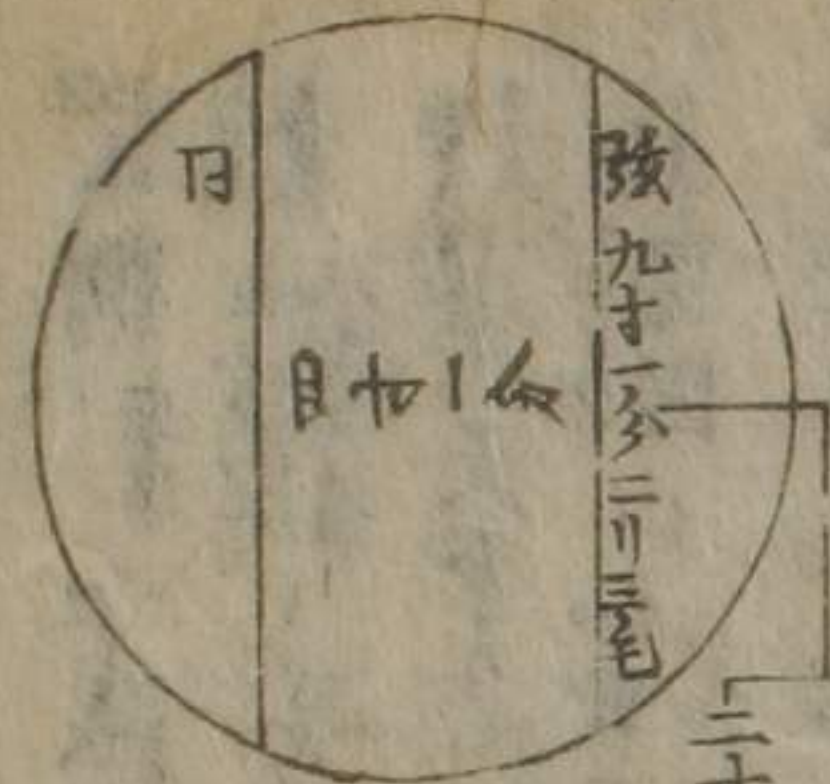
答曰 寸 二十六分九厘三毫

術曰 四徑一尺を四法六割一寸六分是亦定法八を乗三寸是亦定法八を乗三寸是亦定法八を乗三寸

Table with 4 columns and 1 row. Columns are labeled '一', '十', '百', '千', '万'. The first column has a dot, the second has a vertical line, the third has a vertical line, and the fourth has a vertical line.

此けり入る

徑一尺の四徑寸歩七十九歩四割の二分を中として切れば歩數とすと問



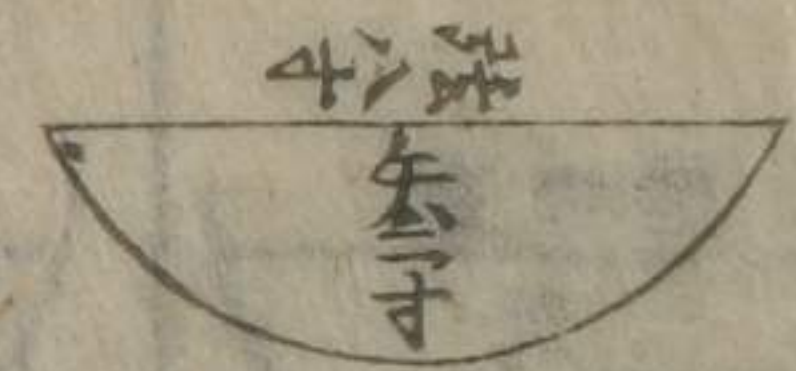
答曰 右 十九歩七分五厘 中 三十九歩五分 左 十九歩七分五厘

術曰 七十九歩を四割十九歩七分五厘〇又平四半の五十歩と



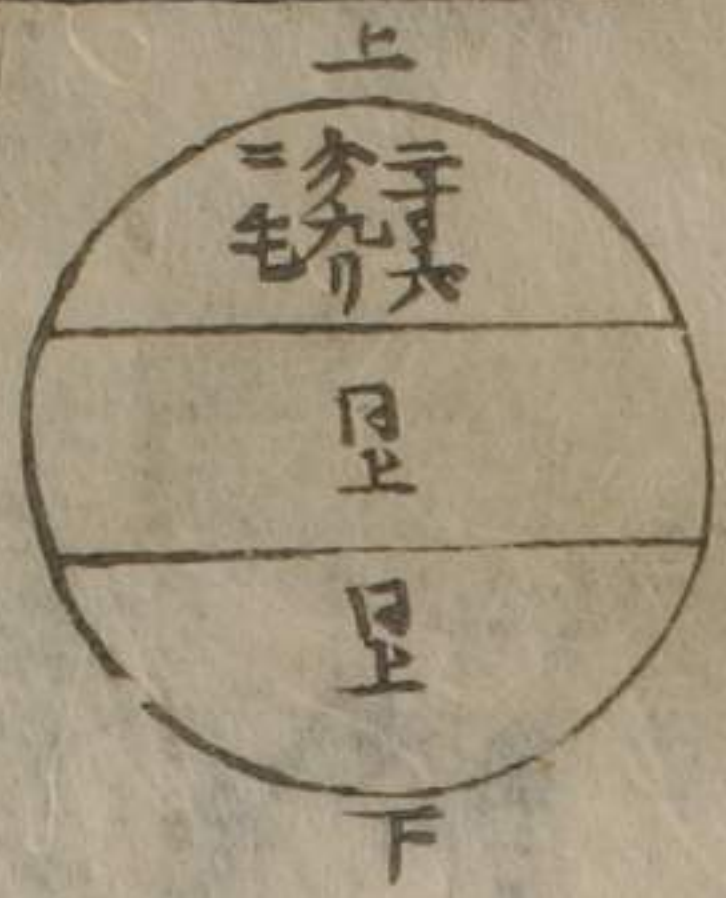
図の如く半円周ありて歩數を問

答曰 周一尺五寸八分一厘  
 街曰 矢五寸を自因一五寸是亦定法六を乘百五〇又弦一尺を自因一五寸是亦定法六を乘百五〇又弦一尺を自因一五寸是亦定法六を乘百五〇又弦一尺を自因一五寸是亦定法六を乘百五〇



答曰 寸歩十一坪四分五厘  
 街曰 矢二寸を自因一四寸是亦定法六を乘百五〇又弦一尺を自因一四寸是亦定法六を乘百五〇又弦一尺を自因一四寸是亦定法六を乘百五〇

徑一尺の半円歩數等分三割各寸を問

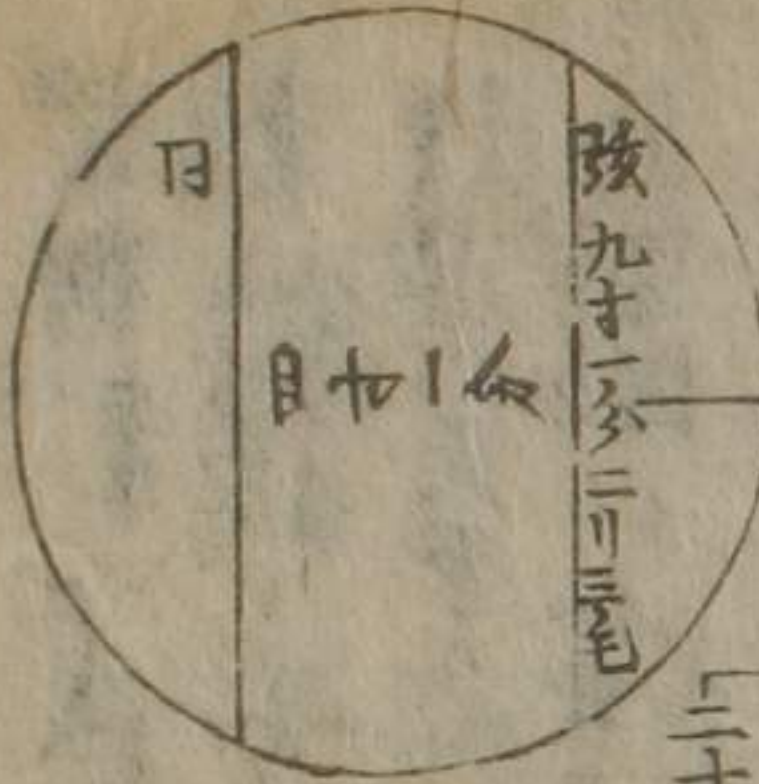


答曰 中上 二寸六分九厘を三毛  
 街曰 四徑一尺を四法六割一六分是亦定法八を乘百五〇又弦一尺を自因一六分是亦定法八を乘百五〇又弦一尺を自因一六分是亦定法八を乘百五〇

一	十	百	千	万
一	十	百	千	万

此けり入る

徑一尺の四徑寸歩七十九歩四割の二分を中として切れば歩數とすと問



答曰 右 十九歩七分五厘  
 中 三十九歩五分  
 左 十九歩七分五厘  
 街曰 七十九歩を四割十九歩七分五厘〇又平円半の五十歩と

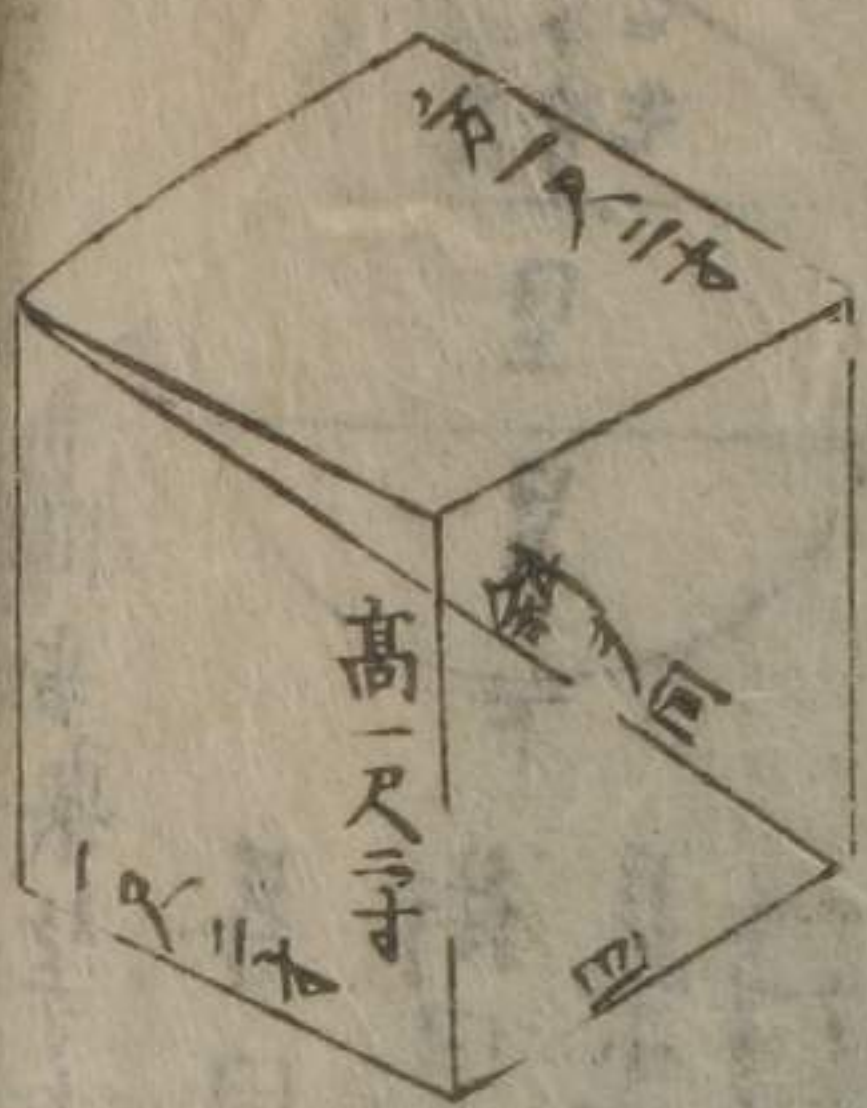
四割十二平法小用九三寸五分徑半五寸の内にて引残六寸四分是三寸五分を  
 乘五歩一七八七二五とある是を法九十八八にして割五分ハリ是を右三寸五分の内にて引  
 残九寸九分矢あり〇又弦の寸を求るは徑半五寸の内矢五寸四分を引残二寸五分是  
 を自因二歩一二六六是は法四をうけ七十六歩なり是を惣歩百歩の内にて引残  
 八十三歩二九四是を平法小用九九寸一分三是弦の寸の〇徑一尺の内左右の  
 矢を引残四寸一分中の矢の寸の〇弦を左右同寸なり

九四

方 堅

定法一七三二

一尺二寸四方高サも一尺の方堅左上の角より右下の角までの斜を問



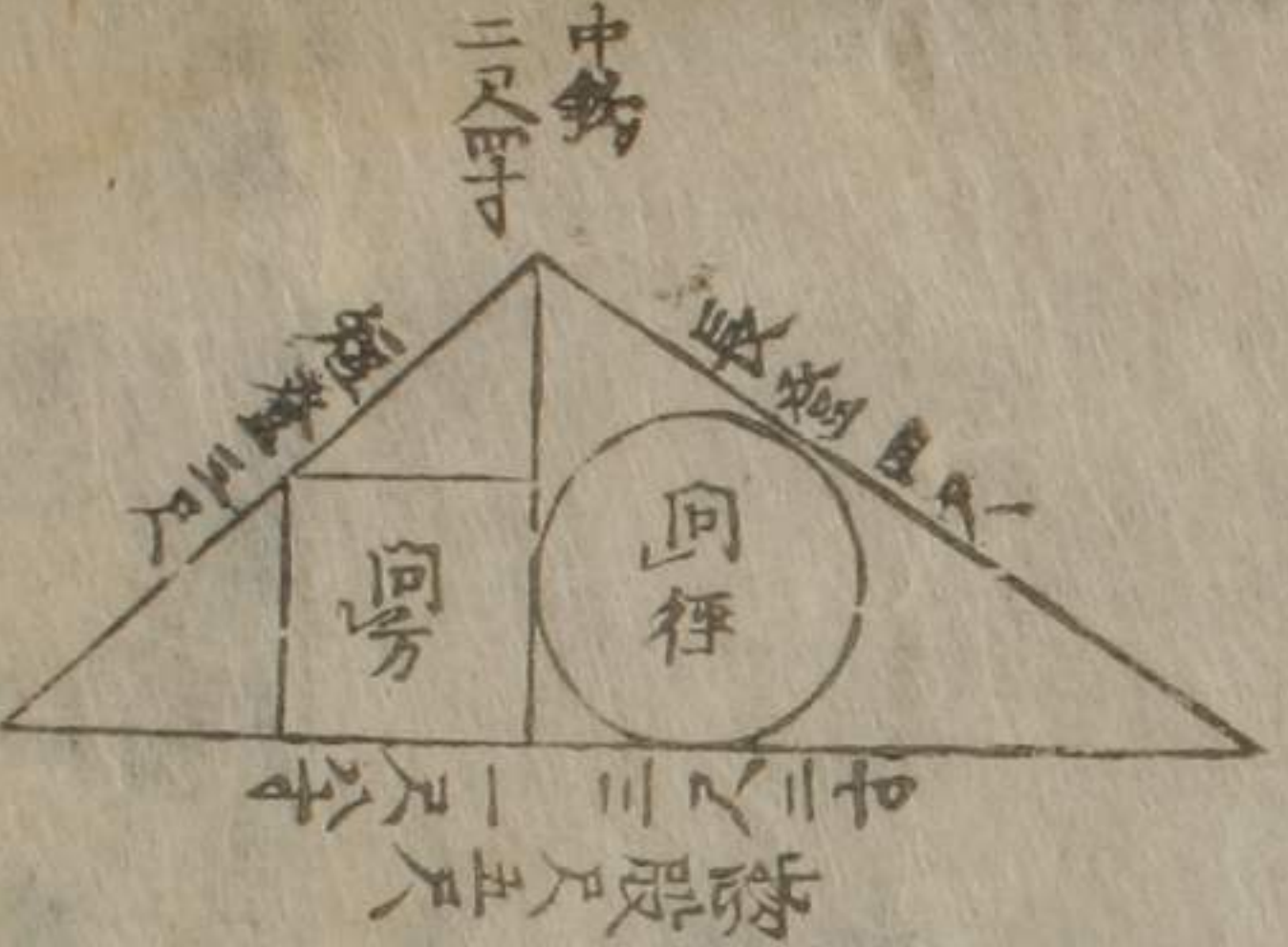
術曰一尺二寸を自因一四是小三を乗四三二是を平法の  
 問を斜をゆるし  
 〇又術曰一尺二寸を定法一七三二をうけても一理  
 〇又斜の尺有て方尺をあるハ一七三二をうけても一理なり

右定法の起源ハ一尺四方六面の斜一尺七寸三分二厘ある也ハあり是をある術ハ  
 方一尺を自因一百是小三を乗三百是を平法小用九一尺七寸三分二厘をゆるし是起す

九五

山 形

山形の長登四尺短登三尺中鈎二尺四寸股五尺あり此内長登の方へ平四を入  
 短登の方へ平方を入ると丸田の徑と方の尺とを問



各曰 田徑一尺六寸 方一尺〇二分八厘五毛  
 術曰勾股弦の術にて長登の方股二尺短登の方股一尺と  
 ある〇長長登の股二尺中鈎四尺を乗寸歩七百六十八  
 尺を倍して千五百三十六歩〇又四尺と三尺と中鈎二尺四  
 寸と和して九尺六寸是を法として右千五百三十三を割田徑を  
 得る〇又一尺八寸小二尺四寸を乗四百三十二歩〇又一尺四寸  
 一尺八寸を加四尺二寸是を法して右千四百三十三を割方尺を得る

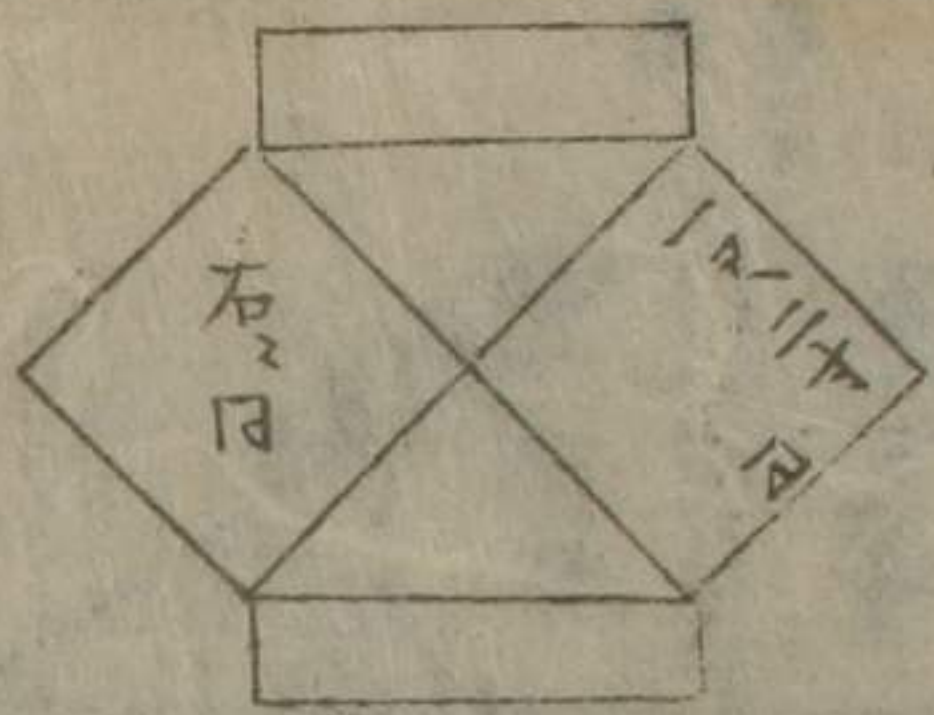


（六）

切籠形

四角の切籠一間一尺二寸四方にして歩敷を問

各曰 寸歩 四千〇七十二坪八分九厘六毫



術曰 四方一尺二寸を再自乗して定法二三五七をうくれむ坪敷を得かり

○坪敷有て切籠の尺を求む坪敷を二三五七で割立法に用けむ方尺を得かり

方一尺二寸六角四面の切籠坪敷を問

各曰 寸坪 四千六百八十三坪〇五厘二毫八

術曰 一面一尺二寸再自乗して定法二七〇二をうけ坪敷を得かり

○又坪敷あつて方尺を求む坪敷を定法二七〇二で目り立法に用けむ方尺を得かり

一尺二寸四方八面六角の切籠の坪敷を問

各曰 二万三千五百坪〇〇八分

術曰 一尺二寸を再自乗して定法一三六を乗坪敷を得かり

○坪敷あつて方尺を求む坪敷を三六割立法に用けむ方尺を得かり

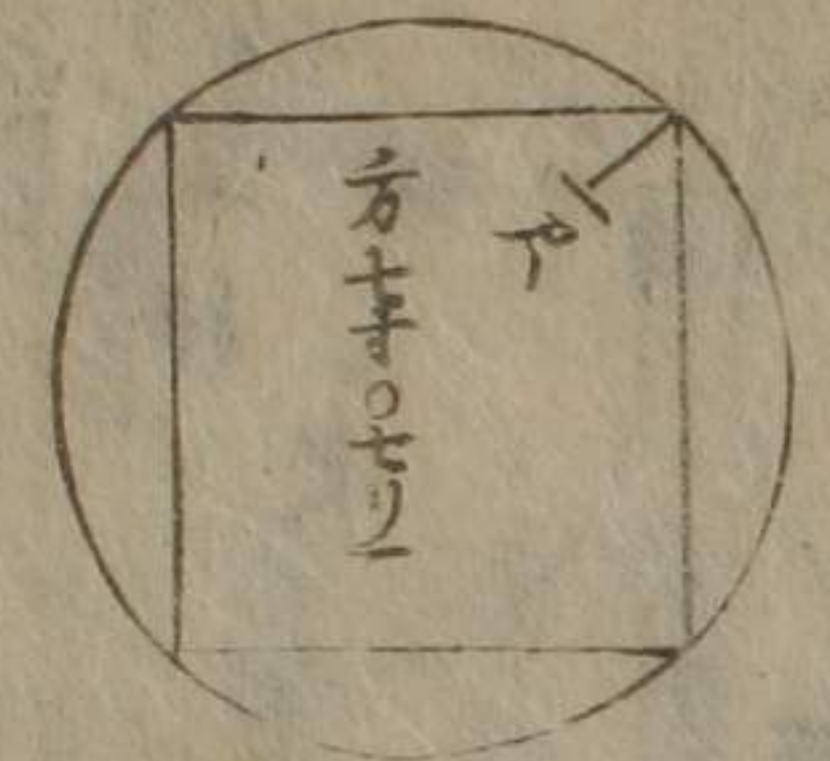
（七）

裏矩

定法一四二二

四徑一尺の平口を角小造る時方寸を問

各曰 角の面 七寸〇七リ



術曰 平四徑一尺を定法一四二二にてうくれむ方面の寸尺を得かり



一尺四方の方平おきて是を平四小造るは四徑一尺とて一四二二を乗是を木の角より角まで四寸一分甲二切かき一の寸めてむ

突

徑矢弦

定法四



平圓の徑一尺あり矢一寸ありて弦を問

答曰 弦六寸

術曰一尺の内矢一寸引線九寸○矢一寸不定法四より四寸あり是を右九寸より彙三十歩是を平法を用て弦六寸を得る

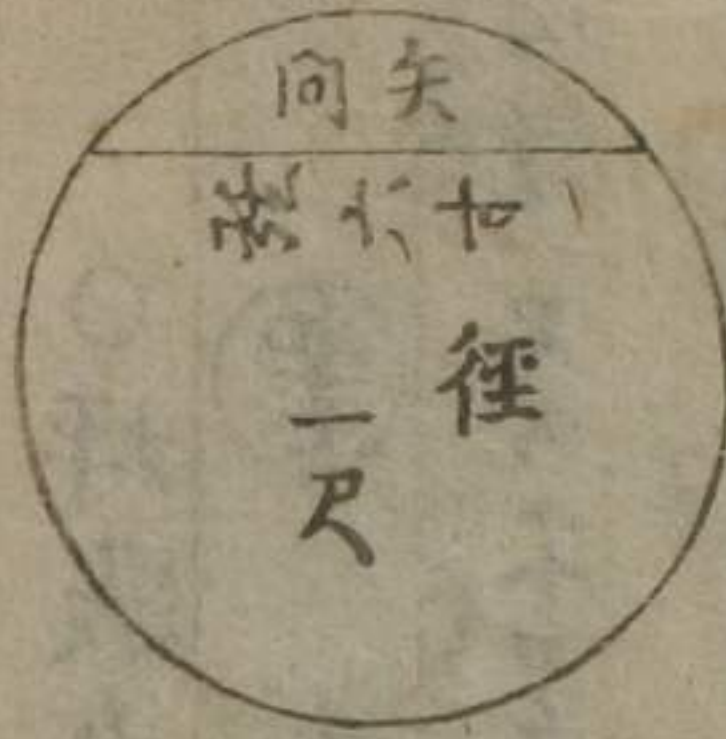
平圓の徑一尺弦六寸ありて矢を問

答曰 矢一寸

術曰徑一尺を自因り百歩○弦六寸を自因り三十歩是を百歩の内から引線四歩是と平法を用て八寸を得る以て徑一尺の内平引線二寸是を折半して矢一寸を得る

平圓の矢一寸弦六寸ありて徑を問

答曰 徑一尺



突

孤矢弦

定法六

平圓の矢一寸弦六寸孤の寸を問

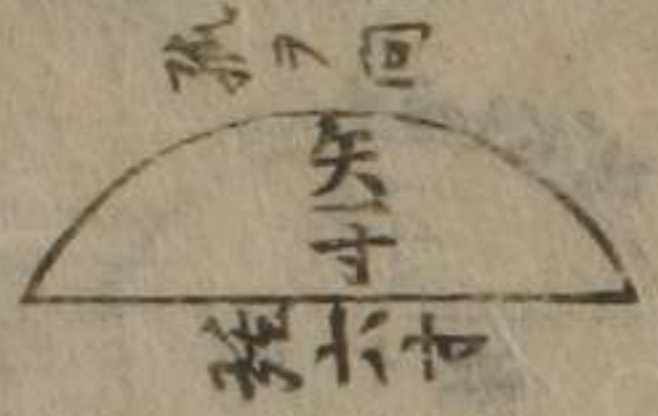
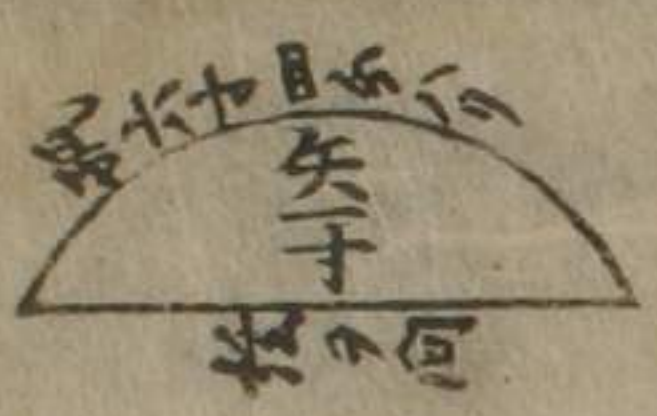
答曰 孤六寸四分八厘

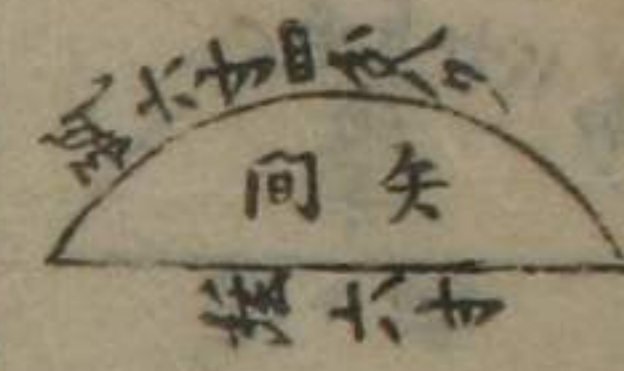
術曰弦六寸を自因り六十歩○矢一寸を自因り一歩是不定法六より彙六歩是三十六歩より和り四歩是を平法を用て孤を得る

平圓の孤六寸四分八厘矢一寸弦を問

答曰 弦六寸

術曰六寸四分八厘を自因り四十歩○矢一寸を自因り一歩是六歩を彙六歩是を四十二歩の内から引線三十歩是を平法を用て弦を得る





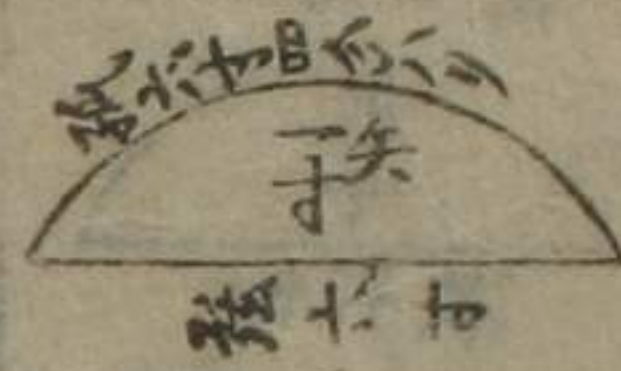
平田圓弦六寸孤六寸四分八厘矢を問

答曰 矢一寸

術曰 孤六寸四分八厘を自因一四〇弦六を自因一六十是を孤の歩數を引残六是を定法六六割歩是を平法六割矢を得る

平田圓圖の如く歩數を問

答曰 寸歩四坪二分



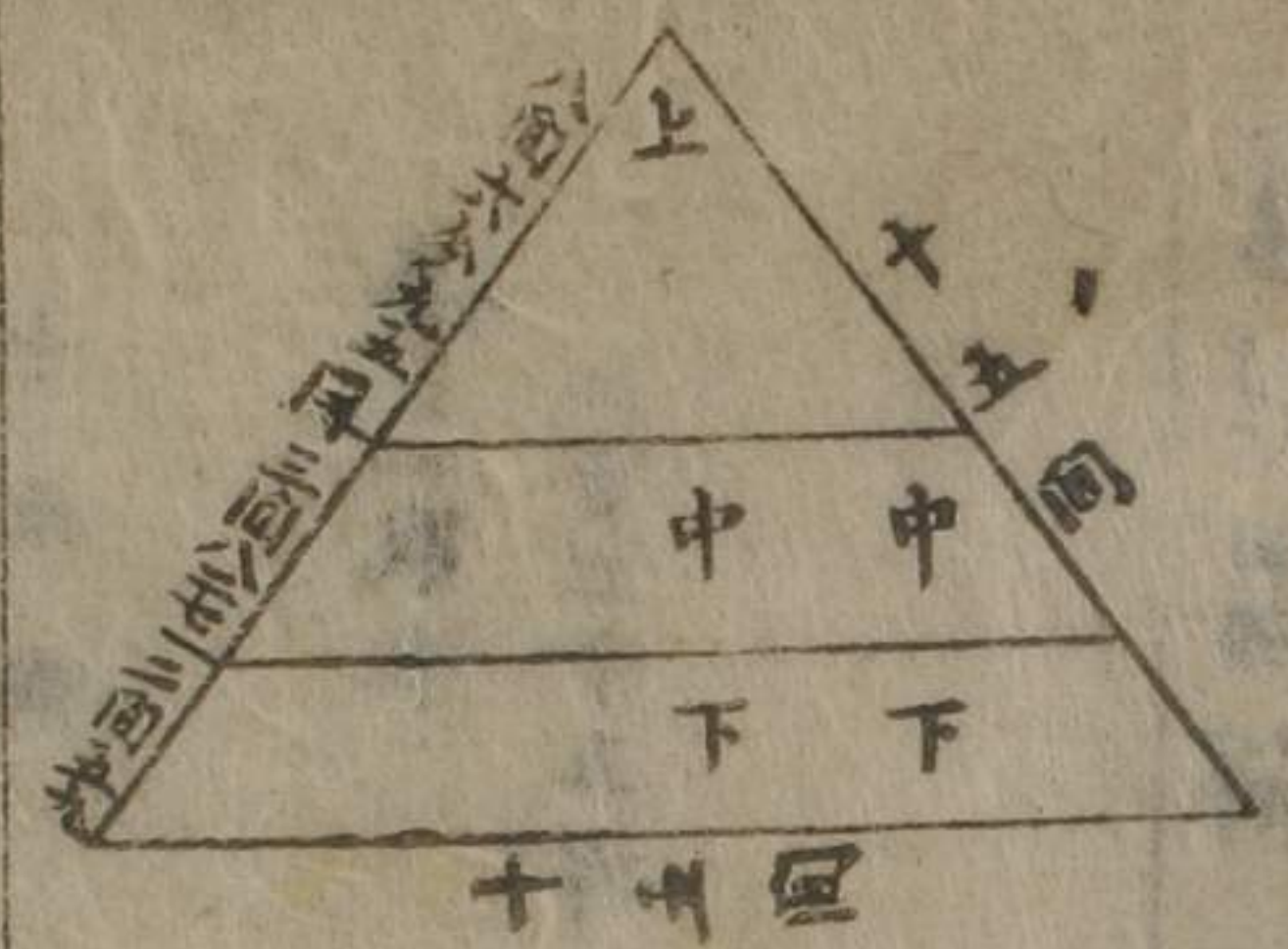
術曰 徑矢弦の法にて徑一を知以て孤六寸四分八厘を乘歩八分是を定法四で割十六歩〇徑半五寸の内矢を引残四是を弦六寸を乘

四歩を折半して十二是を右二十六歩の内にて引残四坪二分歩數を問

答曰 三角望切

十五間三角の地坪數等小切各間數を問

答曰 上八間六分 中三間八分 下二間五分



術曰 十五間を自因して二百廿五坪是を二小割りて七十五坪を平法六割九上の間數を得る〇又七十坪を倍して百五十坪を平法六割九除間を得て其内上の間を引残中の間〇下八十五間の内上中の間を引残下の間なり

答曰 方平角違切

方平十間四方間歩百坪等小切を角遠三切の間を問

答曰 如图

術曰 百坪を三割三十三坪是を平方六割九角の矢を倍して知兩矢を引中の間

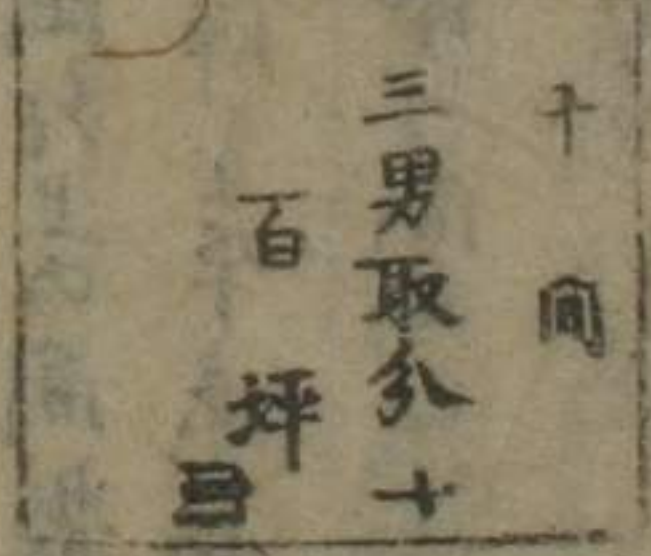
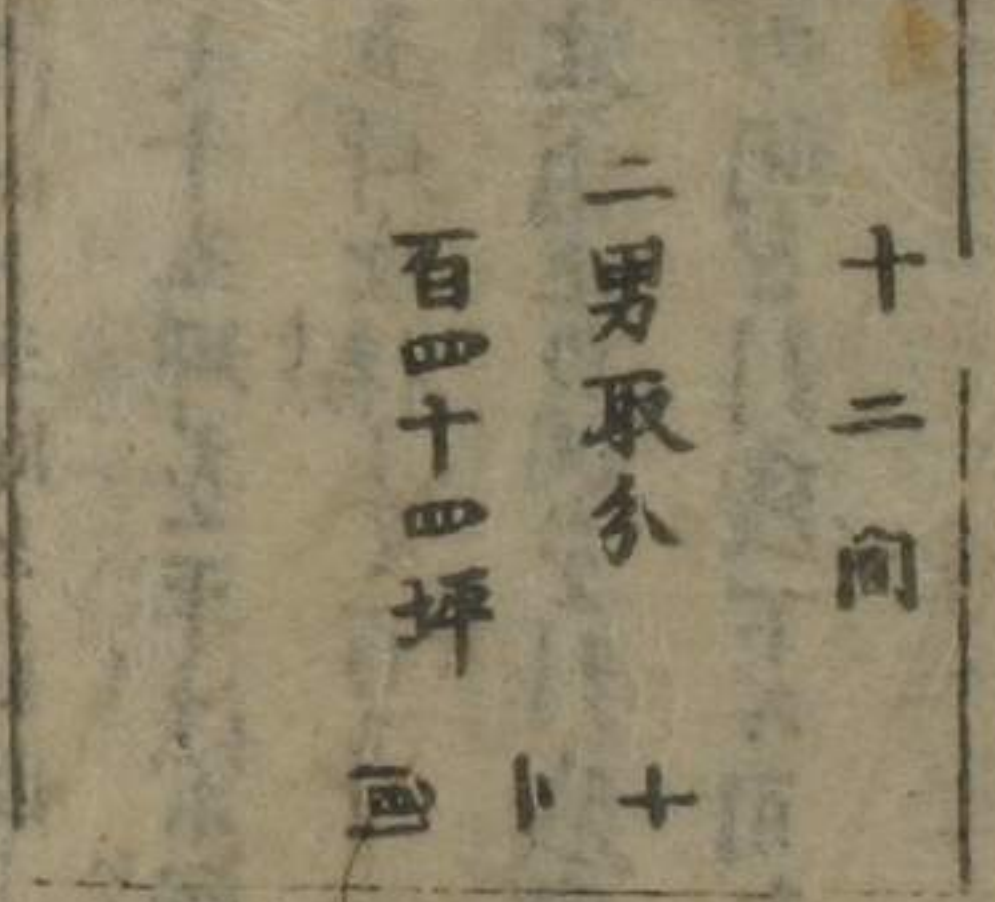
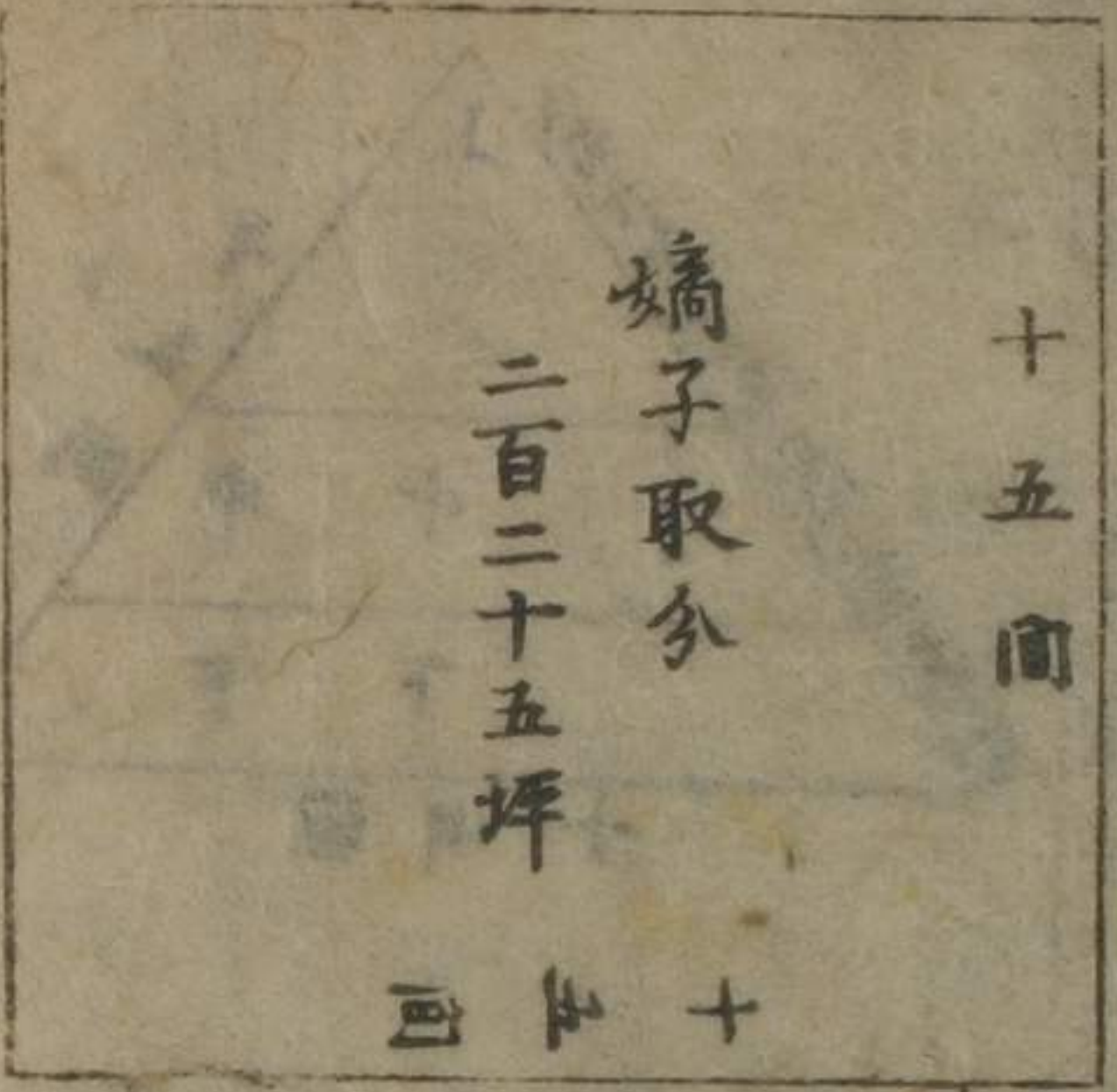


十間四方

百 重同平方

同坪四百六十九坪を兄弟三人に分る小嫡子より二男八内二割減し二男より三男の外二割下りて各坪数同敷を同

各曰  
 嫡子 二百七十五坪 十五間四面  
 二男 百四十四坪 十二間四面  
 三男 百 坪 十間四面



算法圖解終



小田氏秘藏